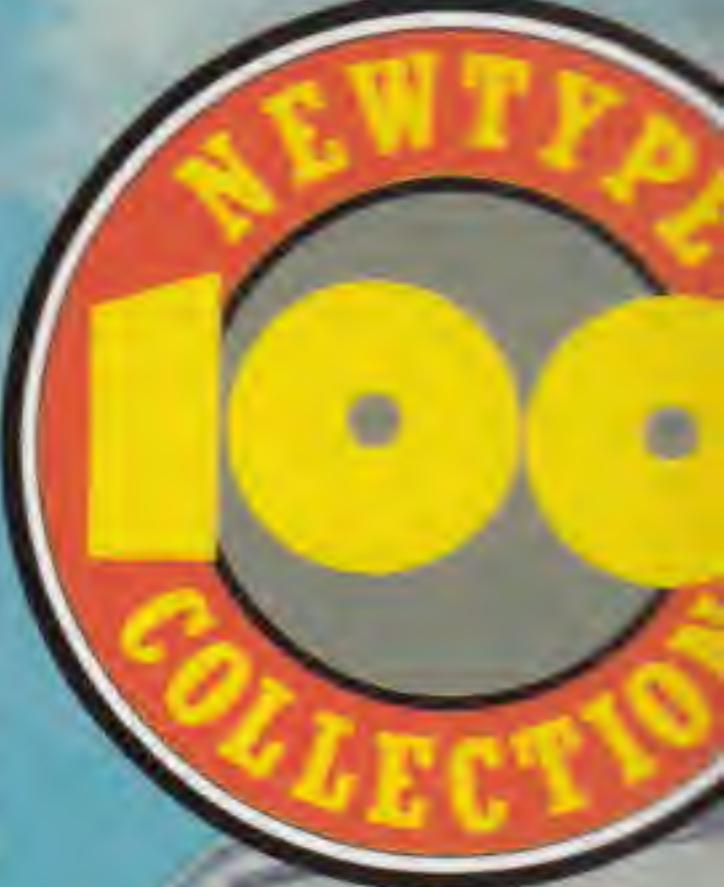


H GUNDAM

Vol.1

ヌーンエー ガンダム



ガンダム最新作

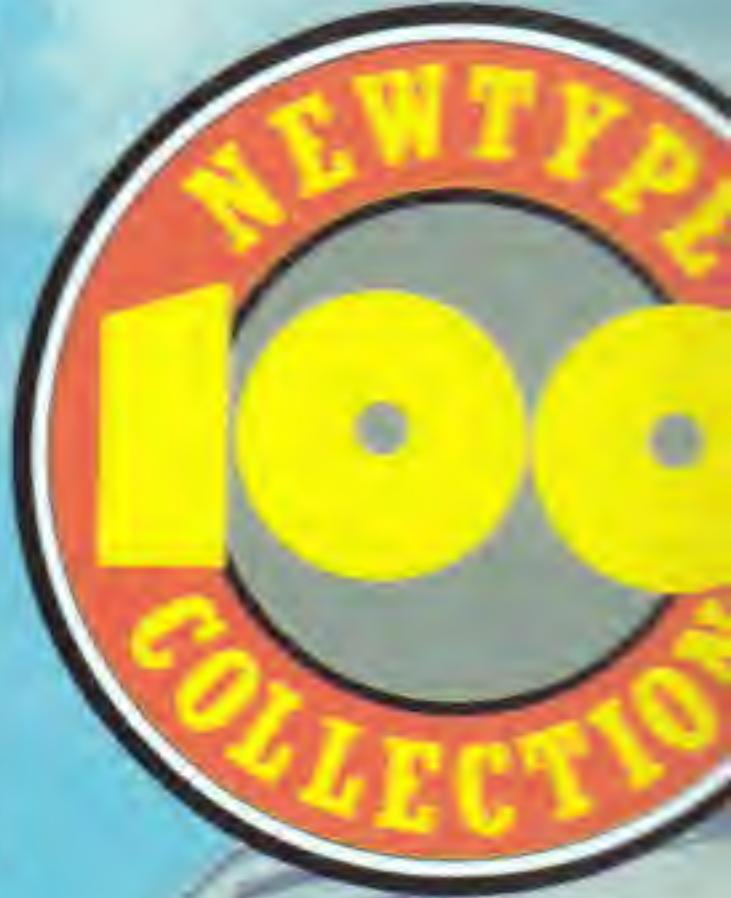
△ガンダム Vol. 1

"△"のストーリー・設定を凝縮

H GUNDAM

Vol.1

ターンエー ガンダム



H GUNDAM

Vol.1

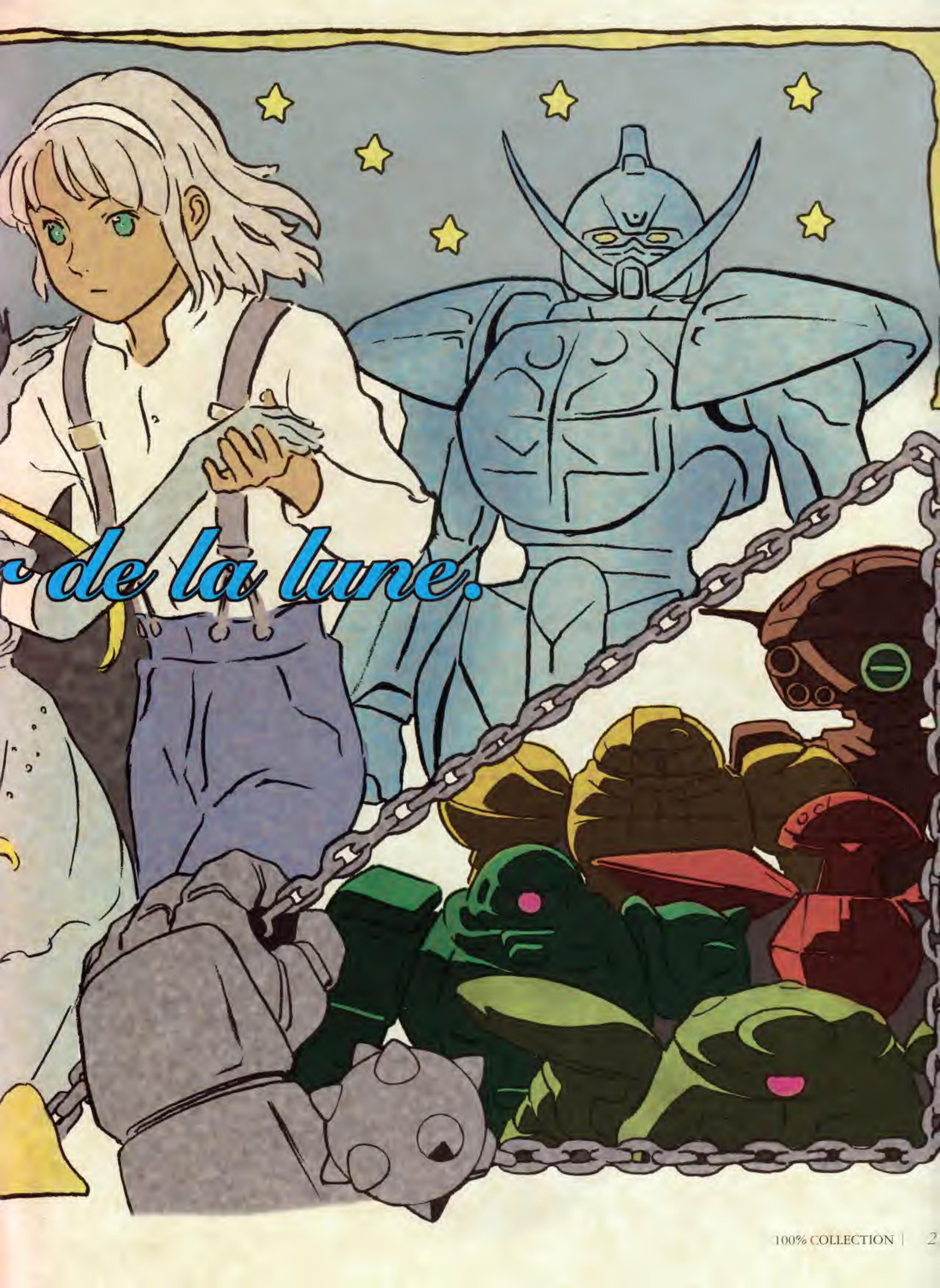
ターンエー ガンダム





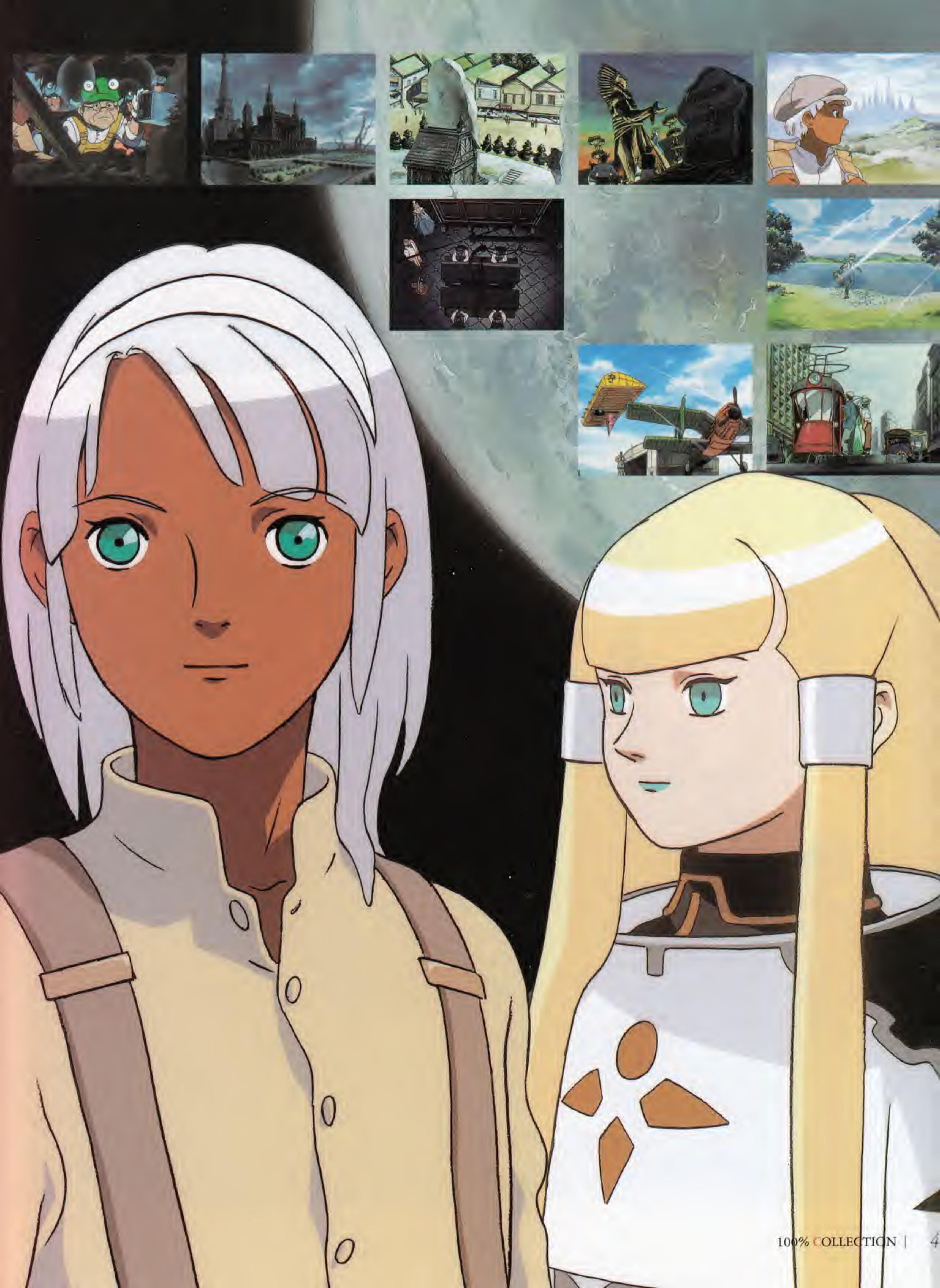
A G U N D A M

de la lune.



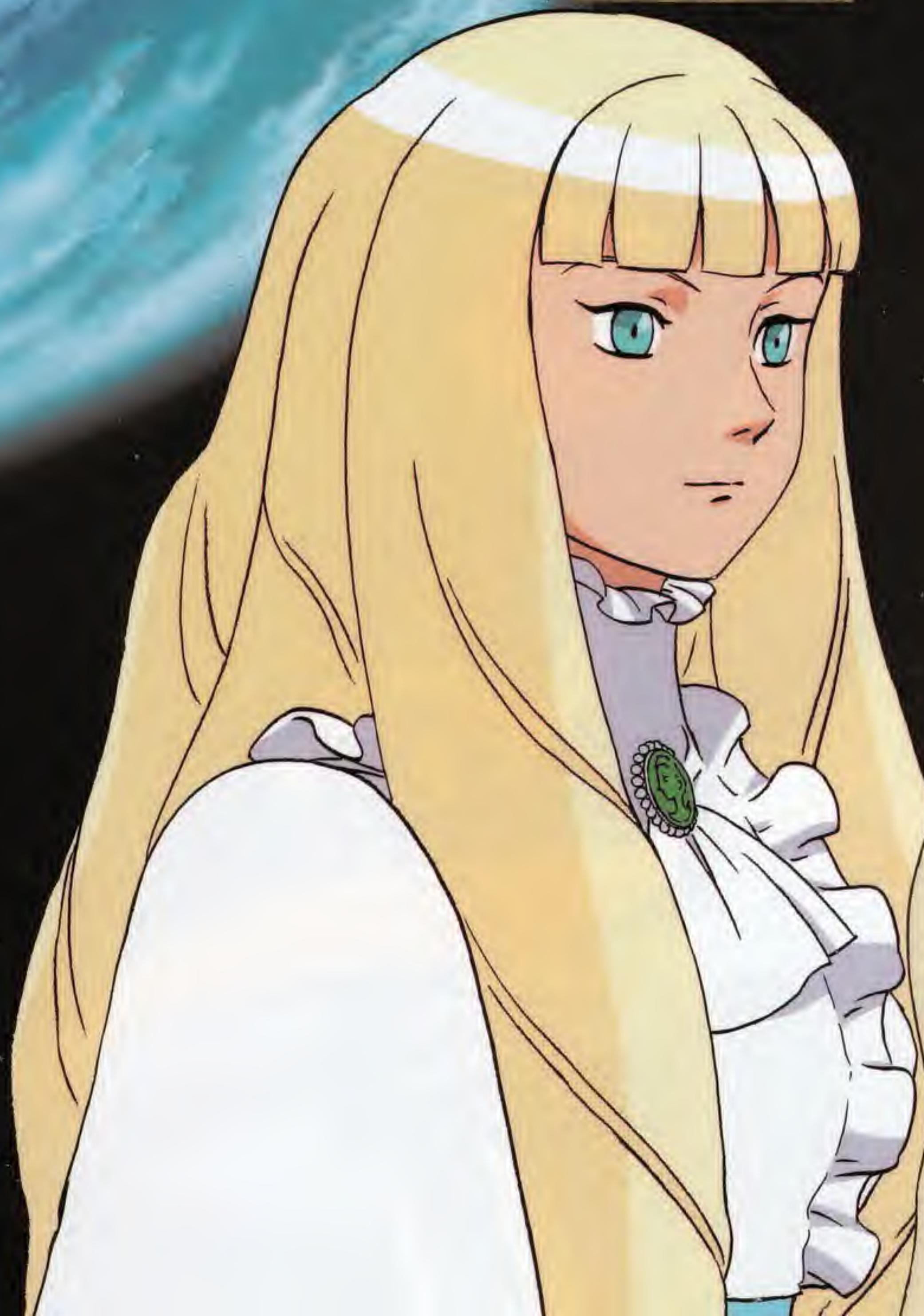


La danse au clair



WORLD OF A

アがいる世界——、それはある意味、今までの常識を覆している世界だ。



最初に「ア」を覗いた瞬間、戸惑いを除く
感じなかつた人はいっしょではなさそう
か。ガンダムというモードルから流れ
ているにもかかわらず、自分はどう見ても
十八（九世紀）の西欧風だ。青い空や緑
の土地などの真か白い色しかり、人々の
服装しかり、建物のチサチサもあり、成
人式や収穫祭などの儀式もあり、一方で
自動車や飛行船、飛行機、これまで登場
する。これはどついつ世界である。

さらにはマウントテン・サイクルなどと
呼ばれる山からは、何とモビルスーツや
その装備品、宇宙船、さらには核弾頭ま
で発掘された。それは長い間地中に埋め
られていたとはとても思えず、適切に整
備さえすれば使用可能なものだつた。
ここで語られるのが黒歴史だ。この時
代から二千年前には宇宙時代があり、モ
ビルスーツや宇宙船はその時代の遺跡で
ある。だが戦争で地球の環境が崩壊した

ため、過ちを繰り返さないよう意図的に
封印されたという。今では豊かな恵みを
与えてくれる土地も、五百年前にはど
うしようもない荒れ地だったという話も
語られる。人々は黒歴史を知る山師から
魔法の黒い粉を貰い、それで土地を改良
し続けてきたというのだ。
そして、宇宙時代が存在していたこと
を証明するかのように、月の民がやって
きた。ここから物語が始まる——。

VISITORS FROM THE MOON

ムーンレイス——それは存在そのものが
ある種の悲劇なのかもしれない。

ムーンレイス——月の民である彼らは、二千年以上も前に月へ残された人々の末裔だ。月という宇宙空間で暮らす彼らには、地球でいうところの黒歴史を否定することはできなかつた。人工冷凍睡眠で何百年も生きる女王、ディアナ・ソレルの指揮の元、彼らは地球より圧倒的に高い技術力、軍事力を擁して、積年の夢である地球帰還作戦を決行した。

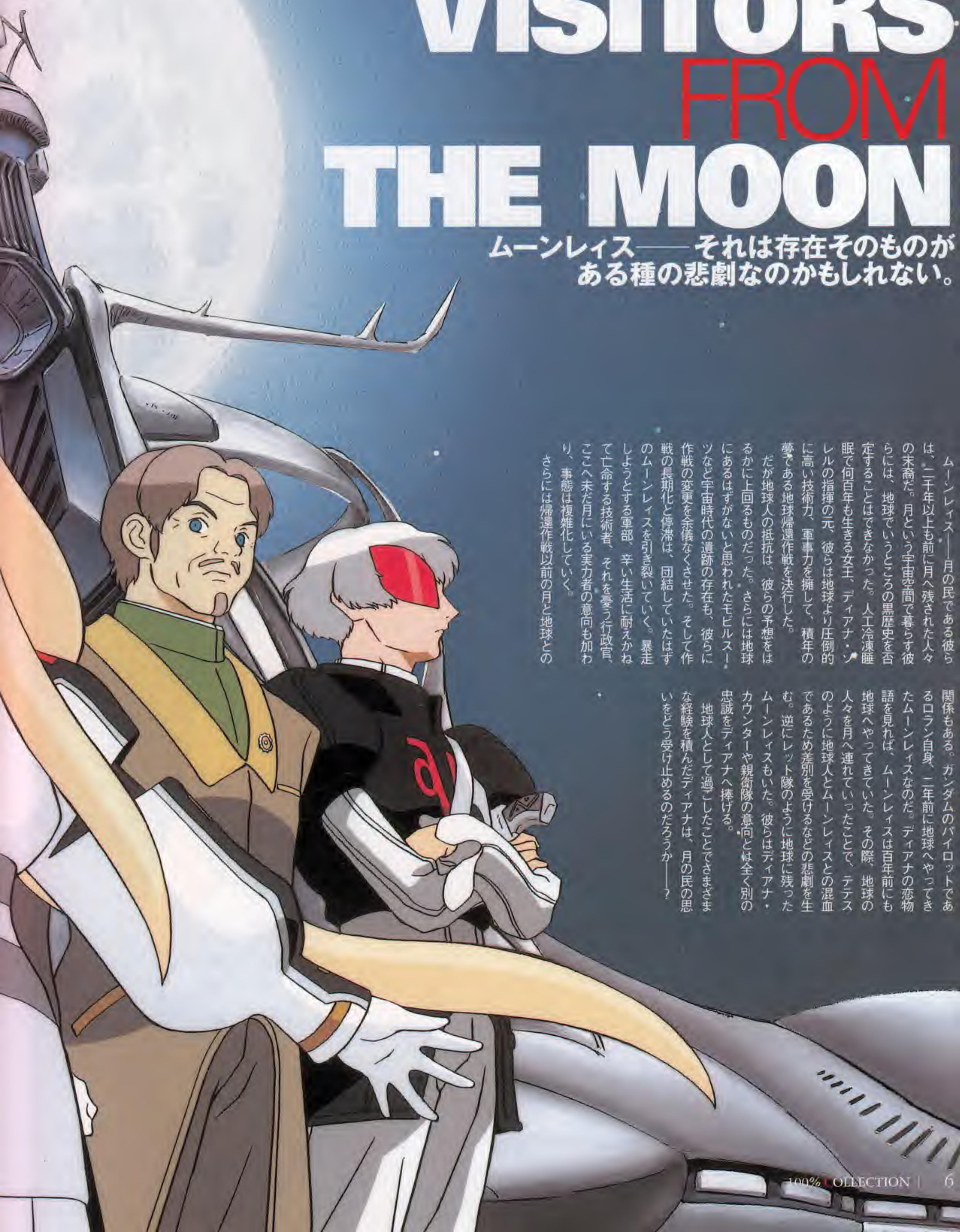
だが地球人の抵抗は、彼らの予想をはるかに上回るものだつた。さらには地球にあるはずがないと思われたモビルス！

ソラなど宇宙時代の遺跡の存在も、彼らに作戦の変更を余儀なくさせた。そして作戦の長期化と停滞は、団結していたはずのムーンレイスを引き裂いていく。暴走しようとする軍部、辛い生活に耐えかねて亡命する技術者、それを憂う行政官、ここへ未だ月にいる実力者の意向も加わり、事態は複雑化していく。

さらには帰還作戦以前の月と地球との

関係もある。ガンダムのパイロットであるロラン自身、二年前に地球へやつてきたムーンレイスなのだ。ディアナの恋物語を見れば、ムーンレイスは百年前にも地球へやつてきていた。その際、地球の人々を月へ連れていったことで、テテスのよつに地球人とムーンレイスとの混血であるため差別を受けるなどの悲劇を生む。逆にレット隊のように地球に残ったムーンレイスもいた。彼らはディアナ・カウンターや親衛隊の意向とは全く別の忠誠をディアナへ捧げる。

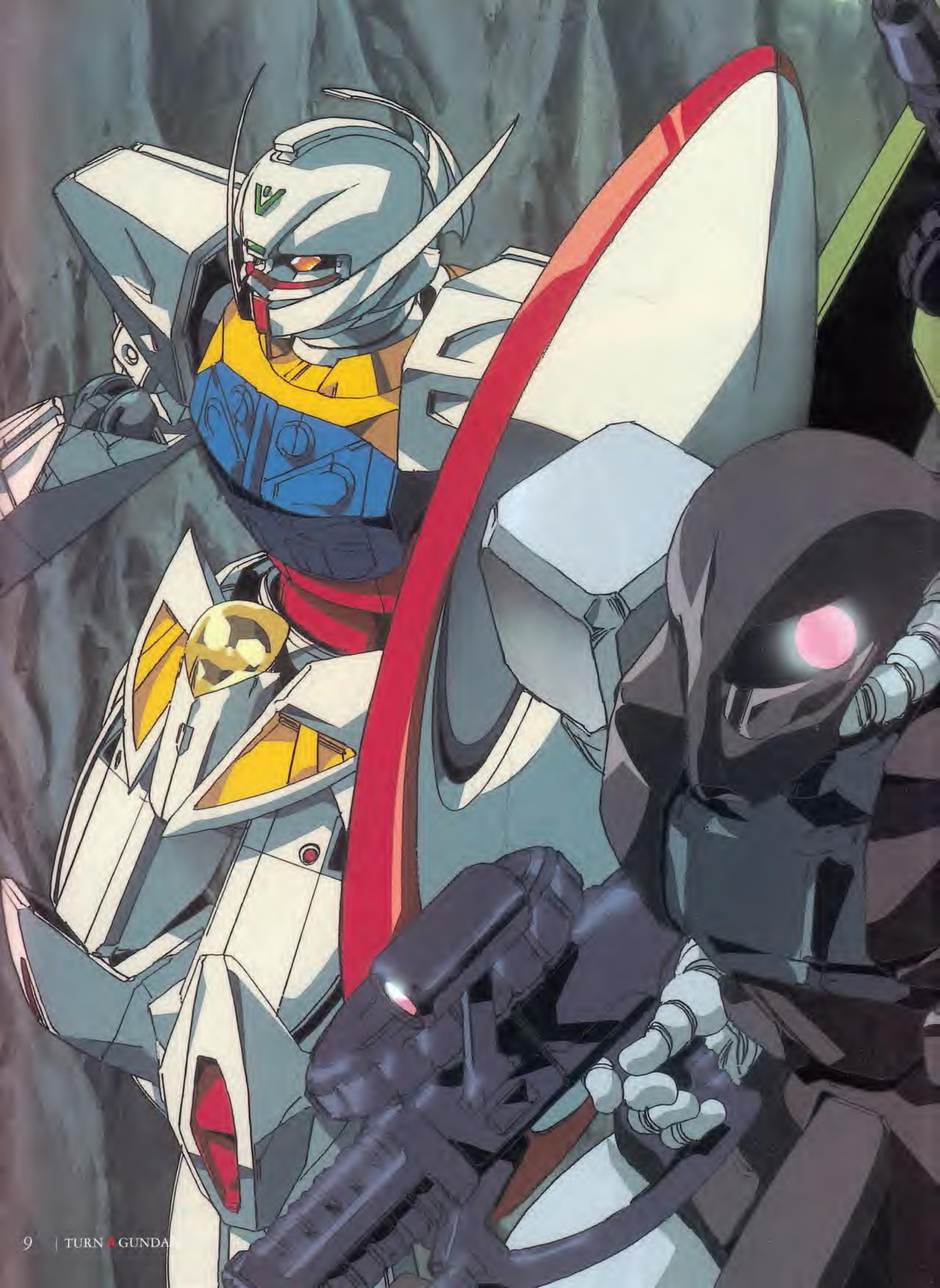
地球人として過ごしたことでのさまざまな経験を積んだディアナは、月の民の思いをどう受け止めるのだろうか——？

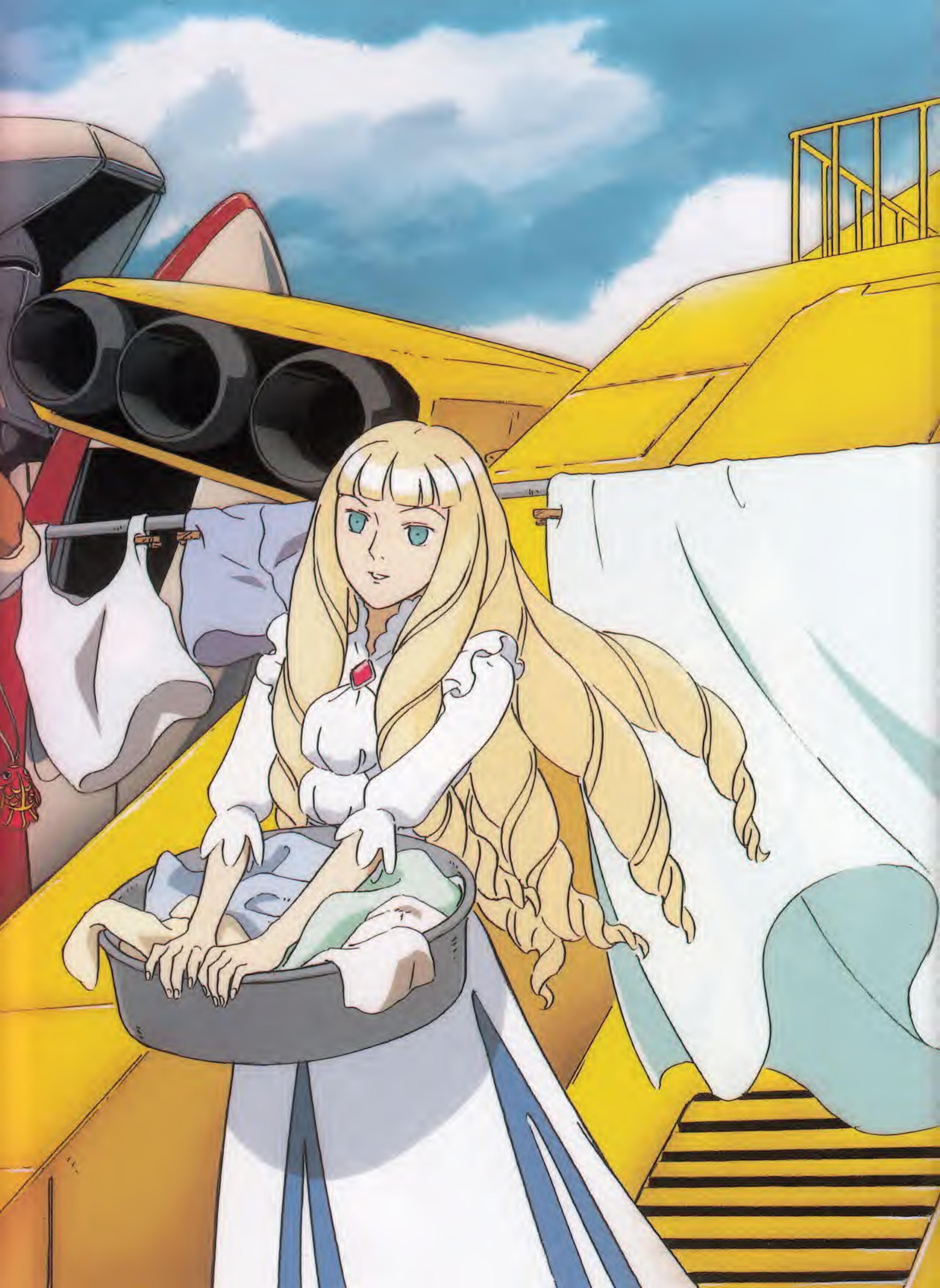




黒歴史 掘り出された

各地のマウンテン・サイクルから掘り出された遺跡が証明する。中には懐かしいあの機体も。





日々の暮らし

たとえ戦争中でも、人々は日々物を食し、汚れ物を出す。こうした日常の生活中に、

モビルスーツがしつくり溶け込む。違和感のないハーモニーは、モビルスーツのあり方の理想なのか。



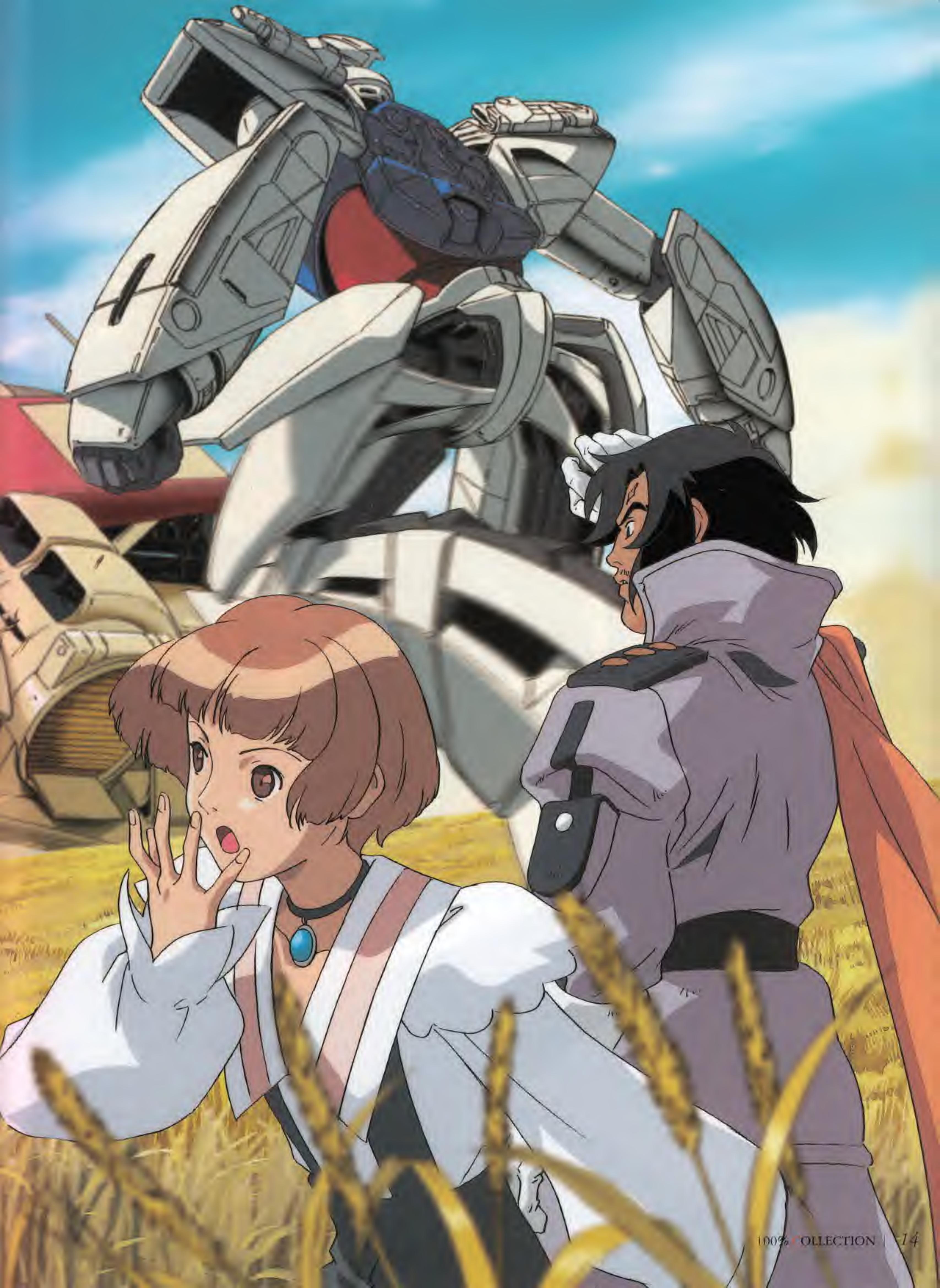
一度火がついたものを治めるのは、何事であっても容易なことではない。「戦いを終結させたい」という願いも、

拡大する 戦火

さまざまな思惑に飲み込まれていく。



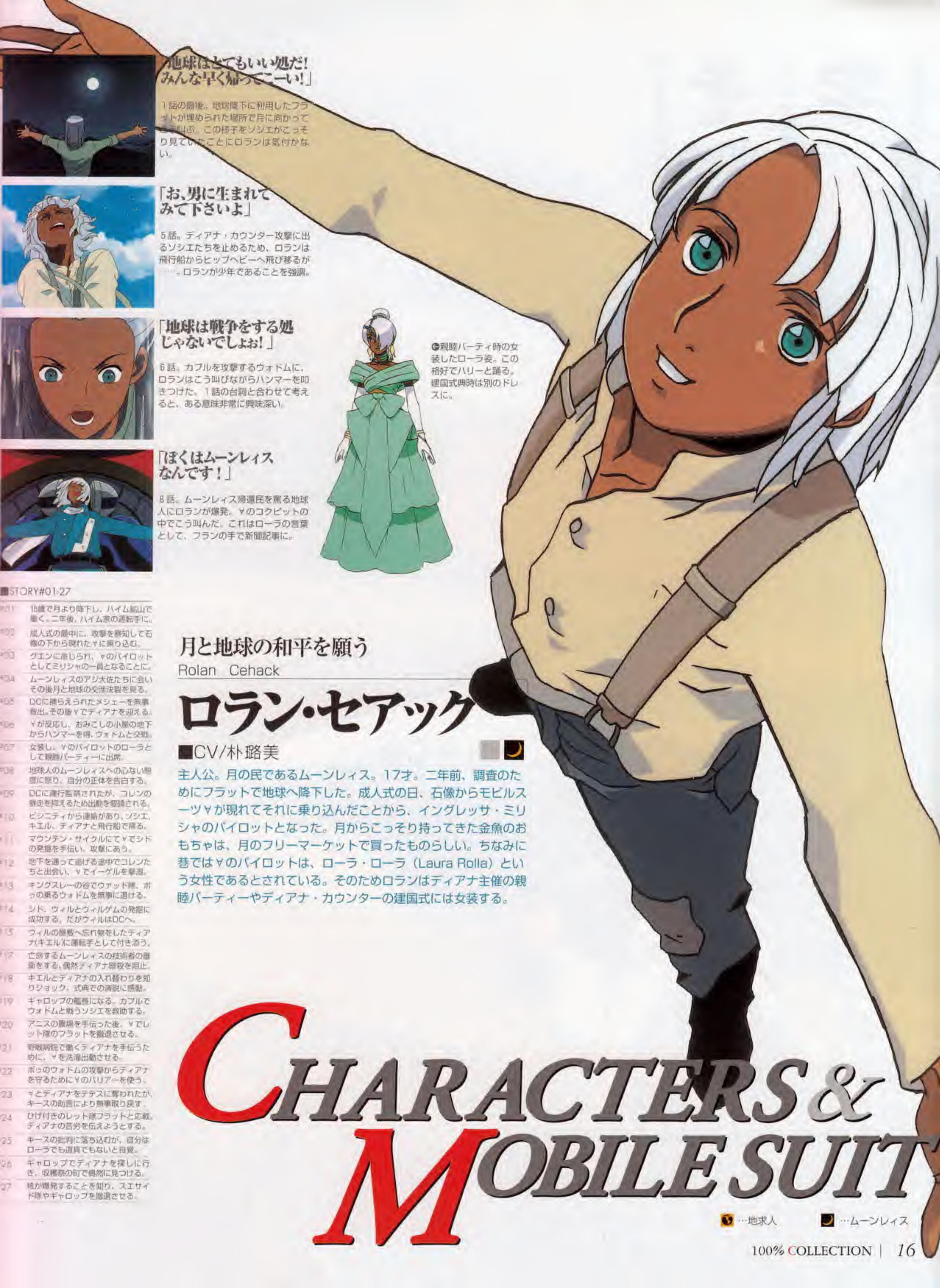




字 宙 へ ・ ・

て動き出した宇宙船は、まさしく夢物語がかなつた
おとぎ話も時には現実化する。発掘され





「地球はとてもいい処だ!
みんな早く帰つてこい!」

1話の最後。地球降下に利用したフラットが埋められた場所で月に向かって叫ぶ。この様子をソシエがこっそり見ていたことにロランは気付かない。

「お、男に生まれて
みて下さいよ」

5話。ディアナ・カウンター攻撃に出るソシエたちを止めるため、ロランは飛行船からヒップヘビーへ飛び移るが……。ロランが少年であることを強調。

「地球は戦争をする処
じゃないでしょ!」

6話。カブルを攻撃するウォトムに、ロランはこう叫びながらハンマーを叩きつけた。1話の台詞と合わせて考えると、ある意味非常に興味深い。

「ぼくはムーンレイス
なんです!」

8話。ムーンレイス帰還民を罵る地球人にロランが爆発。ヤのコクピットの中でこう叫んだ。これはローラの言葉として、フランの手で新聞記事に。



●親睦パーティ時の女
装したローラ姿。この
格好でハリーと踊る。
建国式典時は別のドレ
スに。

■STORY#01-27

- P01 15歳で月より降下し、ハイム鉱山で働く。二年後、ハイム家の運転手に。
P02 成人式の儀中に、攻撃を察知して石像の下から現れたヤに乗り込む。
P03 グエンに命じられ、ヤのパイロットとしてミリシャの一員となることに。
P04 ムーンレイスのアジダチたちに会い、その後月と地球の交渉決裂を見る。
P05 DCに捕らえられたメシェーを無事救出。その後ヤでディアナを迎える。
P06 ヤが反応し、おみこしの小屋の地下からハンマーを得、ウォトムと交戦。
P07 女装し、ヤのパイロットのローラとして親睦パーティーに出席。
P08 地球人のムーンレイスへの心ない態度に憤り、自分の正体を告白する。
P09 DCに連行監禁されたが、コレンの暴走を抑えるため出勤を要請される。
P10 ビニシティから連絡があり、ソシエ、キエル、ディアナと飛行船で帰る。
P11 マウンテン・サイクルにてヤでシドの発掘を手伝い、攻撃にあう。
P12 地下を通過する途中でコレンたちと出会い、ヤでイーゲルを撃退。
P13 キングスレーの谷でウッド隊、ボウの東るウォトムを無事に退ける。
P14 シド、ウィルとヴィルゲムの発掘に成功する。だがウィルはDCへ。
P15 ウィルの隕石へ忘れ物をしたティアガ(キエル)に運転手として付き添う。
P16 亡命するムーンレイスの技術者の護衛をする。偶然ティアガ暗殺を阻止。
P17 キエルとティアナの入れ替わりを知りショック。式典での演説に感動。
P18 ギャロップの艦長になる。カブルでウォトムと戦うソシエを救助する。
P19 アニスの廣場を手伝った後、ヤでレット隊のフラットを撤退させる。
P20 野戦病院で働くティアナを手伝うために、ヤで洗濯出勤させる。
P21 ボウのウォトムの攻撃からティアナを守るためにヤのバリアーを使う。
P22 ヤとティアナをテレスに奪われたが、キースの助言により無事取り戻す。
P23 ひげ付きのレット隊フラットと応戦。ティアナの言効を伝えようとする。
P24 キースの批判に落ち込むが、自分はローラでも道具でもないと自覚。
P25 ギャロップでティアナを探しに行き、収穫祭の町で偶然に見つける。
P26 核が爆発することを知り、スエサイド隊やギャロップを撤退させる。

月と地球の和平を願う

Rolan Cehack

ロラン・セック

■CV/朴璐美



主人公。月の民であるムーンレイス。17才。二年前、調査のためにフラットで地球へ降下した。成人式の日、石像からモビルスーツヤが現れてそれに乗り込んだことから、イングレッサ・ミリシャのパイロットとなった。月からこっそり持ってきた金魚のおもちゃは、月のフリーマーケットで買ったものらしい。ちなみに巷ではヤのパイロットは、ローラ・ローラ (Laura Rolla) という女性であるとされている。そのためロランはディアナ主催の親睦パーティーやディアナ・カウンターの建国式には女装する。

CHARACTERS & MOBILE SUIT

…地求人

…ムーンレイス

この手で父の敵を討ちたい

Sochie Heim

ソシエ・ハイム

■CV/村田秋乃

ハイム家の次女。15才。感情を素直に表へ出さずにはいられない幼さがある一方で、飛行機の操縦をマスターするだけの高い能力を持つ。ロランとともに成人式の主役を務めたが、その日のディアナ・カウンターの帰還作戦で父を失う。メシェーの薦めもあってミリシャに入隊し、父の敵を討つことを誓う。飛行機のパイロットを経て、モビルスーツ・カブルのパイロットに。ロランの代わりにヤを操縦することも。

●飛行服姿。プライベートは白ブラウスとのパイロットパンツ姿だ。

STORY #01-27

- #01 姉キエルと川でおぼれたロランを助ける。以後、反発しながらつきまとつ。
- #02 成人式の女王となりロランをパートナーにするか、儀式途中でヤの中へ。
- #03 成人式の翌朝自宅へ戻り、前夜の攻撃で父が死んだことを知りショック。
- #04 署ち込んでいたが、メシェーと会って仇を討つためミリシャ入隊を決意。
- #05 ヒップヘビーで出撃するが失敗。カブルに乗りディアナ奪取作戦に出撃。
- #06 マウンテン・サイクルにウォドムが接近したため、カブルで躍動に出る。
- #07 ジョゼフたちが壊れたカブルを修理しているため、アーケ山にいる。
- #08 心ならずもムーンレイスの一般人を助ける。ロランの正体にショック。
- #09 ロランの代わりにヤに乗ってコレントたちと戦うが、全く歯が立たない。
- #10 ロランを少し許す。自宅へ帰る際にディアナと同行することも我慢。
- #11 ミリシャのソレイユ奪取もしくは崩壊作戦に、カブルに乗って参加する。
- #12 ミリシャ駐屯中に、ミハエルからアメリア大陸ミリシャ連合の話を聞く。
- #14 カブルに乗りギャバンのボルジャーノンとともに出動し、スマートと戦う。
- #15 ヤに乗りボルジャーノン、カブルとともにウッド隕。キャノンと戦う。
- #18 リリのドレスを借りて式典に参加。ミリシャの作戦は知らなかった。
- #19 ギャロップを自分のカブルの基地に戦死者が出たことに呆然とする。
- #20 ギャバンやメシェーとレット隕のフラットと戦うが、全く歯が立たない。
- #21 ギャロップで、ロランが乗る姉が戦死を抜きになつてると感情を爆発。
- #22 ウォドムが攻撃をしかけてきたため姉をヴィルケムに逃がし、カブルに
- #23 ギャバンに飛行帽を被つてもらったことで彼の真意を知り、当惑気味。
- #24 ギャバンとともに出動するのを止めるロランをからかうが姉にぶたれる。
- #25 ギャバンからウェディングドレスをプレゼントされる。
- #26 姉もロランも勝手だと魔羅を爆発させる。ギャバンに花嫁と扱われる。
- #27 ギャバン救助のため出動しようとするが止められ、ギャロップの艦長に。

「あんたは月の味方かアー！」

5話。ディアナ・カウンターを攻撃しようとするソシエを止めるロランに向かって。この頃の彼女には、攻撃は唯一の生きる目的だったのかもしれない。

「でも女のカンは冴えている」

8話。ロランとキース、フランの間に何か秘密があるのではと疑つての台詞。さすがのソシエも、一応は自分を女であると認識しているらしい。

「お父様が守つて下さる！」

19話。前日に敵のモビルスーツを撃破したソシエは自信をつけ、ウォドムと戦うためカブルで出撃。コクピットには、父と幼い自分の写真が貼つてある。

「なぜ戦わせてくれないの！なぜ逃げるだけなの！」

27話。核を知らないソシエには、敵と戦うギャバンが置き去りのまま、自分たちの乗るギャロップが急いで撤退しなければならないのが理解できない。

「よしなに」

5話。ソレイユから降りた彼女を迎えたグエンに、ディアナは自己紹介してからこう言う。その後、ディアナの尊大さを表す台詞としてしばしば登場。



「まずは挨拶が先ではありますか？」

7話。親睦パーティの席上で突然「なぜ戦いが終わらないのか?」と尋ねるロランにこう応える。言葉は厳しいが、ロランの真意はディアナに伝わる。



「戦場にならなくても、砲弾が飛んできたら死ぬんですよ！」

20話。ここから逃げるようにアニスを説得した際の台詞。キエルとして過ごすうちに、現実の戦争がどういうものか体験したからこそ出た台詞だろう。



「こんな私にもそんなことがあるんでしょうか？」

21話。矢で洗濯した時に出たシャボン玉にうつとりしつつも自分を責めていたディアナを、ロランが「神様のご褒美ですよ」と慰めたのに応えた台詞。



■STORY#01-27

- #01 川でおぼれたロランを助けようとするキエルの姿にディアナが重なる。
- #03 ロランを訪れたキースが持っていたロケットの中に、ディアナの写真がある。
- #05 ディアナ・カウンターの旗艦ソレイユに乗り、地球に降り立つ。
- #06 ミリシャに襲撃されつつも無事ボストニア城に入る。地球との交渉再開。
- #07 地球とムーンレイスの理解を深めるため、パーティの開催を提案する。
- #08 ディアナ・カウンターに、暗殺事件が解明するまでは戦うなど命ずる。
- #09 コレンが恩敵になったことで、ムーンレイスが一つでないことを感じる。
- #10 キエルと二人で会い、入れ替わり、そのままハイム氏の墓参りをする。
- #11 ピシティのハイム家におり、地球の自然の素晴らしさを感じている。
- #12 キエルのままでディアナとして振舞い、コレンを制止しようとする。
- #13 100年前の恋人の子孫と出会い、恋人が約束を守っていたことを知る。
- #14 ウィル・ゲイムがDCへ行くのを止めようとするが聞き入れられない。
- #15 キャノンでミリシャと戦うウィルを止めることも助けることもできない。
- #17 ムーンレイスの建国式典を知り、交渉再開を願うグエンとソレイユ。
- #18 ディアナ暗殺未遂を知り、入れ替わりをロランに告白して協力を要請。
- #19 地球人になりきり戦争回避の手段を見つけることを決意。
- #20 戦場が近付いているのに逃げようしないアニスを必死に説得する。
- #21 リリの意地悪で野戦病院で働くことになるが、新しい経験を心から喜ぶ。
- #22 月の技術者に変装したハリーにソレイユへ帰るよう説得されるが拒否。
- #23 テレスの死で、自分がすべての罪の源であるという思いにとらわれる。
- #24 レット隊を知り、戦争の暴走を止めるため月へ帰ることを考える。
- #25 歩いてソレイユへ行こうとしたところ、コレンに会って彼の車へ乗る。
- #26 コレンのガンダムにこだわる心を知り、思いを遂げるようロランに頼む。
- #27 ハリーとともにソレイユへもどる。核の爆発を見て、和平を誓う。



①ディアナの瞳にはキエルと違い、白いハイライト部分がない。唇が青いのは、月特有の化粧法のようだ。



②月の統治者としての正装。いわば仕事着にあたる。パーティ用ドレスは別に用意されている。

孤高を貫く月の女王

Dianna Sorel

ディアナ・ソレル

■CV/高橋理恵子

月の女王。19才。ムーンレイスを治める一族ソレル家の末裔。ディアナ・カウンターを組織し、地球への帰還作戦を指揮する。キエルと入れ替わって一地球人として過ごすうちに、この作戦が早急すぎたために地球との間に戦いが起ってしまったこと、さらにはディアナ・カウンターや月でも不穏な動きが出てきたことを知る。ちなみにソレル家はかつて、月で人々が生活できるように生態系を築くための実験を行っていた。



■STORY#01-27

- #01 成人式の前に妹ソシエと川で身体を清めていた際、偶然ロランを助ける。
- #02 ポストニア城での舞踏会の途中で、グエンに無線機を見せられる。
- #03 母の元を離れてグエンのそばにつき、ムーンリスとの交渉を見聞きする。
- #04 父の死を知るが、速記者として会議に参列し月と地球の交渉決裂を目撃。
- #05 母とビニティの自宅へ帰る。ソシエを連れ戻そうとするが失敗。
- #06 グエンの秘書役として初めてディアナに会い、ポストニア城に迎える。
- #07 グエンの命でロランにドレスの着方、化粧、ダンスなどの貴婦人修行を。
- #08 ポストニア城でソシエやグエンと話しつつ、戦争に對しいいろいろ考える。
- #09 ソシエがホワイトドールに乗ることを許可したグエンに不信感を抱く。
- #10 ディアナと入れ替わる。自分の父の要參りをした時の彼女の行動に感動。
- #11 ディアナとしてソレイユにもどる。ミリシャの攻撃を受けたため離陸。
- #13 ソレイユで移動中、「キエル」を見つけ出すようミランに強く頼む。
- #14 ミランに建国宣言するようすすめられる。戦いだけは回避しようとする。
- #15 対面した際ウィルに気付かなかったことでハリーの注意を引いてしまう。
- #17 ダストブローは地球人の呪いだといふムーンリスを鎮めようとする。
- #18 テレスの攻撃を避け、建国式典では建国宣言せず交渉再開を呼びかける。
- #19 ムーンリスの女王制度を良しとしない勢力についてハリーに問う。
- #21 軍部のウィルゲム破壊計画を知って、ハリーにディアナ救出を依頼する。
- #22 ミランがウィルゲム攻撃を許可したので、ディアナ救出をハリーに命令。
- #23 フィルラに裏切り者扱いされるハリーを調査に行ってもらったと庇う。
- #24 ハリーに対してかなり心を許していることがわかる。
- #25 ウィルゲムが離陸しそうなので、やむを得ず攻撃許可を与えてしまう。
- #26 ゼノア隊がモビルスーツがあるかもしれない遺跡を発見したことを知る。
- #27 ディアナから平和のために、もう少し女王を勤めてくれと頼まれる。

大きく成長した少女の思い

Kihel Heim

キエル・ハイム

■CV/高橋理恵子

ハイム家の長女。17才。月の女王ディアナと瓜二つ。大学で勉強するより実社会で働く時代と考え、グエンの補佐として働き始める。グエンの考えを全面的に肯定しかねると思い始めた頃、ディアナと入れ替わる。ムーンリスやその技術に直接触れるうち、月と地球の和解のため自分は何をすべきなのかを考えるようになる。聰明な田舎町のお嬢様が、自分で考えて行動するようになった。マロングラッセを作るのが得意。



●瞳に白いハイライト部分がある方がキエル。縦ロールはクセ毛ではなくセットしているよう。



●この時代のお嬢様らしく帽子がセットに。フリル好きというわけではなくシンプルなドレスも持っている。



「お行儀悪いでしょ!」

2話。ミリシャのパレードを見学しながらソシエのキャンディを取り上げて言う台詞。CVの高橋理恵子が「姉妹らしさが出ている」とベストシーンに。

「グエン様の言いなりになりすぎているのじゃあ…?」

9話。ソシエを戦いに駆り立てようとするグエンの態度に、キエルの心に初めてグエンに対する不信感が生まれた。自分で考えて行動する第一歩だ。

「わたしたちは、この目も鼻も唇も同じです」

18話。キエルが自分で考えた言葉での演説となった建国宣言。ディアナに「私以上に私の心を語るキエルにムーンリスを任せてもいい」と思わせた。

「長寿であることがめでたいものではないと思いました」

27話。ソレイユへ帰ってきたディアナへの言葉。ディアナのふりをしている間、キエルが必死にディアナを理解しようとしていたことがうかがわれる。

リリ・ボルジャーノ

■CV/小林 愛

「子供の頃の
お返しですわ」



17話。建国記念式典の招待状を受け取ろうとするグエンに。キエルへの嫉妬の表れか。

Gavane Goonny

ギャバン・グーニー

■CV/大塚芳忠

「遅いぞ! イングレッサの
嬢ちゃんたち!」



20話。対レット隊戦の援護にきたカブルへ。この頃はまだソシエを嬢ちゃん扱いする。

Miashel Kune

メシェー・クン

■CV/鬼頭典子



「あたしはあんたが
一番わかんないわ」



26話。「わからな
い」と言い合う
ソシエとロラン。
最後にロランに
こう言い放つ。
しい笑みだ。

Joseph Yaht

ジョゼフ・ヨット

■CV/佐藤せつじ



「…!? そりゃ、あるさ。
男の妄想って奴でね」



25話。フランに
「私との結婚を
考えたことがあるか」と聞かれての答え。なかなかまばたき台詞だ。

Sid Munzer

シド・ムンザ

■CV/野島昭生



「理屈だけで世の中が
動くわけじゃないし」



グエン・サード・ラインフォード

■CV/青羽 剛

「私は、このまま消えていく男で
はありませんよ」



①12話。イングレッサ脱出後、迎えに来てくれたリリに言う台詞。これにグエンのすべてが凝縮されている。

ラインフォード家の御曹司。19才。イングレッサ領主メッサー・ラインフォードの孫。産業革命を起こそうとする革命児であり、ムーンレイスに対する自衛策としてミリシャを設立した。ノックス崩壊後はリリを頼る。ロランをローラと呼ぶ。



①領主の跡継ぎであり、新しい技術を理解し、ミリシャを設立した者として、ムーンレイスとの交渉の中心に。だがその考えは、技術革新に偏りすぎたようだ。

Keith Lajje

キース・レジエ

■CV/福山 潤



Fran Doll

フラン・ドール

■CV/渡辺久美子



「…?? 新聞が
出でていない?」



ロラン、キースとともに地球へ
降下してきたムーンレイスの少
女。17才。印刷工からノックス
・クロニクル記者となる。戦争
の中、自分は新聞記者としてど
うすべきかをいつも考える。

「軍事技術って、大人の男
のおもちゃなんですから」



29話。グエンの
認識が甘いティ
アナへ。商売の
せいかキースの
思考回路はかなり
大人びている。

ロランとともに地球へ降下して
きたムーンレイス。17才。地球人、
ムーンレイスの区別なくパン
を売り、パン工場を手にした。
その近隣は中立地帯として戦域
から除外される扱いを受ける。

ムロン・ムロン

■CV/立木文彦



「ディアナ・カウンターに戻る以上は手柄をたてる！」



20話。スエサイド隊及びカブルと交戦する際の台詞。レット隊の置かれた立場がよくわかる。

レット隊の副官格。厳つい外見に似合わずオネエ言葉を操る。隊長であるキャンサーのことも、ディアナ同様、大事に思っている。かつて地球へディアナと来たアンキーラ・ムロンの子孫。

Harry Ord

ハリー・オード

■CV/稻田 徹



「地球の雨とは暖かいものだな！」



4話。ムーンレイス第二次帰還船団としてスモーで降下しながら。地球の自然に心の底から感動している。

ディアナ・カウンターの中尉。18才。ディアナ親衛隊の隊長であり、スモーのバイロット。ディアナの護衛に命を懸けている。実は月の低層階級の出身。父は簡易冷睡で死亡し、母は冷睡中。27話でキエルを守った功績を認められ大尉に。

22話ではディアナを連れ戻すため、変装してムーンレイスの亡命技術者のふりをした。これが好みの私服か。

**キャンサー・カフカ**

■CV/高乃 艶



「証明してやる、あたしたちがムーンレイスだってことをね！」



24話。ディアナ・カウンターが独自の文化を持つフレット隊を信用していないと知り、こう言う。

地球に降下したムーンレイスの末裔を集めめたレット隊の隊長。ムーンレイスであることを誇りに思い、ディアナへの忠誠心が強い。その昔ディアナと地球へ降りたコウジン・カフカの子孫。

テテス・ハレ

■CV/冬馬由美



「こんなことで作戦がダメになっちゃまわないよね」



23話。ヤがキースのパン工場に現れたことで不安がり、母の分身の人形ワニーヤに話し掛ける。

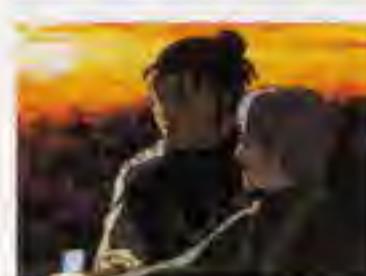
まずウィルの居候となり、後にティートという名でキースのパン工場で働く。23才。母が地球人のムーンレイス。迫害を受けたため名誉市民となるべく暗殺等を請け負い、23話で死亡。

ミラン・レックス

■CV/曾我部和恭



「人はパンのみにて生きるにあらず」



22話。「されど所詮はパンがなくては生きていけぬ…」と続く。行政官としての苦悩が表れる。

ムーンレイス。ディアナ・ソールの第一の側近であり執政官。最初はディアナ同様、地球との交渉に積極的だったが、ムーンレイス帰還民の亡命が増えるに従い、フィルら軍部に近付く。

Poe Aljee

ポウ・エイジ

■CV/中西裕美子

「椅子に坐っているだけで地球に帰れるのか？」



4話。ミリシャと応戦中、アジに撤退命令を出されての台詞。司令部と前線のかい離か。

Corin Nander

コレン・ナンダー

■CV/川津泰彦

「お前は白い悪魔だってなア」

**フィル・アッカマン**

■CV/小山剛志



「いかにも蛮族がやりそうなことを！」



6話。アーク山でヤがハンマーを持ち出したのを見て、彼にとって地球人はすべて蛮族なのだ

ディアナ・カウンターの大尉。25才。地球制圧の強硬派。あくまでも軍人の立場から物事をとらえる。ポウへの優しい態度も本心から出たものかは不明。サンベルト移動時に少佐へ昇進。

ディアナ・カウンターの少尉。20才。多くはウォドム、時折はウアットを操るバイロット。「戦争拡大の原因」「泣き虫」「フィルの言いなり」との印象が強いが、最初の頃はフィルの無茶な命令に従うふりをしながら実は逆らっているなどの態度も見せていた。サンベルト移動時に中尉へ昇進する。

ディアナ・カウンター軍曹。軍刑務所を地球帰還作戦の恩赦で出て地球へ来た。ヤをガンダムと呼ぶ。12話で自分のモビルスーツ・イーグルを失った後は行方不明だったが、23話で記憶を欠落させた放浪僧の風体で再登場。普段は平穏で木彫の像を作っているが、ヤを見るなり戦おうとする。

マリガン中佐

■CV/石丸博也

「そんなに不服なのかね？」

14話。ミハエルにルジャーナ・ミリシャの指揮下に入れと迫る台詞。かなり高圧的だ。



ルジャーナ領のミリシャの指揮官。インクレッサ・ミリシャへ指揮下に入れと迫ったり、精鋭部隊の隊長キャバンと民間人の娘ソシエの結婚に反対したりと、ルジャーナの人間としての気位が高い。リリを「お姫様」と呼ぶ。髪の毛は実はカツラらしい。

Verlaine Bond

ベルレース

■CV/高森奈緒

「今は、このお金、助かるわ。ありがとう」

7話。敵であるムーンレイスの注文にためらうキースに。商人の娘らしく現実を見て。



キースが働くパン屋ドンキーの親方の一人娘。キースの許嫁らしい。父の入院後も仕事し、工場を得たキースに感謝する。ムーンレイスとも地球人とも商売するのは彼女の影響? 父の名はジョルジュ・ボンド(George's Bond)、アニスは母方の祖母。

ラダラム・ケン

■CV/沢木郁也

「よおーし、見てろよ！ 新型機の性能を！」

1話。ヒップヘビーに乗ってメシェーと会話を交わす。パイロット時代のラダラム。



ビニティの飛行機設計技師兼パイロット。自ら仕込んだ娘のメシェーかカブルのパイロットであるのを自慢に思う。宇宙船発掘現場で働いた後に、ロランが艦長を務めるギャロップで整備などに携わる。技術者同士のせいいか、ホレスとも仲がいい。

John

ジョン

■CV/土屋利秀

「ただの爆弾じゃねえよな」

27話。隊長キャバンが核爆発に巻きこまれたのか、心配して。



エイムズと同じ、ルジャーナ・ミリシャのスエサイド部隊隊員。キャバンの部下でボルジャーノンのパイロット。エイムズと共に行動することが多い。27話でもロランに言われるまで、エイムズとロスト・マウンテンのキャバンを助けにいこうとした。

ヤーニ・オビュス

■CV/桐本琢也

「カカシごときにやられるか！」

3話。撤退直前にウォドムへ吐く台詞。威勢はいいが、戦力差はどうしようもない。



ミリシャの軍曹。28才。血氣盛ん。砲車隊の実践指揮官だったが、11話のソレイユ攻撃時にはモビルリブを操る。建国式典の際は酒場の従業員になりすましディアナ・カウンターの兵士を酔っぱらわせる。ミハエル同様、キャバンとソシエの結婚に反対。

Aims

エイムズ

■CV/松本 大

「それでハイムのお嬢さんをお嫁さんにしたいんですね」

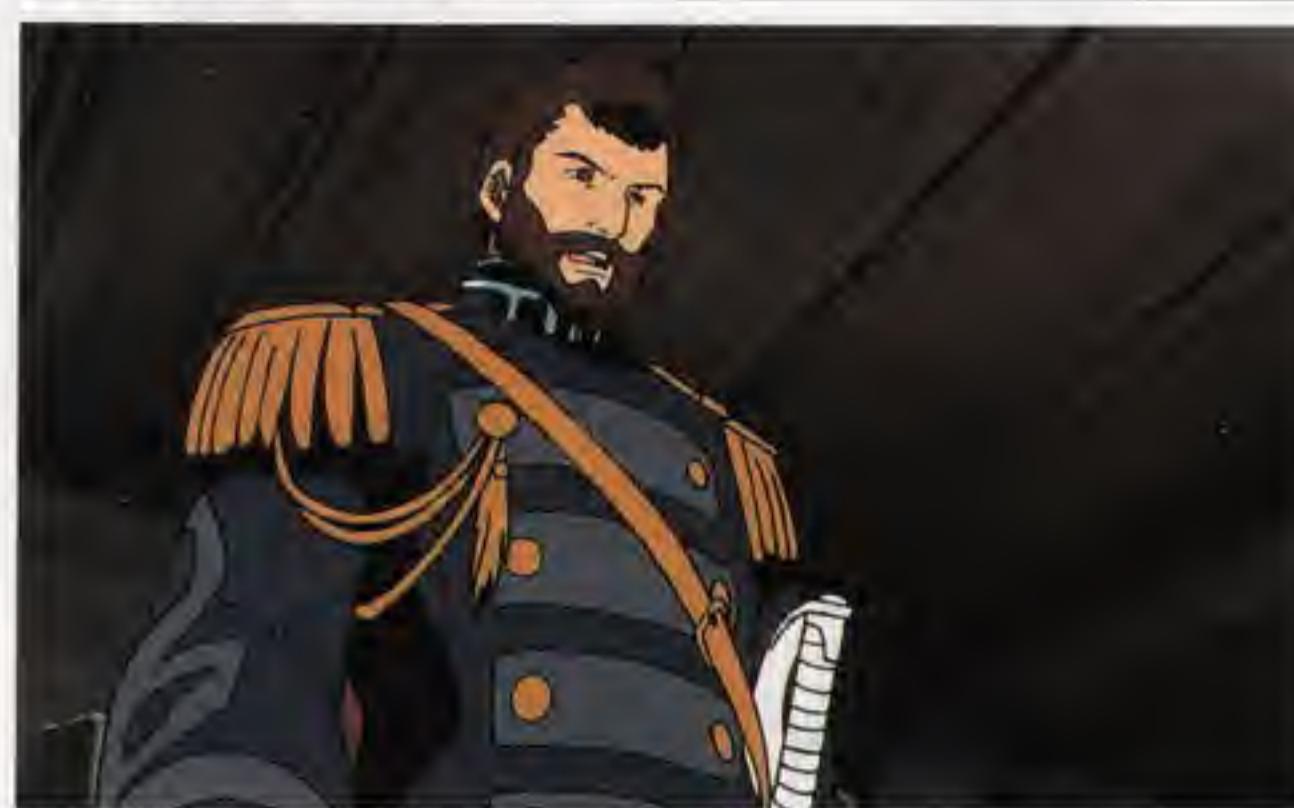
24話。キャバンがソシエと結婚するのは、アメリアのミリシャ結集のためかと思って。



ルジャーナ・ミリシャの機械人形部隊スエサイド部隊の隊員。キャバンの部下でボルジャーノンのパイロット。ソシエにプロポーズしたキャバンを何だかんだとからかいながらも、実はその幸せを心の底から望む。骨張った厳つい顔をした大男。

ミハエル・ゲルン

■CV/金尾哲夫

「利用、ですか？」

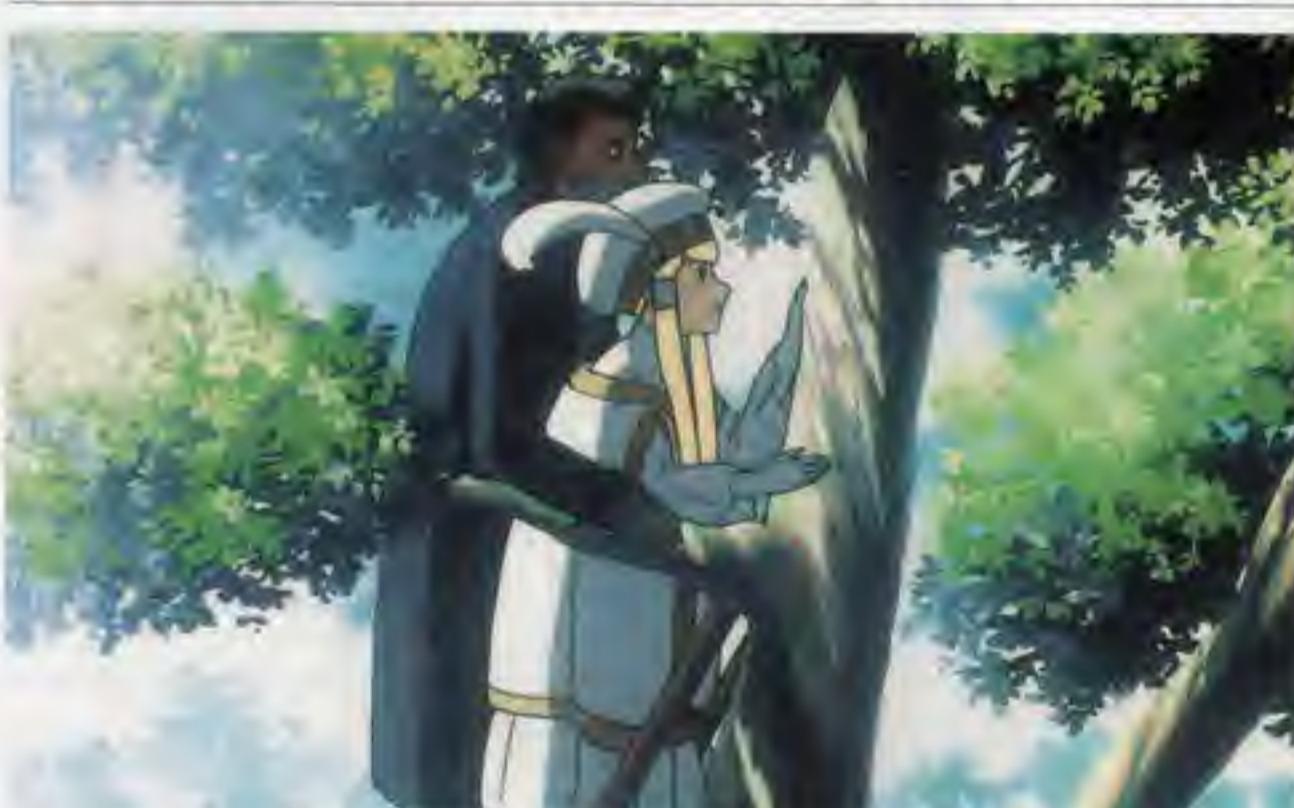
11話。グエンとの会話の際の台詞。グエンがミリシャを交渉のカードとしか思っていないことを知り愕然。



Will Game

ウィル・ゲイム

■CV/坂口賢一

初代「ディアナ様がお力をさすけて下さるからです」

14話。初代ウィルとディアナの、想い想われる者同士らしい仲睦まじい回想シーンからの台詞。



初代ウィルの子孫。26才。先祖の恋の確認のためキングスレーの谷の宇宙船を掘り出し月へ行こうとする。テレスにそそのかされてキャノン・イルフートでディアナ・カウンターへ合流。15話で戦闘により死亡。初代ウィルは、100年前地球に来たディアナが恋した青年。東方の国の宝物である極楽鳥の羽を探しに行き、帰国途中に飛行船で遭難。

ハイム夫妻

■CV/長 克己 CV/北條文栄

夫「新時代の産業を興そうとなさる俊英でいらっしゃる」



キエルとソシエの父母。イングレッサ郊外にあるビニティでハイム鉱山を経営している。余所者のロランを鉱山で雇う。イングレッサ領主のライノード家と親しく、その工場で使う鉄やアルミニウムの精錬を頼まれて納品しているらしい。だがムーンレイスの攻撃でハイム氏は死亡し、ハイム夫人は現実を認識することができなくなる。

Bruno/Jacop

ブルーノ/ヤコップ

■CV/田中一成 CV/宇垣秀成

B「オレたちも手伝わなくていいのか？」
J「いいんだよ。ちょっと優勢になってから行きやあ！」



コレンの部下。コッゾーに乗る。テレスとも旧知の間柄。ブルーノはやる気はあるが頭は良くないらしい。ヤコップはやる気はないが頭はいいらしい。冷たい態度のディアナ・カウンターからコッゾーで逃げ出し、アニス宅でロランと知り合う。ヤを盗み出すつもりでギャロップに潜り込んだが、なぜかブリッジ要員に頼りになるクルーだ。

アン少尉

■CV/椿真由美

「今回送られて来た火薬の総量より危険な奴だ」



9話。コレンが地球にやって来たことを知り、コレンのことをこのように的確に表現。



ティアナ・カウンター補給部隊士官。コレン・ナンダー独立部隊が地球へ送られてきたことをいち早く察するなど、補給という地味な職務を眞面目にこなしている。だが独特の風習を持つレット隊を、地球に住み続けておかしくなった恥さらしと薦る。

Midgardo

ミーム・ミドガルド

■CV/水野龍司

「成果は起きてからのお楽しみか」



23話。ヤが動き出した音を聞いてのモノローグ。ここで寝るつもりが結局起き上がる。



キースのパン工場の工場長。実はアグリッバの命令で地球に紛れ込んだムーンレイス。ティートと名乗るテレスにディアナ暗殺の指示を出した。作戦の失敗を知ると、露見を恐れすぐにテレスを射殺する。ゲンガナム第二大隊の予備役で、階級は大尉。

アジ大佐

■CV/仲野 裕

「黒歴史のことは、聞いたことがないのかね？」



4話。ムーンレイスの元へ来たロランに対して。月と地球の黒歴史への関心の差が。



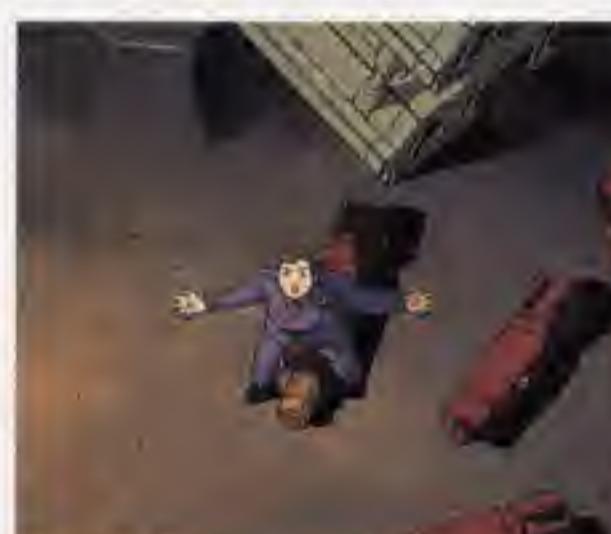
ムーンレイスの第一次帰還作戦を指揮したティアナ・カウンターの司令官。4話で、地球の領主達との交渉時に、グエンの隸属にあたる長老イルの放った弓矢で殺される。もし生きていれば、フィルたち軍部が暴走するのを阻止できたかもしれない。

Zenoo

ゼノア大尉

■CV/室園丈裕

「逃げよう！みんなで！一刻も早く！」



27話。核弾頭を発見したスエサイト部隊に、だが核の恐ろしさは、地球上に伝わらない。



マウンテン・サイクルの調査隊を指揮するムーンレイスの士官。地球の山師たちも近付かないロスト・マウンテンを調査し、モビルスーツと共に核弾頭を搭載したミサイルを発掘してしまい、レット隊やミリシャも避難させようとする。名前はラルファ。

ホレス

■CV/掛川裕彦

「空気に触れると死滅するタイプですね？」



19話。ギャロップを覆っていたナノスキンに触れて言った台詞。技術者らしい。



ムーンレイスから地球側へ亡命した技術者。ナノ工学に詳しく、黒歴史の遺跡に興味を持つ。ややウィルゲム、ギャロップの整備を行う。戦術を立てることもあるようだ。本人はムーンレイスを裏切ったつもりがないらしい。名字はニーベンという。

Anise Bell

アニス・ベル

■CV/藤 夏子

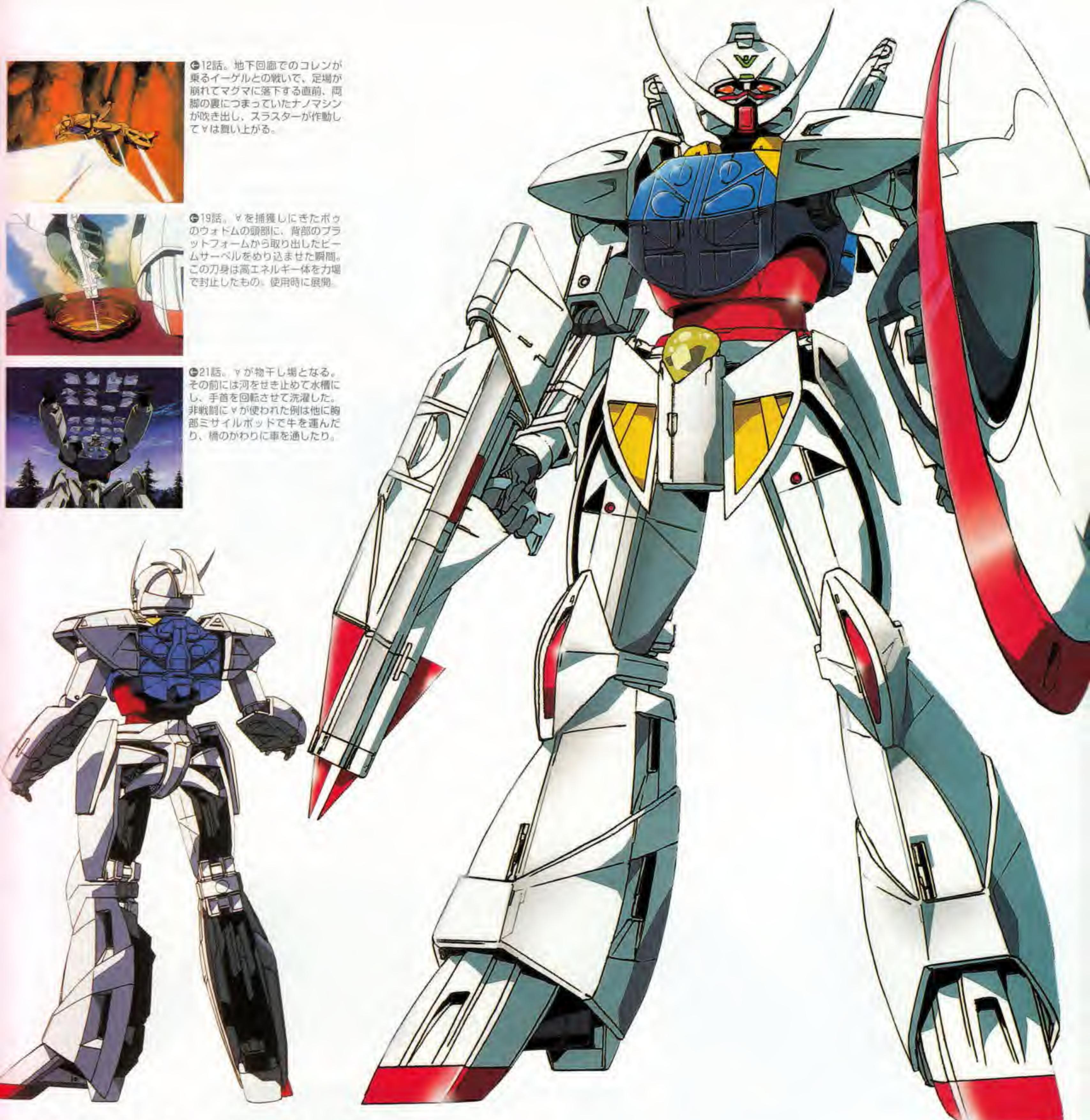
「おまんまと、誰から戴いてると思ってんだ！」



20話。「この土っころがみんな作ってくれてんだぞ！」と続く。土に生きる者の言い分だ。



丘の上の一軒家で畠を耕す老婆。先祖は山師から土地をよくする黒い粉を買って、作物ができる畠を育てたらしい。ドンキーというロバを飼う。ディアナにソレルというハーブがあることを教えた。キースのパン屋のおかみさんの母でペレーヌの祖母。



目覚めた白い神。その実体は?

ターンエーガンダム System-V99

●AGUNDAM/サイズ 20m弱

アーヴ山の麓にあるホワイトドールという石像から現れた。ミリシャは「機械人形」「ホワイトドール」、ティアナ・カウンターは「白ヒゲ」「ヒゲ」と呼ぶ。番号はシステムターンAの99プロダクトという意。ミリシャはWD-M01、つまりホワイトドール-ミリシャ01と分類。主な装備はシールド、ビームサーベル、亜光速の高エネルギー体を射出するビームライフルなど。ナノマシンによる自己修復能力があり、損傷程度なら機体それ自体が修復できる。



頭部

●デザイン的にはその名通りの「ヒゲ」が特徴的な頭部は着脱可能。はめ込むのはほんのワンアクションでOKだ。そのせいか、10話では頭部が360度回転するシーンもあった。なお本体は頭部なしでも駆動可能である。



背面

①スモーはもともとヤを基に開発されたモビルスーツである。そのため背部、とくに下半身はヤとデザイン上的一致点が多い。

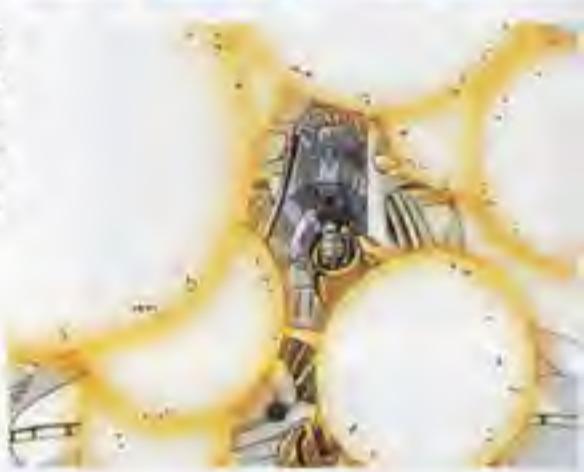
⑥話。空中機動用ユニットのスカートを装備すれば飛行可能。腰部左右に一対のブースターがある。ブースターは1基あたり主機1、補機6の計7発のジェット・ロケット・ハイブリットエンジン。



⑥話。ハリーはティアナが行方不明になったと勘違いし、ヤに対してヒートホークを構える。このヒートホークはスモー専用の装備の一つ。格闘戦を得意とするスモーらしい武器ともいえる。



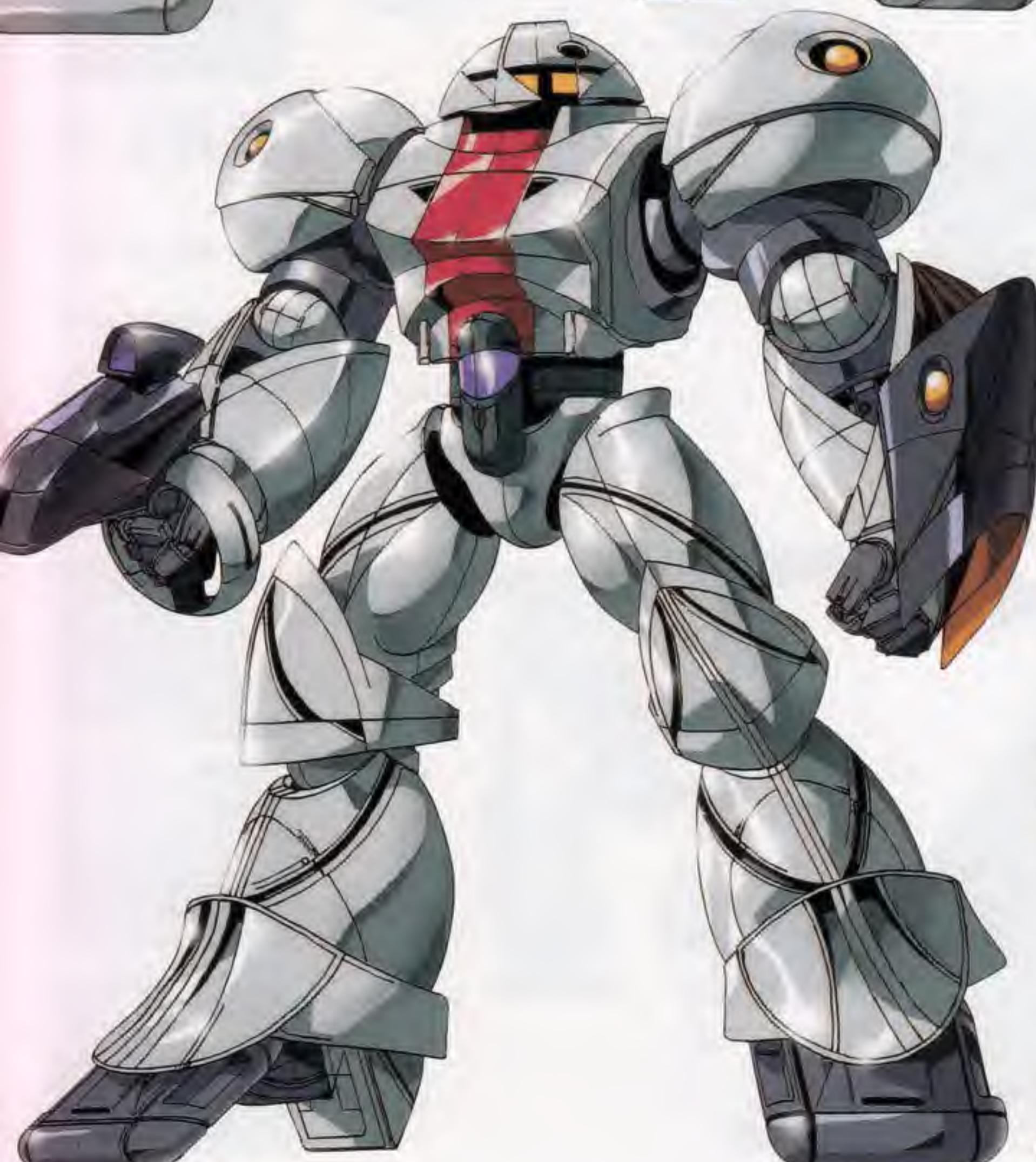
⑪話。ミリシャのソレイユ総攻撃の際は、ヒップヘビーを狙わず、落下する爆弾を1つずつフィムライフルで撃破した。人的被害を出さないための指図だが、ハリーの射撃能力の高さを証明。



⑯話。キエルに扮するティアナを守るため、ハリーの乗ったスモーはヴィルゲム防衛に出た。IFBDによるバリアを張ったものの、ウォドムの強化型ビームキャノンに突破され、腕を失う。



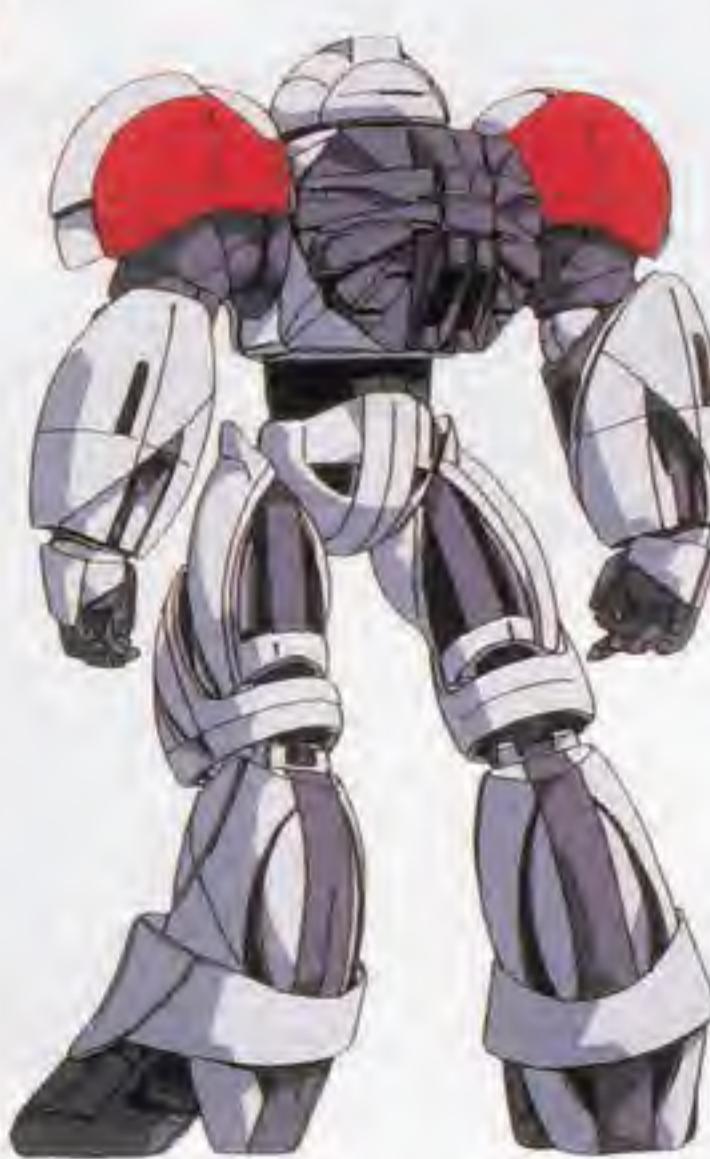
⑯話。ヤの危機を見て、コレンが操るゴドウインをショルダーで突き飛ばすハリー機。一瞬の判断にも機体は素直に反応する。親衛隊専用機であり、さすがは格闘戦が得意なスモーらしい。



月の女王を守る金と銀の機体

スモー MRC-F20

●SUMO/サイズ 20m



ティアナ・ソレルの親衛隊が使用するモビルスーツ。名前は「Strike Unit for Maneuver Operation(機動戦闘ユニット)」の頭文字。地球の伝統的格闘技プレイヤーの名称の意も含む。番号はムーンレイス・コメモレイション・ファイター20の意味。ハリー専用機は金、一般隊員の機体は銀だ。

シルバータイプ

②一般隊員用の機体。ハリー専用機とデザイン的な違いはない。赤いアクセントが美しい。

上段イラストはバンダイより発売の1/144スケールモデル。バックージイラストです。

いろいろな部隊で使用される

フラット FLAT-L06D

●FLAT/サイズ 20m

名前は平べったい形状に由来するらしい。ミリシャのフラットはハイヒールとも呼ばれ、ジャラピイ部隊隊長ジョゼフが乗る。これはカブル、ウッド、モビルリップの混成部隊。ジャラピイはガラクタ自動車の意。



①1話。ロランたちの地球降下時。アバラ型の母艦に、変型フラットが6機ぶら下がっている。



②11話。キースから買い取ったミリシャのフラットは赤。何と火薬入り木箱を投げて攻撃。



③20話。レット隊のフラット。高速運動して地中に潜ったり、遠距離からの実弾攻撃を防衛。

背面

④飛行型へと可変するためか、高速運動するという性能のためか、脚部に比べて異様に長い脚部の裏側は他のモビルスーツには見られないデザインとなっている。



降下時・レット隊機

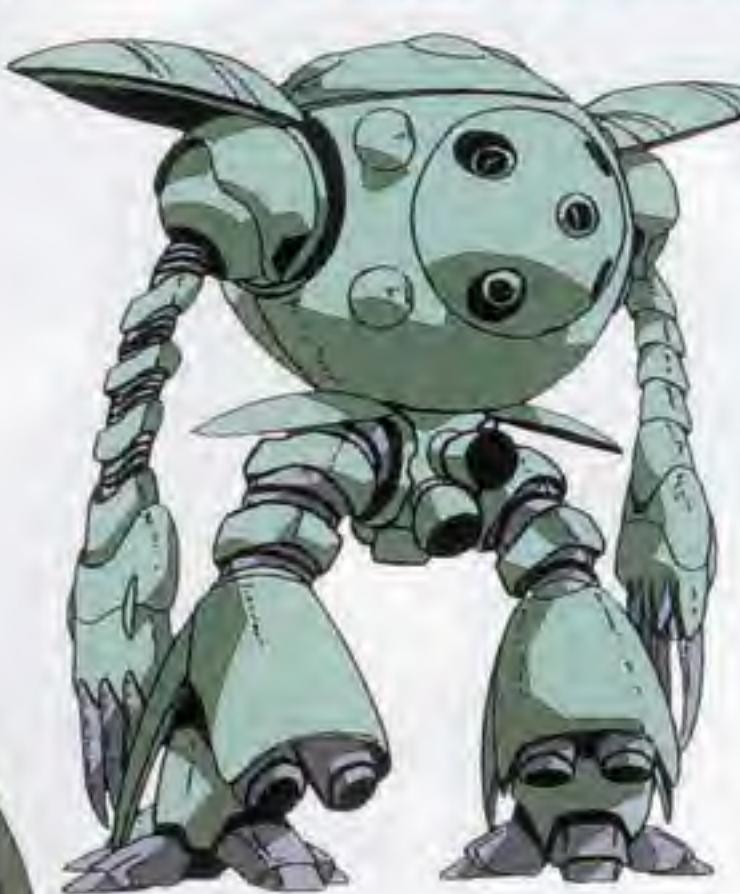
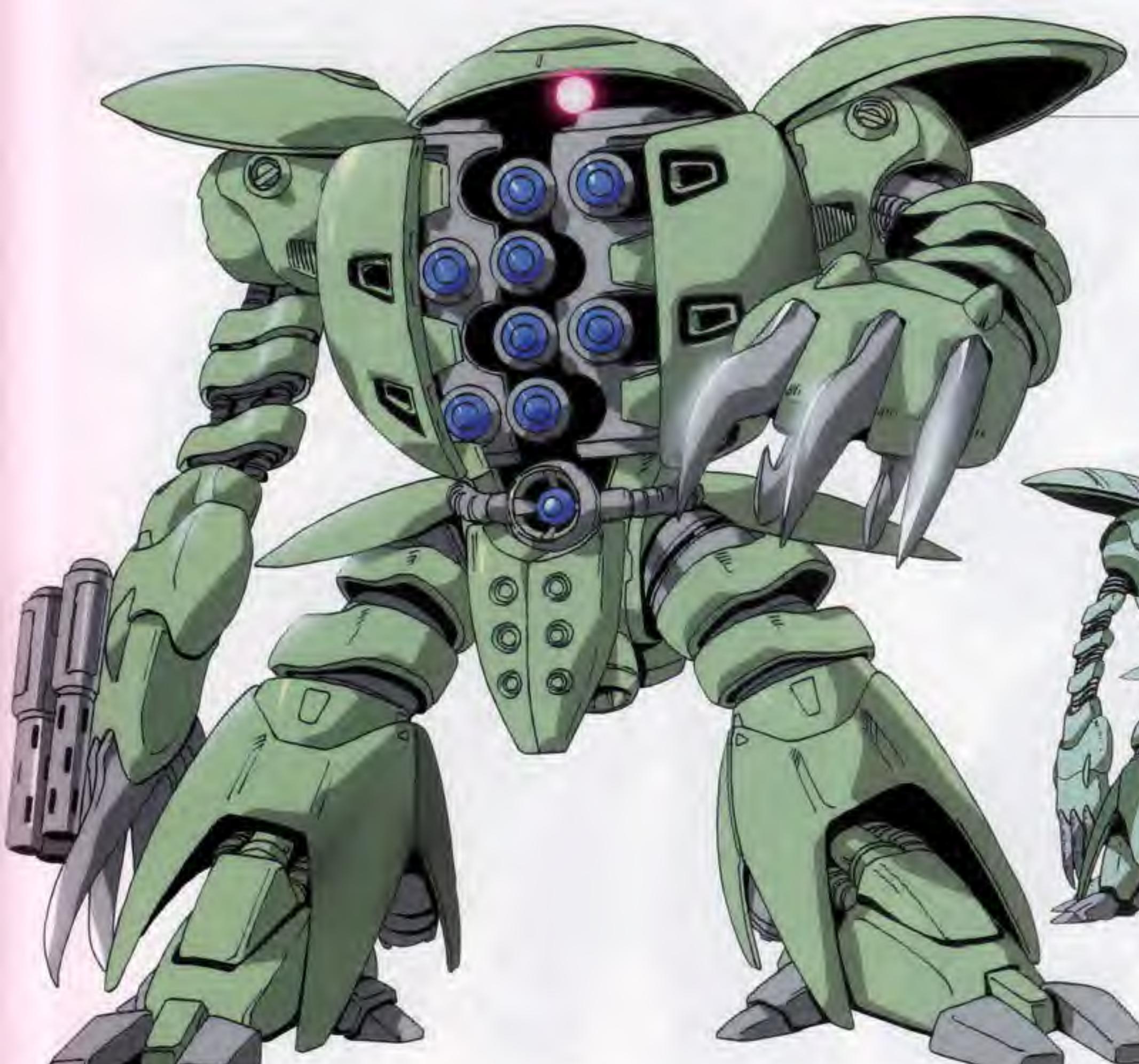
⑤ミリシャのフラットが赤く塗り替えられたのに対して、ムーンレイス用のフラットは黒が基調。レット隊はこれにブーメラン型のヒゲをつけてニセコとし、ミリシャの野戦病院を襲う。

ミリシャが初めて発掘した

モビルカプル AMX-109

●KAPOOL/サイズ 13m

イングレッサ・ミリシャが初めて発掘した黒歴史のモビルスーツ。主なパイロットはソシエ・ハイム、メシェー・ウン。飛行機乗りなら簡単に覚えられるほど、操縦は容易らしい。名前や番号はコンピュータのマニュアルに記載されていたものという。



背面

⑥あっさりとした、ごくシンプルなデザイン。



⑦5話。ミリシャに発掘された直後のカブル。飛行機乗りだつたソシエやメシェーが操縦する。



⑧19話。ウォドムを攻撃するソシエ。胸部の装甲が開き、穴部からミサイルが発射される。



⑨24話。ソシエを止めるブルーノとヤッカ。頭頂部のハッチがコクピットの出入り口なのだ。

小型だが素早い動きが特徴

ウアット MRC-U11D

●WAD/Sサイズ 7m

正確にはモビルスーツではなく「Walking Dumpling」というカテゴライズの機体。名前も頭文字に由来する。番号はムーンリース・コメモレイション（ムーンリース暦記念）の汎用機11という意味。

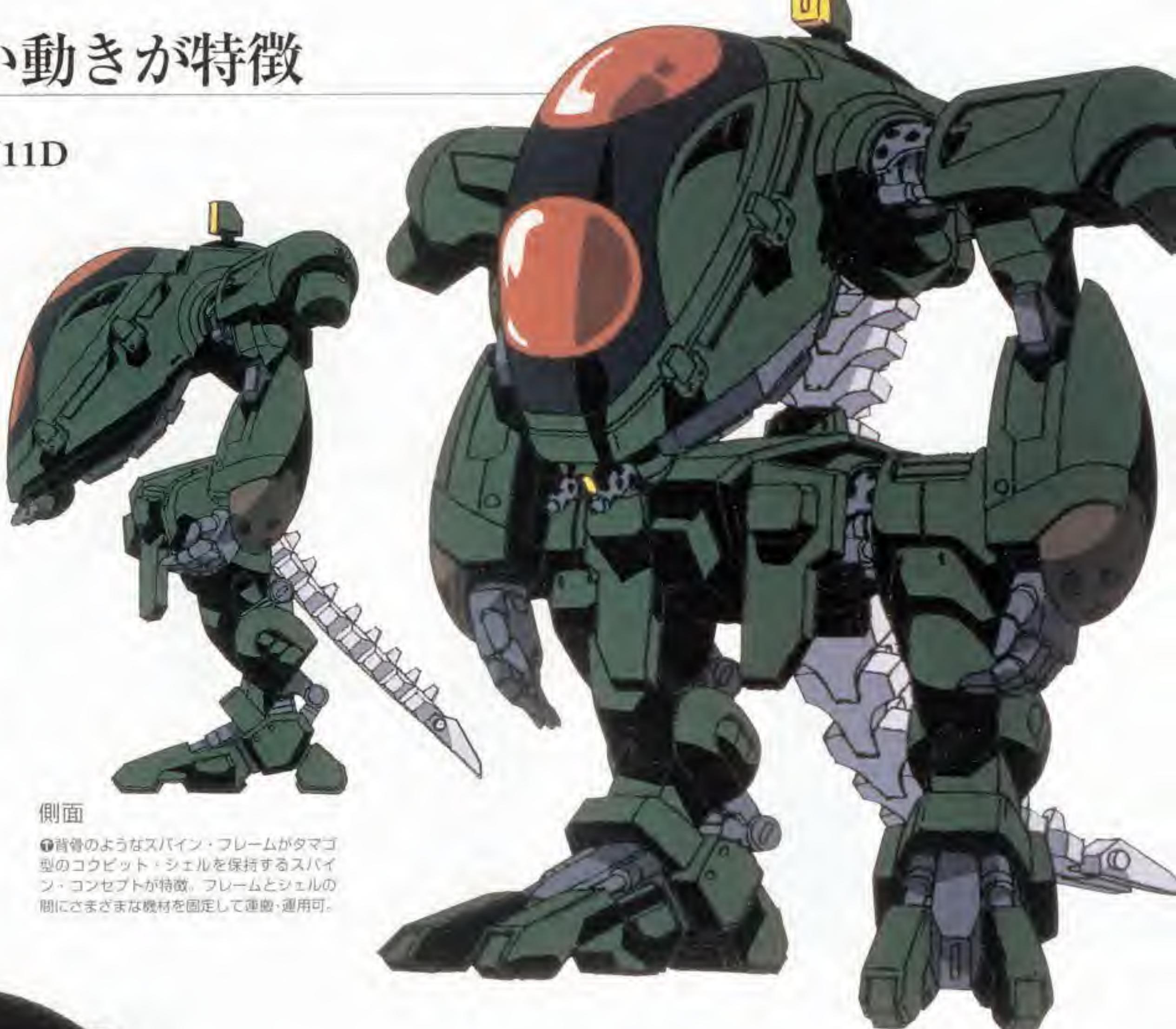
④話 フラズマを発する捕獲器ジョイント・バスターでヤを感電させ、捕獲しようとする。

⑨話 家用だけでなく民間でも使用される。ゼノア隊はマウンテン・サイクルの発掘に利用。

側面

①背骨のようなスパイン・フレームがタマゴ型のコウピット・シェルを保持するスパイン・コンセプトが特徴。フレームとシェルの間にさまざまな機材を固定して運用可。

②7話 ロスト・マウンテン付近でのヤとの戦い。スパイン・コンセプトはこのようにも変形。



対艦戦用大型モビルスーツ

ウォドム JMA 0530 (Model U)

●WADOM/Sサイズ 40m

名前はウォーキング・ドームの略称に由来する。頭部にはミサイル、ビーム等多様な武器を装備している。主なパイロットはボウ・エイジ。

③話 混乱したボウが、インプレッサで対艦用長距離ビームライフルを撃つた。



背面

④ミリシャには「カカシ」「クラゲ」「大型二本足」などと呼ばれている。表面はナノマシンで形成されたナノスキンで覆われているので、自己修復力があると思われる。



⑤19話 ビームなど多彩な武器を装備する頭部は、胴体から離れて単独飛行可能。



⑥22話 試作品として頭部ジェネレーターを増設し、粒子砲の威力を増した。



爆薬よりも危険な男が搭乗

イーゲル TAF-M9

●EAGAIL/サイズ 21m

コレン・ナンダーが搭乗する可変型モビルスーツ。掘削用重機のシールドマシンをチューンナップし打突、切断、穿孔に使えるようにしたミニドリルが主な装備。ただしこれはイーゲル標準ではなくコレン機のみ。

●9話。イーゲルは高速突撃走行モードに移行できる変形機構を搭載しているのが最大の特徴。



●11話。ノックスに向かう途中、ティアナ・カウントーが本気になれば、街一つ壊すのは簡単だ。



●11話。ノックス攻撃の際にはミニチ・ドリルではなくビームライフルを使用していた。



背面

●形状はウッド同様、背骨のスパイン・フレームが特徴のスパイン・コンセプト。高速移動形態に変形したり、尻尾状の末端を敵に巻き付けたりできる。



側面

●スパイン・フレームを前方に伸ばし、先端にある頭部で相手を叩くようにして攻撃することもある。いわば頭突きだが、何ともコレンらしい攻撃方法ともいえる。

DC→ミリシャで名前も変化

ゴッゾー/ゴドウイン NRS-P701/P701R

●GOZZO/GODWIN/サイズ 15m弱

ゴッゾーはコレンの部下、ブルーノとヤコップが乗るモビルスーツ。下肢が細いので宇宙戦用と思われる。ゴドウインはブルーノとヤコップがミリシャに加わったとき、破損したゴッゾーを修理、改装した機体。腕と脚はボルジャーノンのものと交換。



●12話。ゴッゾーの主要装備は、背部にある大射程のレールガン。イーゲルとともにヤと戦った。



●22話。ゴッゾーが改造されゴドウインとなつた。パイロットと共にミリシャの機械人形に。

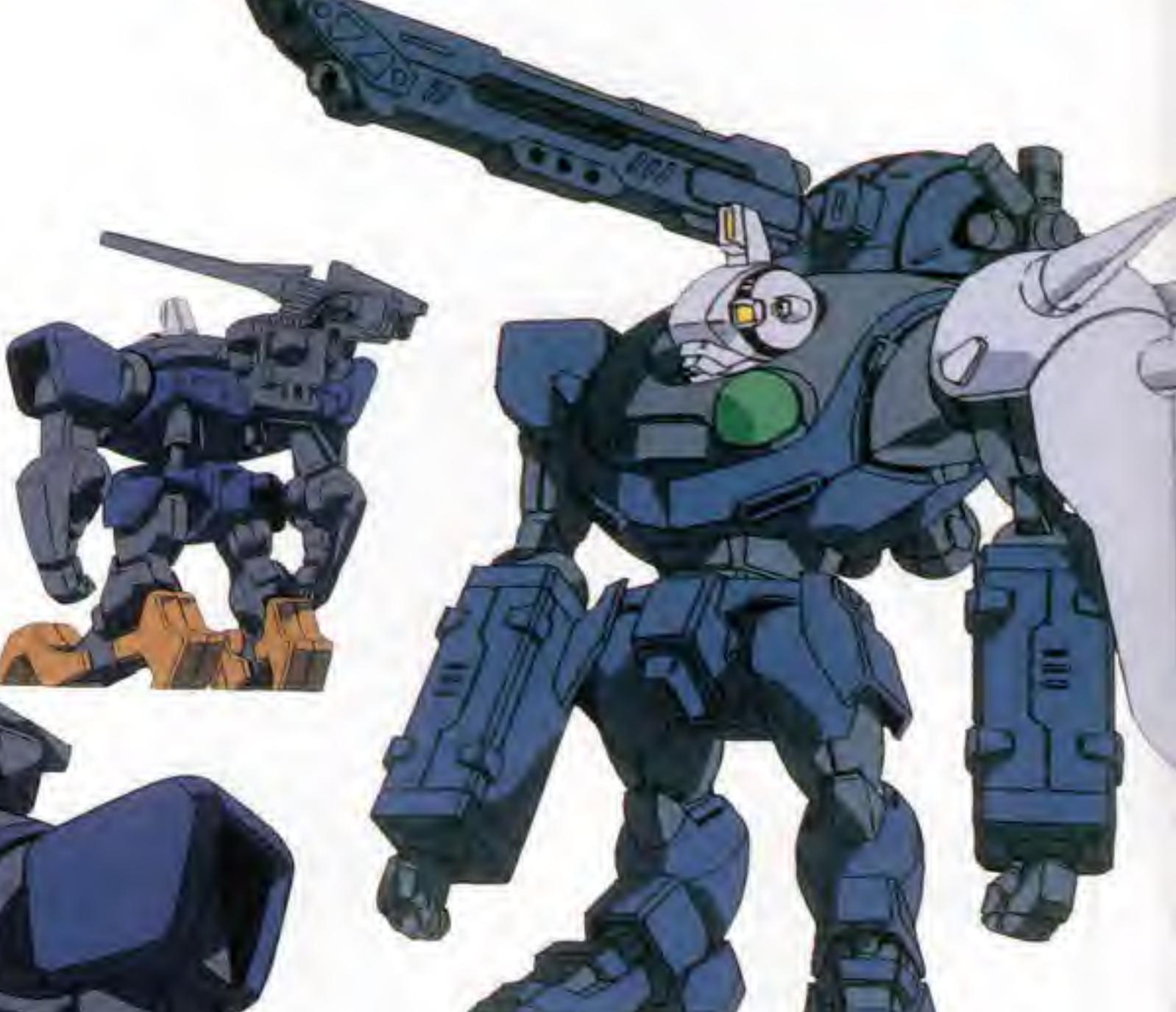


●26話。コレンはゴドウインを奪い、ビートホークでヤを斬り本懲を遂げた。

ゴドウイン

背面

●レールガンが通常の機関砲に換装された。また繊細だった下肢構造が、地上戦を意識してか太くなつた。



背面

●レールガンは通常は折りたたまれておらず、使用時には約二倍に伸びる。背部にはハーニアも装備。



腕部ミサイル

●下肢に比べて大きすぎる腕には実は、マイクロミサイルが収納してある。



ゴッゾー

ルジャーナ・ミリシャの機体

ボルジャーノ MS-05/MS-06

●BORJARNON/サイズ 17.5m



背面

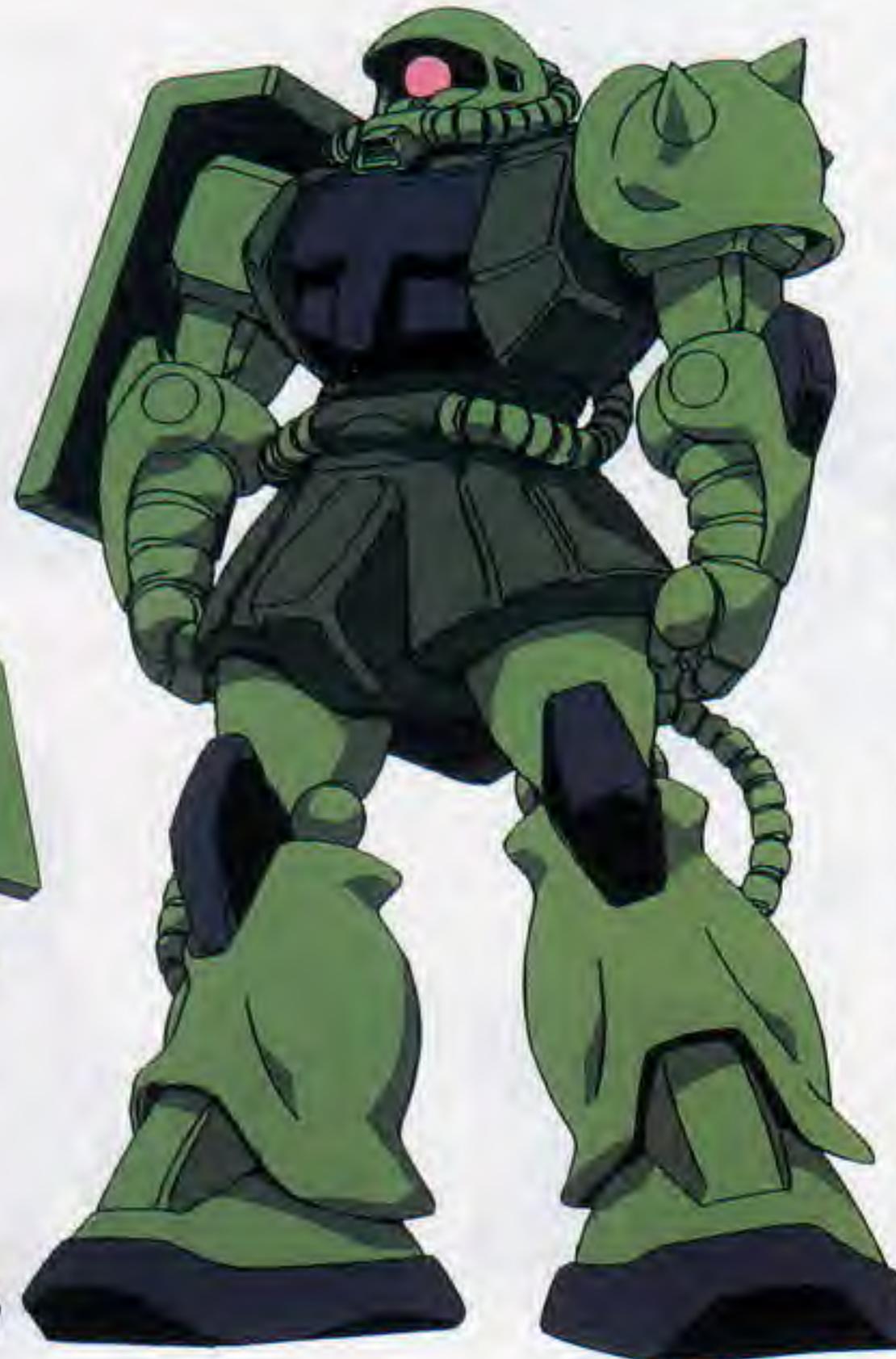
①一機のみ発掘された。外見上違うため隊長のギャバン機となる。いわゆる旧ザクだ。

ギャバン・グーニー機



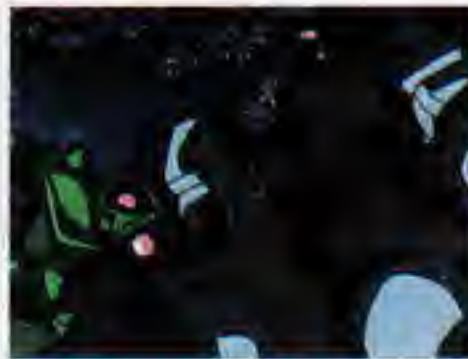
ルジャーナ・ミリシャ機

ルジャーナ領からかなり多数発掘されたので、スエサイド部隊一般兵用に使用される。性能的には隊長機と大きく違わないで、後にギャバンもこれに搭乗する。いわゆるザク。



ルジャーナ領主ボルジャーノ配下のルジャーナ・ミリシャが初めて発掘したモビルスーツ。領主の名にちなんでこのように呼ばれる。クラッカーハンマー、バズーカ、マシンガンなどの専用武器も多数発掘されている。

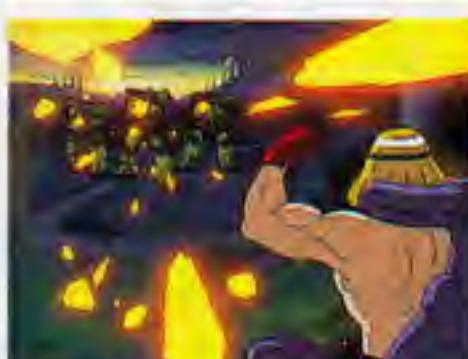
②14話。機械人形部隊を持つ自軍の優位を疑わないイングレッサ・ミリシャの前に登場した。



③17話。アビス力比べ。反発力がないというアビスの弱点が明らかに。ミリの登場で両者痛み分け。



④24話。野戦病院を襲うレット隊のニセマをマシンガンで攻撃だがフラットとの火力の差は大。



王子様になれなかった悲劇の機体

キャノン・イルフート SPA-51

●CANNON ILLEFUTO/サイズ 15m弱

キングスレーの谷付近から発掘されたモビルスーツ。テレスにそそのかされたウィル・ゲイムは、これに搭乗してディアナ・カウンターと合流。スエサイド部隊の攻撃を一身に浴びて両腕、頭部、キャノン砲を失い沈黙。ウィル自身も命を落とした。



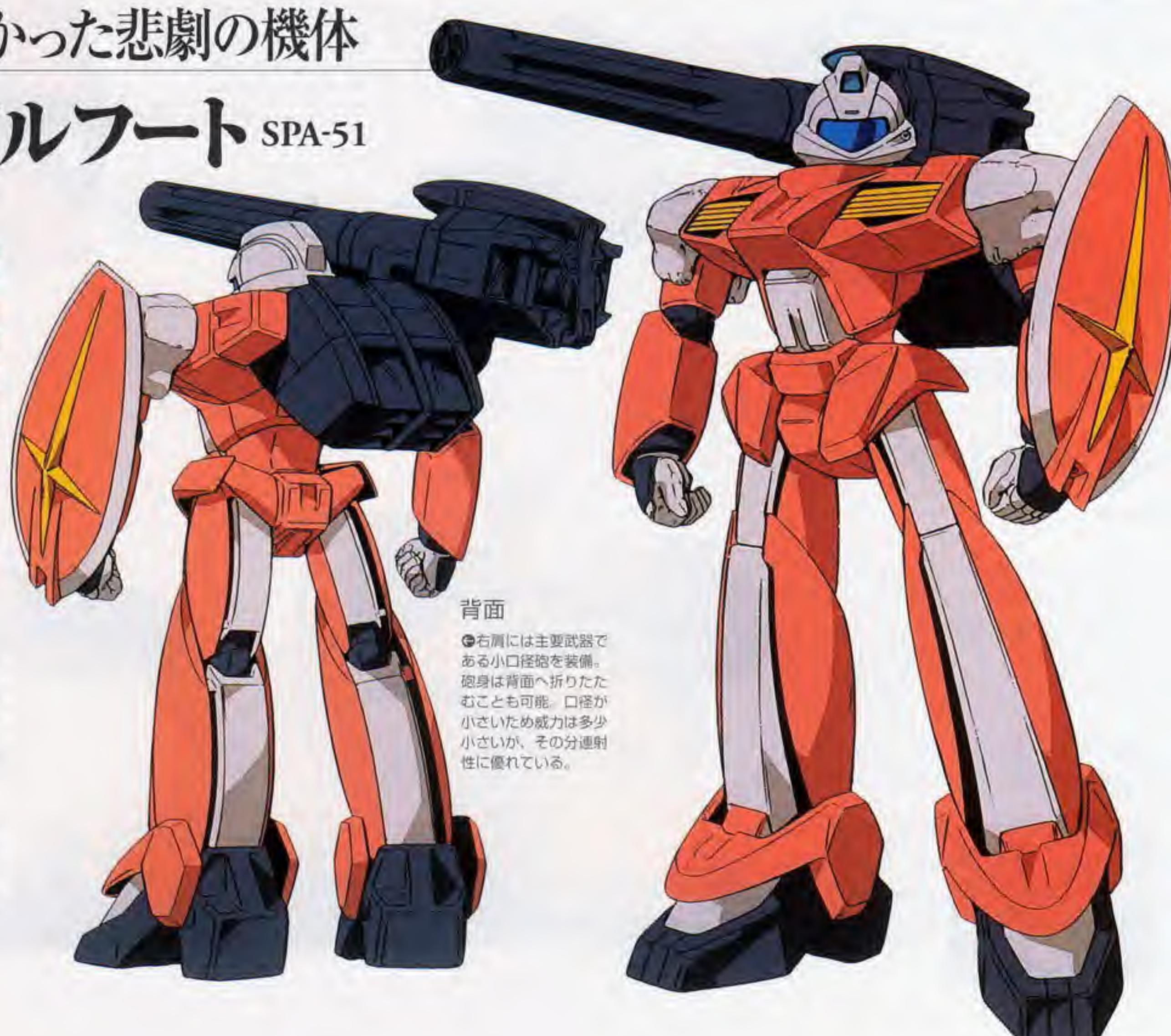
⑤15話。ディアナ・カウンターで整備されたことできれいになり、操縦性もアップしたらしい。



⑥15話。主な装備は背部にある小口径砲。単独でスエサイド部隊と戦うにはあまりにも非力だ。



⑦15話。大破して最期を迎える。ミリシャが引き取らなかつたのは、破壊がひどかったからか。



背面

⑧右肩には主要武器である小口径砲を装備。砲身は背面へ折りたためることも可能。口径が小さいため威力は多少小さいが、その分連射性に優れている。

移動可能な月の王宮

ソレイユ

●Soleil

ディアナ・カウンターの旗艦。第三次帰還船団と共に地球へ降下。月の女王ディアナ・ソレルの移動王宮であり、ディアナ・カウンターの移動大本営でもある。単独で衛星軌道へは脱出できないが、ブースターを装着すれば可能。

正面

●独特のフォルムを持った優美な艦体は、地球帰還作戦の開始と同時にナノマシンが数百年の歳月をかけて作り上げたものだ。同等艦を作り出すのは極めて困難。



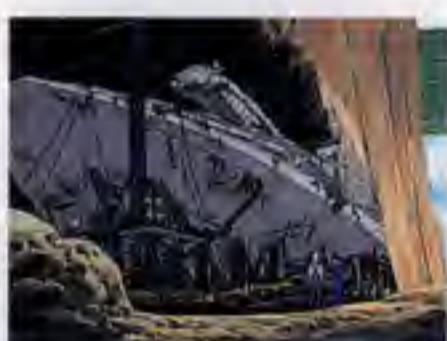
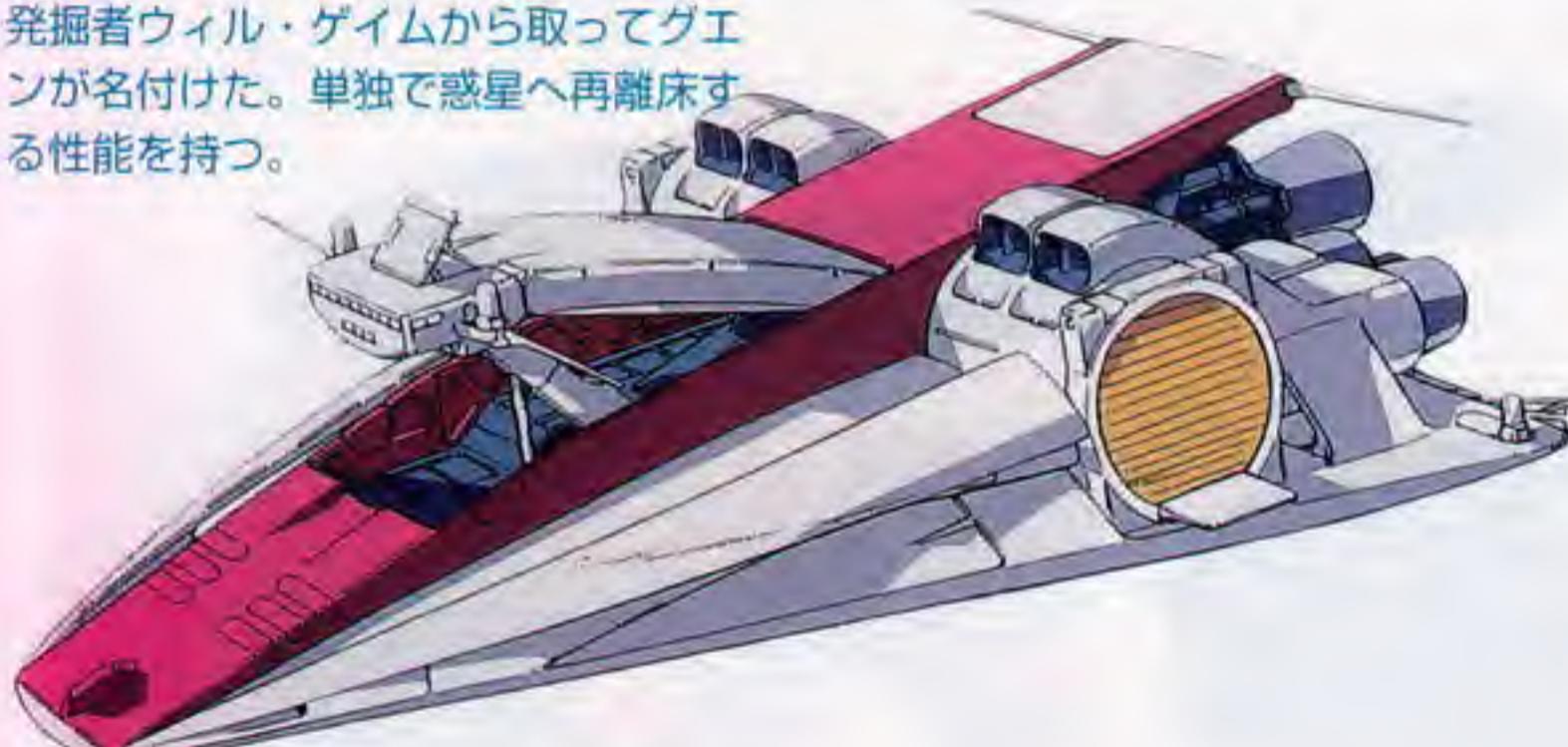
●11話。ミリシャの原始的な攻撃を受けても傷一つ負わず、悠々と飛び立つ。ディアナ・カウンターのサンベルトへ移動したい勢力にとっては、いい口実だった。

黒歴史の空飛ぶ船が現実化

ウィルゲム

●Willghem

キングスレーの谷から発掘された宇宙戦闘船。ウィル・ゲイムの祖先が発見し、代々発掘し続けてきた。その名は発掘者ウィル・ゲイムから取ってグエンが名付けた。単独で惑星へ再離床する性能を持つ。



●23話。まだナノスキンが装着している。ディアナ・カウンターの艦船とは異なる時代のものと思われるが、なぜこの艦体がここに埋没していたのかは不明。

Vとロランの移動基地

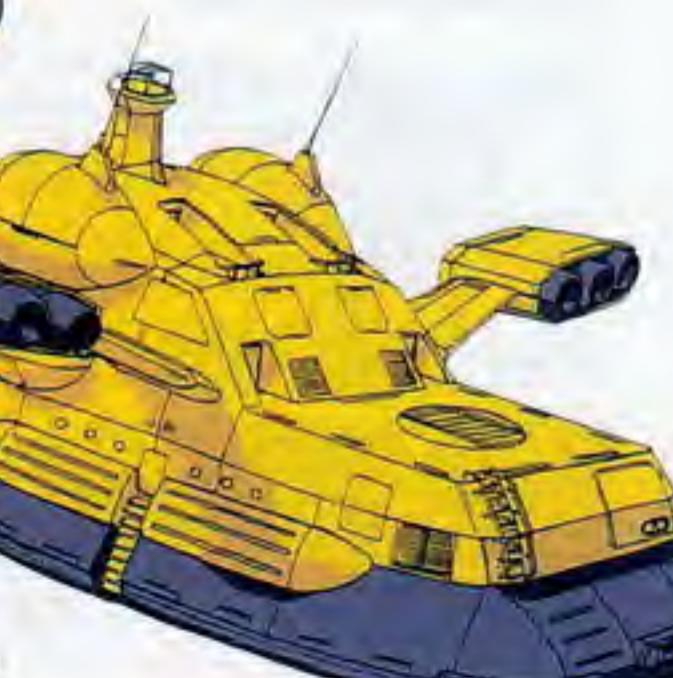
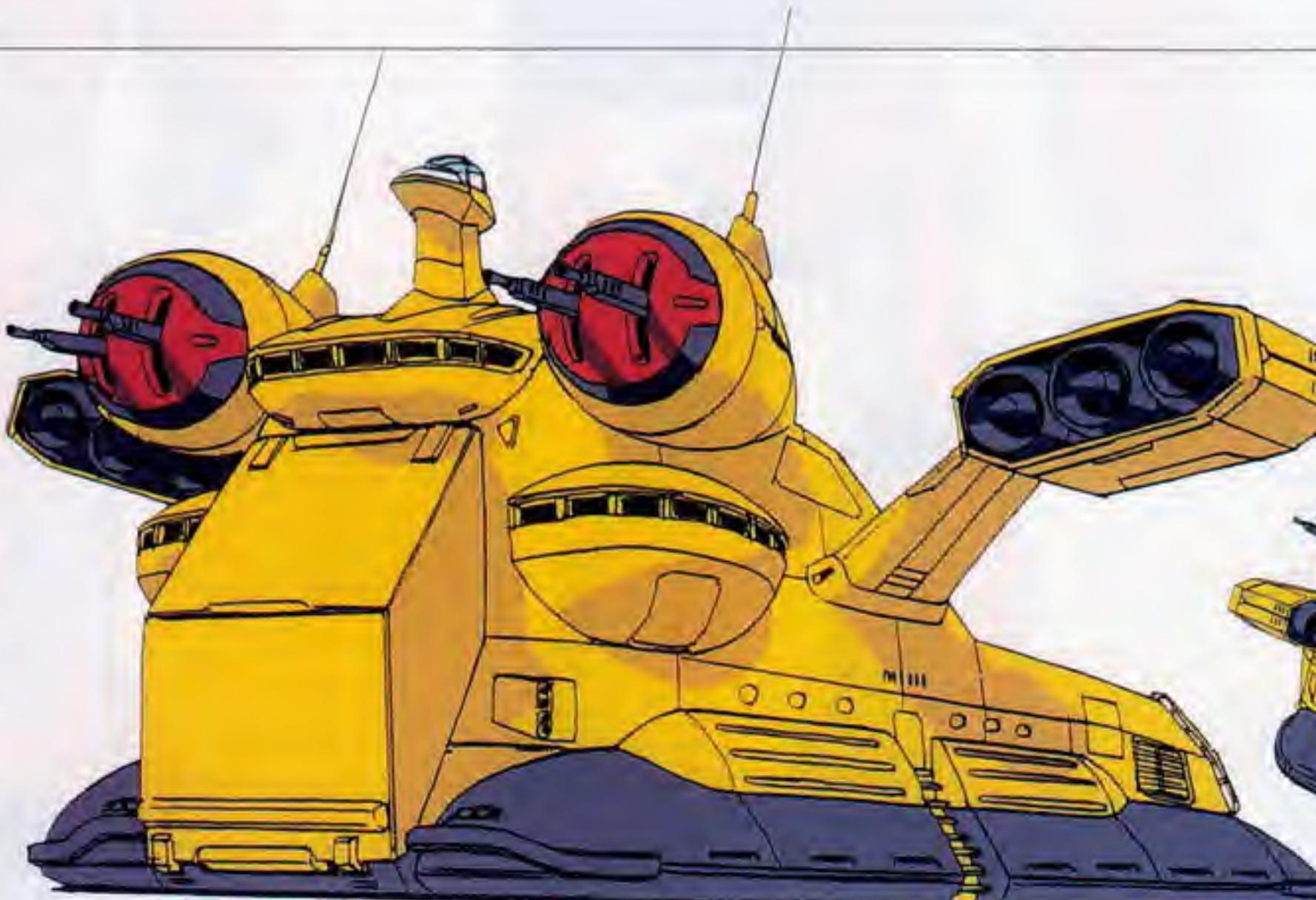
ギャロップ

●Gallop

キングスレーの谷の、ウィルゲムと別の場所から発掘された大型ホバー走行車。馬が速く走る様のギャロップからディアナが名付けた。艦長はグエンに任じられたロラン。ブリッジ要員はブルーノとヤコップ。Vのベースとなる。連絡には伝書鳩のブルービショップを使う。戻る際の目印は赤い砲塔らしい。



●19話。モビルスーツを乗せて陸上を走行。地上用の船だが、ホバー走行車なので水上移動も可能。



民間用重機の一種

モビルリブ MR-Spi 05Ω "JET STREAM"

●Mobile Rib/サイズ 20m

建設現場など、主に民間で使用される汎用重機で、ワッド同様モビルスーツではない。26話ではVの実物大張りぼて人形の搬送に使用されていた。重機メーカーが付けた商品名は「ジェットストリーム」。ミリシャ側に捕獲された機体もあるようで、ソレイユ攻撃時にはヤーニが操っていた。



●8話。ムーンレイスとミリシャの衝突を避けるために、Vに抑え込まれた。そもそも民間機であるモビルリブが、Vにかなうはずもない。



●8話。ムーンレイス帰還民の居住地をはっきりさせるため、フェンスを作っていた。これが結果的には地球の人々の怒りを誘うことになる。



背面

●複数の機体を接続して、四脚または六脚の巨大汎用機として使用することも可能だ。

正面

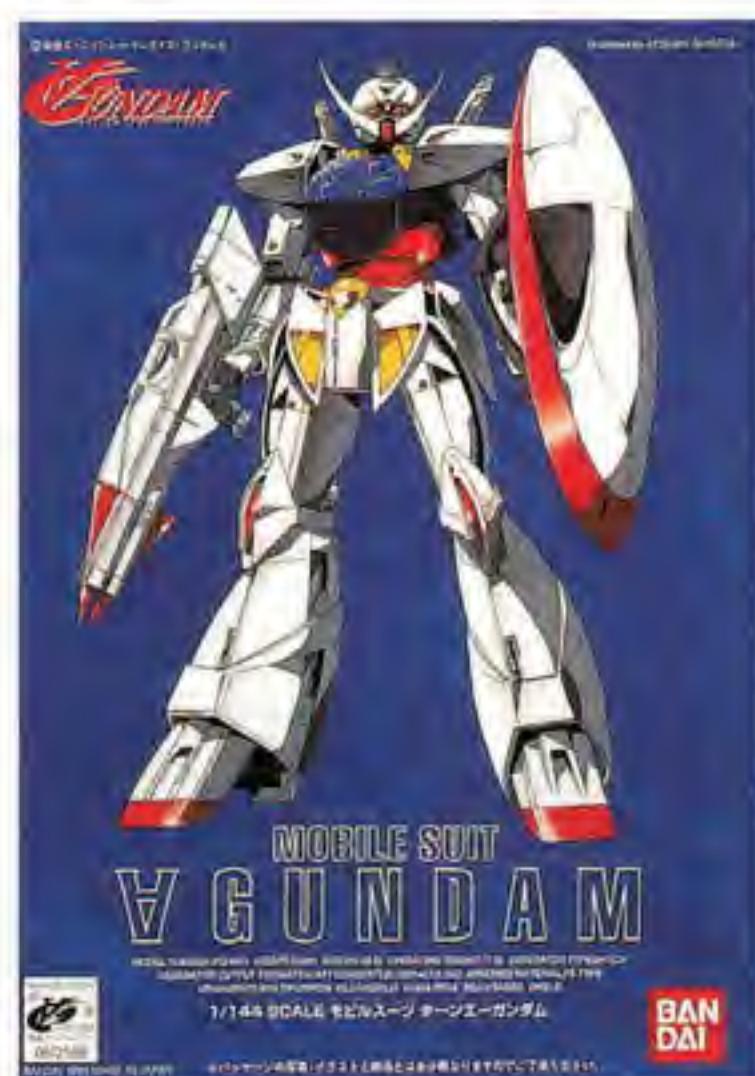
●フレームの間際に、いろいろな種類の輸送コンテナを固定して、運搬したり運用したりすることができる。

V GUNDAM GOODS LIST

アニメグッズの楽しみとは、本来は二次元でしか存在しないキャラクターに触れたり、集めたりすることができる点だ。ここでは映像をはじめとして様々な「Vガンダム」の関連商品を集めてみた。

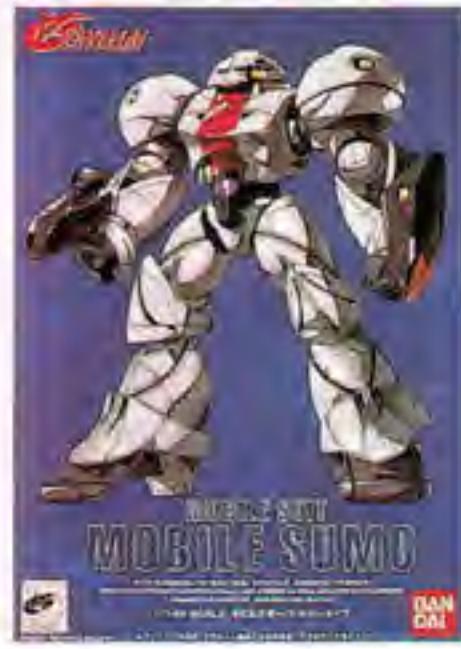
見て触れて楽しめる
「V」の3Dワールド！

プラモデル



モビルターンX
定価600円(税別)

①専用のライフルとバズーカが付属。関節部のポリバーツもサイズアップで強度が向上。



モビルスモー(シルバータイプ)
定価600円(税別)

①付属品はゴールドタイプと同じだが、頭部の形状がハリー機と異なる量産機仕様だ。



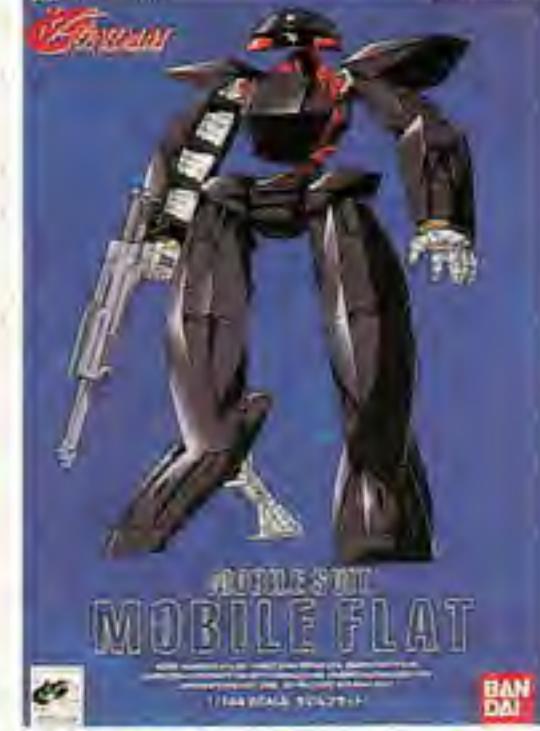
モビルスモー(ゴールドタイプ)
定価600円(税別)

①ハリー専用機。アイフィールドジェネレーター、軍配型ヒートソード、専用ライフルが付属。



モビルカブル
定価500円(税別)

①ガンプラとしては初の商品化となる。胸部ハッチの開閉を再現、専用武器も付属。



モビルスモー ゴールドバージョン
定価2500円(税別)

①金メッキ処理の豪華モデル。ライフル、ヒートソードなどが付属し、胸の内部メカも再現。

モビルダム
定価2000円(税別)

①ライフルなどの武器が付属。胸部ハッチの開閉ギミックも再現した大型モデル。

「Vガンダム」のプラモデルはガンプラのスタンダードスケールである1/144、そして1/100の2スケールで展開された。中でも主役メカの「Vガンダム」は1/100、1/144ともに従来のガンプラにはない発想で肩アーマーの可動を実現、好評を得た。ウォドム、バンディットなど個性的なコンセプトのモビルスーツの商品化が望まれる。

また、プラモデル以外の商品で特筆すべきはアニメ版ではなくシド・ミード版のデザインから立体化された「NEWマテリアルモデル Vガンダム」だ。玩具という位置づけではあるが関節可動、完全彩色はもちろん、各部にスミ入れまで施された豪華な仕様で、胸部ハッチや脚部ベーンなどには独特の鋭いエッジを正確に再現するためチタン合金を使用(玩具初)。プラモデルにはない重量感とギミックをもつた異色の商品となっている。なお、商品はすべてバンダイより発売。

トイ

NEW マテリアルモデル
Vガンダム 定価7800円(税別)



MOBILE SUIT IN ACTION V
ガンダム 定価1000円(税別)



ガシャポン

MSセレクション11 ● Vガンダム編



SDガンダム フルカラーステージ11
定価各200円(税込)

①カプセル自販機で販売されているSDタイプのフル彩色モデルで、写真の計6種がある。

②リアルタイプのフル彩色モデル。キャラ3種、モビルスーツが3種の計6種があり、カプセル自販機で販売。



映像、音、カード： 多種多様なグッズ展開！

ビデオ、LD、DVDは各巻とも4話ずつ収録でバンダイビジュアルから、CDはキングレコードから発売。ただしCDシングル「AURA」のみボニー・キャニオンからの発売だ。

「ジャンボカードダス E-グラフィックス」は名シーンが特大サイズで楽しめる豪華版。「カードダスマスターZ ガンダムイラストコレクション」はガンダムイラストの集大成的なシリーズで、現在ではなかなか見られない貴重なイラスト類も多数収録。「シールダス EX SD ガンダムワールド ビッグバン編」は「EXアルバム」(写真・税別定価600円)という専用アルバムもあり、「カードダスマスターZ ガンダムウォー 新しき翼」は対戦が楽しめるカードゲームだ。これらカードダスマスターZはバンダイより発売。シールダスはバンダイより発売。掲載グッズ以外にもアニメーション用景品として数種のアイテムがバンプレストから登場した。

CD

「Vガンダム オリジナルサウンドトラック」

定価3059円(税込)



CDシングル「CENTURY COLOR」
定価1020円(税込)



「Vガンダム オリジナルサウンドトラック2」
定価3059円(税込)



CDシングル
「月の蘭」
定価1020円(税込)



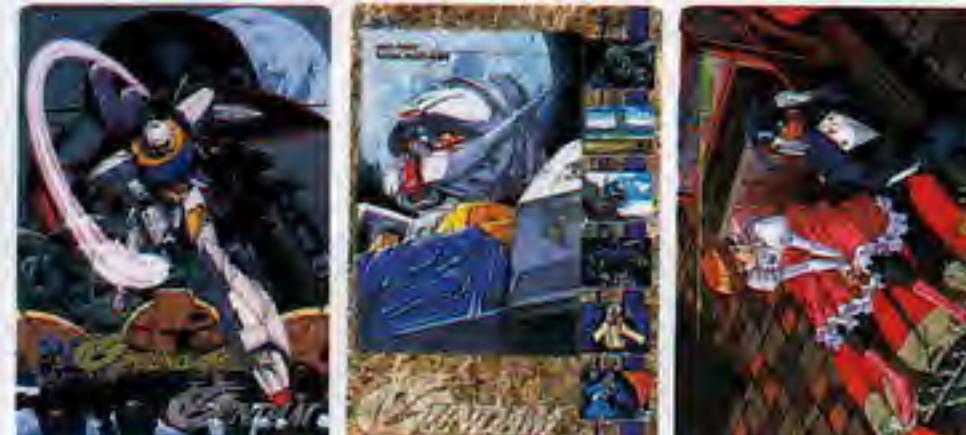
CDシングル
「AURA」
定価800円(税込)



CDシングル
「ターンAターン」
定価1020円(税込)

その他

ジャンボカードダス E-グラフィックス
定価100円(税込)



V GUNDAM



V GUNDAM



V GUNDAM



V GUNDAM



カードダスマスターZ ガンダム イラストコレクション
1パック定価314円(税別)

歴代「ガンダム」の名イラストを集めたカードで、カード裏面にはイラスト初出などの貴重なデータを掲載。6枚で1枚絵になるスペシャルカードもあり!



カードダスマスターZ ガンダムワールド～ビッグバン編～
1パック定価150円(税別)



シールダスEX SD
ガンダムワールド
～ビッグバン編～
1パック定価150円(税別)



カードダスマスターZ ガンダムウォー「新しき翼」
1パック 定価314円(税別)

ゲームルールを簡略化し、初心者でもスムーズに進行ができるカードゲーム。イラストは描きおろしも多数収録、名場面や名セリフもふんだんに使用されているため、コレクションアイテムとしての値段も高いカードだ。

VIDEO・LD・DVD



ビデオ第3巻
定価7800円(税込)



ビデオ第2巻
定価7800円(税込)



ビデオ第1巻
定価7800円(税込)

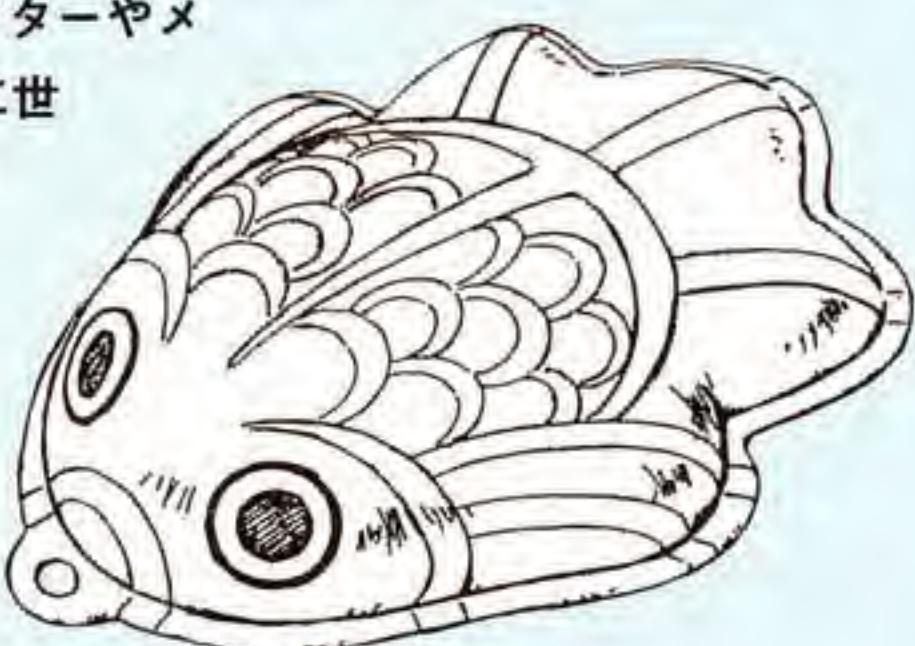


V GUNDAM

EPISODE GUIDE

△ガンダム
エピソード
ガイド

『△ガンダム』前半26話のストーリーに、独自の視点で解説を加えたエピソードガイドには、スタッフやキャストからのコメントも収録。また、各話ごとの紹介ではその話数で特に活躍したキャラクターやメカ、小道具などを紹介するとともに、数話ごとに世界観をまとめて解説。そこでは放映当時の世相を『△クロニクル』として紹介した。



V CHRONICLE
クロニクル

1998年8月1日。横浜バシフィコでの『ガンダムビッグバン宣言』で初めて『ガンダム プロジェクトA』として発表された『△ガンダム』。その後、『PG ガンダムRX-78-2』やTV版『ファーストガンダム』LD-BOXの発売と20周年を迎えて『ガンダム』を廻る状況は加熱。それがピークに達したのが、1999

年4月だった。2日に故池田貴族による『サイケガンダム』がリリースされ、4日にはガンダム生誕20周年記念バスデーイベントを謳った「GUNDAM CONVENTION」が開催。一方、世相としてはこの4月『だんご三兄弟』がヒット。だが、一般には医療ミスの多発やコソボ紛争など暗い話題が多かった。

話数	タイトル	ポイント	掲載ページ
#01	月に吠える	グエンの飛行船の中には、すでにリリさまが！ ビシリティを廻る風景が△世界を象徴している	P34-35
#02	成人式	1話に続き、全裸になる主人公たち。ミリシャのパレードでの装備やビルの電光掲示板なども	P36-37
#03	祭の後	夜、ウォドムの足元を逃げ惑う人々の描写や、ヒップヘビーの銃撃に波打つナノスキン装甲も	P40-41
#04	ふるさとの軍人	ロランが「正暦」生まれと語る。また、この回のラストでカブルが見られる	P42-43
#05	ディアナ降臨	モビルリブの中にピンクの象の引っ越し屋さんが。ラストで、P44グエンの脇に車いすの祖父も	
#06	忘れられた過去	一瞬、胸のサイロが開く△。ガンドムハンマーと今回の△の△の基地（？）も登場	
#07	貴婦人修行	自分で焼いたパンを売りに出るキース。掘り出された△のビームサーベルは8話まで登場せず	
#08	ローラの牛	グエンはロランがひとつの嘘をついているからこそほかのことP47では正直だと語る	
#09	コレン、 ガンダムと叫ぶ	△がビームサーベルを装備。アナン少尉、ゼノア少尉も初登場。キースがフラットを売る	P48-49
#10	墓参り	ディアナとキエルが入れ替わる。ポストニア城の半分がディアナに提供されていると判断	P50-51
#11	ノックス崩壊	コレン、フィルとの会話でアグリッパの名を口にする。イングレッサのお金が紙切れに……	P52-53
#12	地下回廊	ディアナ、コレンにガンダムのヒゲにまつわる指摘。グエン、P56-57飛行機でリリと落ち合う	
#13	年上のひと	ウィル・ゲイム、テテス登場。ロランとの入浴も。ディアナ、P58-59ラストで極楽鳥の羽をもらう	
#14	別離、再び	キャノン・イルフト、ルジーナ・ミリシャのマリガンとギヤバ、ボルジャーノン初登場	P60-61
#15	思い出は消えて	キース、熱で倒れていたグエンを助ける。リリ、△を「大きいのにぶさいく」と評する	P62-63
#17	建国の ダストブロー	キース、亡命ムーンレイス技術者をつれて、ロランは△を橋にして彼らを通す	P64-65
#18	キエルと ディアナ	ディアナ、ロランに入れ替わりを告白。ロラン、再びローラに扮する。キエルの演説	P66-67
#19	ソシエの戦争	ギャロップ登場。△、14話でへこんだ頭部を自己修復。首P70を戦闘中に取りつけてみせる	
#20	アニス・パワー	レット隊、初登場でフラットを逆変形させる。ヤコップとブルーノ再登場。メシェー、負傷	P71
#21	ディアナ奮戦	ブルーノとヤコップ、口先三寸でギャロップに乗り込む。キエール、警備の兵隊を女性にと要請	
#22	ハリーの災難	△の装備が一式が無い。宇宙船の始動手伝う。宇宙船、グエンによりウィルケムと命名される	
#23	テテスの遺言	テテスに司令をしていた人物、ミドルルド初登場。別人のようP74に穏やかになったコレン登場	
#24	ローラの 遠吠え	レット隊の歌『月の魂』初登場。ニセマ登場。ギャバンとソシエ、P75フランとジョセフ急接近	
#25	ウィルケム 離陸	ギャバン、ソシエにウェディングドレスをプレゼントする。リリ、ロランを若い豹と形容	P76-77
#26	悟りの戦い	ゼノア、ディアナらに有望なマウテン・サイクルを報告。コレレンとガンダムの因縁の対決	P78-79
#27	夜中の夜明け	冒頭、ディアナを迎えに来たハリーリーとの小麦の刈り入れ。ディアナとキエル、やっと再会	P80-81

#16 「△のすべて」は特番として放送。本書では省かせていただきました

ロランたちが 地球上に降りたうそ 二年の月日が流れた

Episode
ハムンレイスの調査員ロランは、キース、フランと地球に来る。
ハイム家の姉妹と出会い、ロランは鉱山で働くことに。



月に吠える

第1話

ストーリー解説

地上に降下したばかりのロラン。フラットで二人の仲間とともに降下した彼は、大都市ノックスを目指した二人と別れてビニティへむかう。そこで偶然(?)グエンに助けられ、そして偶然ディアナとそっくりなキエルとソシエの姉妹と出会う。

渡す限りの青い空、肌をじりじりと焼ける強い陽射し、頬を打つ風、透明度の高い川の流れ……。野生の獣が人々を襲うことすらある。そんな中で人々は、自動車や飛行機、飛行船を操り、鉱山から金属らしきものを掘り出している。そうした説明を続けられると、そういう時代なのだと納得させられるから不思議だ。こうした設定の細かさは、物語の中では語られない部分にも表れる。例えばこの世界では、太陽電池と水素を利用したエネルギーで全ての電力がまかなわれている。太陽電池はナノマシンが、芝生のように成長したものだ。これを家の屋根や飛行船の風船部分に張り付けて、太陽光で発電しているのだ。家の屋根が片側のみ大きいのは、実はこの太陽電池が張り付けられているためなのだ。

この作品は「今の時代があまりにもデジタル過ぎるから、もう少しアナログ感覚を持つよ」ということを言っているのではないかと思います。近い未来、現実に人類が月に住む時代がやってくると思いません。そういう時代になってこの作品を見ても、共感してもらえる部分があるのではないか。私も単なるファンクションではなく、現実に起こりうる話として共感できる部分がいっぱいありましたから。

あと全体的な話になりますけど、最初に音楽を聴いたとき、スタッフみんなして「菅野さん普通だなあ。もつと変なことやってくるかと思っていたのに」という印象がありまして。普通にオーソドックスに、オーケストラをやっているもので「随分まつとうだなあ」と。前にやつて『ブレンパワード』ではバグパイプ使つたり色々やってましたからね。

なつていらない子供たちが堪えながら歌っている」と言われたんです。歌の収録は三人別々にやったのですが、最初に私がオーディオにもすぐ期待していました。

歌つて、後で一人が歌つていてのを聞いたときにゾワーンとしてきて。月から降りてくるのがどれだけ凄いとか、そのとき体感できたように思います。だからオンエアにもすぐ期待していました。

この作品は「今の時代があまりにもデジタル過ぎるから、もう少しアナログ感覚を持つよ」ということを言っているのではないか。お話を中での効果があるんだとも富安心するんだということなんです。また、今は身体性ということを強調していた

せいでですね。何でも肌色が見えると人は富野理論的に裸というものは視覚効果とか、お話を中での効果があるんだとも富安心するんだということなんです。また、富野理論的に裸ということは視覚効果とか、お話を中での効果があるんだとも富安心するんだ。www.100%collection.jp

スタッフの視点から



ロラン・セック(15歳)

地上に降下したばかりのロラン。フラットで二人の仲間とともに降下した彼は、大都市ノックスを目指した二人と別れてビニティへむかう。そこで偶然(?)グエンに助けられ、そして偶然ディアナとそっくりなキエルとソシエの姉妹と出会う。

表情



リュックの中の荷物は、地球上に潜んでいても怪しまれようとしていたようだ。また、偽造の身分証明書も入っており、ソシエはそれでロランの名を知った

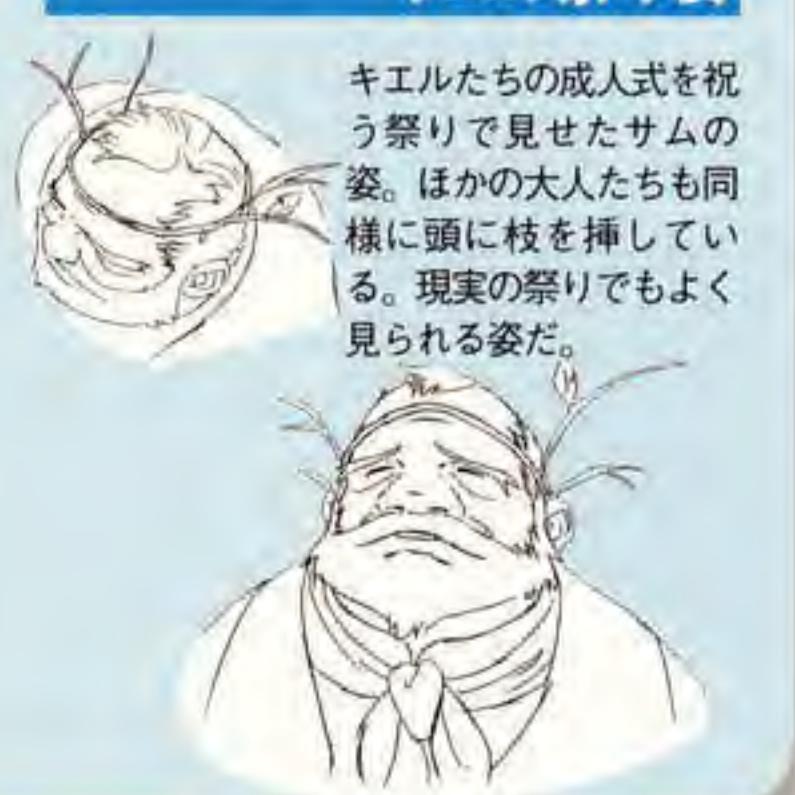
ハイム家運転手

ハイム家の抱え運転手。セリフもない役柄だが、この世界の雰囲気をよく表しているキャラクターと言える。両手には白い手袋をしている。



サムの祭り姿

キエルたちの成人式を祝う祭りで見せたサムの姿。ほかの大人们も同様に頭に枝を挿している。現実の祭りでもよく見られる姿だ。





キース・レジエ(15歳)

ロランとともに地上に降りてきた当時のキース。スーツ姿なのは、当初から都会へ潜伏することが考慮されていたためだろう。ちなみに、この設定画を見た音楽の菅野よう子さんは、一目でファンになってしまったとか。



キースが持っていたトランク。材質は革だと思われる。この設定はフルディテールでのものなので、実際の作画においては、適宜細かい部分が省略されている。

トランク

キエル・ハイム(15歳)

二年後とあまり大きく変わらないキエルだが、ドレスはややフリルが多く、その分子供っぽさを感じることもできる。彼女がティアナと、うりふたつであるということが△の物語の肝なのだが、その理由は単なる偶然！ なのである



寝間着姿

今回の物語のラストで、家を抜け出すソシエを見ていた17歳のキエルの寝間着姿。この設定では服を見せるために髪を後ろにたらしているが、注意書きによると前にたらしてもよいのとか

フラン・ドール(15歳)

地球に降下してきたロランたち三人の内、唯一の女性・フランの降下直後の姿。一度は別れ別れになった仲間だが、キースとフランは同じノックスに住む者同士として早くから連絡を取り合っていたようだ。

リュックとトランク



女性だからか、フランだけ荷物をリュックとトランクに分けている。トランクの上に巻かれているのは毛布

「百万人の妹」を目指してデザインされたソシエ。その表情は、可愛さと負けん気が絶妙にバランスされたものとなっている

表情

ロランとの出会いに、面白い事件との遭遇と心躍らせている風だった13歳のころのソシエ。なお、脚はタイツをはいでいる

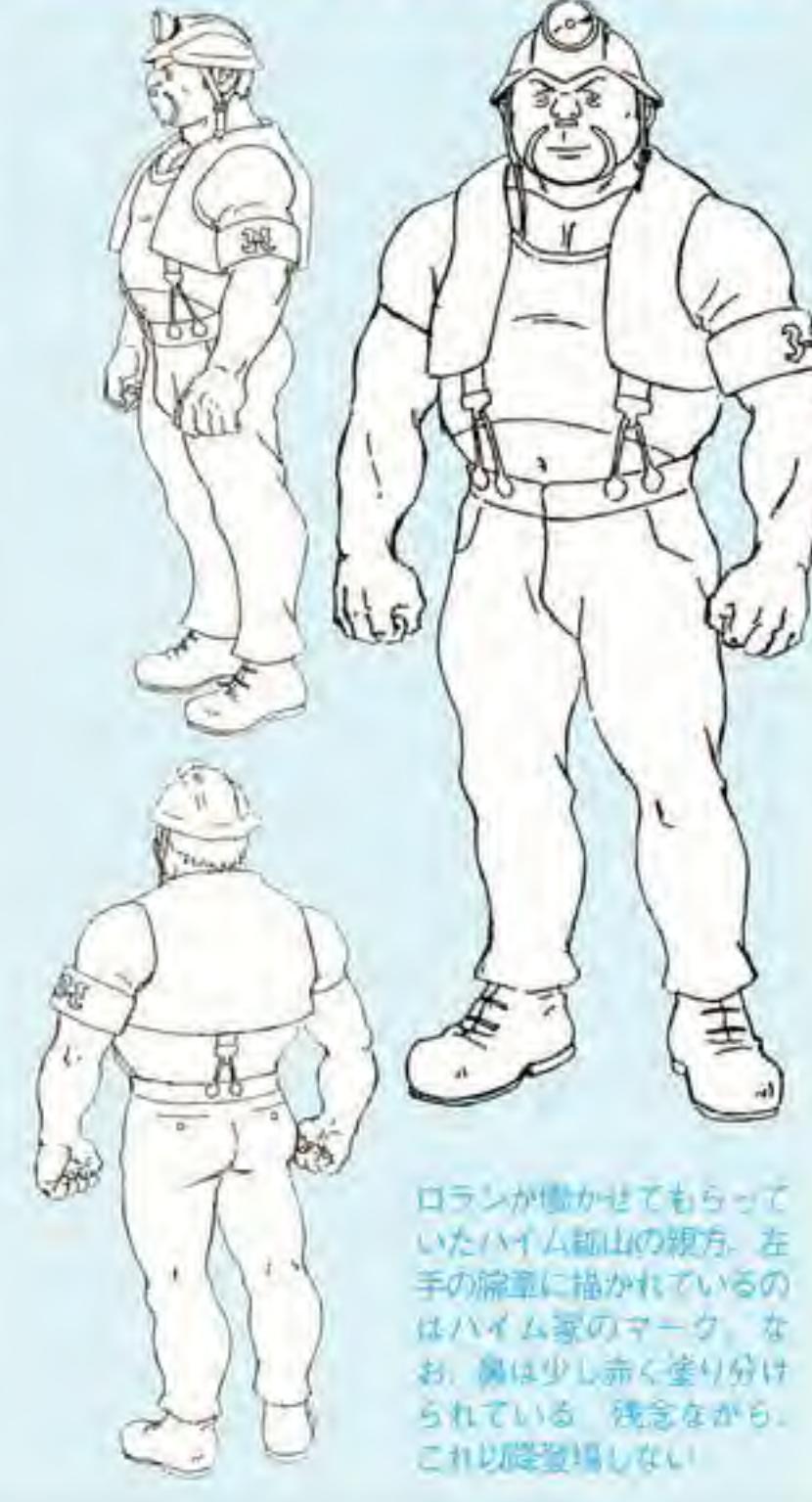
ソシエ・ハイム(13歳)

15歳前、まだあどけない少女といった面持ちのソシエ。下の寝間着姿は15歳のときのもの。この格好に肩掛けで、深夜ロランを追跡。掘り出したフラットの上で月に吠える少年の姿を目撃することとなった。



寝間着姿

ハイム鉱山の親方



ロランが働かせてもらっていたハイム鉱山の親方。左手の腕章に描かれているのはハイム家のマーク。なお、胸は少し赤く塗り分けられている。残念ながら、これ以降登場しない

ムーンレイスの攻撃で△が覚醒する

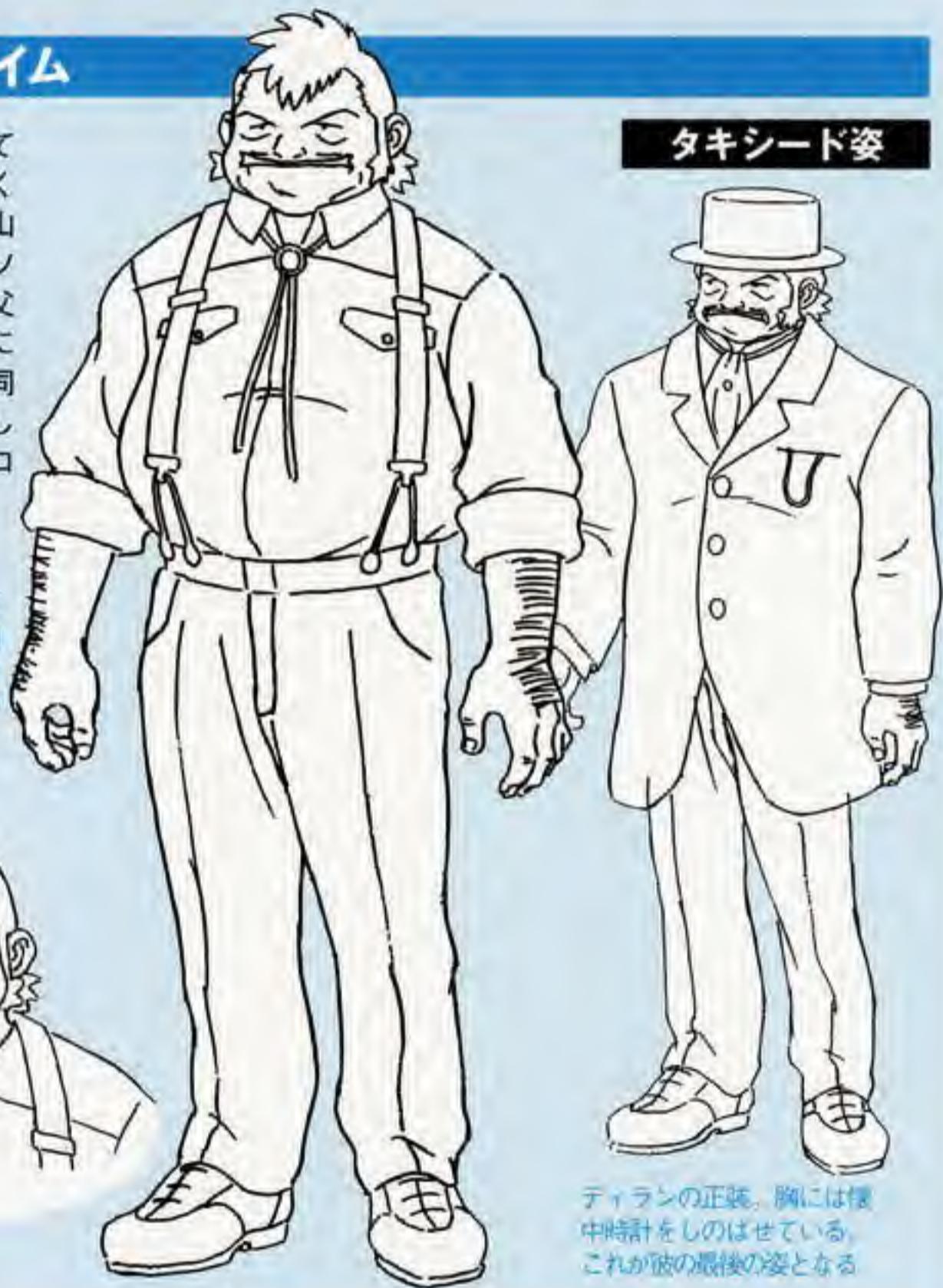
が地球と二年間交渉してきたムーンレイスから届いたのは、ビシニティの成人式の日だった。



ディラン・ハイム

ビシニティにやつされたロランを雇ってくれたハイム鉱山の鉱山主であり、キエルとソシエのハイム姉妹の父親でもある。ロランに対しても、娘たちの同世代の友だちと見なしているふしがあり、ロランの後見人的存在。

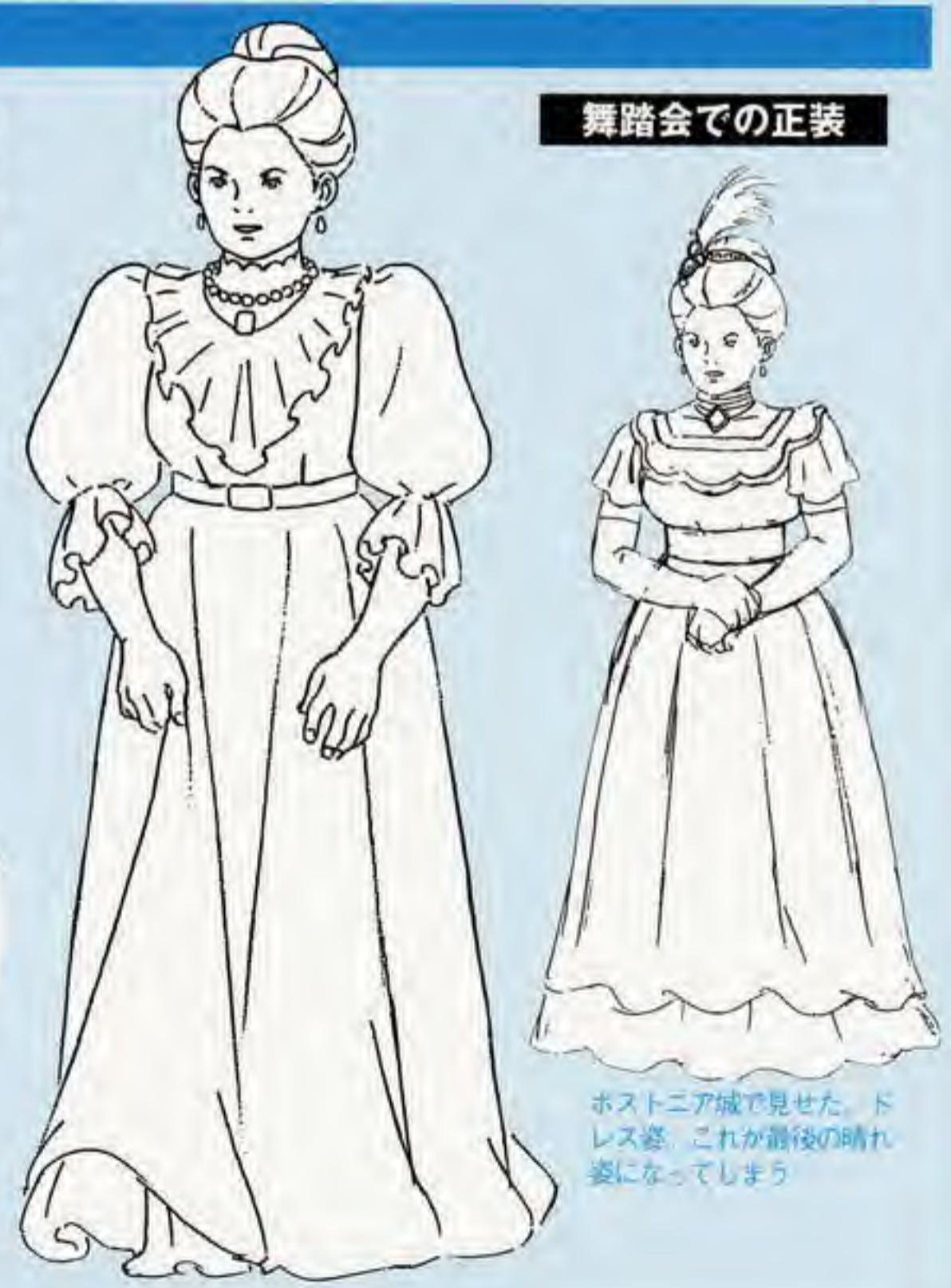
→爪の先は黒く、ガビガビ。人指し指は安田筋さんの親指くらいあるらしい。苦労人の話?



ディランの正装。胸には懐中時計をしのばせている。これが彼の最後の姿となる

ハイム婦人

キエルとソシエの母親であり、ディランの妻。彼女の姿がこの時代の典型なら、△世界では女性は家庭に入るものだという認識が一般的なようだ。正装姿では、胸元の肌を見せる一方、腕には長い手袋を身に着けている。



「皇室かしい田親としで、この時点ではあまり目立ったキャラクターではなかった

成人式 第2話

ストーリー解説

「理屈だけでは世界は動かない」ビシニティの成人式の儀式を小馬鹿にしたジョゼフに対するシドのこの台詞に、この回のすべてが集約しているようだ。まず、地球とムーンレイスは二年前から交渉を続けてきたのだという。交渉に

ムーンレイスに対して、何とミリシャは複葉機で攻撃をしかけるのだ。モビルスーツとプロペラ機の戦いなど、一体誰が想像しだろう？ ムーンレイスのパイロットが冷静さをなくしてしまったのもわかるよう気がする。そして対艦用ビームを発射してしまつことで戦争が避けられなくなり、△をも覚醒させてしまう。

なお、ロランたちが地球に降りてきたのもまさに二年前だ。ということは、交渉が開始されたのはほぼ同時期と考えられる。

またグエンは、交渉相手が本当に月の

使用していたのは、ムーンレイスから届けられたという無線通信機だ。これだけ見ても相手が自分たちより圧倒的に高い技術力を持つことは明らかはずなのに、ミリシャという軍隊を組織する。地球上には2000年もの間戦争がなかったので、その武力はかなり発展途上であるにもかかわらず、だ。

この危惧は現実のものとなる。巨大なモビルスーツで地球に降り立ったムーンレイスに対して、何とミリシャは複葉機で攻撃をしかけるのだ。モビルスーツとプロペラ機の戦いなど、一体誰が想像しだろう？ ムーンレイスのパイロットが冷静さをなくしてしまったのもわかるよう気がする。そして対艦用ビームを発射してしまつことで戦争が避けられなくなり、△をも覚醒させてしまう。

ガンダムが石像から出てくるというのは、ほかに手がなかつたというのが本音なんです。「ライディーン」とか「イデオン」を連想されると分かつてたので、ほかの方法も考えたんです。宵越しの祭りの神輿の中に入っているとか、普段町の人には気付かないんだけど実はそこにあつた、というのがほかにできないかと。でも思いつかなくて一番つまらない石像の中にあるという案をとらざるを得なくなつたんです。祭りもそこから連動して作つていつたところがあるんですね。

ただ、ここまで△世界の展開が大変で、ここまできてようやく、みんなが知つていてるメカ戦だというので安心したので絵コンテもそのまま『ガンダム』世界に突っ走っちゃつたんですよね。

あと、初めてのメカ戦ですが、とつても悔やんでいて。敵側に早々に人が乗つているあたりに、グエンのグエンたる所以が既に表れているようだ。またキセルも無線通信機を見せられ、ムーンレイスの話を聞いても、驚きはするものの終始落ち着いている。このお嬢様がただ者ではないことがよくわかる。

スタッフの視点から

トにカメラが入るという絵を作っちゃうんですよ。今回の話なら、味方側の話に限っちゃつて「あの化け物は何なんだ？」と通して、人が乗つていられない可能性も提示できたはずなのに、惜しいなあ

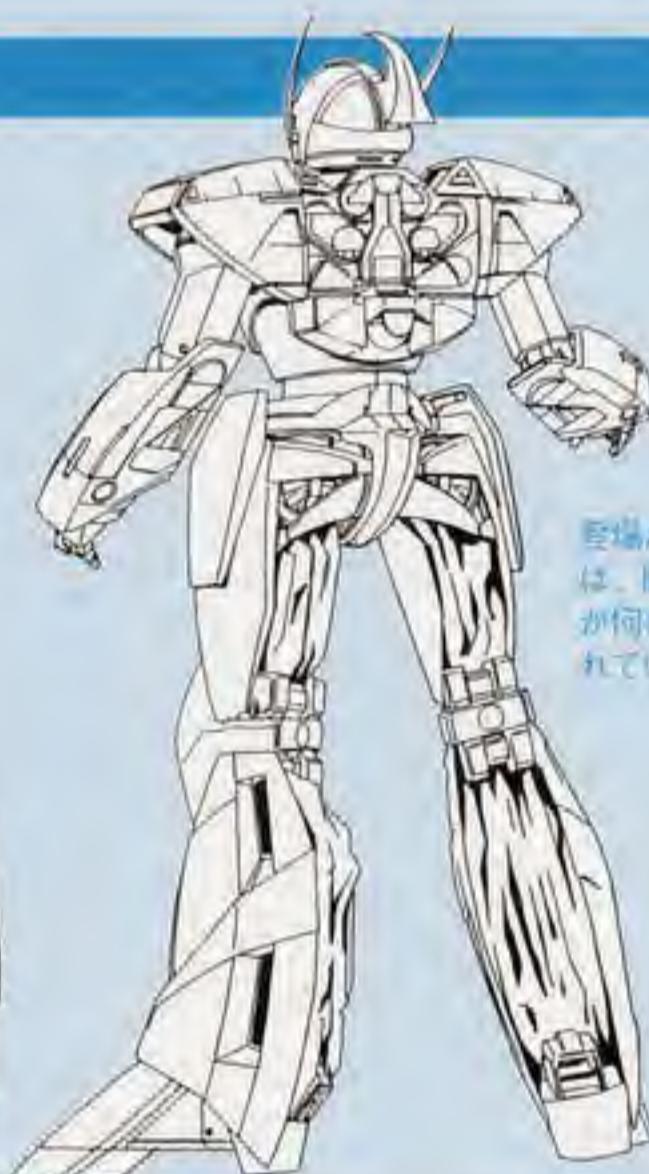
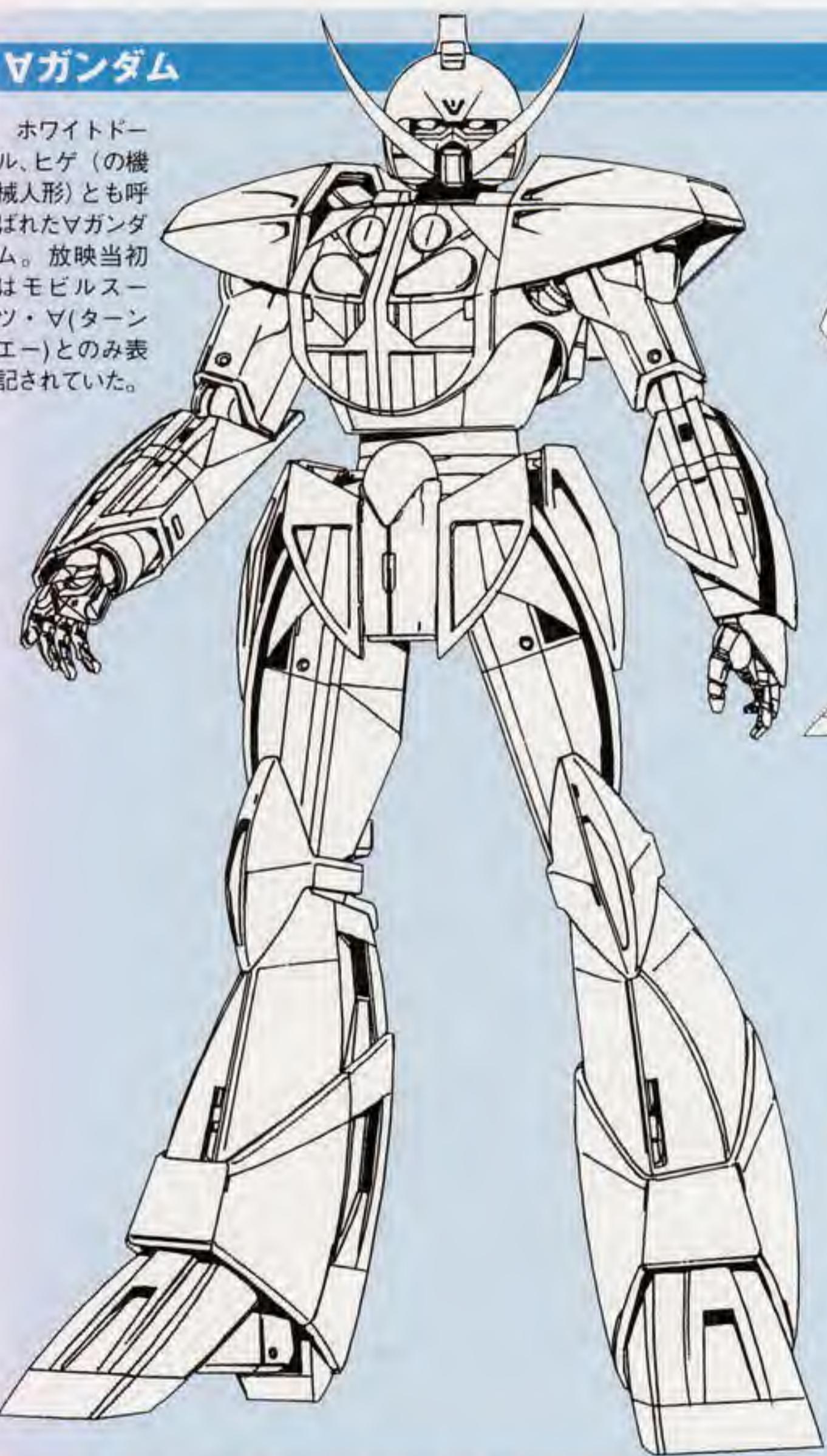
と。

ただ、ここまで△世界の展開が大変で、ここまできてようやく、みんなが知つていてるメカ戦だというので安心したので絵コンテもそのまま『ガンダム』世界に突っ走っちゃつたんですよね。



マガンダム

ホワイトドール、ヒゲ（の機械人形）とも呼ばれたマガンダム。放映当初はモビルスーツ・マ（ターンエー）とのみ表記されていた。



祭り装束のロランとゾシエ



キエル・ハイム

アパートでの姿



誕生日は半透明素材。二の腕はリボンで止められ、手袋もしている

外出着



室内着らしい、ゆったりしたドレス。ある意味で、本編中唯一のキエルの普段着姿かも？

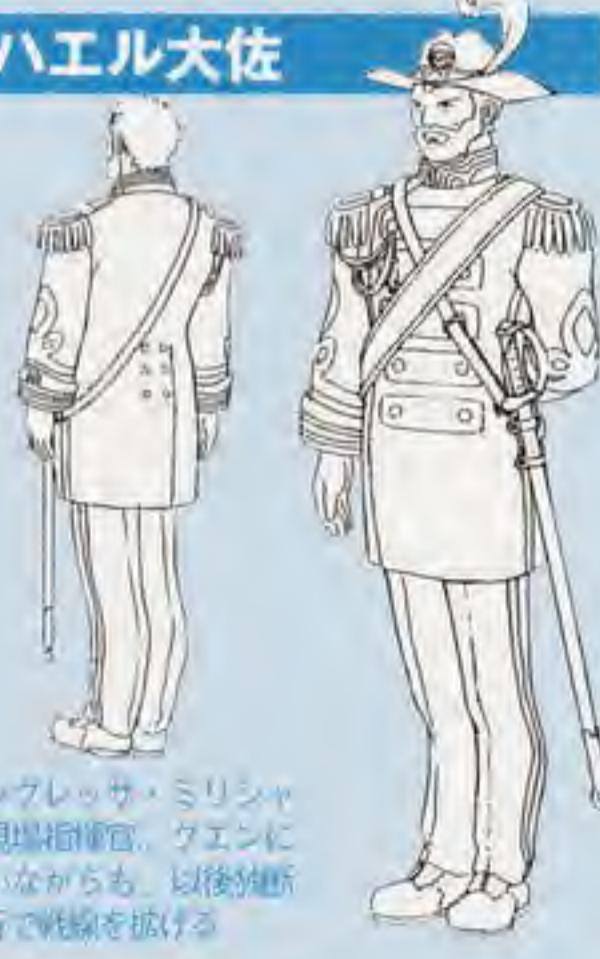
ハイム家の使用人(ジェシカとサム)



当初、ロランを胡散臭く見ていたジェシカも、今は使用人仲間として認めている

ハイム家の使用人頭であるサム。ヒサが出ているなど、肉体を酷使してきた苦労人らしいとわかる

ミハエル大佐



イングレッサ・ミリシャの現場指揮官。クエンに従しながらも、以後は断然で戦線を抜け



面会で見せた正装。やはり手袋をしている。また、腰のヒースは結いつけられている

パーティードレス



turnA

world for Episode

#01-0

Vの世



「Vガンダム」の世界觀が最も如実に現れているのがこの初期2話といえる。そこに描かれた懐かしい世界は、20世紀初頭を思わせながらも、宗教や技術などの異なる世界。その代表的な姿を紹介していく。

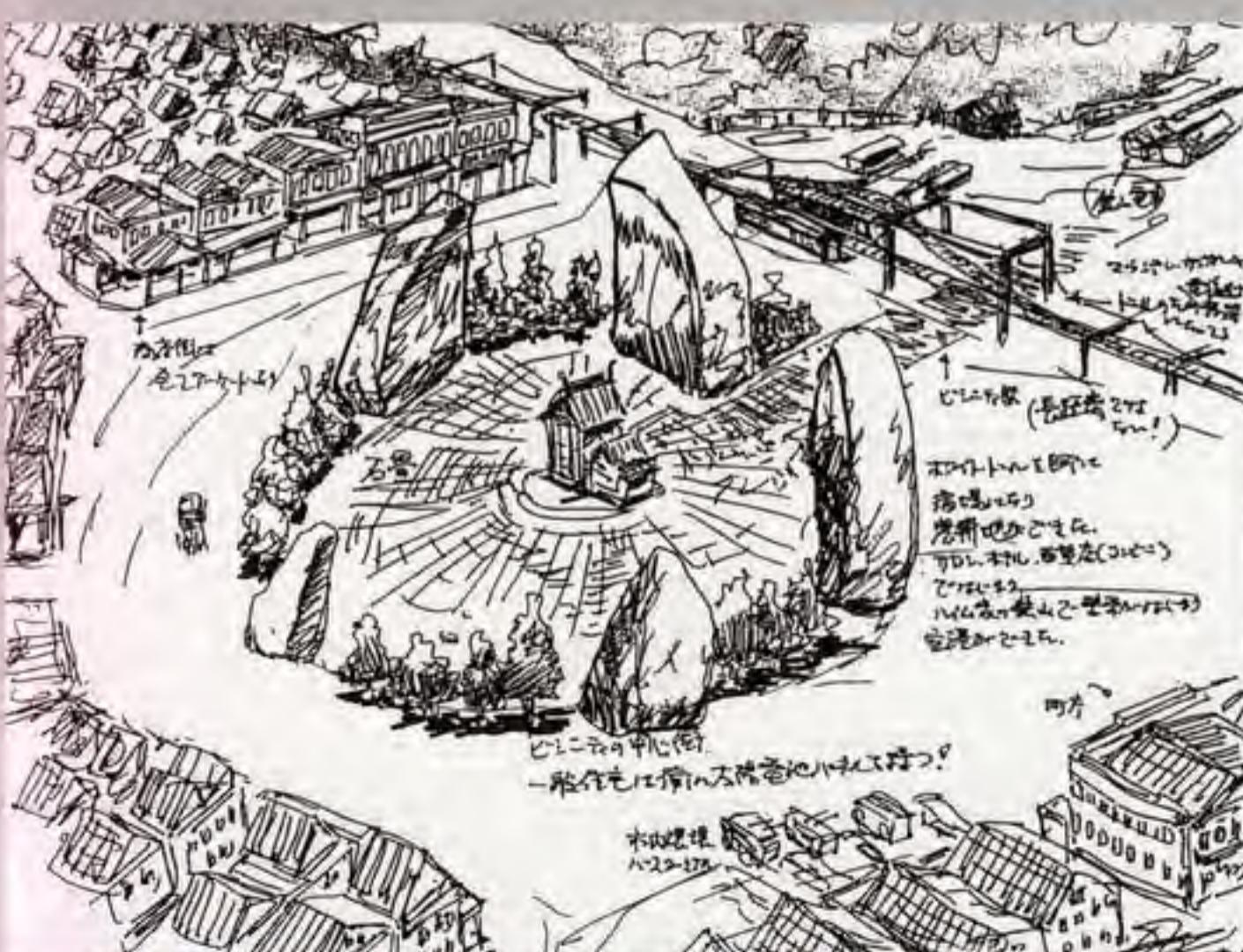


これが「V」の世界で描かれた空港の外観。これだけの高度な技術によってこそ、この世界にはそこまで先進的な物語ができる。

ビシニティの空港と町並
イングレッサの首都・ノックスの郊外として1話後半で丁寧に描かれ、その後も度々登場した街並み。懐かしいが、封建的な後進性がない、いわばありえない町であり、それこそ△的である。



こんな感じで、既存の技術と新しいテクノロジーが混在する世界で、時代感覚が一掃される。まさに、魔術都市とも言える。



これが「V」の世界で描かれた鉱山の外観。ここに描かれた世界は、20世紀初頭を思わせながらも、宗教や技術などの異なる世界。



ハイム邸外観。西側の裏庭の一面は、水の池で花壇が作られている。



ハイム邸の裏庭。動力が機械だとわかる。



ハイム邸の裏庭。動力が機械だとわかる。



ハイム邸の裏庭。動力が機械だとわかる。

鉱山と、その鉱山主という前世紀的な舞台立てながら、そこには電動モーターや太陽電池芝などのテクノロジーを見ることができる。また、使用人と気さくに話す主の姿にこの世界の一面が見える。

ハイム家とハイム鉱山

宵越しの祭り

通過儀礼としての成人式が、地域共同体の中でがんせんとして存在する世界。それを象徴するものは近代が失った、人が主体の社会ということだろう。これもまた、△という世界を如実に表す設定だ。



マクレテン・サイフルの娘のホワイトホールの祭場。その下にモヒルズーリ・ガが隠れていたか忘れ去られていた



ピニチ・中心部の神社小屋。その地下、△の墓地らしきものが広がっていた



初回のデサインはディアナ・アメリカン風で、アメリカ人がそれを考案したわけがないといつうの証。また土着文化の雰囲気が出る

「領主」が支配する封建社会でありながら、あくまで行政府でしかない。そんな作品世界の政治社会を象徴する建物と言える。というのも、城でありながら戦争が考慮されていない建物であるからだ。舞踏会の会場であり、またディアナ・カウンターとの交渉の表舞台としてノックスの崩壊まで物語の中心的な役割を果たす。ディアナの登場以降は、その半分がディアナ・カウンターに提供された。



とこの様式とも褶れず、堅苦とした外観が残されたところが面白い

ボストニア城



ボストニア城公園内の風景。△の城の性格をよく表している



ムーンレッス

から贈られ、
ボストニア城
内に備えつけ
られていて政
交官の隠れ家

電話機

地獄人同士の
連絡は、もう一
度う音のタ
イプの電話に
ある。左の電
話の方へひ
か回被されて
いるなど日本



イングレツサ領首都ノックス

工業化社会の黎明期にも似た世界と位置づけられた△世界をもつとも象徴するのがこのノックスであろう。区画整理された街並みに並ぶビル。そこにはデパートのような高級商店から、キースのパン屋のような町暮らしの庶民を相手の商売まで、さまざまな商売が成立している。また、広く整備された道路を自動車と路面電車が走り、長距離列車のターミナルがあるなど交通も充実している。せかせかはしておらず、人々がバヤタリティにあふれている世界。必要にして十分な社会資本が整備されている町。これもまた、なつかしくあり得なかつた理想の世界の具現と言える。



ビルの屋上にも太陽電池パネルが備えつけられ、街灯として電灯が使われ、床暖ではより石板が引かれている世界



△外れにもう片走列車のステーション。ここから各領土に交通が広げていることが伺える。△外はすぐに出雲御所が広がっている



運転士を抱える
ものの、過失の向
けに似ていない
地獄のデザインの
駆逐車



運転の運営の
運営を兼ねてい
ること、料金の
料金を支払っている
長距離列車

ロラン 自分の意志で Vを動かす

・ノックスの町はやられ、ハイム氏は亡くなつた。ディアナ・カウンターは、ミリシャの切り札・Vの捕獲作戦に出た。

家に入る前にジェシカとサムの態度を見て「お父様に何があったの?」って、薄々気が付くんですけどすごく不安なんですね。それで家に入るとお父さんが亡くなつていて……。すごくショックでした。で、そういう感情はあるのですが、これがきちんと表現できたかというと……、台詞はほとんど泣き叫んでいます。だから、絵と合わせないといけないという問題もあったので、技術的な意味でも難しくて苦労しました。実際、NGも多かったです。

ストーリー解説
祭の後
一夜明けて、戦争というものに対する考えが様々な立場で語られていく。

グエンはディアナ・カウンターに対し「侵略ではないか?」と抗議する。だがシドからVが発掘されたことを聞き、これで対等の交渉ができると喜ぶ。あくまでも軍事力を切り札として考えるグエンの態度は、実はこの頃から一貫していたのだ。そしてキエルはといえば、まだまだ事態を把握するのに精一杯だ。

そしてディアナ・カウンター側は、長距離ビームを発射したポウがしおらしく禁固刑を覚悟すれば、逆に人手不足を理由にしてV捕獲の任務を与える。ディアナ・カウンターにとつて地球にモビルス1号があつたのは最大の誤算だったのだ。

そしてロランは、キースと話したことでも図らずもVを動かしてしまった自分の立場と、ノックスの様子から戦争になつてゐるという事態を改めて認識する。だがディアナが地球に来さえすれば戦争は終わると、まだ無条件で信じている。

立場が違えば、現状の捉え方が異なるのも当然だろう。だがその違いが、新たな事態を紡ぎ出していく。

■村田秋乃(ソシエ役)

お父さんが亡くなつて泣き崩れるシーンが、やはり一番印象に残っています。

難しいといえば、ソシエには「撃つぞ!」とか「やられた!」とかいう戦闘中の短い台詞が多いんですが、これも難しかつたです。ある時、カプルに乗つて撃たれる場面で監督に「すごく怖いよ」と言われたのですが、それ以来、ああ死んじゃうかもしれないんだと思ひながらやらなきゃと実感しました。でもソシエってカツとなると我を忘れて突っ走るキャラだから、本人は危機感はあるけどやめられないのかな、とも思いましたが。

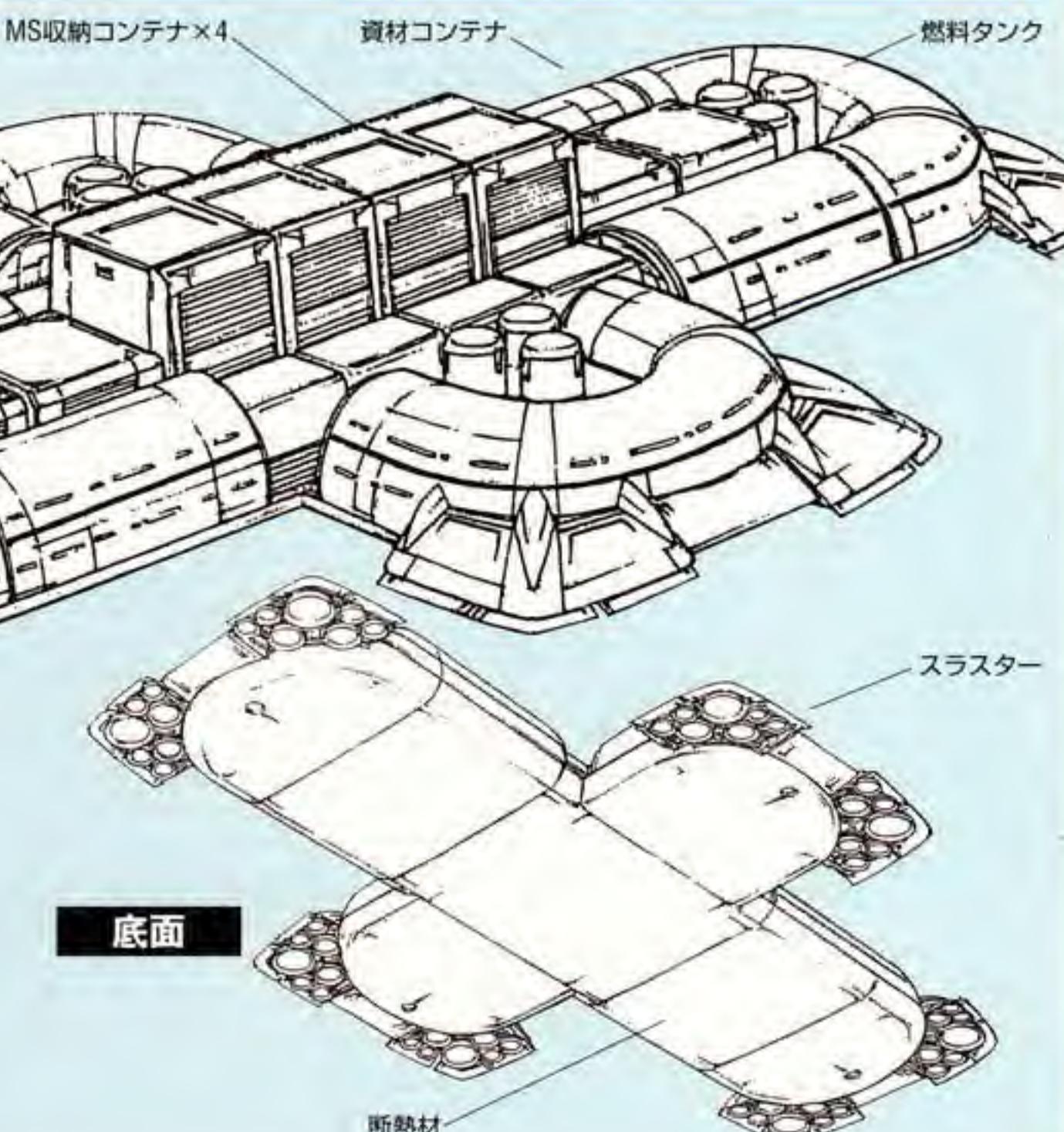
■スタッフの視点から

まだ、ビシニティからノックスまでひとつ走りとはいかないでの、キャラの出し入れを氣を使つていてましたね。キースがビシニティに来れたのは、飛行船に乗つたからとか、考へてます。

脚本上では二人の友情の物語みたいな所だつたんですが、最初に上がつた絵コンテではホワイトドールの説明とかばかりになつてしまつて。富野監督にもう一度脚本を読んでもらつて直してもらいました。富野監督はシナリオをひととおり読んで、一字一句シナリオと照らし合はせたりしないんです。「シナリオつて極端な話、テーマとお話が一致しているものであれば、ペラ一枚でいいよ。それがぴたり一致しているものであれば、俺はそれでコンテ切れる」と言って(笑)。でも、ライターの方に何度も直しをお願いして、面白いのを上げてもらつてるんですからちゃんと使ってもらわなきや。

ディアナ・カウンターの帰還船

全高●MS収納コンテナ部で20m強
船室部で13m位
全長●150m位
乗員乗客●500名位



ディアナ・カウンターが一般市民の帰還のため使用した宇宙船。ブリッジ側が前方となっている。また、底部は一面が断熱材となっている。着陸後は各バーツを移民用の資材として利用することを前提としており、そのため大気圧脱出能力はない。



ミリシャ軍曹ヤーニ・オビュス

ミリシャの現職軍曹をとる下士官。当初、ディアナ・カウンターが月から来たと信じられず、そのためウォドムも弾を当てれば簡単に落とせるカカシだと主張していた。

表情





モビルスーツ「ウォドム」

初めて地球人の前に姿を現したディアナ・カウンターのモビルスーツ。ある者はそれをカカシと思い込み無謀な攻撃を仕掛け、またある者はその地を駆けるさまに失神した。地球人から見れば異形の存在といえる。

対地対空
ミサイルハッチ
対空バルカン

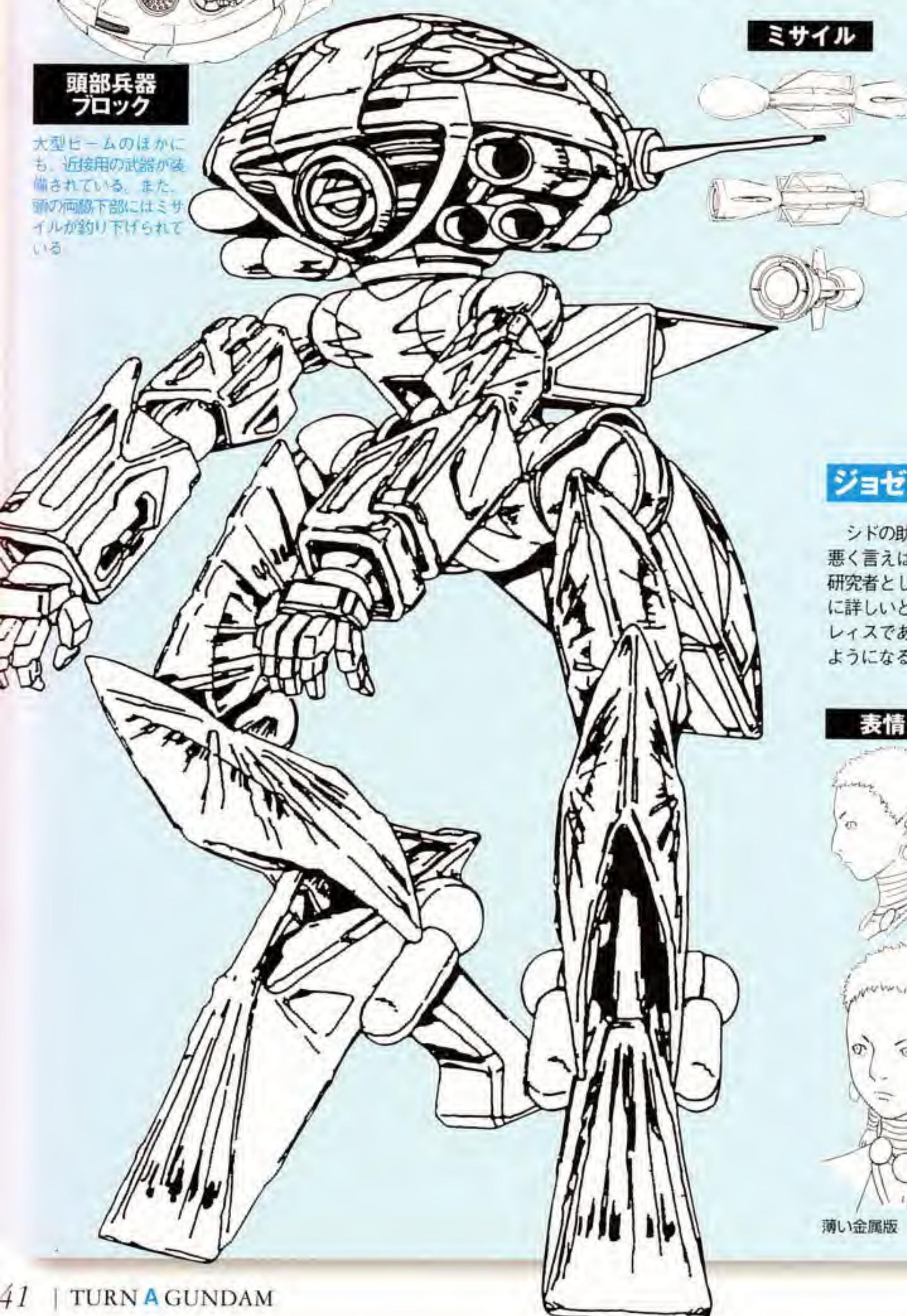


ビームキャノン

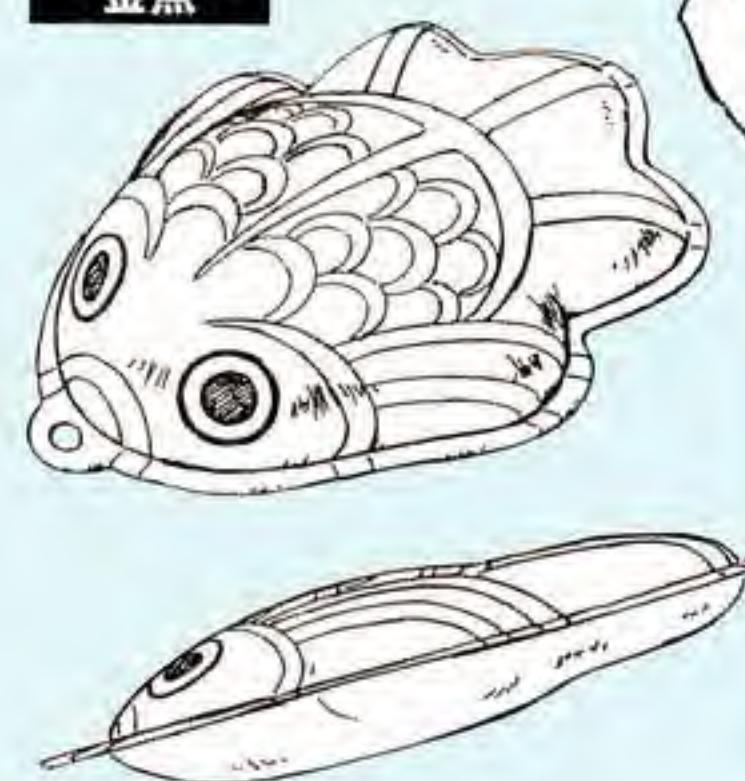
ウォドムの頭部は
ジェネレーターと
武器ブロック。こ
のビーム砲は対艦
用の大出力のもの
で、本来は地上で
使うものではない

頭部兵器ブロック

大型ビームのほかに
も、近接用の武器が装備されている。また、
頭の両脇下部にはミサイルが吊り下げられて
いる



ミサイル



ロランが月からわざわざ持ってきた宝物のブリキオモチャの金魚。だが、股間に激しい傷で飢えきれないとき活躍。役目を果たすため、前に後ろに、目まぐるしく場所を変えたという

金魚



ジョゼフ・ヨット

シドの助手である青年。良く言えば常に冷静、悪く言えばシニカルな物の見方をする。それは研究者としては貴重な資質なのだろう。黒歴史に詳しいと自負しているせいもあって、ムーンレイスでありアを操るロランに敵愾心を燃やすようになる。

表情



シド・モンザ

山師とは、この世界の鉱山、あるいは土壤技術者。その一人であるシドは、個人的な目的である黒歴史の研究のためグエンから援助を受け、多くの黒歴史の遺産を掘り出す。グエンへの報告でアに「ヒゲがある」と伝える。

表情



ムーンレイスのV捕獲作戦は不成功に終わる

ムーンレイスはVを捕獲することで、地球側はモビルス・ツを掘り出すことで、互いに交渉を有利に運ぼうとする。



第4話 ふるさとの軍人

感情を爆発させるのは、切り札の少ない方であるらしい。

地球側とムーンレイス側が初めて顔を合わせての交渉が始まる。だがその席上で地球側の出席者イルの長老がディアナ・カウンターの司令官アジ大佐を警で殺害してしまう。「妻と甥が殺されたから」という彼の叫びは納得できないことではない。だがやり方がまずすぎる。結果長老も命を落とし、交渉は物別れに終わる。

そしてソシエだ。父の葬式以来ベッドに潜りっぱなしだった彼女は、友人であるメシェーの言葉で自らの手で父の敵を討つことを考える。これもまた致し方ない思考回路とはいえ、復讐にこだわるという点では長老のやり方と根本的には同じものと言えるだろう。

そんな中、ロランはある意味不可思議な行動である。ディアナ・カウンターと直接会ったのだ。さすがに自分がVのパイロットである点は伏せてはいたが。これは未だに自分の立つ場所が揺れ動いているせいなのだろうか？ それとも無条件でディアナを信頼するが故の行為なのでだろうか？

■ 稲田徹（ハリー役）

収録の日に富野監督から「このハリーという人物は、地球の雨の暖かさに本気で感動している人です。喜んだり怒ったり

ラダラム・ケン(飛行服)



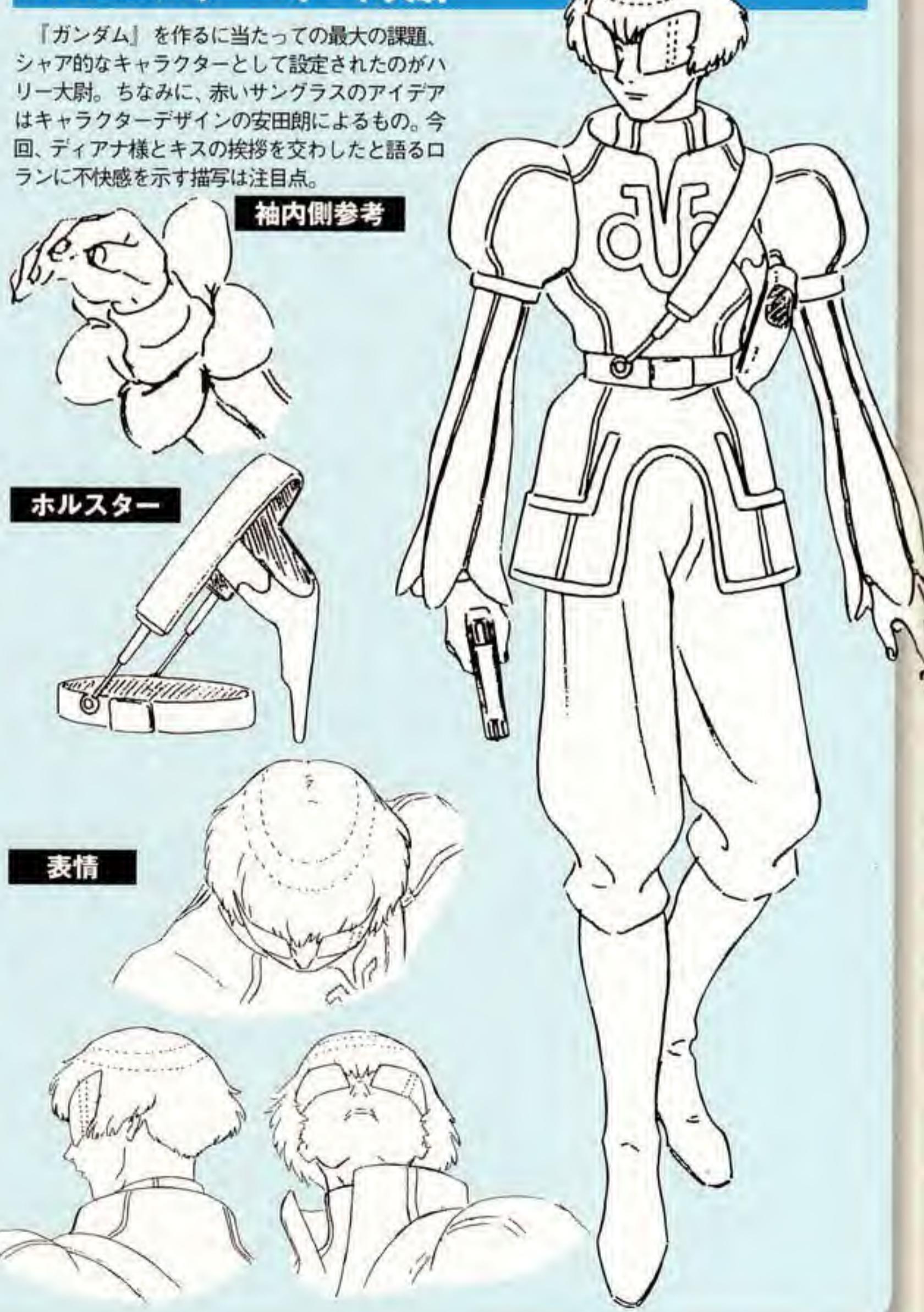
メシェー・ケン(飛行服)



ソシエ・ハイム(飛行服)



ディアナ親衛隊ハリー・オード大尉



ディアナ・カウンター
ボウ・エイジ少尉



ディアナ・カウンター
フィル・アッカマン大尉



今回はロランをディアナ・カウンターの駐留地まで連れてくるなどの活躍も見えた。だが、フィルの冗談に涙ぐむ姿が今後の彼女を決定づけた

気落ちしていたボウに笑えない冗談を飛ばし泣かせたり、アジ大佐が暗殺されたときにはハリーばかりに手を伸したガーズをしたり意外とお茶目



ハリーみたいな人が大好きなんですよ」といわれました。それ以来、これが僕自身のハリー観の基本になっています。でも僕はハリーは職務には忠実なんですね。アジ大佐が暗殺された時も冷静沈着に行動していましたし。その一方で「ディアナ様の尻」と言われて大激怒する……このギヤップに何ともいえない人間味があつて、それがハリーの魅力の一つになっているのではないでしょうか?

シーンで一番印象に残っているのは27話「夜中の夜明け」の冒頭の、ディアナと一緒に私服姿で風が吹く麦畑に立つ場面ですね。あの光景にはハリーが望んでいたこと全てが込められているような気がします。OAで観たとき、思わず泣いてしまったくらいですから。毎回ストーリーを把握するのに精一杯で独自の解釈をする余裕はありませんでしたが、ハリーはローラに惚れていたような気もします。

■スタッフの視点から

ロランが「せいいれき」と言っているのは、最初の設定では「西暦」の予定だったからなんです。西暦二千何年だから宇宙世紀が始まるけど、その後の歴史をなかつたことにしてリセットしたとき、西暦を数え直していたという設定で。だから、最初は黒歴史から二百年ほどしか経っていないつもりだったんです。ところが富野監督が「二百年じゃ少し足りないな」と。二千年経っていることにして、「正暦」という嘘の年号をつけたわけです。

ラストのアジ大佐の死。当初はグエンが手を下して、その場を収めるためにイールの長老を自分で殺してお互い様にする予定だったんです。ただ、それだと富野監督が「イデオン」方向に突っ走りそつたので(笑)、みんなで止めてフィルムのようになつたんです。ただ、そうした方が、グエンも行動力が出て、後半の悪役になつてから辛くななくてすんだかも知れませんね。

小型モビルスーツ「アッド

メカデザイン/
大河原邦男



ボウのウォドムに従い、△に対して攻撃を仕掛けた。だが、△に捕まえられたり、ミリシャに落とし穴に落とされたり、さんざんな目にあう。

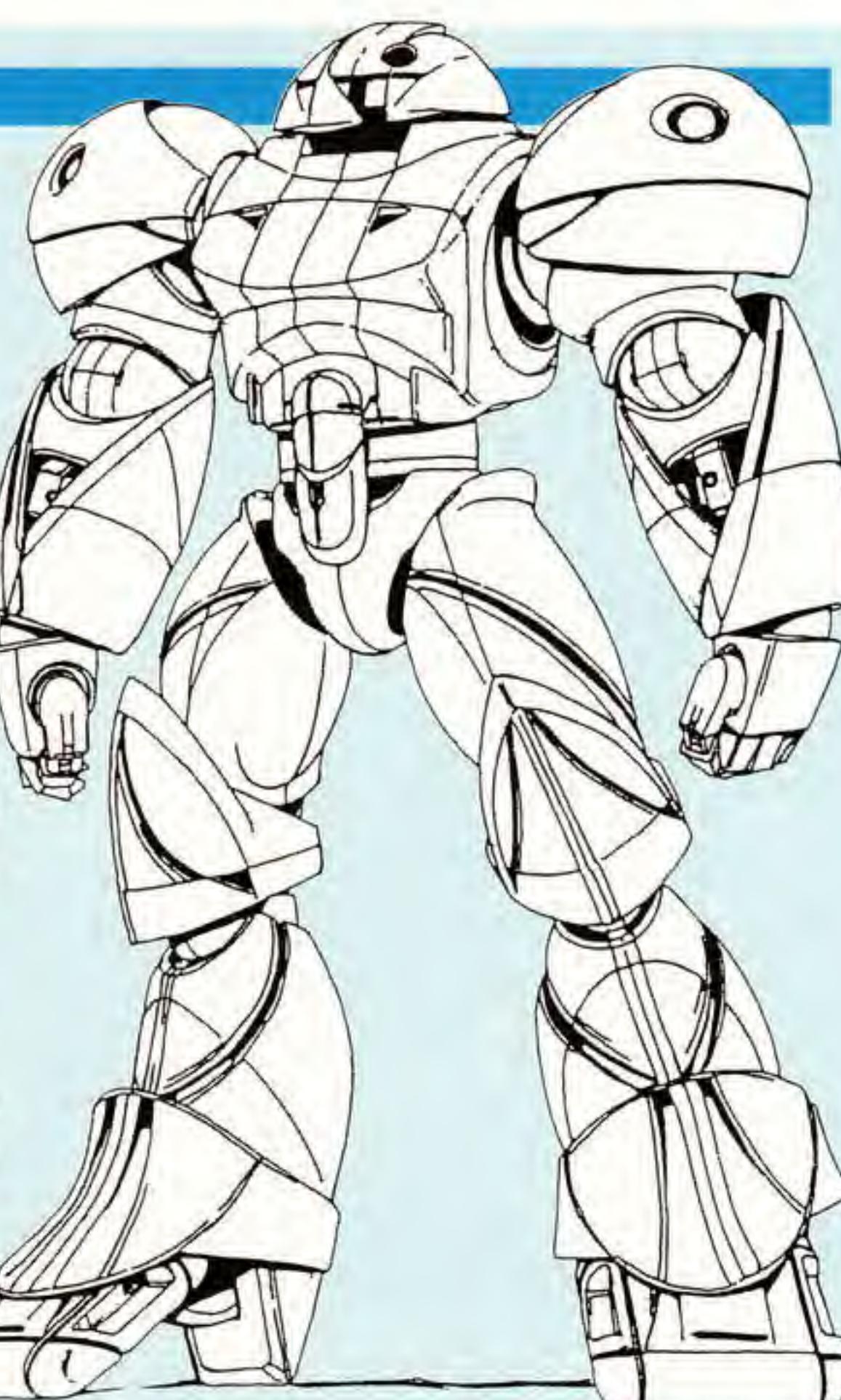
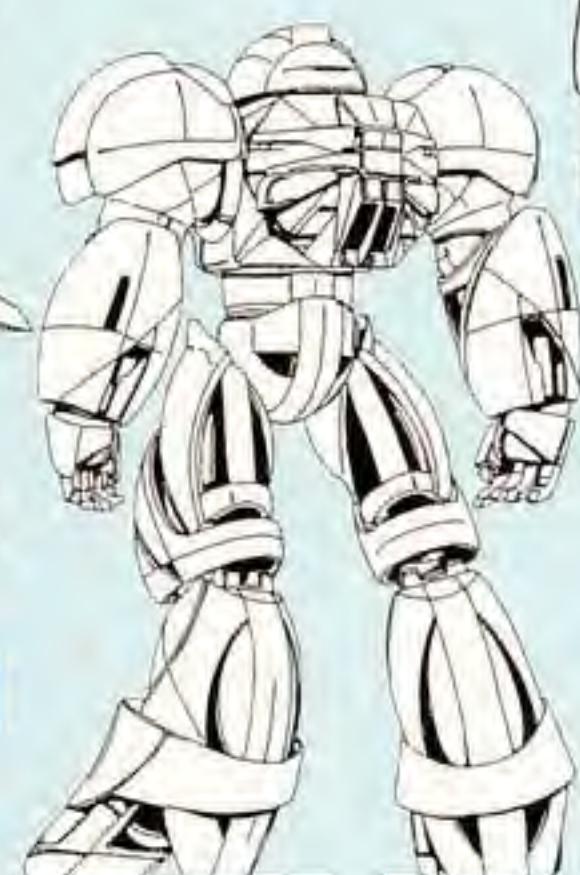
発掘された機械人形カプル



この話のラスト、マウンテン・サイクルからボール状の姿で発見され、発掘される。

モビルスーツ「スモー

ディアナ親衛隊専用のモビルスーツ。近接戦闘用として月で開発されたものらしい。隊長機は金色、一般機は銀色に塗装されている。地球への降下中、ハリーがコクピットから身を乗り出していたのが印象的。あの時は自動操縦だった?



ディアナ・カウンター アジ大佐

ディアナ・カウンターの司令として優れた人物だったようだ。しかし地球側との会談中にイルの長老の暴走によって殺されてしまう。



スモーの顔面がどうなっているかは長らく謎で、当面はファンの間でもこれかスモーの顔として認識されていました。

表情

交渉が進まない中
月と地球の軍隊は
ぶつかり合ふ

ソシエは飛行機とモビルスー^ツのバイロツトとしてミリシヤへ。キエルにできるのは妹と母を心配することだった。

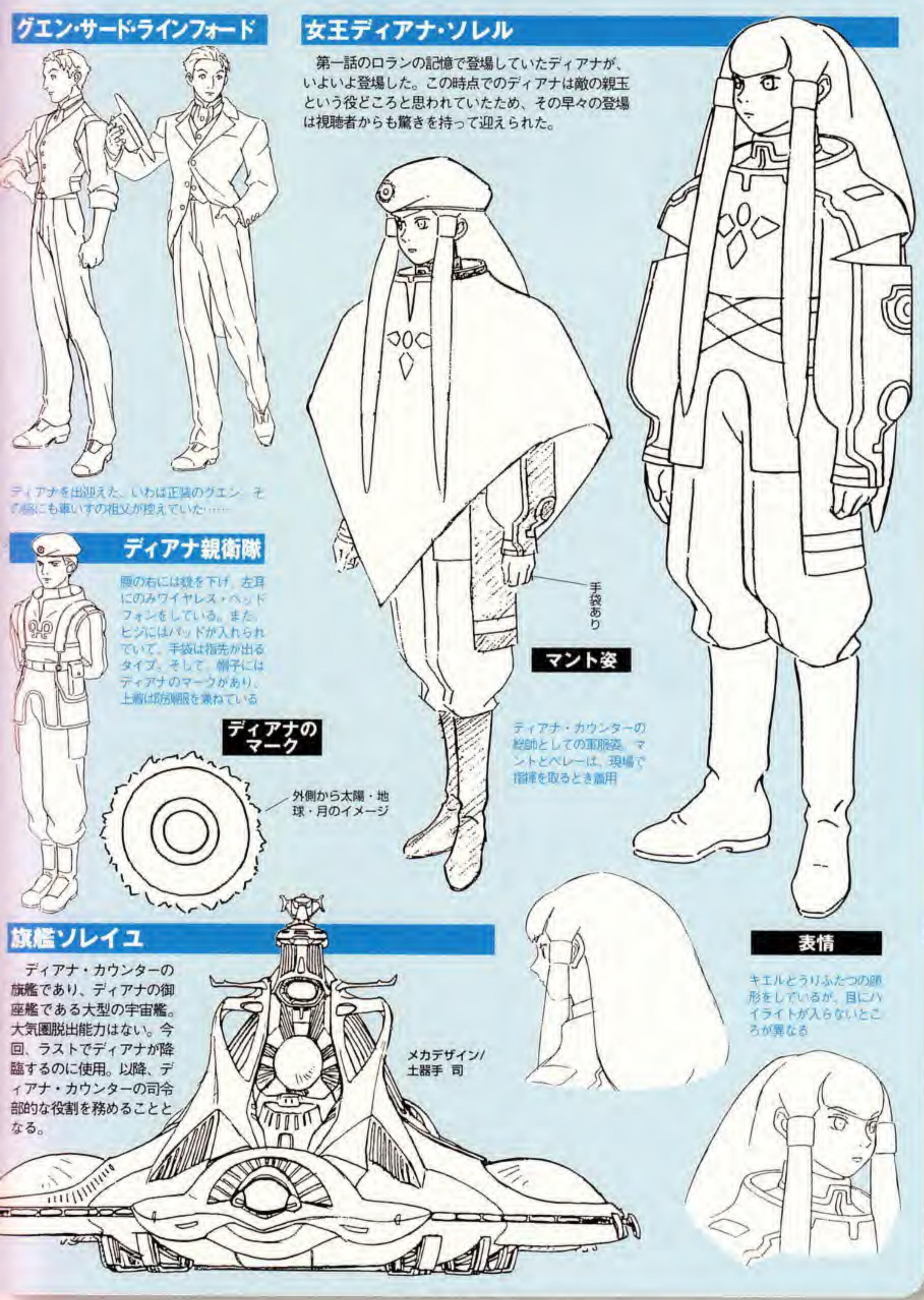
第5話
ティアナ降臨

新しいモビルスーツを発掘したミリシヤの行動は、どんどんエンの意志から離れていく。まずは装甲車部隊と飛行機部隊とで、ムーンレイスの民間人居留地を襲撃し、モビルスーツを奪い取ろうと

■ストーリー解説

する。もちろんこれが成功するはずもない、一時メシェーはディアナ・カウンターに捕らえられてしまう。さらにはディアナが地上に降りる際、示威行為として▽を見せつけようとするグエンの命令を曲解し、全軍あげてディアナ捕獲作戦を展開しようとすると、

つは最初はバンダイさんと相談して再販したいプラモのリストとかもらって検討していたんですね。けど、みんなで相談していたらなぜかそのリストにないカプセルに決まってしまった(笑)。これはシルエットがほかのモビルスーツと全く異なるつていて、デザインのとらえ方にミードさんと共通するものが感じられたからです。だから、プラモが出ていないというのは、逆に意識していなかつたんですよ。





ミリシヤはディアナを
捕らえようとするが
失敗に終わる

ミリシャはノックスから撤退させられる。デイアナを迎えたものの、交渉は依然として平行線のままだった。

忘れられた過去

■ストーリー解説

まだ△の専用兵器は発見されていない。ところがロランが△に乗つてマウンテン・サイクルへ向かおうとすると、突然モニターが反応し、ストーンサークルつまり「おみこしの小屋」の地下にある武器庫へ辿り着いた。武器の大半はナノマシンの機能が破綻していたためか使い物にならなかつたが、唯一ハンマーのみ使用可能だつた。ハンマーは振り回せばシールドになり、打ち付けて回転させればドリル様になる。ハンマーはマウンテン・サイクルにいたウオドムを撃退した後に崩壊した。まさにファイルのいう「蛮族」的な武器といえよう。

■スタッフの視点から

最初、△が胸のサイロの武器を使うと基地からワープか何かで補給されるというアイデアもありました。でも、それだと直接相手に送り込めるんじゃないかなと。いうことで、その話はうやむやに。

ミリシヤの増援が来ての宴会は、絵
ンテ段階で追加されたものです。富野さ
んが誰かにイタリア人は戦争に慣れてい
て、だからこそ家族と食事を大切にする
というのを聞いて、増援が来たときには
みんなで飯を食つたらいいんじゃないか
と宴会シーンになつたわけです。時代の
雰囲気とか緊張感のない雰囲気とかも出
せていいシーンになつたと思ひますよ。

ミリシャの女性兵士



援軍として登場したミリシャの女性兵士。宴会で「愛は宇宙を救う」と口にしたりもするが、宇宙をどう理解しているのかは謎。

男性と回じ娘

ミラン・レックス

当初、ミランの立場は明確に決められておらず、そのためかディアナへの忠義の厚さが全面に押し立てた描かれ方をしている。

手稿

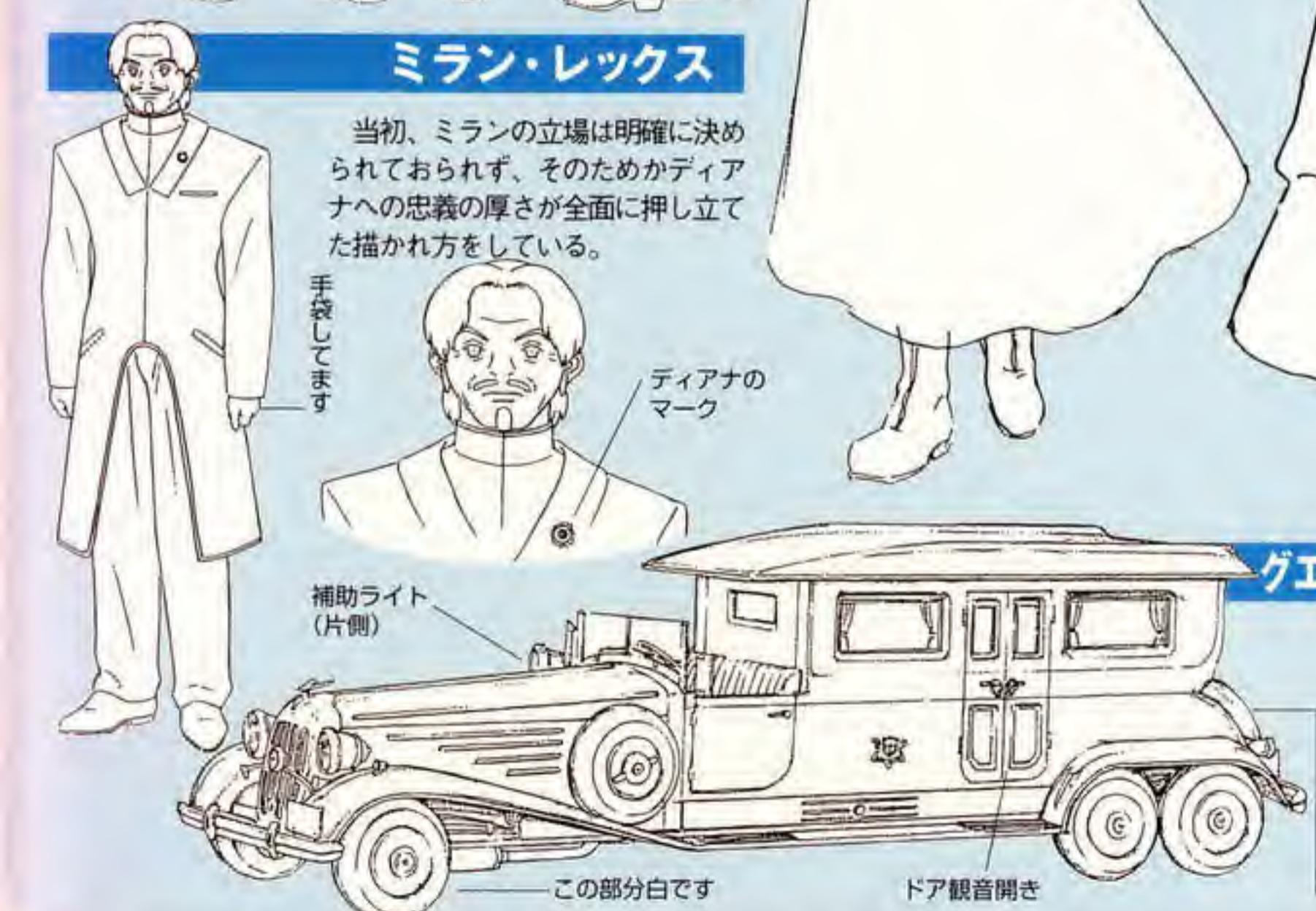


あまり美人に描かないとダメあり



キエル・ハイム(公務姿)

グエンの秘書として活躍をはじめたキエルのドレス姿。この話ではじめてディアナとキエルのツーショットが登場することとなった。



→ グエンたちのリムジン

グエンがティアナをボストニア城に送るために使用したリムジン。ミランとグエンの祖父も乗っていた。だが、ミリシャの暴走で途中で下車せざるを得なくなる

スペアタイヤ

町で商売がしにくくなつたキースはムーンレイスの注文を受ける

ディアナの提案で、月と地球との親睦パーティーが開催された。ロランはムーンレイスのバイロットのローラとして出席する。



貴婦人修行 第7話

ストーリー解説

ロランの女装姿だけでなく、細かい部分もチェックしておきたい。まず領主たちが、伝書鳴で伝令を下して密かに軍隊を動かそうしている。伝書鳴はギャロップでも使用されているところを見ると、この時代の地球では一般的な通信方法らしい。また地球側が一枚岩でないことは、後のルジャーナ・ミリシャの行動の伏線ともいえる。また、ディアナ暗殺未遂者が酸素呼吸器を落としていたのをハリーとロランは見る。酸素呼吸器は後にアナンが使っているようにムーンレイスのものだ。だがミランは暗殺者はミリシャと決めつけ、グエンもそれを受け入れる。

スタッフの視点から

最初、富野さんの構成案だと今回の舞踏会の話と次の牛の話（第8話）で一本の予定だったんですよ。それでロランだけじゃなく、ハリーも女装をして、そのまま戦うという話で。それは変更されました。だが、替わりにハリーはあるのタテじまの服。これで変な奴というキャラクターがたっちゃいましたね。

ケーキのデザインのため結婚式の本とか、ゼクシイ（リクルート社発行の結婚総合誌）とかを参考にしたりしました。それと、ケーキの台座から出てきた暗殺者の正体は明確には語られていませんが、ムーンレイスだという設定でした。

ヤーニ(タキシード姿)



グエン(タキシード姿)

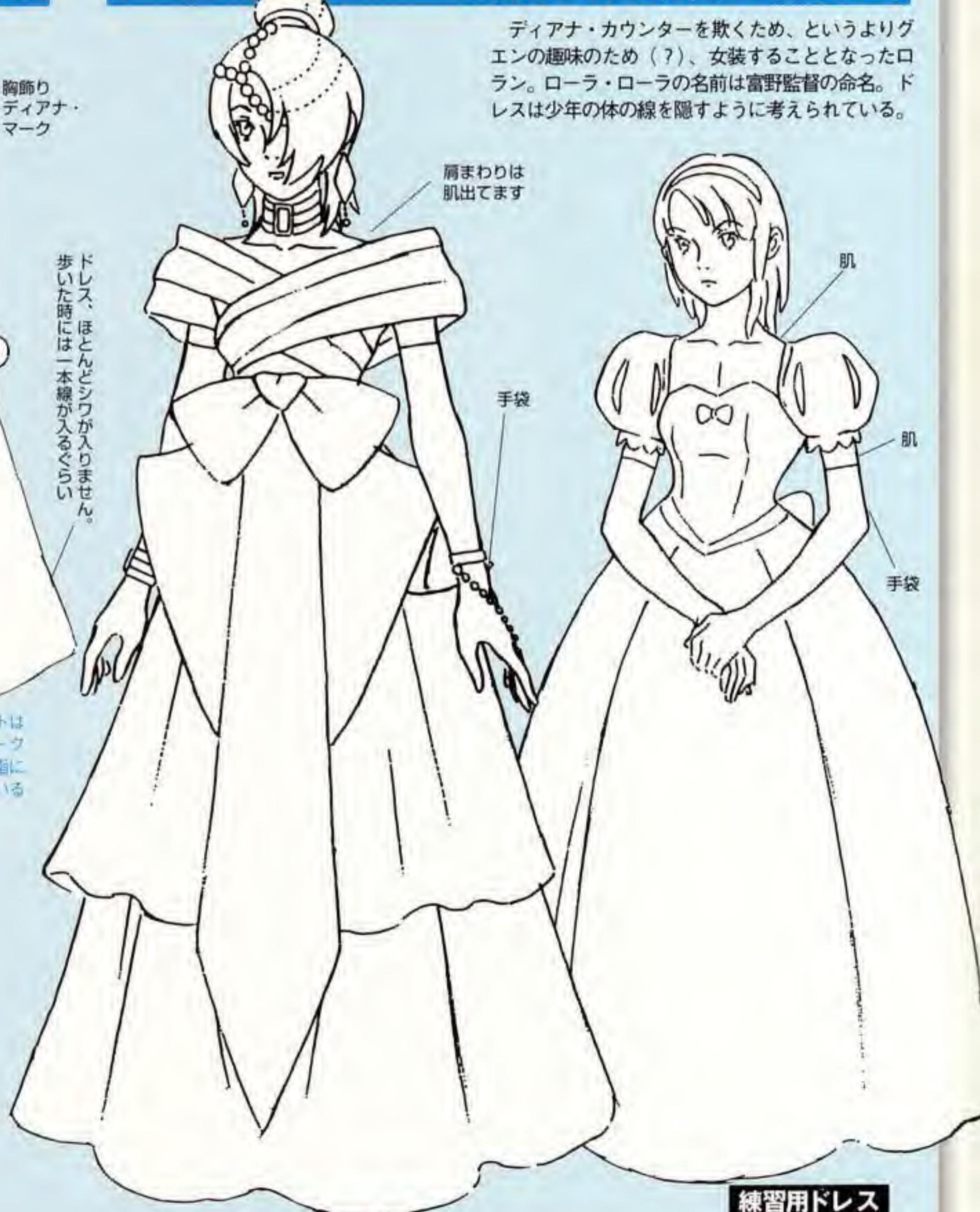


ディアナ・ソレル(パーティードレス)



ロラン・セック(ローラ・ローラ)

ディアナ・カウンターを欺くため、というよりグエンの趣味のため（？）、女装することになったロラン。ローラ・ローラの名前は富野監督の命名。ドレスは少年の体の線を隠すように考えられている。

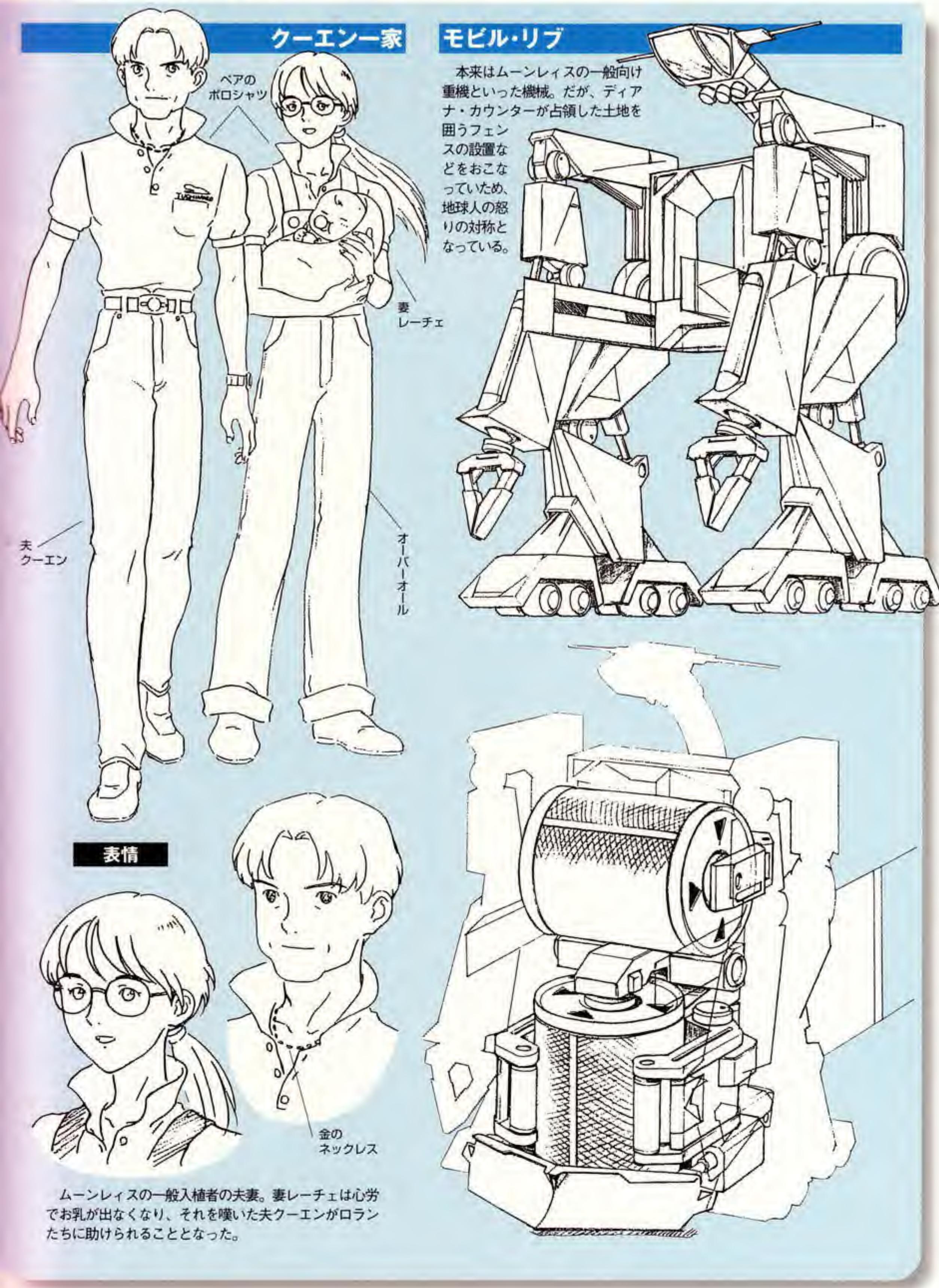


キースと自転車

ノックスから人々が避難をはじめ、キースは前回からパンを売りに町に出ることとなった。当初は、ムーンレイス好みの味なので、地球人には不評という設定も考えられていた。



練習用ドレス



Episode #08

ロランが月の民だと知ったソシエは口ランを叩く

赤ん坊がいるムーンレイス帰還民一家のため、ロランは

ロランがムーンレイスの帰還民を助けていたというサイドストーリーかと思いきや、最後にはロランが自分がムーンレイスであると告白するという、ある意味で非常に重要な回だ。一方のディアナ・カウン

第8話 ローラの牛

■ストーリー解説

ロランがムーンレイスの帰還民を助けていたというサイドストーリーかと思いきや、最後にはロランが自分がムーンレイスであると告白するという、ある意味で非常に重要な回だ。一方のディアナ・カウン

ターやは帰還民の苦労に気付こうともせず、それどころかマガ動けば軍事行動と思いつ込んで攻撃を仕掛けてくるなど、過剰反応を示している。また細かい部分だが、フランがソシエに「好きな人できた」と告白している点も見逃せないだろう。

■スタッフからの視点
ディアナ・カウンターのお金というの

は、たぶん軍票みたいなものなんでしょうね。偽札を刷っているという可能性もありますけど、それはたぶんエンさんが許さないでしょうから。地球人からみればどつちも紙くずでしょうが……。もつとも、月から持ってきた雑貨や携帯食糧を売れば、いいお金になる気もあります。だから、今回だけ出てきたハリーの自動車なんかはそうして手に入れたのかかもしれませんね。

ムーンレイスの
ロランを認めない
ソシエはVを操縦

月から爆弾の山よりも危険な男、コレンがやつてきた。
は「ガンダム」と戦うためにミリシャへ攻撃を仕掛ける。

彼

ルをフラットへ案内する途中でコレン機と会った際に「早く来てこいつらをどかしてくれ！」ぼくの一生がかかるんだ！」と。なおキースがミハエルに「ミリシャのために一度に沢山のパンを焼けた工場を欲しいんです！」というのは、すでにムーンレイスにもパンを焼いている（この回でもハリーに捕らえられたロランがキースのパンを食べるシーンがある）ことと合わせて考えると、この先キースのパン工場が両軍の中立地帯となり、さらにはミドガルドの潜伏場所となる伏線とも思われ興味深い。

まもなく博打を打つかもしれないと予想させるのがキエルだ。ソシエをVで出撃させるグエンに不信感を抱く。キエルがグエンから離れて第一歩を踏み出す、その始まりと言えそうだ。

川津泰彦（コレン役）

何といっても、作品中一番最初に「ガンダム」と呼ばせて頂けた事に感動しました。でも「ガンダム！」と叫ぶところ

ではテンションが上がり過ぎて「ぎゃんだむう！」となってしまい、録り直しましたけれど。それと、それまでどこか長閑だったVの世界に、いきなり股間に矢印を付けた男が登場したのですから、皆様の中から浮かないよう、そりやもう注意しました。とはいってもこの頃でしたし。ただ、あの官場の時にコレンの顔を見て「これ、何だ？」と思つてしましましたが。

でも、コレンが抱えていたトラウマの原因でもありキーワードでもある「ガンダム」が、ああいった形で以前の作品と繋がっていたには驚きました。富野監督には十年二十年たつても一つの作品として成り立つ、流行や受け狙いではないしっかりした世界観を作り上げる意識を持つようにといわれましたが、納得できました。監督と仕事をしたのは初めてですが、ストーリー・台詞、作品へのこだわりの深さには驚かされました。その情熱が演技の原動力になりました。

スタッフの視点から

コレンがローラの正体がロランだと気付いているかどうかについては、富野監督は「うん。ハリーはローラがロランだと気付いているよ」と言うんですけど、その後なにか曖昧な表現が続いているひどつわからぬ。ま、ハリーは気付いてないふりをして、利用しようとしたんでしょう。このころは、まだハリーも賢いキャラの可能性もあつたですから（笑）。ハリーもそうですが、ディアナさまがローラとロランの関係に気づくシーンが作れなかつたのは心残りですね。

シナリオではアグリッパの名前が初めて出た話です。じつは、アグリッパの姿は制作発表の時のカラーバネルにも描かれていたんですけど、その時点では見た人にもわからないですよね（笑）。まあ、この紛争の黒幕にしようというのが決まったのもこの頃でしたし。ただ、あの官僚的な性格というのはまだ考えられていませんでした。気が小さいから隠れて色々嫌がらせをするんだろうな、という話は出ていましたけど。

コレンは、コクピットに立ちしてこのメガホンでおびき出すために「出てこい」と叫ぶ



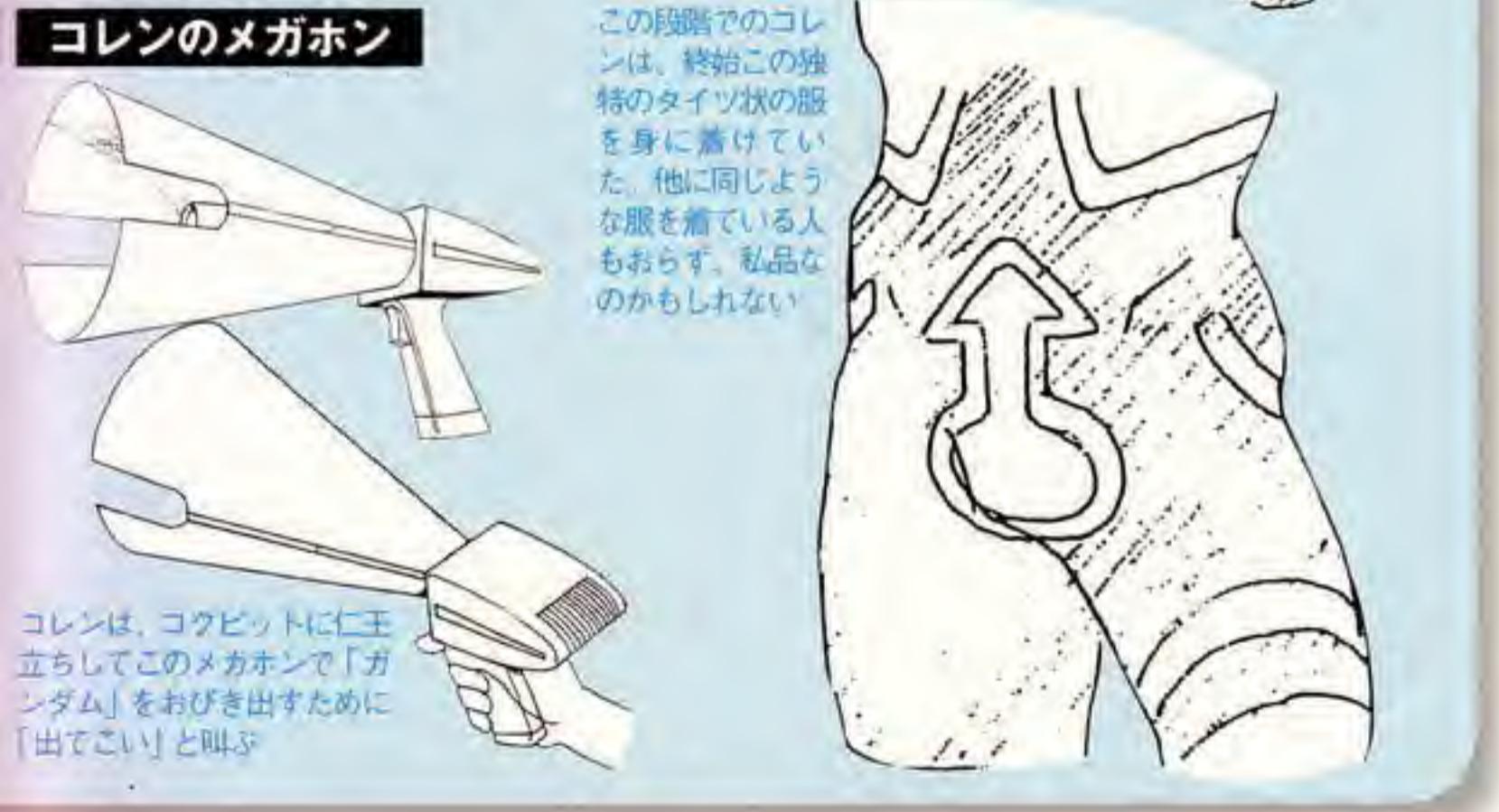
ディアナ・カウンターコレン・ナンダー軍曹

アグリッパがディアナ・カウンターを混乱させるために送り込んだ危険人物。なにをやらかすのかわからない危ない奴として描かれるが、Vをガンダムと呼ぶなど、ファンに波紋を呼んだ。



コレンのメガホン

この段階でのコレンは、終始この独特のタイツ状の服を身に着けていた。他に同じような服を着ている人もおらず、私品なのかもしれない。



コレンは、コクピットに立ちしてこのメガホンでおびき出すために「出てこい」と叫ぶ

■ 第9話
コレン、ガンダムと叫ぶ

コレン、ガンダムと叫ぶ

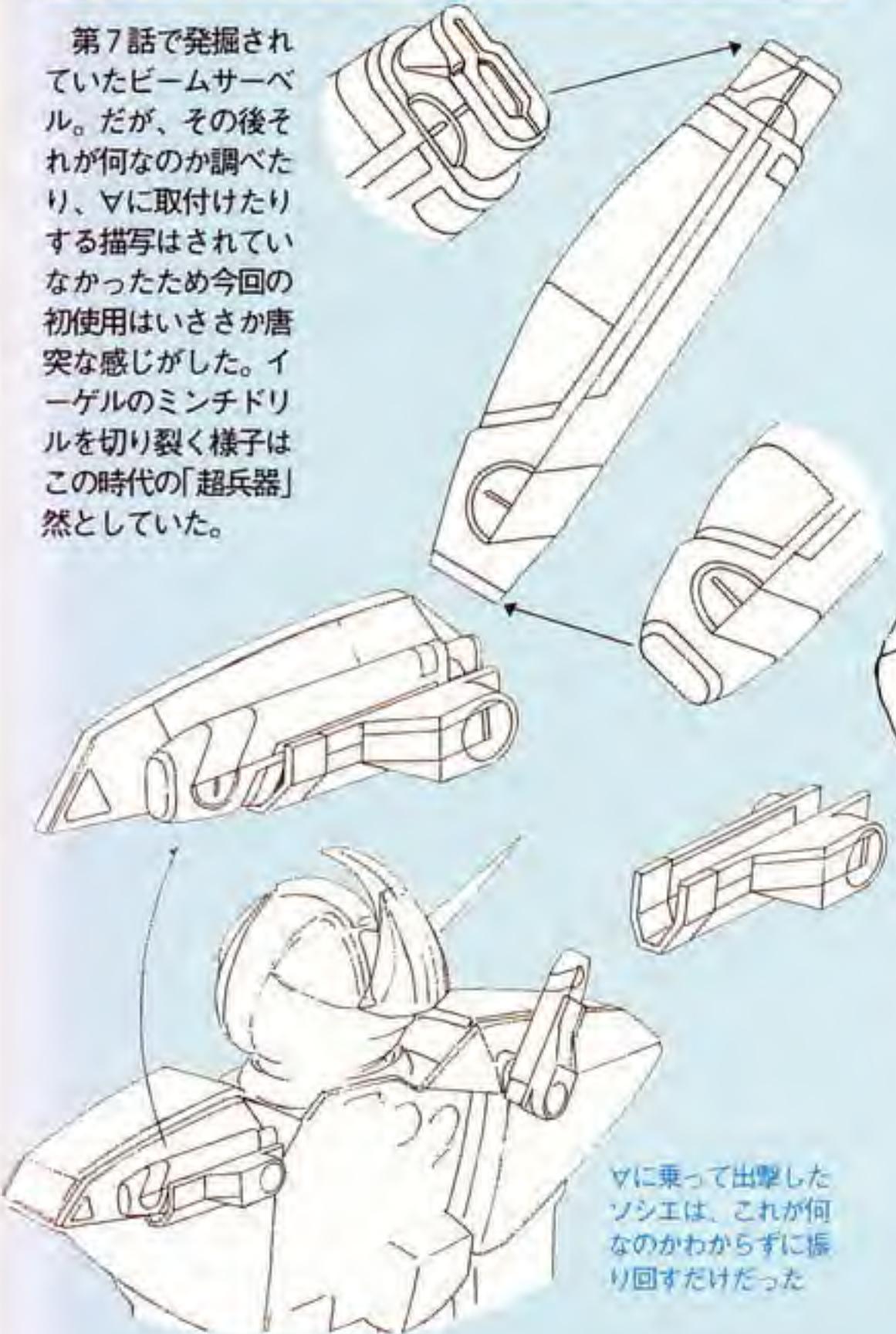
コレン、ガンダムと叫ぶ

コレン、ガンダムと叫ぶ



Vガンダムのビームサーベル

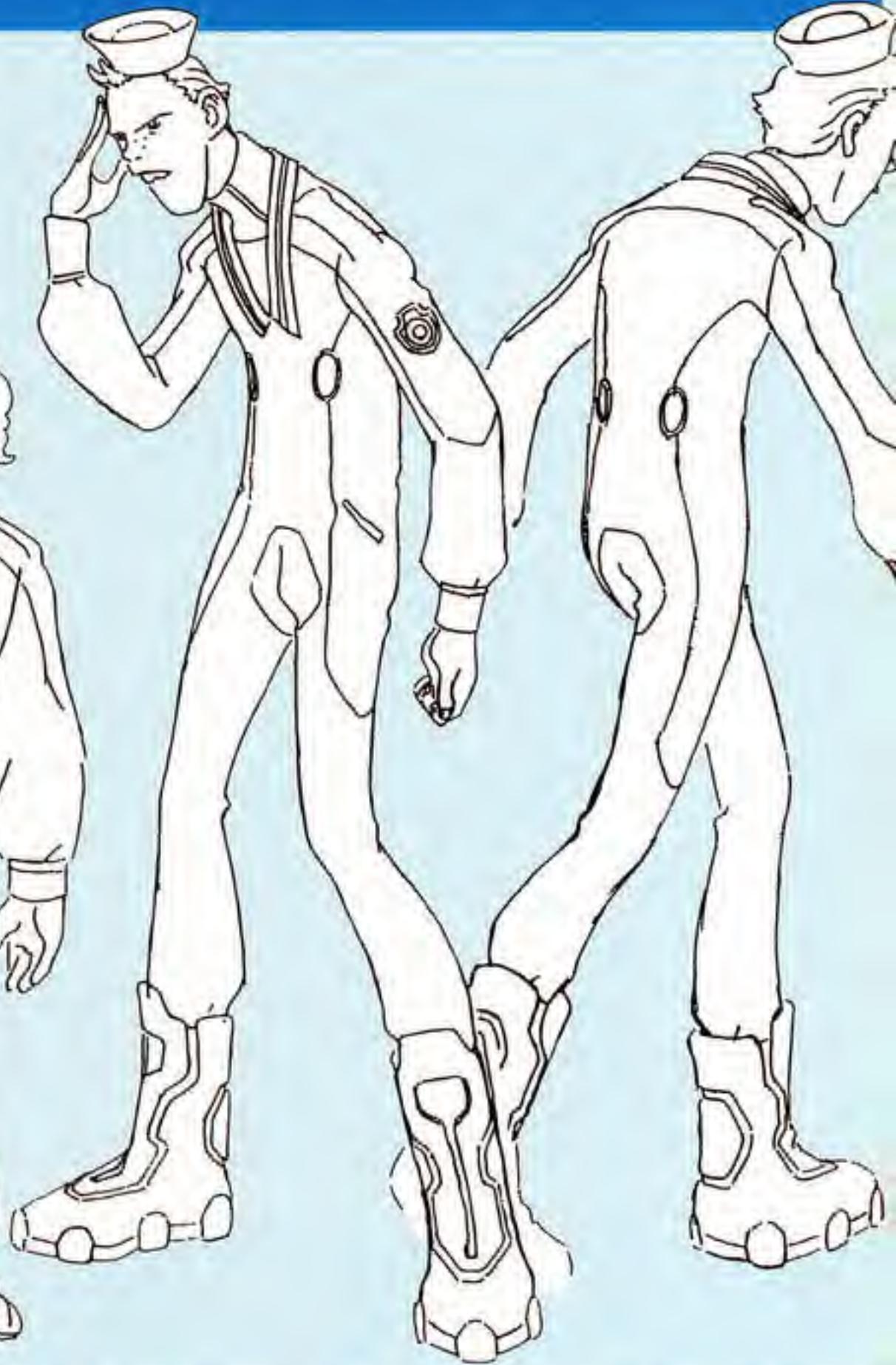
第7話で発掘されていたビームサーベル。だが、その後それが何なのか調べたり、Vに取付けたりする描写はされていなかったため今回の初使用はいささか唐突な感じがした。イーゲルのミンチドリルを切り裂く様子はこの時代の「超兵器」然としていた。



Vに乗って出撃したソシエは、これが何なのかわからずに振り回すだけだった

ブルーノとヤコップ

コレンの部下としてさっそうと(?)現れた二人。ブルーノ(右)とヤコップ(左)。あくまでコレンの腰ぎんちゃく的な部下として、ディアナ・カウンターにもあまり好意的には受け取られていない。

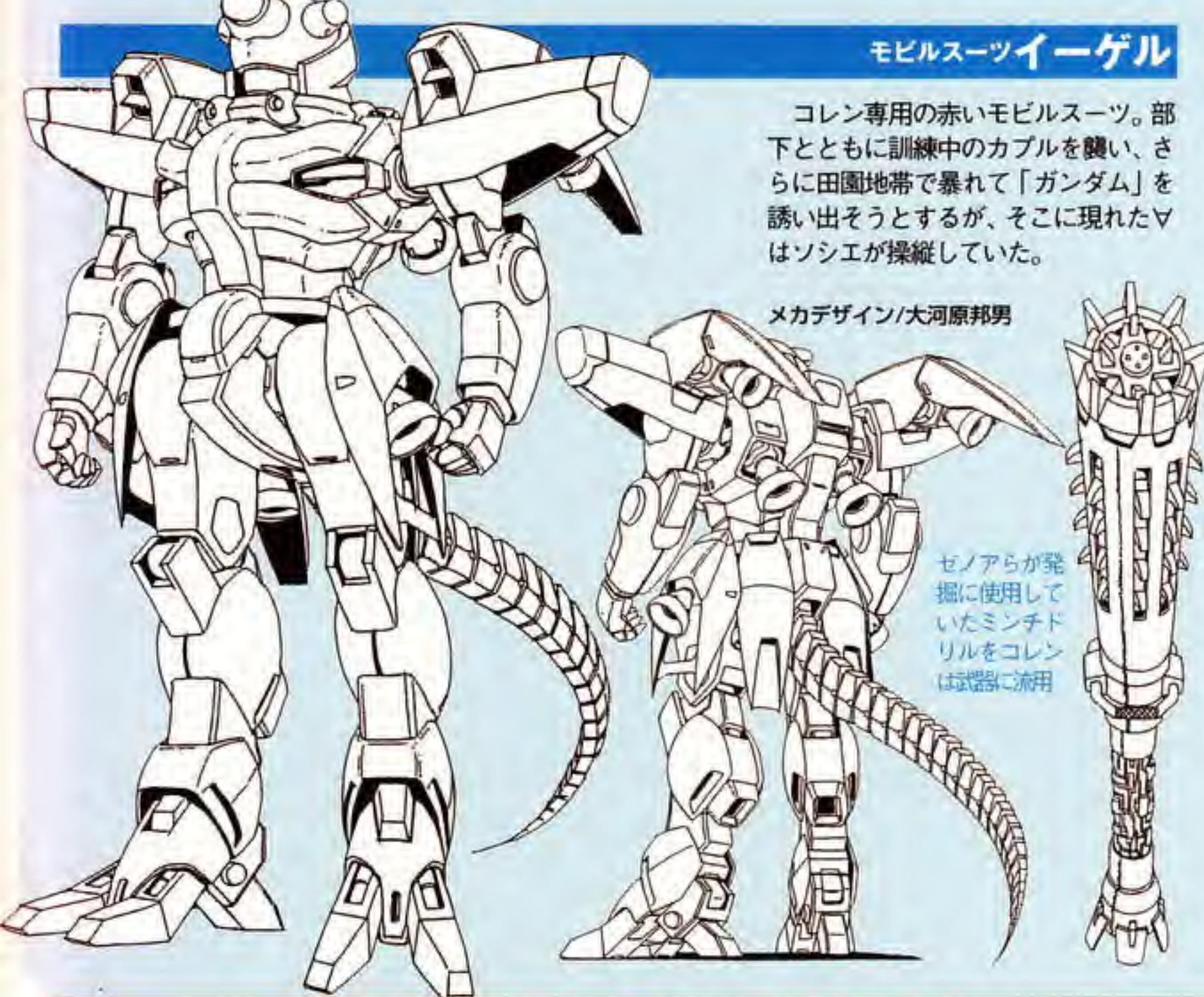


モビルスーツイーゲル

コレン専用の赤いモビルスーツ。部下とともに訓練中のカブルを襲い、さらに田園地帯で暴れて「ガンダム」を誘い出そうとするが、そこに現れたVはソシエが操縦していた。

メカデザイン/大河原邦男

セノアラが発掘に使用して
いたミンチド
リルをコレン
は戻路に流用



ディアナ・カウンターゼノア少尉

当初からマウンテン・サイクルの調査をすすめていたゼノア。いきなりコレンの上官とされ戸惑うことになる。



表情



ディアナ・カウンター・アン・少尉

補給担当らしい彼女は、物資に紛れて届けられたコレンの存在に狼狽する。



EPISODE
キエルとなつたディアナは戦場だった場所や戦争の被害者を目撃する。その結果ハイム氏の墓で泣きながら謝罪する。

ディアナとキエル ちよつとした悪戯で 入れ替わることに



墓参り

ストーリー解説

前話でカブルの操作手引き書があり、

それがパイロットたちに配布されていることが明らかになった。ジョゼフの言葉「こいつの文章を写真にとつて焼き増してますけどね」より、このマニュアル

はこのようにして作られたということがわかった。ジョゼフはこの言葉をマの電気手帳を見ながらついているが、カブルの手引き書がマの電子手帳を複写して作られているとは考えにくい。この回でキ

ースがフラットの発掘に立ち会いながら「マニュアルみたいなの、あるはずです」といつていることからして、カブルの電気手帳も発掘されたのだと考えられる。マと同じく、コクピットのシートの下にあつたのだろうか？ ミリシャのパ

イロットが電気手帳をそのまま使わないのは、カブルの台数より電気手帳の数が少ないのであるからだろうか？ それとも電気手帳の操作自体が、ミリシャの者にとって難しいからだろうか？ それとも我々が日頃よく感じる、モニタでばかり文字を読むのは疲れるからだろうか。

シドによればこの電気手帳は、黒歴史の技術史では「こんぴうたのう」とよばれるらしい。ちなみにこの電気手帳、一見樹脂製のページを持つハードカバーのノートのようだが、実は超高解像度高分子体薄膜ディスプレイとなっている。またマの電気手帳には、ユーザーの操作

状況からその習熟度を自動的に判断して表示内容のレベルを調節するオートチュートリアル機能が搭載してあるらしい。であればジョゼフがいうように「こんぴうたの情報を全部出し出す」のはかなり困難だと思われる。口ランがムーンレイスと知つて態度を変えたジョゼフ、こんなところでも口ランに意地悪か？

スタッフの視点から

1番最初は、キエルとディアナが入れ替わるという話はなかつたんですね。そつくりだということは決まっていたのに。そもそも、口ランも地球人で、月に行つて初めてキエルとそつくりのディアナと出会うという展開だつたと思います。

それが、口ランをムーンレイスにしようとすることになつたんですね。でも、そのときはまだキエルとディアナの入れ替わりは『影武者』みたいに陰謀によるものにしようという話でした。

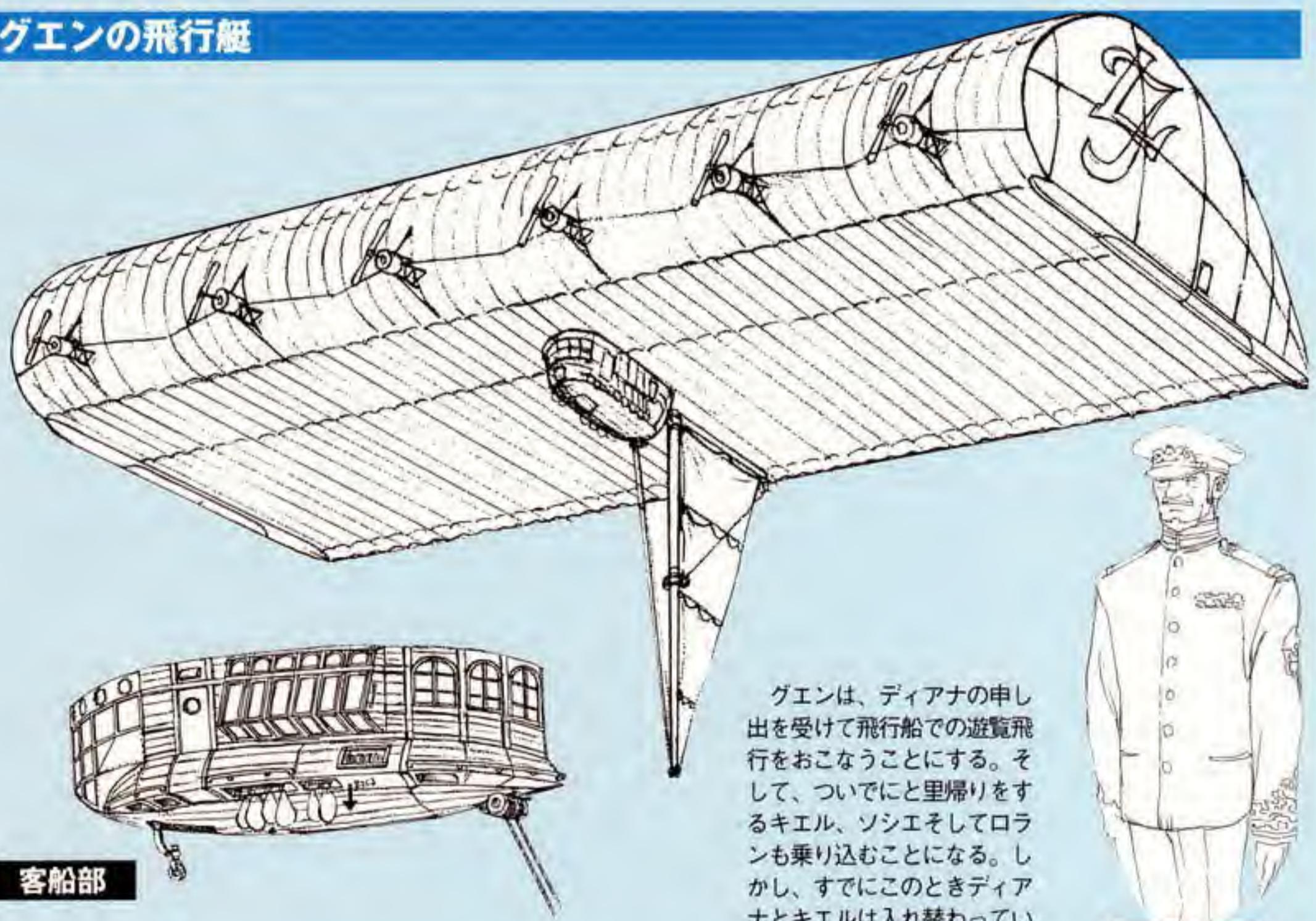
今回のようになつたのはさうに後の話で、「ブレンパワード」と同じように、シリーズ構成なしの、行き当たりばったりで作ることになった（笑）。

でも、キエルとディアナの入れ替わりは本当に大変で（スタジオではD・キエルやK・ディアナなどと呼び区別していた）、みんなもつと早く止めようと思つていたんだけど……随分と長いことを入れ替わつてことになつてしましました（笑）。

11話の始まるまで随分と時間があつたんだろうから「ディアナさまも、とこと歩いて帰ればいいのに」なんて言つてたんですけどね。

あと、シナリオではお母さんだけが自分の手を取つたキエルが実は別人だと気付いているという描写があつたんですよね。そういう人が、じつは本当のことが見えているという。おとぎ話によくある話で、後になつてコレンで使つてあるモチーフなんですね。

ゲエンの飛行艇



ゲエンは、ディアナの申し出を受けて飛行船での遊覧飛行をおこなうことにする。そして、ついでにと里帰りをするキエル、ソシエそして口ランも乗り込むことになる。しかし、すでにこのときディアナとキエルは入れ替わっていた。誰にも気づかれずに……。

船長

客船部



ロラン・セックとカバン

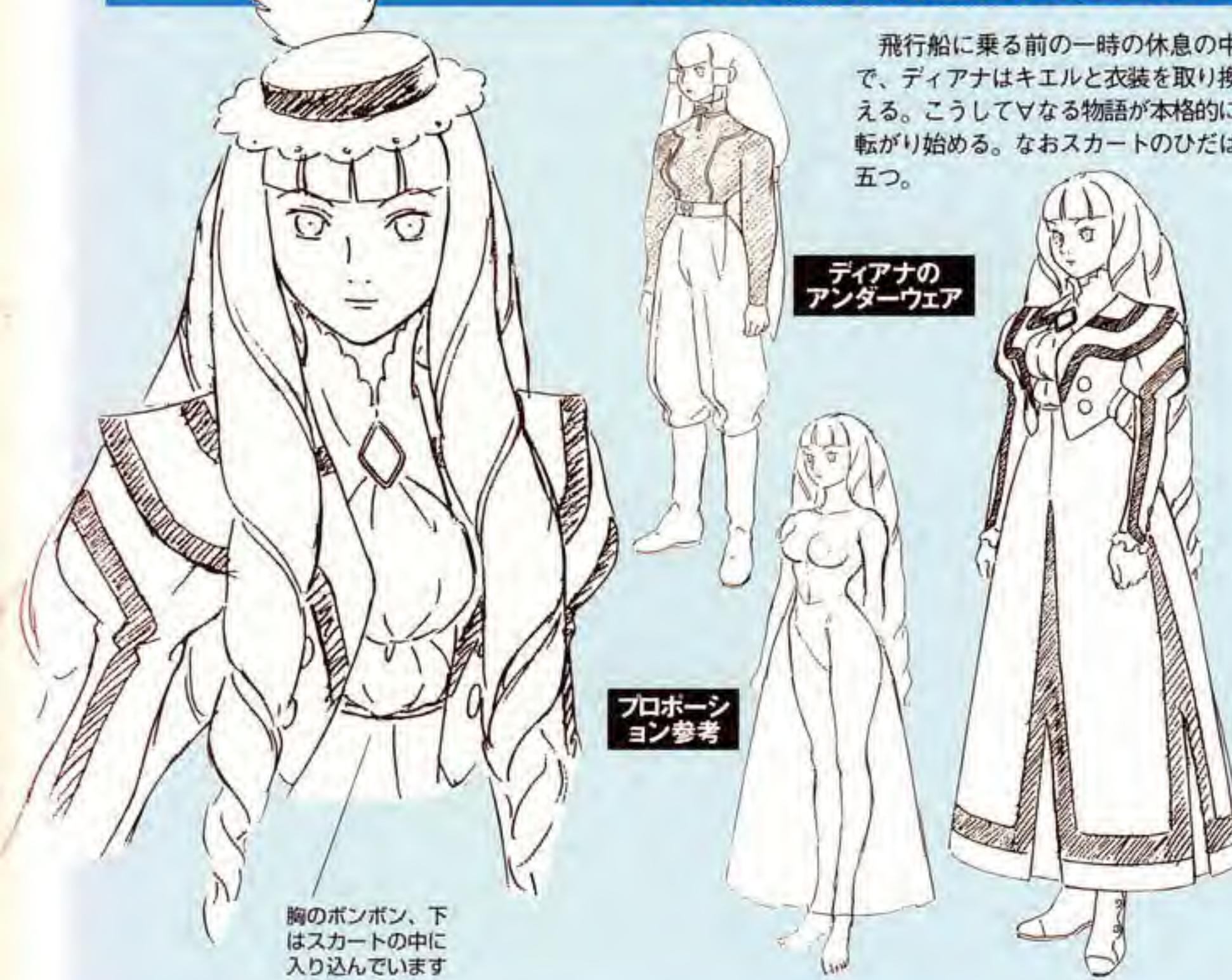
飛行船に乗り合わせることになったロランは、ディアナとキエルと同道することとなり舞い上がってしまう。



カバンにはいつもブリキの金魚とマの電気手帳を忍ばせている

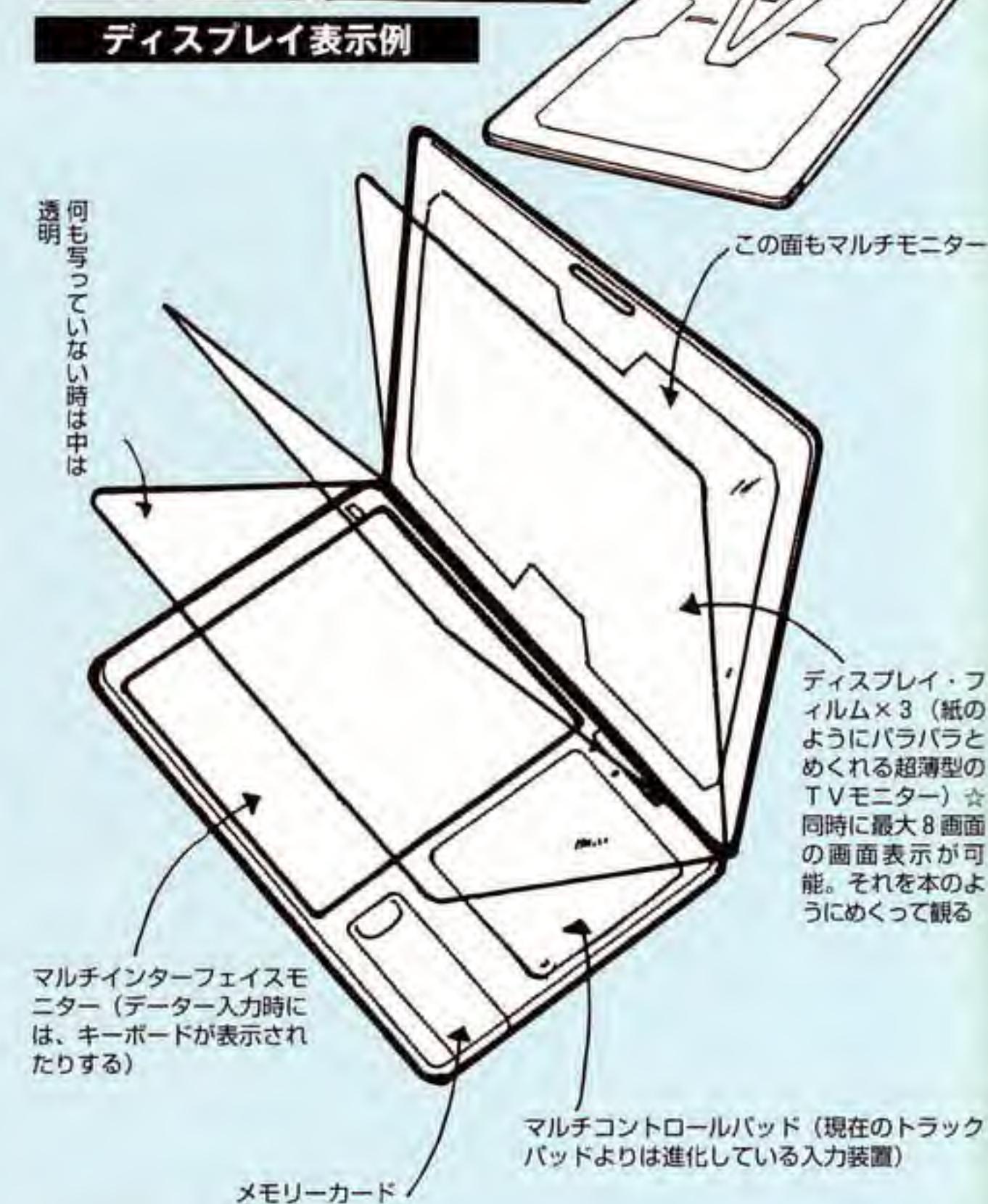
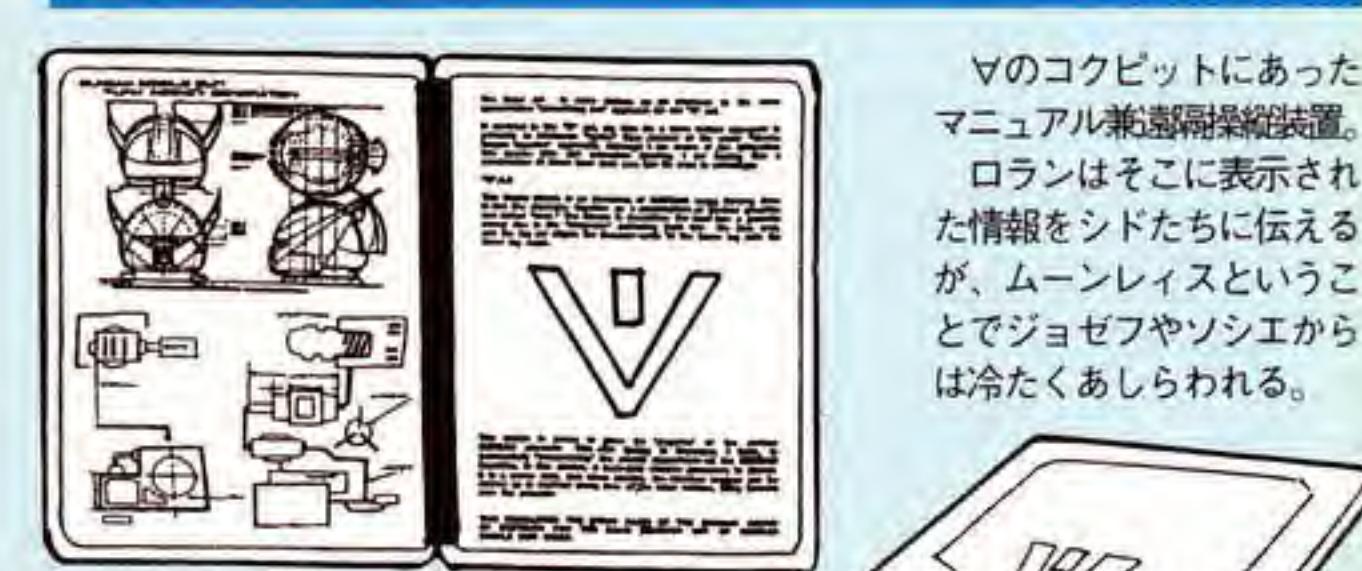


キエルに扮した女王ディアナ・ソレル



ソシエの飛行服(改訂版)

ムーンリスのロランに助けられたことが気まずく、姉キエル(じつはディアナ)がディアナと親しげなのが面白くなく、今回のソシエは終始不機嫌。



病床のハイム夫人

ディアナカウンターの襲撃と夫の死により気落ちし、精神に混乱をきたしたハイム夫人。彼女の元を訪れる展開が、今回の話の肝といえる。



ミリシャがついにソレイユへ総攻撃をコレンはノックスへ

ソレイユは攻撃を避け、サンベルトへ向かって飛び立つ。フィルはソレイユを離れマウンテン・サイクル攻撃を決意する。



第11話

ノックス崩壊

ストーリー解説

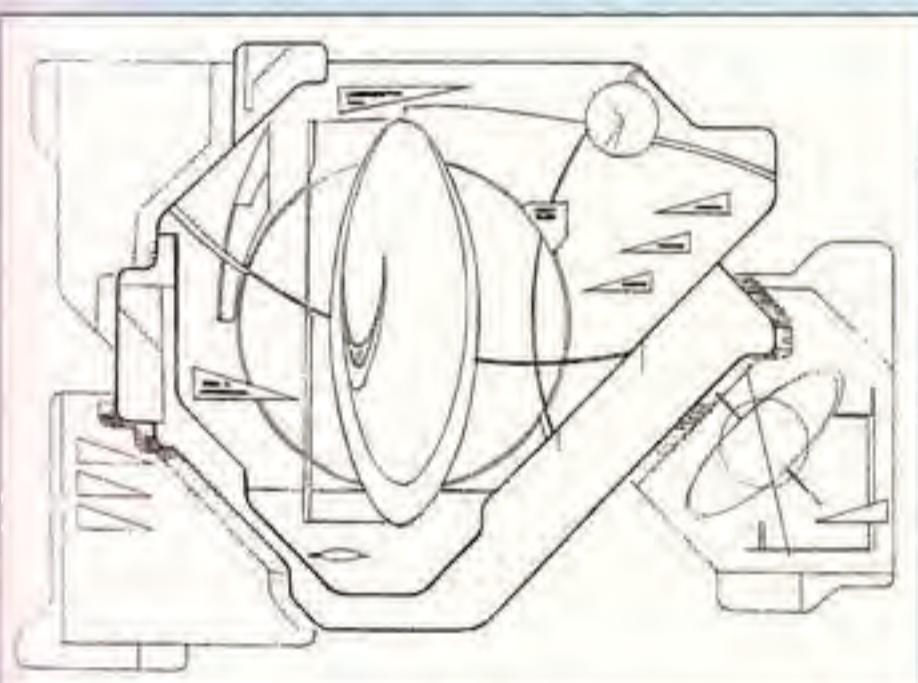
フィルとコレンとの会話で「アグリッパ・メンテナ」という名前が初めて出てきた。この時点で明らかにされるのは「稳健派の代表だが、地球帰還作戦の強行策を考えている。コレンを地球へ送り出した」ということだけだ。なお絵コンテ段階では最後にコレンはフィルへ「あんたの進退だって考えておいた方がいいつ！」という。ミリシャのソレイユ攻撃とコレンのノックス襲撃を聞いたフィルがマウンテン・サイクル攻撃を決意したのは、この一言が原因なのかもしれない。さらには後にクーデターを起こす遠因も、この言葉だったのかもしれない。

ロランがムーンレイスであることは、ジョゼフの言葉によれば、マウンテン・サイクルにいる人間は気付いているらしい。絵コンテ段階では、ミリシャの兵士はマのパイロットのローラという女がムーンレイスであることは知っているものの、マにのるロランがローラであることまで気が付いてないというシーンもあった。

■ 青羽剛（グエン役）

この「ノックス崩壊」の回はグエンの人生の転機になつた回なのでとても印象に残っています。その後一人でルジャーナ

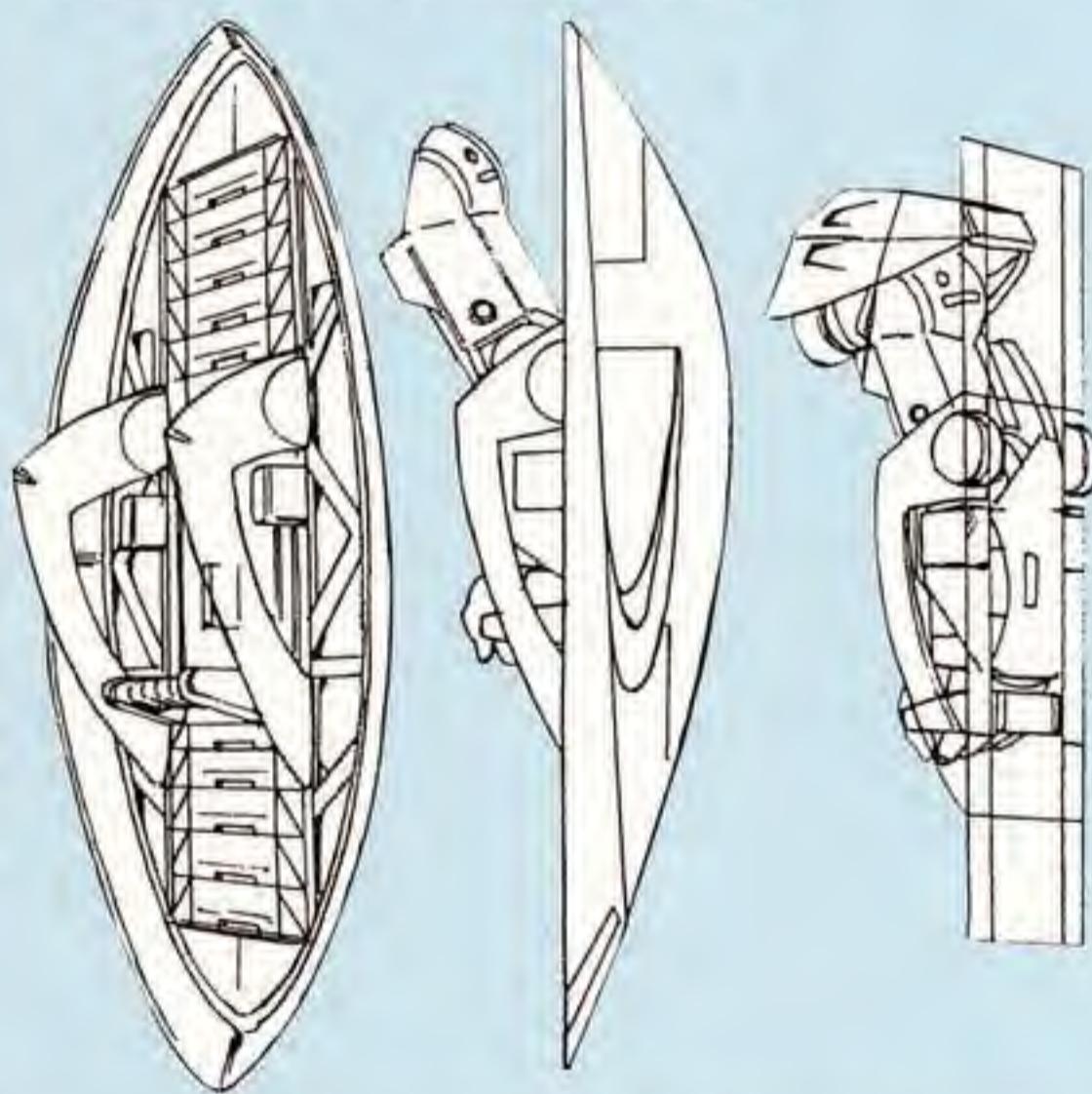
ディスプレイ表示例



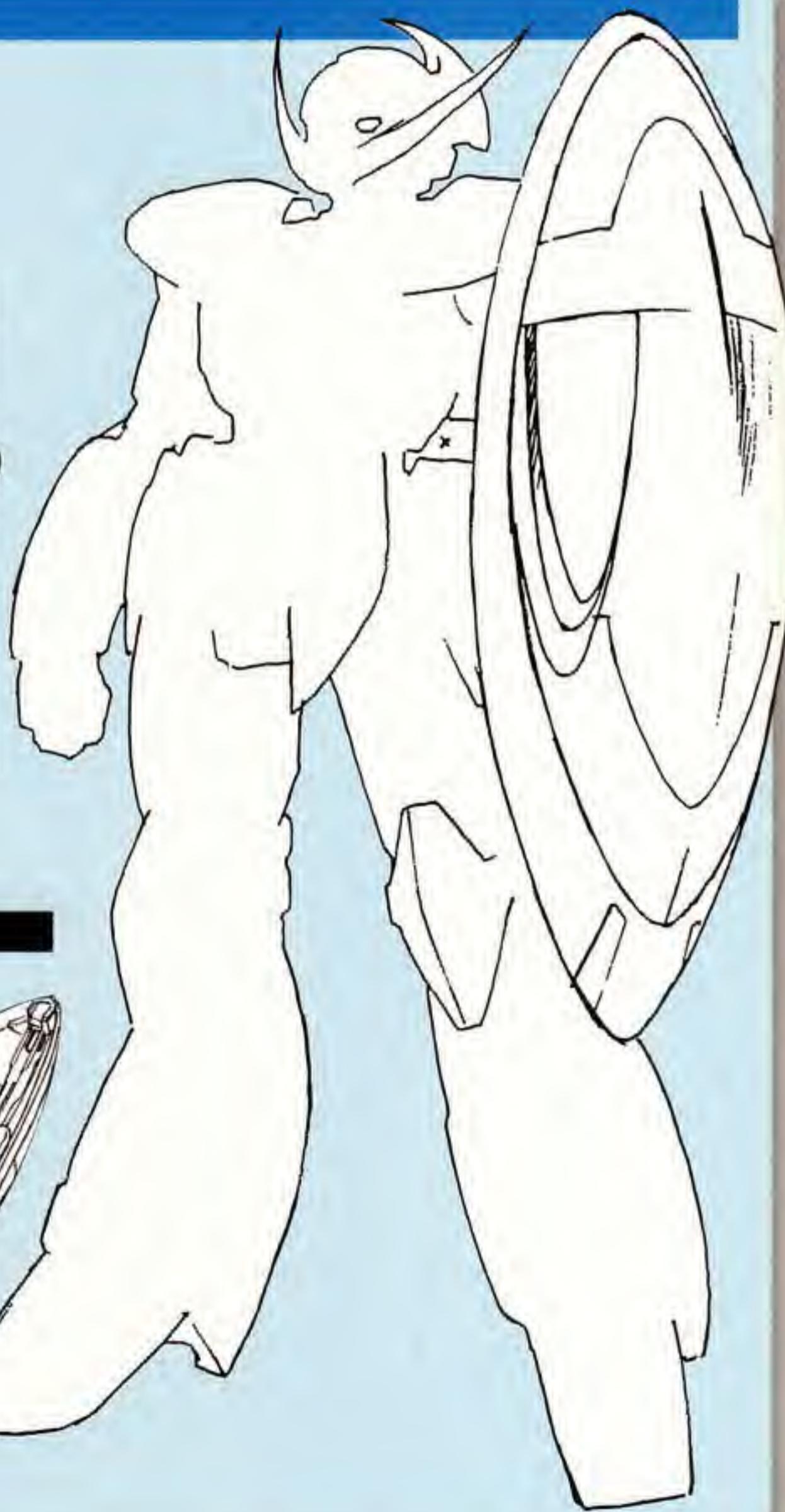
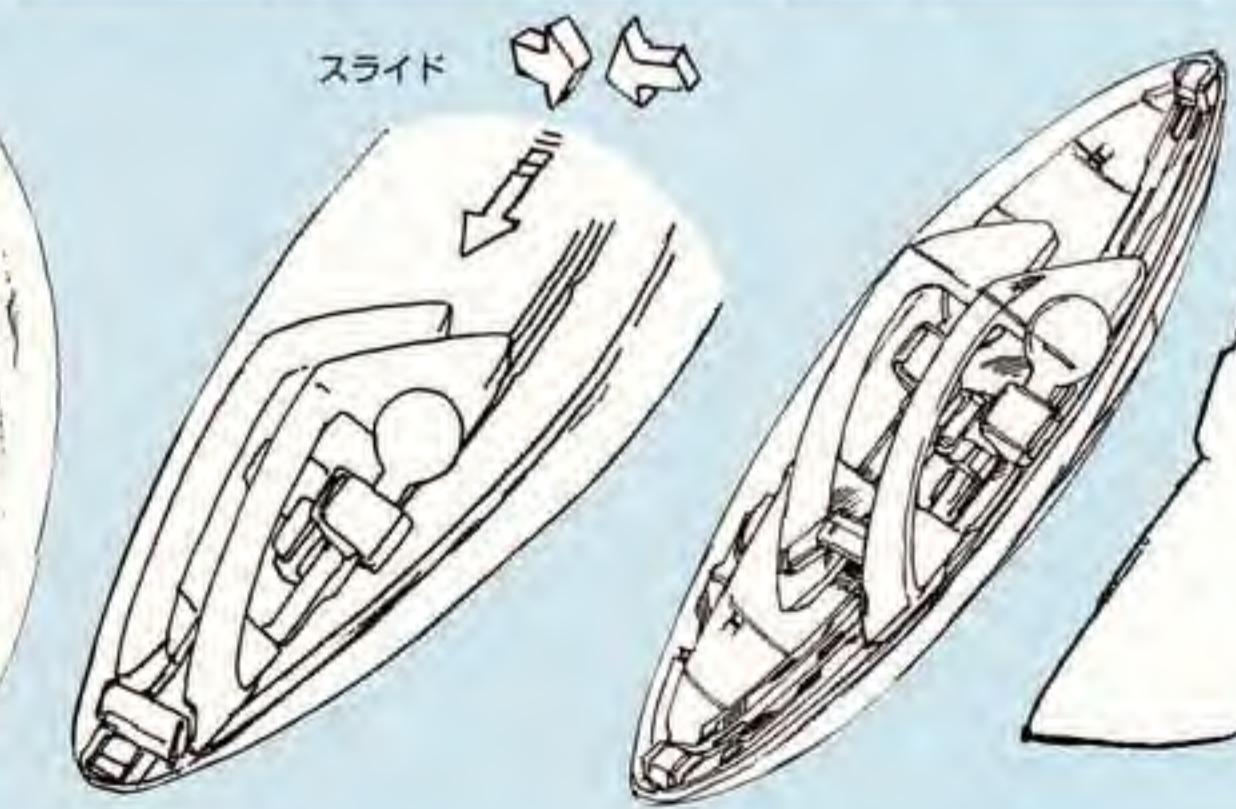
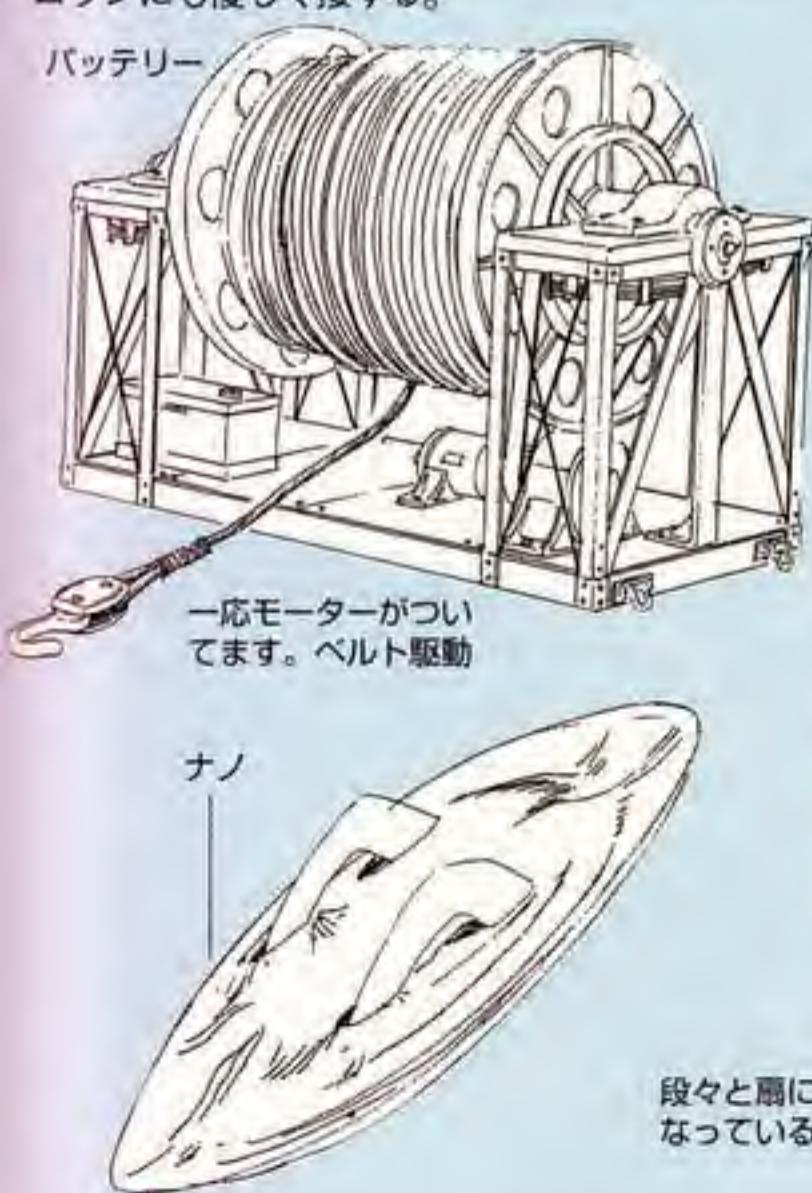
繰り出したシールドに対応して、コックピットのキャノピーに映し出された映像

△ガンダムのシールド

今回、冒頭でマウンテン・サイクルからシールドが掘り出され、△の装備も充実を見せた。また、発掘時にモニターに表示が出されたのも印象的。



ナノマシンにつつまれたシールド





へ行つてリリにいう台詞「私はこのまま消えていく男ではありませんよ」は、強い意志が秘められていて気に入っています。 領主として実権を握り、19才で産業革命を起こし、大勢の人間を動かす手腕を持つグエンという人間を理解して演じるのはとても難しかったですが、同時にやりがいもありました。一般人よりも一步先を読んで行動するところは、意識していました。監督からは、とにかくグエンはスケールの大きな人でいてくれといわれました。また上流階級の人らしく、げすっぽくなないように注意しました。

地球の文明が退化しているという設定はおもしろいと思いました。高層ビルがなく、自然にあふれた地球はとても心地よくてすばらしい。でもグエンは工業化、産業革命に生き甲斐を感じていて、ムーンレイスの近代的な船やモビルスーツに魅力を感じて、野心がぐんぐん沸いてくるんですね。近い将来、本当にありそうな話っぽくて大好きです。

スタッフの視点から

今回で千葉克彦さんの脚本が最後だったのですが「おれは、ノックスをめちゃくちゃにして去る」と言っていたんです（笑）。それだけすごい力の入った脚本になっていました。説明しなきゃいけない要素はいっぱいあるのに、テンポもあって。読んでいてもすごい面白くて、一稿目（通常、シナリオは第一稿をスタッフで検討され、その意見を取り入れて改訂版が書かれることが多い）でほとんど完成していましたね。

この前後の辺りからジョゼフがロランに突っかかり出したのは、将来の敵役にという遠望があったからなんですね。グエンは当面の敵ではないし、ハリーもデイアナさまの回りでうろうろしているばかりだし、フィルやミランもライバルと言うには弱い。それでジョゼフあたりを育てたいな、といっていたんですけど。最後は丸くなっちゃいましたね。

まあ、本当は怖かったジョゼフ・ヨットということで（笑）。

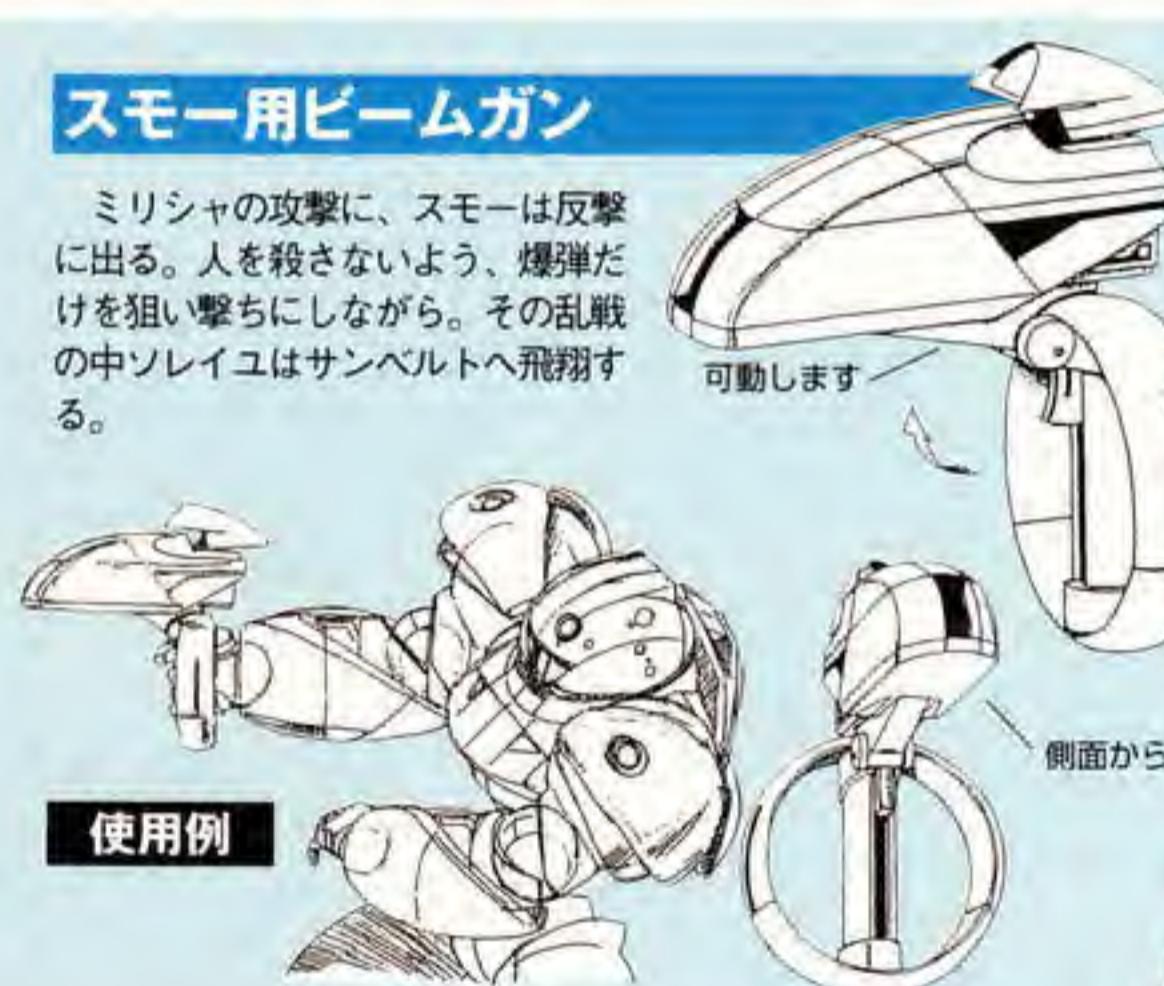
パン屋の主人

コレンによるノックスの攻撃で、ベルレーヌの父親も傷ついた体をおして町を脱出する羽目に。



スモー用ビームガン

ミリシャの攻撃に、スモーは反撃に出る。人を殺さないよう、爆弾だけを狙い撃ちにしながら。その乱戦の中ソレイユはサンベルトへ飛翔する。



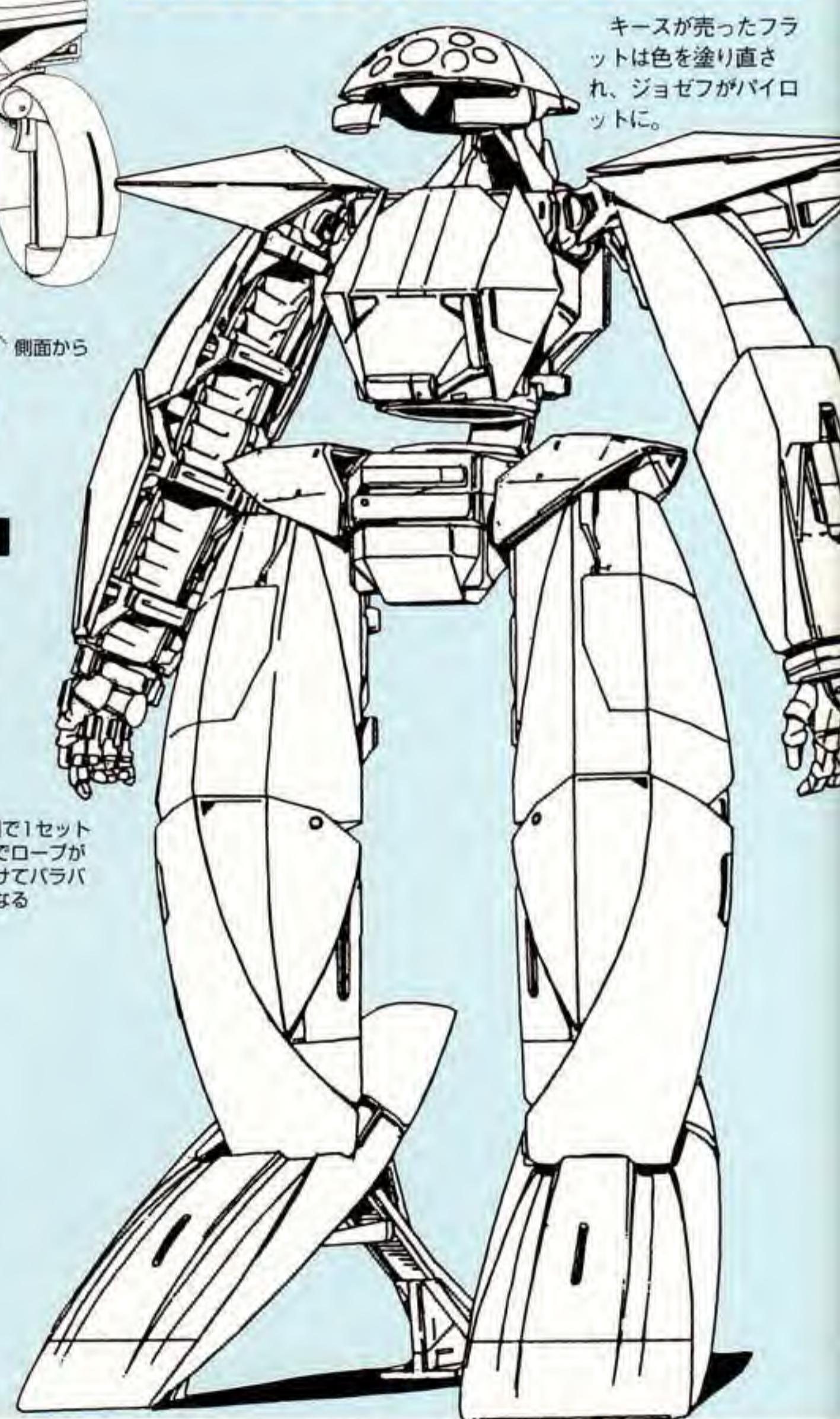
イングレッサの一般庶民

比較的貧しい、イングレッサ領の住民たち。活き活きとした表情を浮かべているが、コレンの攻撃でノックスが壊滅。イングレッサ経済が崩壊したこと、彼らはこれから難民となるしかないのだろうか？

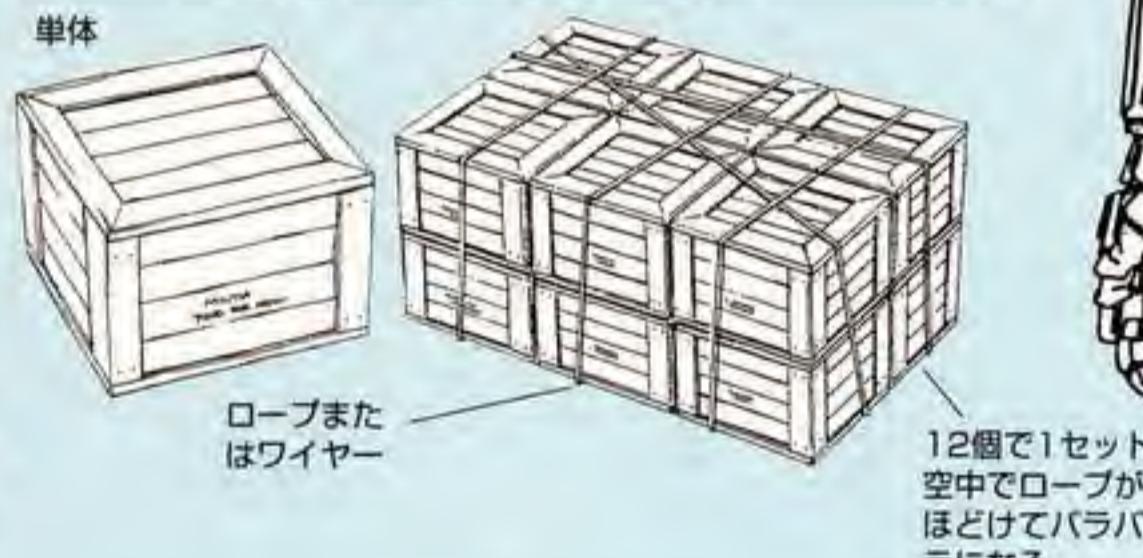


ミリシャの機械人形ハイヒール

キースが売ったフラットは色を塗り直され、ジョゼフがバイロットに。



モビルスーツ用手投げ弾



turn A world for Episode #03-1 Aの世界



これまで描かれていた庶民一般の生活から一転、
政治と外交、そして安全保障、戦いが物語をむしばんでいく。
緊張をはらんでいくA世界を振り返る。



戦いの傷痕

自分たちがあまりに非力なことを知らないミリシャ。圧倒的でありながら、戦い方を知らないディアナ・カウンター。それは小競り合いに過ぎない戦いだが、ひとつの領土に深刻な被害を与えるほどの深い傷痕を残すこととなる。



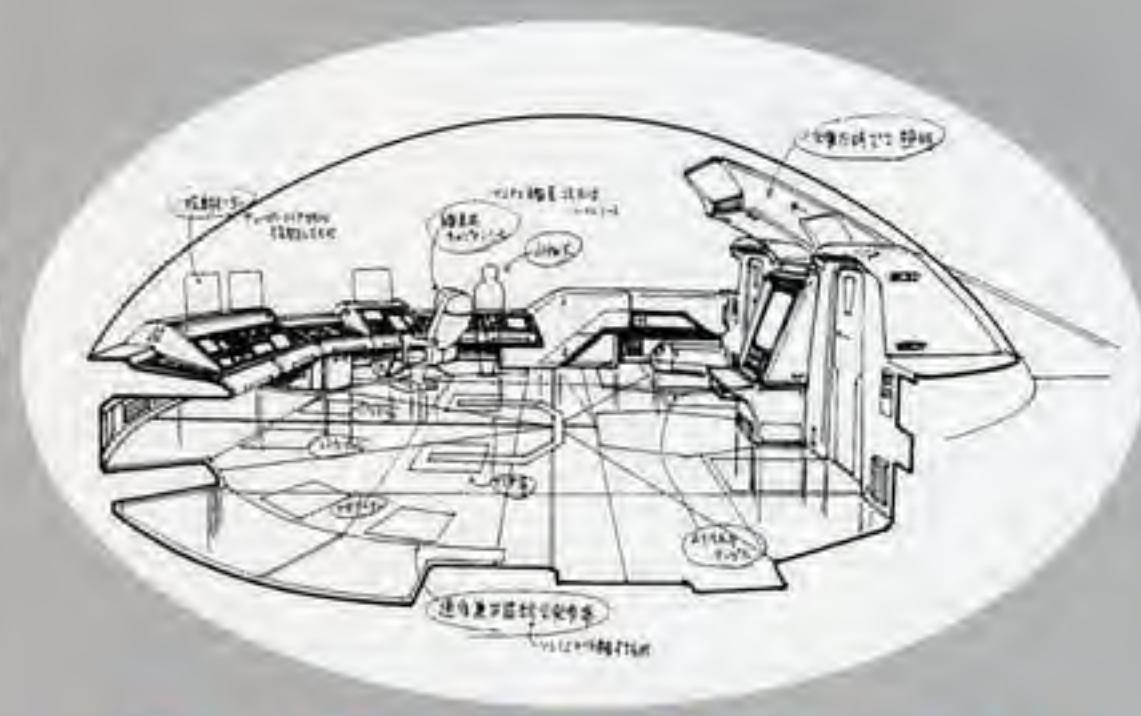
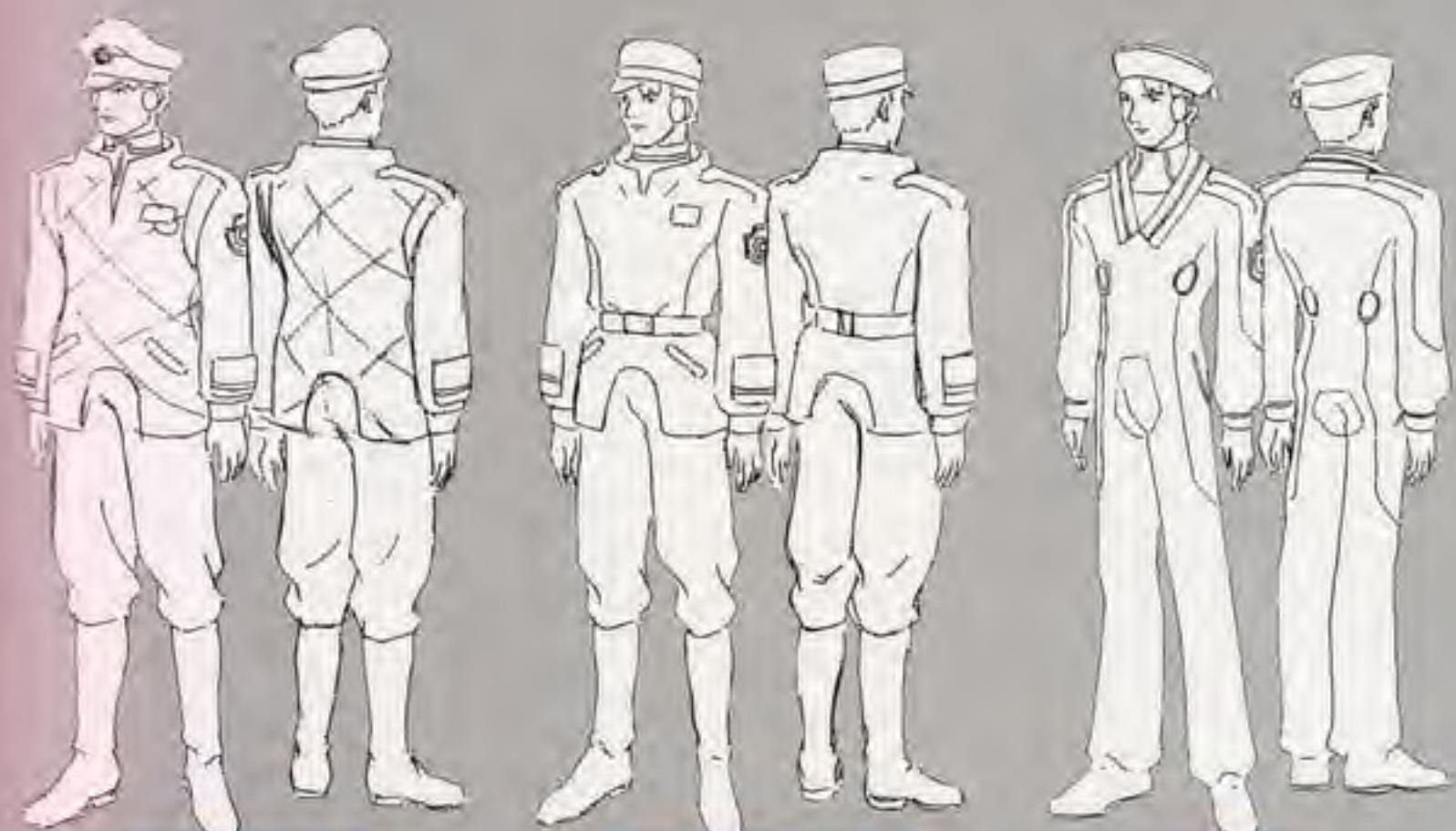
ゲンの別邸と迎賓館

ゲンはディアナ・カウンターにボストニア城の一部を開放した。その結果、ミリシャの整備など、隠密裏にすすめる行動はこの別邸を中心におこなわれることとなつた。また、ボストニア城とは別に迎賓館があるなど、この世界の豊かさ、そして領主の権能の大きさが暗に示されているとも取れる。



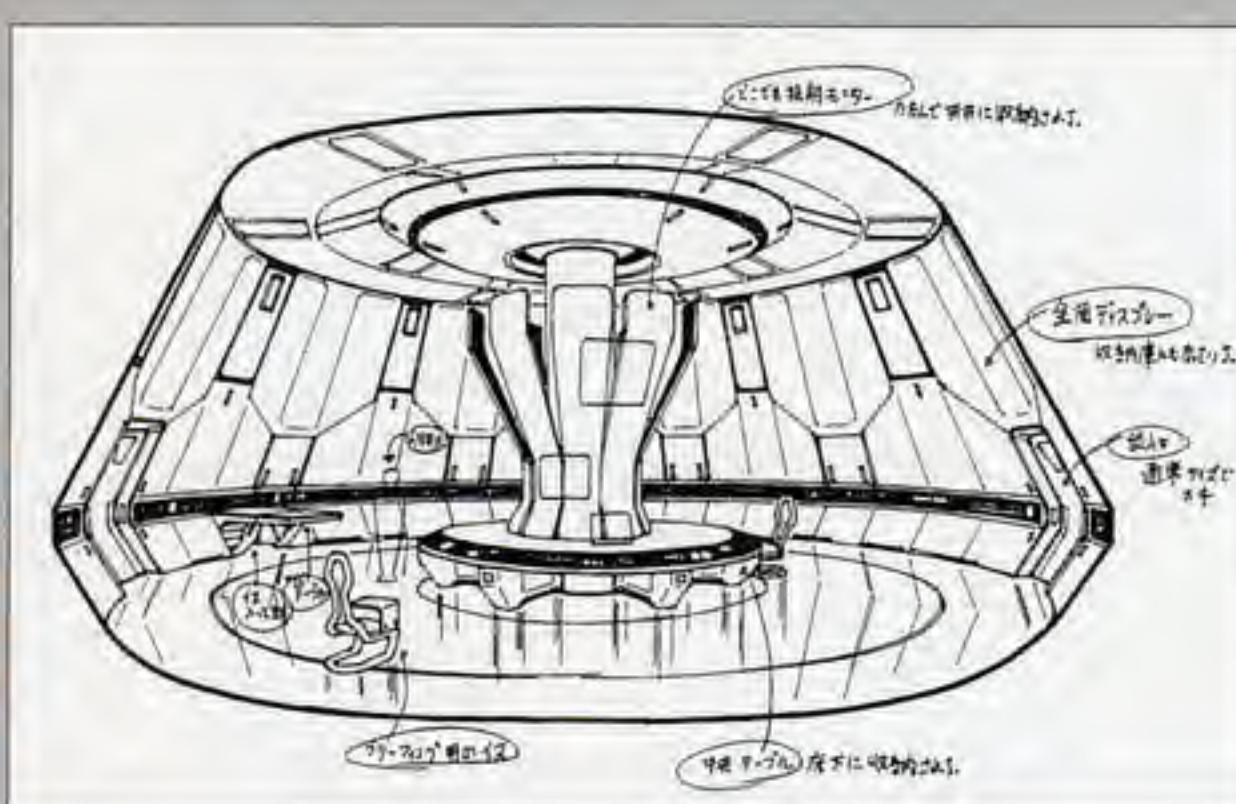
ディアナ・カウンターの居る風景

地球に降下してきたディアナ・カウンターは、着陸ポイントの周辺をフェンスで仕切り、そこを勝手に自分たちの領土とする。その一方で、地球人側には死者を出さないように命令が出るなど、彼ら



上は魔能フレイクのブリッジ。一極のオープンベースとして、ディアナ・カウンターがアラミラやハリーとのやりとりを見ることも多かった。

もまた「戦争を知らない」存在であることがわかる。だが、それ以上に戦争を知らないミリシャは、民間人と軍人の区別なく襲撃をおこなう。互いの知識の、常識のずれが悲劇を拡大していく。



Vクロニクル CHRONICLE

4月29日にはバレスチナは予定されていた独立宣言の延期を決定した。

5月7日には、ユーゴ空爆で中国大使館への誤爆が発生。国際問題化する。また8日には日本画家として名高い東山魁夷が他界。12日にはソニーが大型ペットロボットAI BOの発売を発表。

一方、5月21日は全米で『スター・ウォーズ』が公開され興行収入の史上最高記録を塗り替えた。また、日本初のトキの人工ふ化にも成功、とめたい話題が続くが、タレントの由利徹が他界している。27日にはインドとパキスタンの間でカシミール紛争が勃発。

6月10日、コンボ紛争がようやく和平へと進む。一方、14日には漫画家の谷岡ヤスジが他界。と続いた。

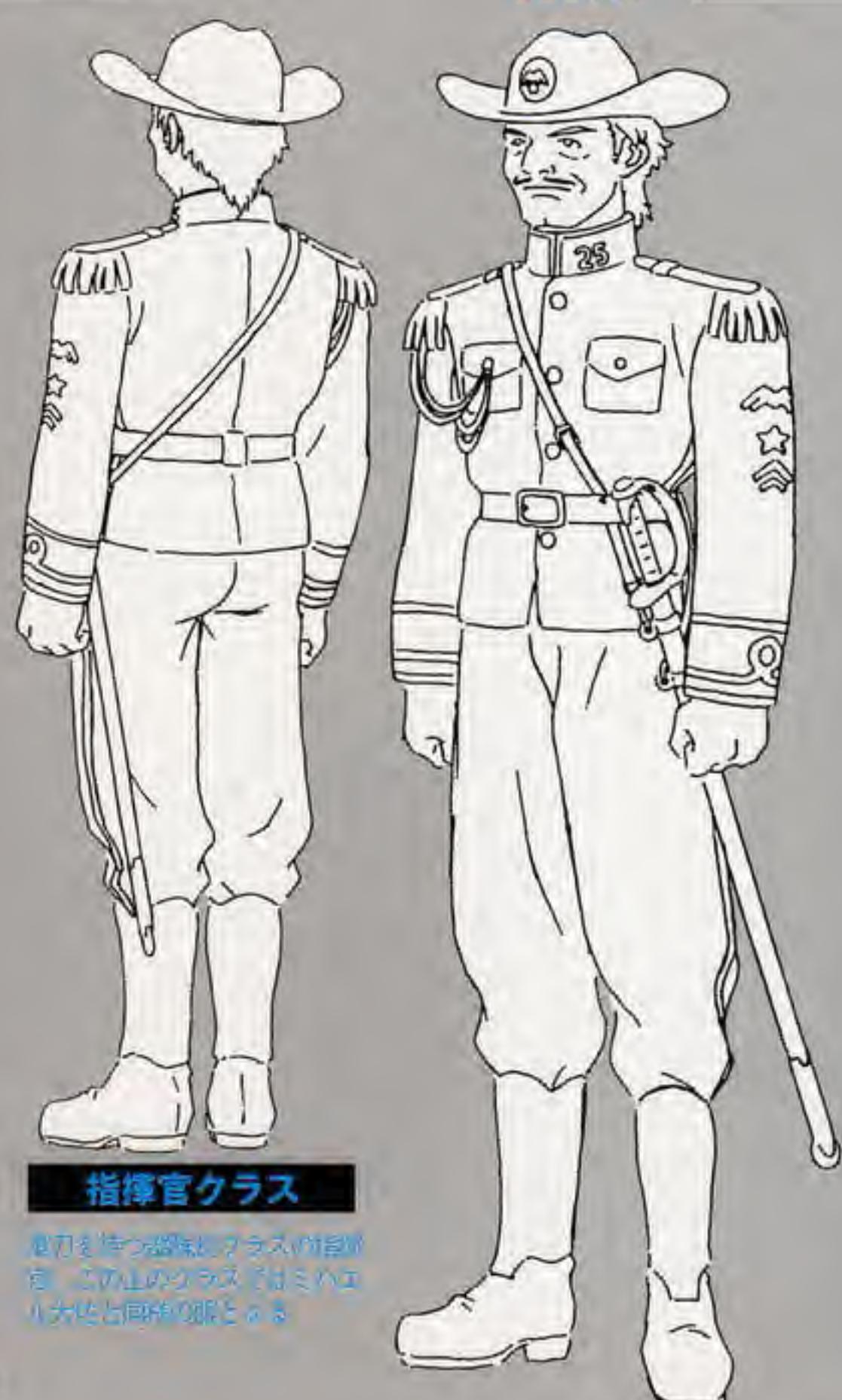
イングレッサ・ミリシャ



戦闘時の服装、迷彩を放り、シーケンスに迷彩を下している。

フレードを防ぐため、迷彩の上に戦闘をすることはない。

雨合や砂埃で隠れにくく見られる。フレードは折り返し帽子は飛ぶ。



魔力をもつた魔術クラスの魔術を、この上のクラスではミハエル大佐と同じ服を着る。

ミリシャ、すなわち市民軍である彼らは自分たちが政治に従うものだという認識がない。また、単純な復讐の論理で動いてしまう、前近代軍であるといえる。そんな彼らが戦火を拡大していることに、ロランやグエン、そして視聴者以外は気付かない。その庶民レベルで引き起こされる戦争こそが△の悲劇といえる。

ミリシャ、すなわち市民軍である彼らは自分たちが政治に従うものだという認識がない。また、単純な復讐の論理で動いてしまう、前近代軍であるといえる。

ミリシャ、すなわち市民軍である彼らは自分たちが政治に従うものだという認識がない。また、単純な復讐の論理で動いてしまう、前近代軍であるといえる。

エピソード
#12
グエンがノックスを放棄したため、ミリ、シャは統合を考える

ファイルのマウンテン・サイクルへの攻撃から逃れたロランとディアナは地下回廊を進んだ。そこへコレンがやつて来た。



第12話 地下回廊

ストーリー解説

コレンの冷凍刑については9話でディアナが「コレンは情の厚い男。それから出た禁固刑」といつているが、実はディアナを生き者にしようとした反乱分子の兵士85名を、裁判にもかけず惨殺したといふものらしい。とするとコレンのディ

アナへの忠誠心がレット隊並み、もしかしたらそれ以上に高いことは確かだといえるだろう。

そのディアナはコレンとガンダムの関係についてかなり詳しく知っているらしいことが、「コレン・ナンダーの任務は終了しております」「ガンダムにはおヒゲがありますか！」あります。時代は違つたのですから、お前の任務は完了しております」などの台詞から読みとれる。もっともこれがコレンとガンダムが対峙している時代にディアナもいたのか、それとも後から情報としてのみ知つたことなのかは定かではないが。

なお、後にレット隊のキャンサーとムロンの先祖の名をフルネームでいつてい

ることから考えても、ディアナの記憶力

はかなり高いものであると推測される。

となると「ロランがたくましく育つてく

れて……」という台詞は、ロランが地球

に降下する前に謁見したことを、ディア

ナが覚えているのだと解釈できる。記憶力がいいのは肉体年齢19才のため

か？ ちなみにコレンのあの髪と顔のあざの原因は冷凍刑らしい。イーゲルに乗つたまま冷凍されたために長髪だった髪が抜け落ち、さらに解凍時のミスから顔の皮膚の一部が変質したというのだ。

この回のラスト、ロランがディアナの膝枕で寝るシーンには挿入歌として「月下旬美人」が流れることも要チェックだ。

まあ、富野監督の前で下手な冗談は禁句ですね。突拍子もないものをやりたがるから、採用されちゃうので。

シドの言うマウンテン・サイクルタイ

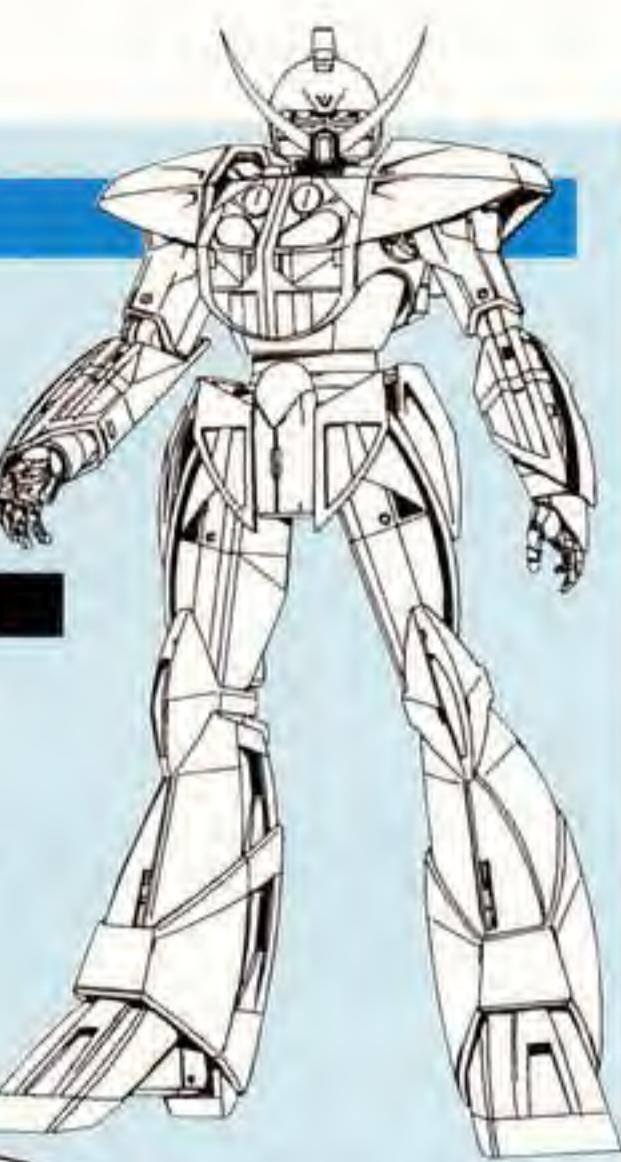
プの地層。これは、まあ砂に見えるのがナノマシンの死骸でしょうから、そういう特徴はあるのかもですね。さらさらしだ砂があるとか……あんまりやるとナウシカみたいになっちゃいそうですね。実は、誰も指摘しないんですけど世界の構築は少し似たものがあるんですね。世界が1回減んでまた、というところが。ただ、あの辺りの話とはメカの扱いもキャラのシフトも違うので、みんな似ないだろなとは思っていたみたいです。



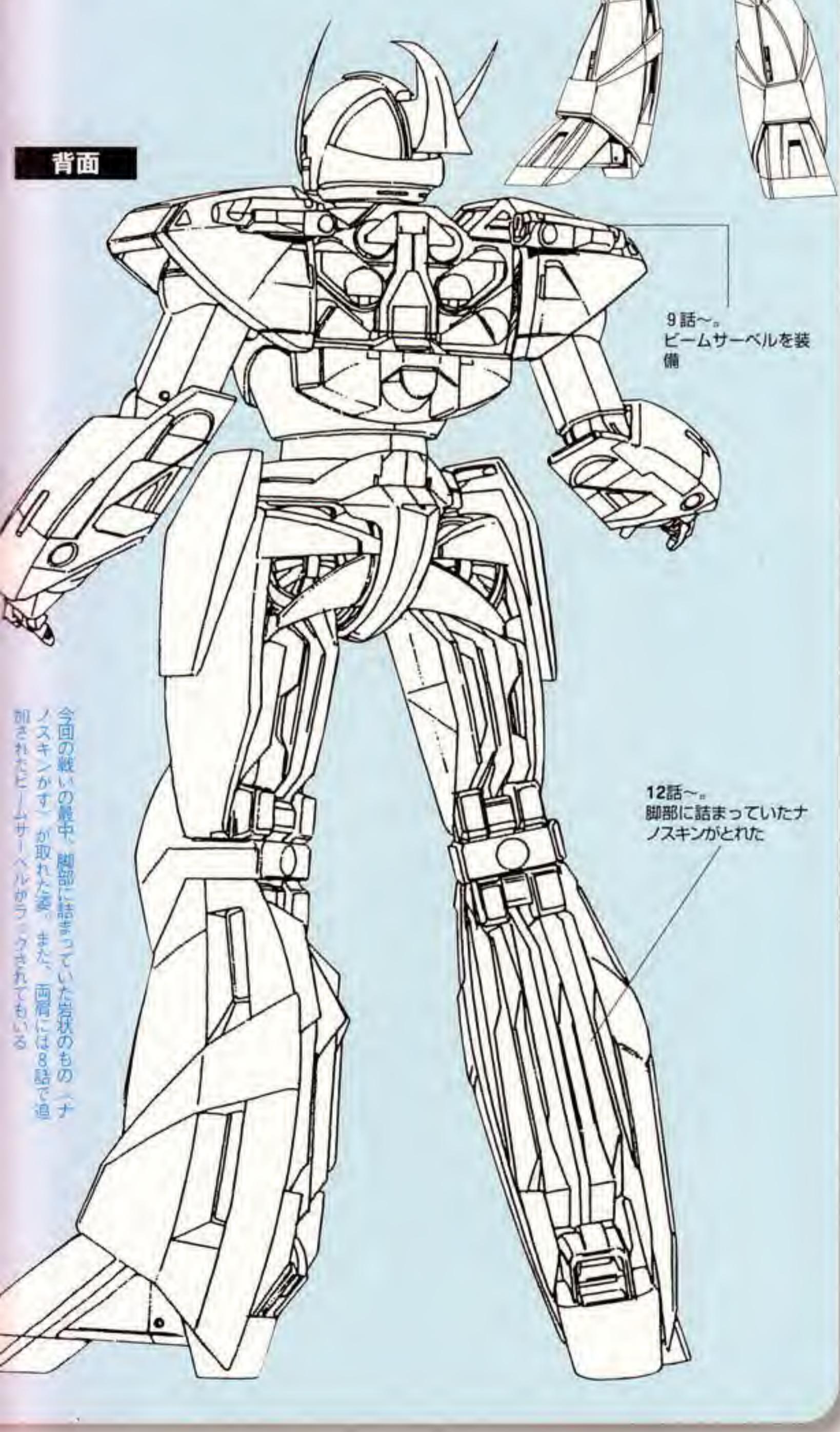
モビルスーツ△ガンダム

地下に落とされ、回廊を進むこととなったロランとディアナ。シドたちとも合流し、△ガンダムは地下の回廊を進む。だが、その途中でコレン率いる追撃部隊の急襲を受ける。その戦いの中、△ガンダムは脚の裏側を被つていたナノスキンのカスを吹き飛ばし、隠されていた機能、スラスターを復活させ、そのまま噴射により危機を乗り切る。

正面



背面



今回の戦いの最中、脚部に詰まっていた岩状のものの「ナノスキンがす」が取れた姿。また、両肩には8話で追加されたビームサーベルがラップされており



リリ・ボルジャーノ

落日のグエンを出迎えたのはボルジャーノ公の末娘、リリであった。何事も面白がる彼女は、グエンの依頼を「スパイ」だととらえて喜々として引き受ける。

グエンとの対比



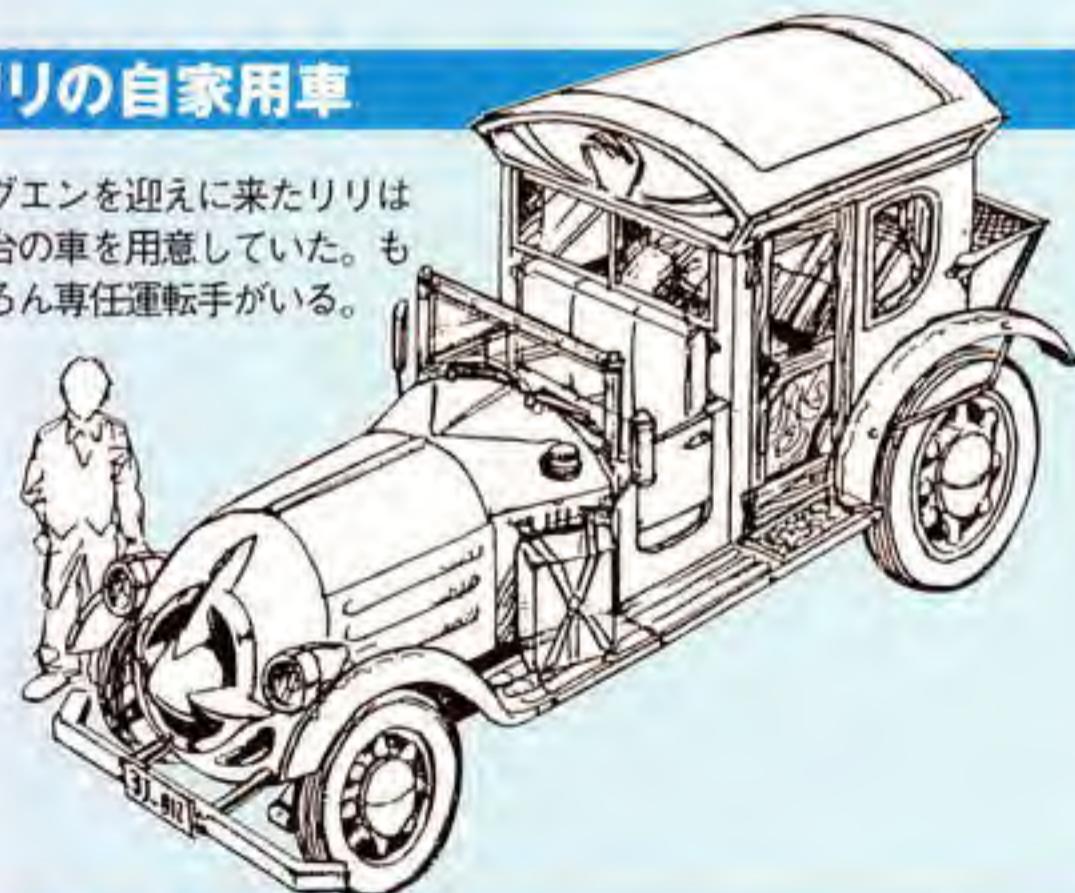
マガンダム 頭部

本来の姿とパワーを取り戻しつつあるマガンダム。コレンは、マガンダムを「白ヒゲのガンダム」「白いモビルスーツ」と呼ぶ。しかし、ディアナが語るように「ガンダムにヒゲはない」ものもある。そのギャップに、コレンは混乱し、その隙にロランは反撃し、コレンのイーゲルを倒すことができた。



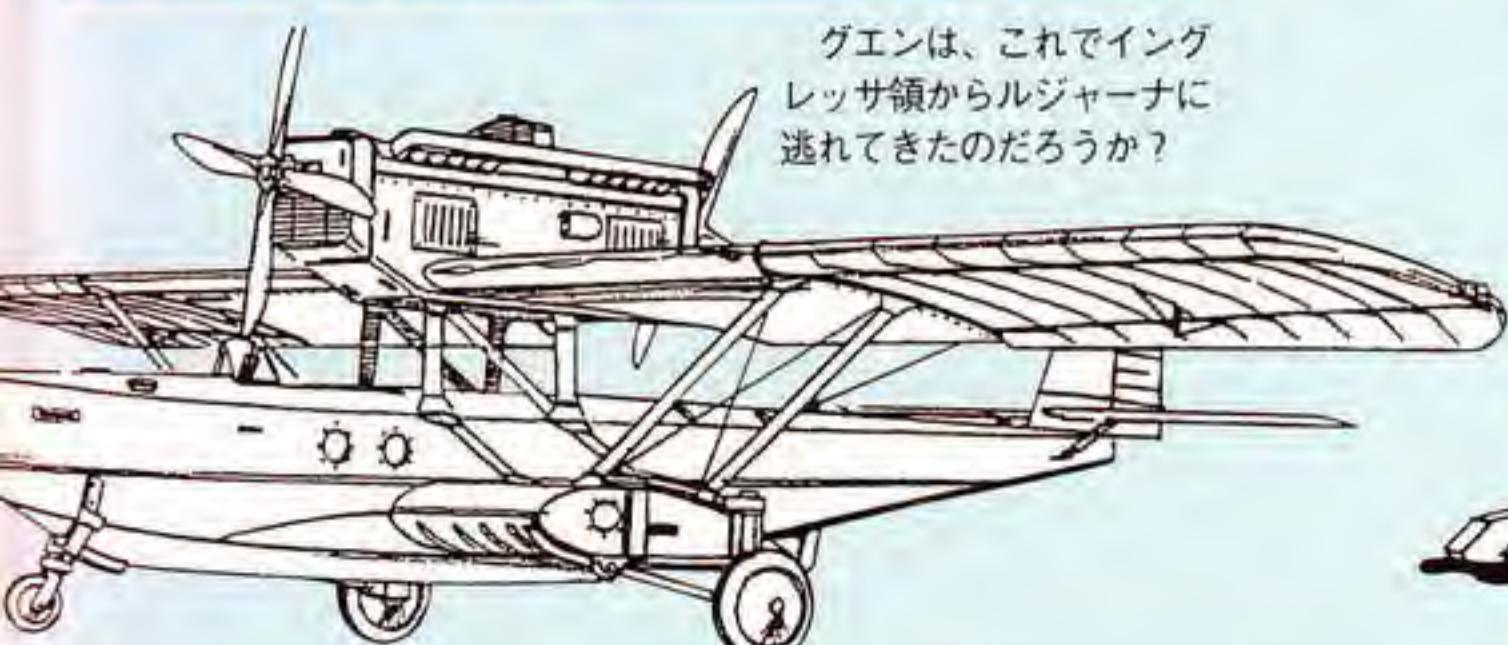
リリの自家用車

グエンを迎えるに來たりリリは一台の車を用意していた。もちろん専任運転手がいる。



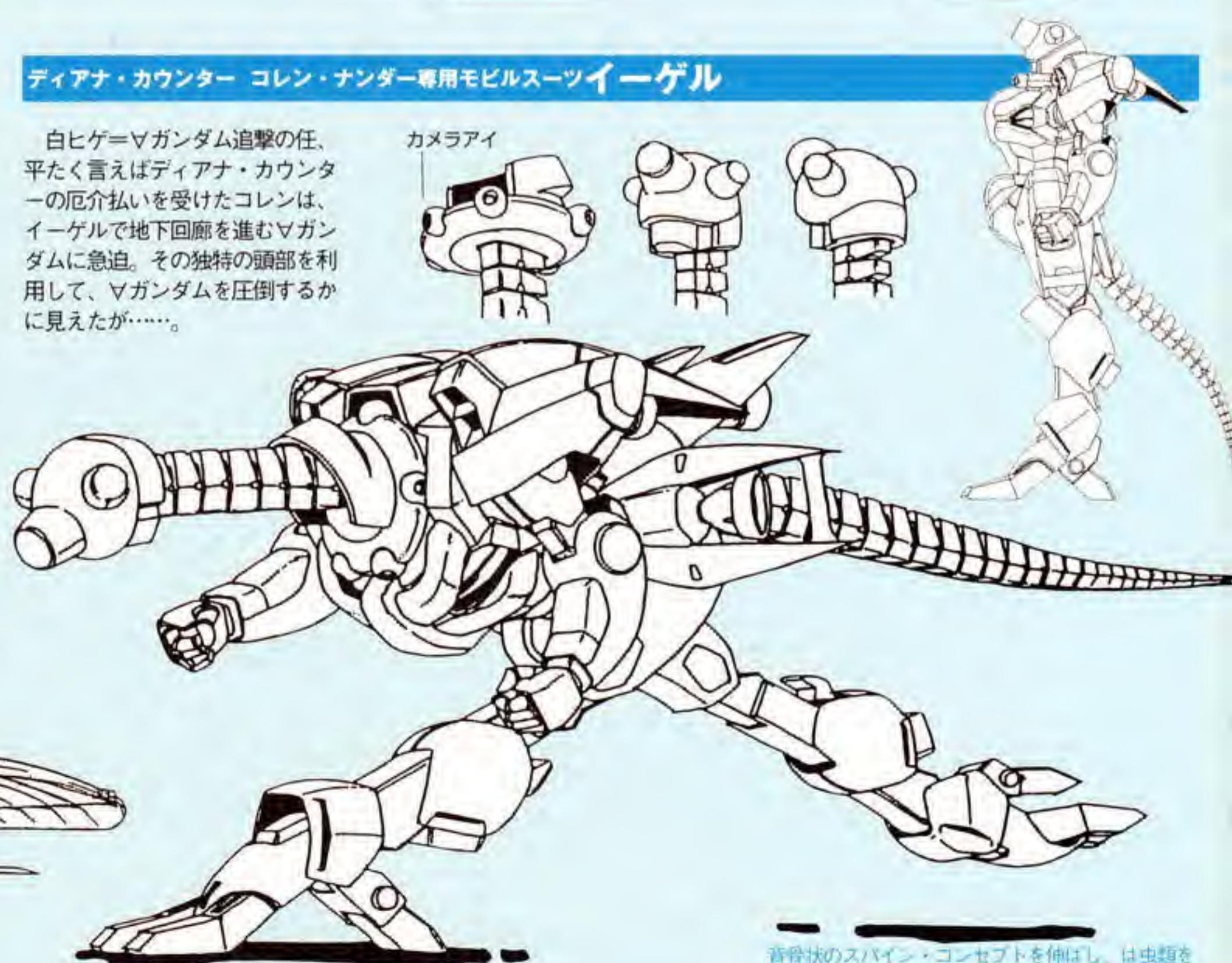
グエンの水上飛行機

グエンは、これでイングレッサ領からルジャーナに逃れてきたのだろうか?



ディアナ・カウンター コレン・ナンダー専用モビルスーツイーゲル

白ヒゲ=マガンダム追撃の任、平たく言えばディアナ・カウンターの厄介払いを受けたコレンは、イーゲルで地下回廊を進むマガンダムに急迫。その独特の頭部を利用して、マガンダムを圧倒するかに見えたが……。



背骨状のスパイク・コンセプトを伸ばし、は虫類を思ひず姿で地下回廊に潜むマを追い詰める

ディアナ・カウンターはコレントちが戦死したものと思つてゐる
地下回廊を通りキングスレーの谷に出たディアナが見たのは、初恋の人と同じ顔、同じ名前をした人物ウイルだった。

Episode



年上のひと

第13話

ストーリー解説

間違えやすいが、マウンテン・サイクルは実は固有名詞ではない。過去の宇宙時代の遺跡が埋蔵されていると考えられる場所の総称なのだ。だからマガアツたイングレッサ、ビシニティの近くにあるマウンテン・サイクルは、きちんとアーカ山という固有名詞がついている。

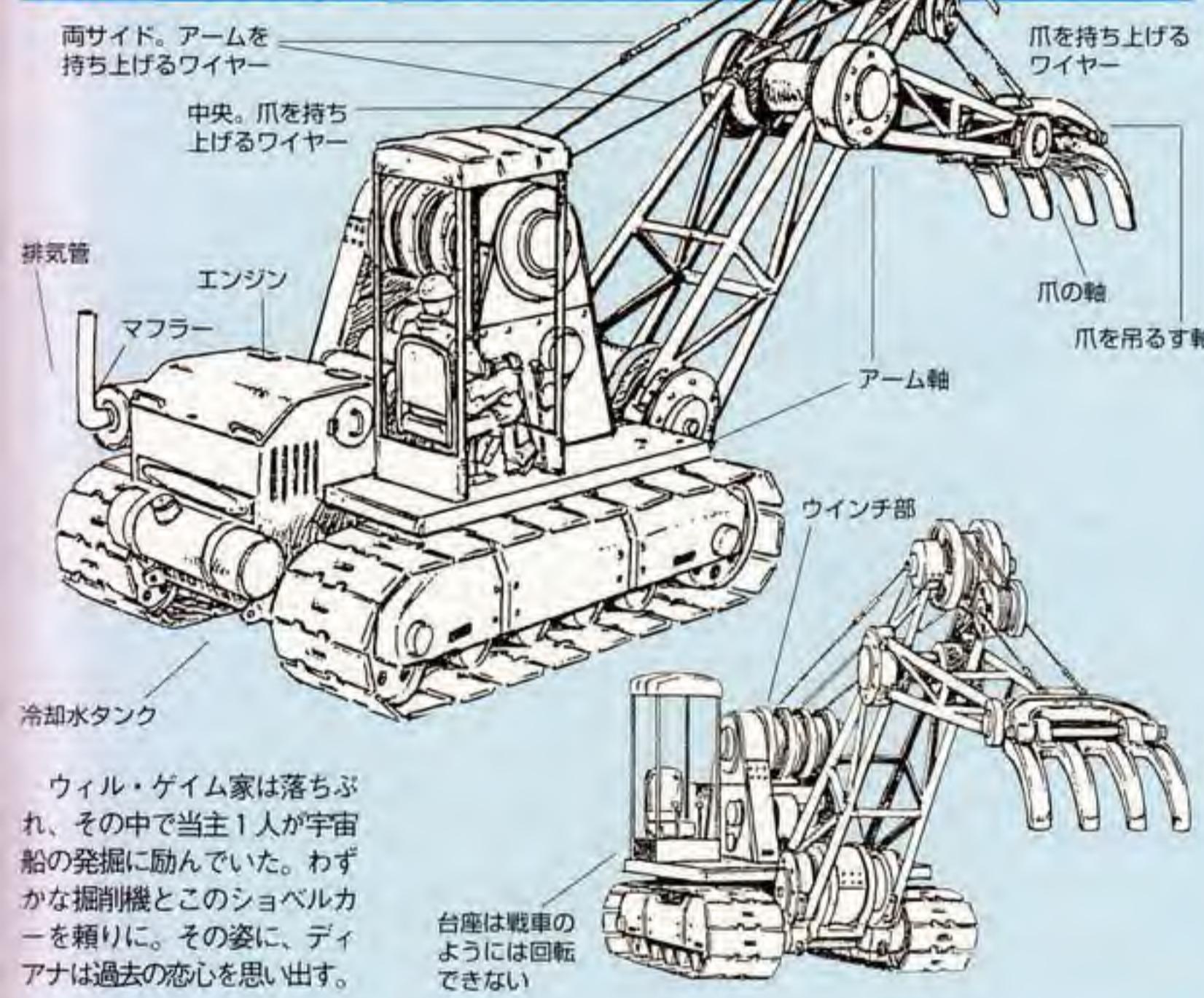
ではマウンテン・サイクルの特徴とは何なのだろうか？ それに関しては山師ジドが12話でこう説明している。「火山性地層の上に鍾乳洞もあり、各種の地層の間に、妙に砂っぽい層がウエハースのようにある」

次の14話ではイングレッサだけではなく、ジヤーナにもマウンテン・サイクルがあることが判明する。ちなみに設定では、同じアメリカ大陸にあるエリゾナ領やカルパニヤ領にもマウンテン・サイクルがあることになっている。

ウイルの宇宙船発掘現場をよく見てみると、カナリアを持ち込んでいるのがわかる。この時代でも発掘現場でのガス漏れなどの危険を察知するのは、カナリアの役目なのだろうか？ また、発掘中のシドたちの携帯食は、ミリシャの保存食と同じもので、そのメニューはどうもろこしことベーコンだ。

■ 冬馬由美（テテス役）
ガンダムシリーズに何度も関わらせて

ウィルのショベルカー



ウィル・ゲイム家は落ちぶれ、その中で当主1人が宇宙船の発掘に励んでいた。わずかな掘削機とこのショベルカーを頼りに。その姿に、ディアナは過去の恋心を思い出す。

ウィル・ゲイム

地下回廊を抜けた先でロランたちが出会った男。かつて、祖先がディアナと恋仲であったことを確かめるため、月まで行こうと宇宙船の発掘に燃えている。

ディアナ、テテス、ロランとの対比



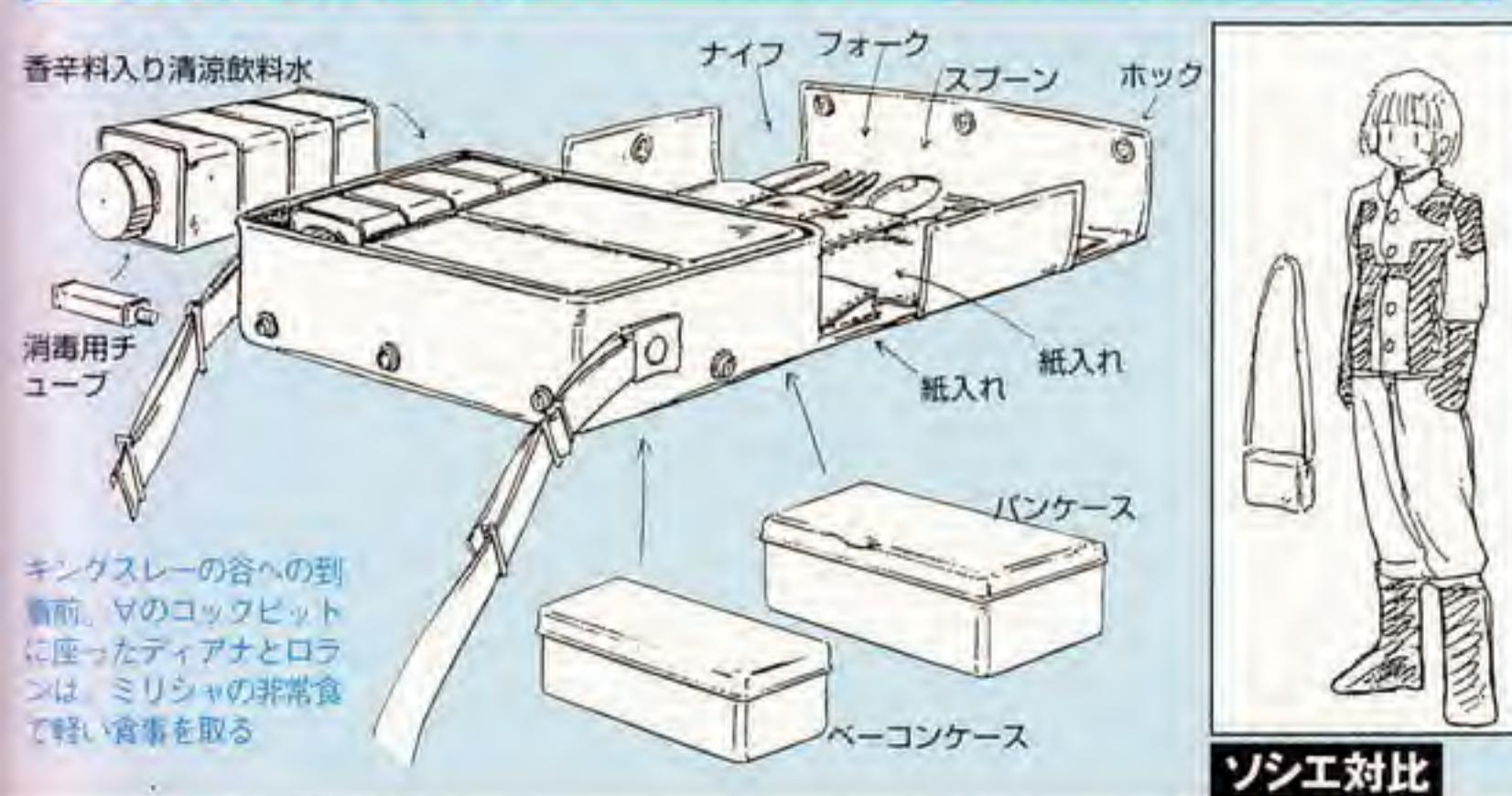
女たちは秘密を隠し、男たちは素直に意気投合するが……

斜線部分（ヒゲ）は塗り分け



表情

ミリシャの食糧パック



キングスレーの谷への到着前、マガアツのコックピットに座ったディアナとロランは、ミリシャの非常食で軽い食事を取る



いただいて、とても嬉しいです。印象に残っているのは、やはりテテスが死ぬシーンです。すごくあつけなかつたのですが、あのあつけなさが逆になんかすごくいいなあ、テテスらしいなあと思いました。回想シーンではテテスとお母さんのリンダ・ハレの二役をいただいて一人で演技したのですが、とてもやりがいがありました。新しいガンダムの世界をまた楽しみにしています。

■スタッフの視点から

ウイルはヒゲがなければ、ブランド・ピットみたいないい男なんですが、ただヒゲが濃くていい男に見えない（笑）。初代ウイル・ゲイムはそれなりにいい男に見えるんですけどね。

今回はテテスとウイル、初登場のキャラが2人もいるというので苦労しましたね。富野監督は、昔から少年と年上の女性というが好きなもので、温泉とか、ロランとテテスに集中していましたから。そのおかげで、シナリオも昔のガンダムみたいな感じだったんですけど、他のバランスとらなければならなかつたですから大変でした。

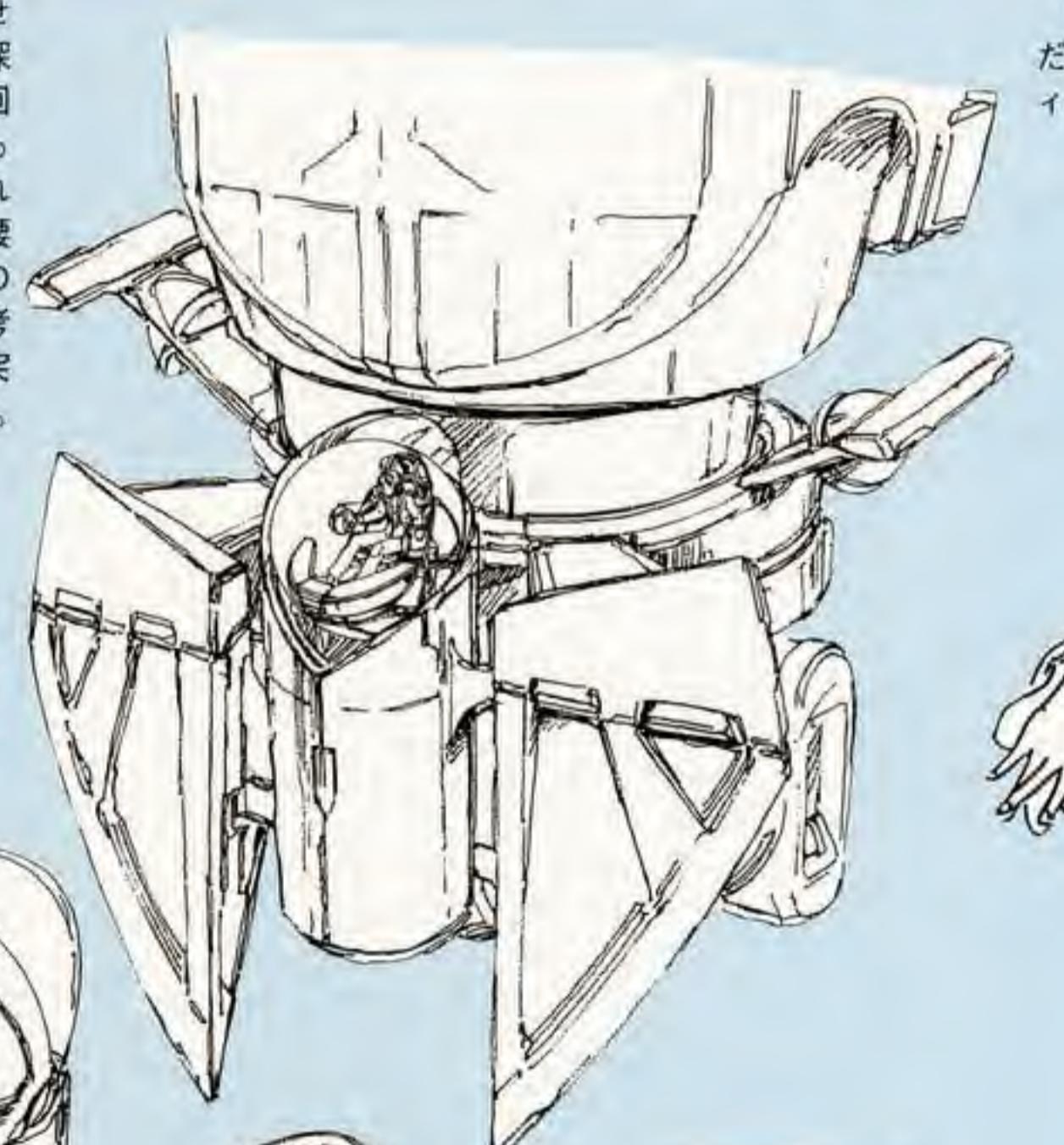
そのわりに、テテスって何者？といふのをこの話の中ではやらず、むしろウイルとディアナの方が説明されていますよね。シナリオだとつきりと台詞でテテスは三日前にきた云々とあつたんですけど。ただウイルはおバカなので、三日前に来た女と夫婦同前の雰囲気を醸し出してしまう変な人なんですよ。ぼやつとしているとっぽい人なんです。

でも、ロボット戦もあるし、ロマンスもあるし色々伏線も張られているしけつこう要素はいっぱいある話なんです。今回の温泉は、「Vガンダム」のルペ・シノとウツンのを思い出しますが、ストーリーの基本的な設定も似通っているんですね。「Vガンダム」は公園のように保存されている地球に住んでいる人たちが、宇宙に戻つてくる人たちと戦うという話でしたから。

▼ガンダムのコクピット

ディアナをシートに座らせ移動したり、テテスに興味深げにのぞき込まれたり。今回の話ではコクピットがちょっとした小道具として活かされること多かった。当初は腰の筒状のバーツの中を球状のコクピットが下りることは考えておらず、球部分を外へ突き出してから下ろす予定だった。

右図程度はなれると、コクピットのキャノピーを開けていないと内部は見えない。ただし顔を見せる演技のため、キャノピーは開けられていることが多い



キャノピーオープン時

モニターがONの状態

球状のコクピットの内部は全周モニターだが、半透明状に透けることもできるらしく、外からは人影が見えることもある

テテス・ハレ

ウイルの奥さん然とした行動を取る彼女だが、この時点では正体も目的も不明。ウイルの妻でないことすら語られなかった。



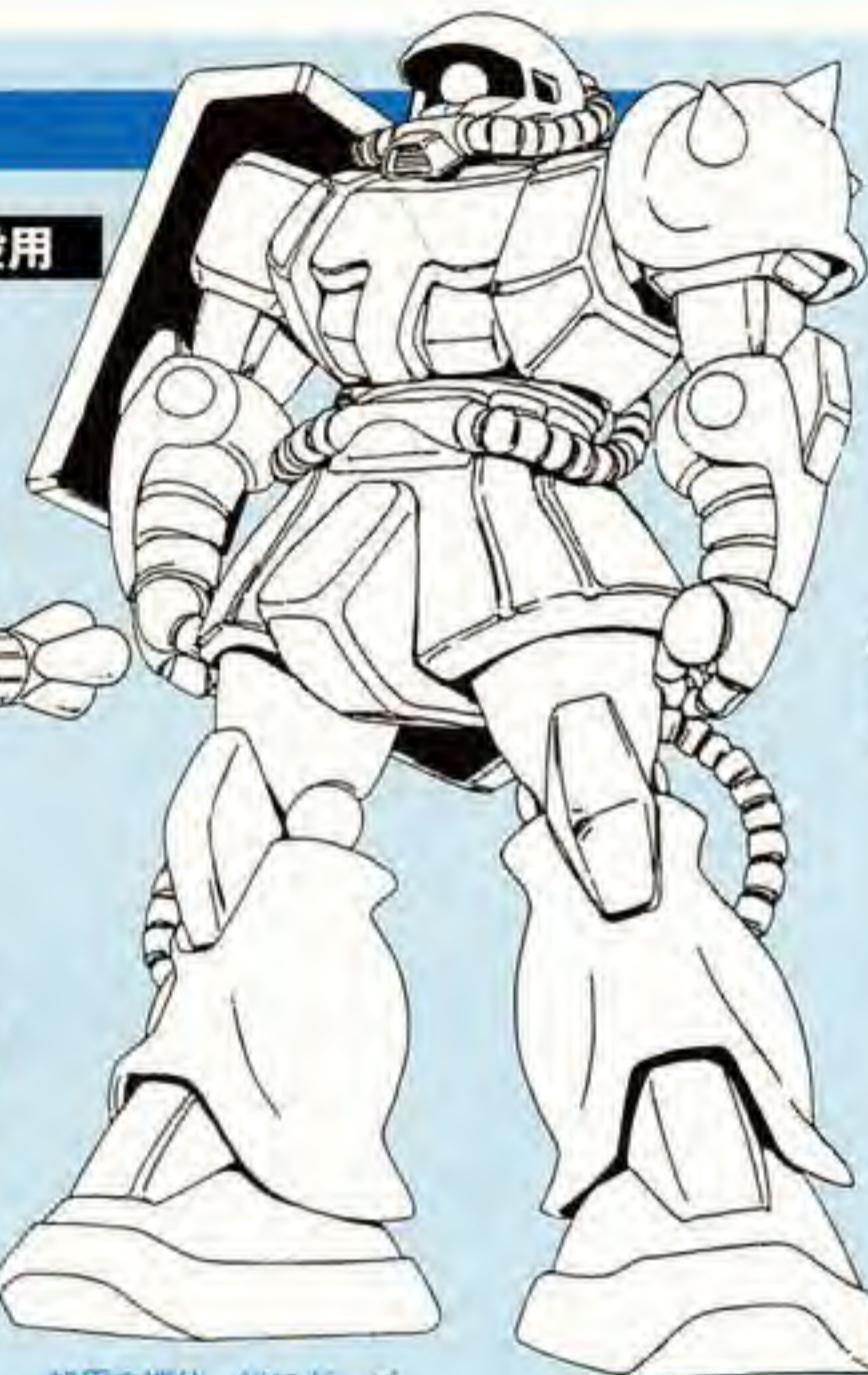
テテスが、発掘作業中のウイル・ゲイムに弁当を届けるのに使ったカゴ。そのとき、ディアナを見つけたテテスは、岩を振りかざし騒いかかるが……。中身はサンドウィッチだったらしい



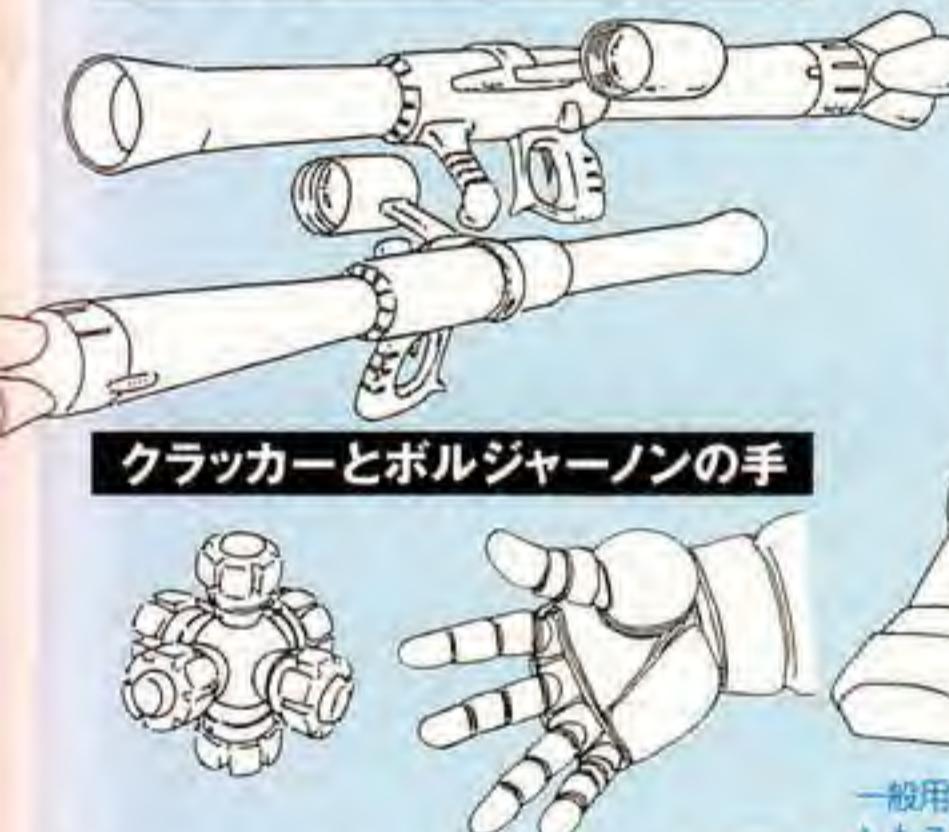
モビルスーツ ボルジャーノン

ルジャーナ・ミリシャが自領で発掘した機械人形。スエサイド(決死)部隊という精銳を組織し、集団戦を訓練していたらしく、初陣で見事な動きを見せる。

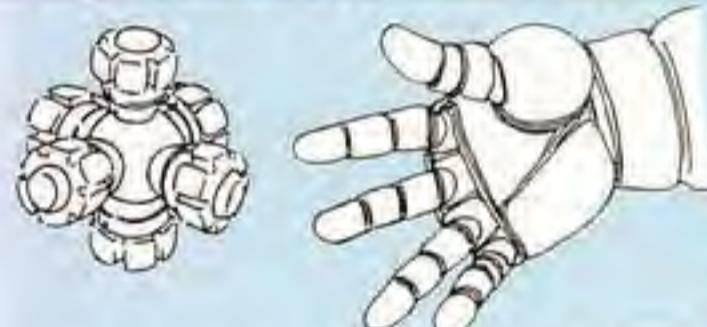
一般用



ボルジャーノン・バズーカ



クラッカーとボルジャーノンの手



一般用の機体。後にキャバンもこの型の機体に搭乗

ギャバン隊長専用機

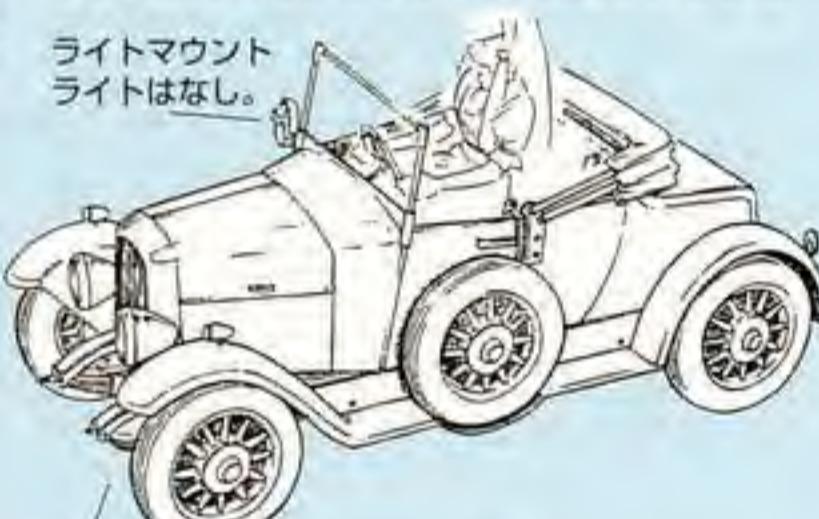


一般用と異なる外見から、ギャバン隊長が専用機として使つが、破壊されてからはギャバンも一般用を用いる

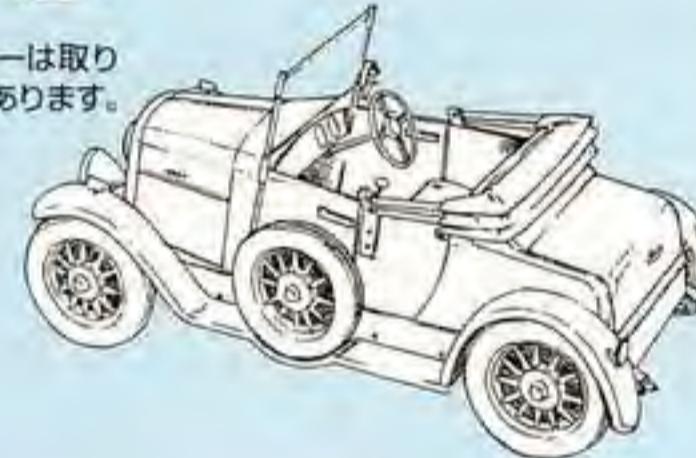
ディアナの車

ウィルはディアナ・カウンターと取引をしようとしていた。ディアナは車を走らせ彼を追い、その前に立ちはだかるが、戦闘に巻き込まれる。

ライトマウント
ライトはなし。



バンパーは取り外してあります。



初代ウィル・ゲイムとディアナの写真



ゲイム家に残されていたモノクロの乾板写真を見つけたディアナは遠すぎる思い出に涙する。

ルジャーナ・ミリシャ スエサイド部隊隊長 ギャバン・グーニー

ソシエたち、女子供が戦っているイングレッサ・ミリシャを小馬鹿にしたような態度を取るルジャーナ・ミリシャ精銳部隊の隊長。

表情



マフラーは着段は後ろに垂らしている。また、制服の腕には黒い筋が入っている

ルジャーナ・ミリシャ マリガン中佐

ルジャーナ・ミリシャの指揮官として、合流してきたイングレッサ・ミリシャにボルジャーノンの存在を知らしめる。



この顔はカツラ、制服の左腕のバラのマークは、ルジャーナ・ミリシャのマークだろう。また、手袋をしている

キースはグエンに協力し、月の技術者を招く計画をたてる

【ويلがキャノン・イルフートに搭乗し、ボウたちを宇宙船まで案内しようとすると、ミリシャの機械人形部隊が現れた。】



思い出は消えて

ストーリー解説

シナリオ段階では、ويل機を大破させるのはボルジャーノではなくてロランの乗るマ。しかも「このくらい私にもできる」とはしゃぐソシエをディアナがいさめ、悲しげにويل機を見つめるというのがラストシーンになっていた。これに比べるとアニメのラストは、かなりソシエとディアナの心理状態を描き尽くしているといえそうだ。コクピットから出たがる腕だけが見えるというのも、戦場での死をかなり生々しく伝えている。しかもその死者といえば、生前ボウに「モビルスーツはおもちゃじゃない」「素人」とまでいわれていたのだから。

ところでويلは「月には百年眠れる魔法がある」ことを知っていた。これは冷凍睡眠のことをさしているのだろうが、テテスから聞いたのだろうか？ それとも初代ويلの残した記録にでも記載されていたのだろうか？ それならおとぎ話の中にもそのことが語られているものがあるのだろうか？ ならば地球人が月の冷凍睡眠を知っていてもおかしくなさそうだが、実際はそうではない。おとぎ話だと思って本気にしていないのか？

小林愛（リリ役）

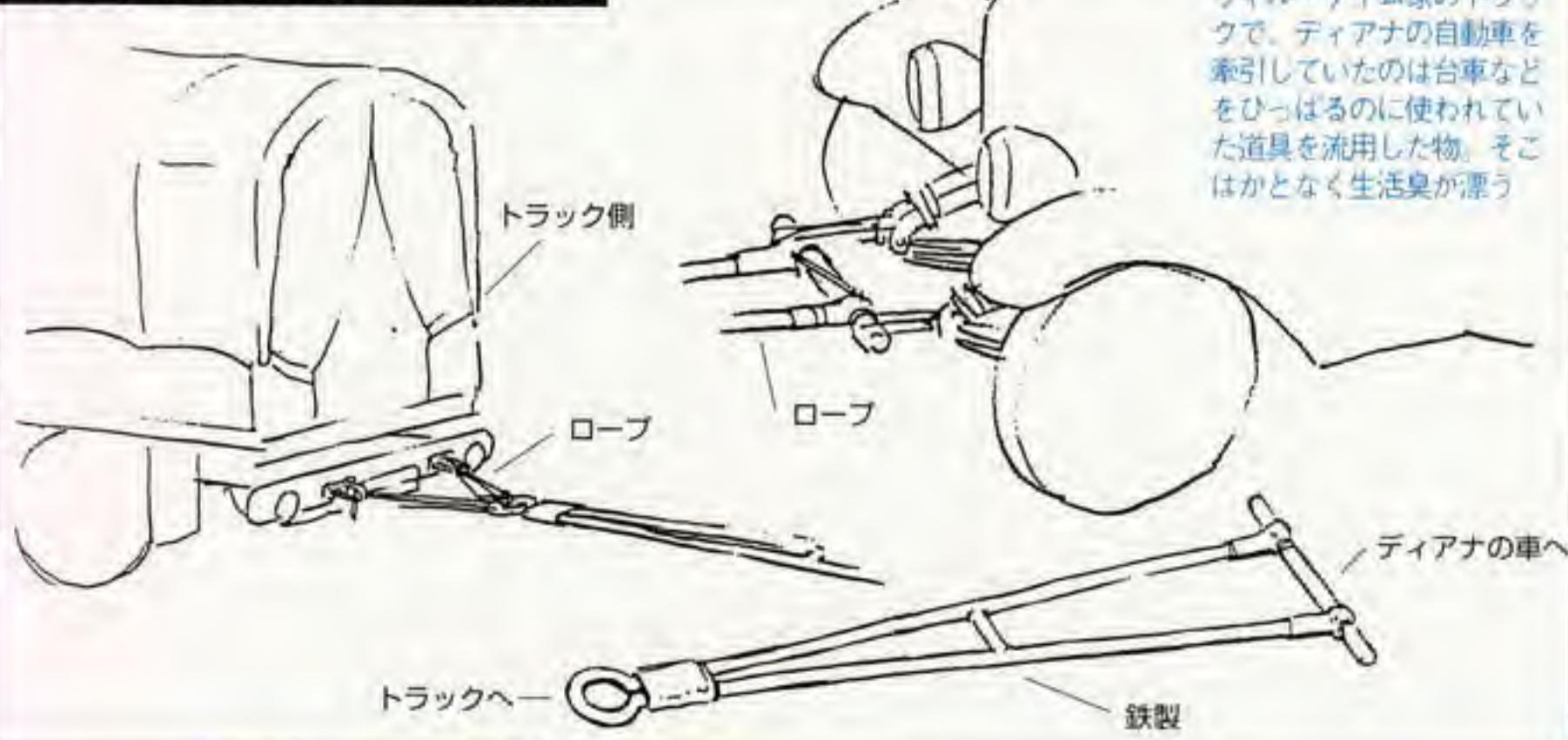
一番印象に残っているのは、初めて見たリリが「ブサイク！」と言った放つ

ويل家のトラック



ويلが後にしたケイム家に「忘れ物」を取りに行ったディアナ。ロランは彼女を迎えに行ったついでに、このトラックを持って来るようシンドに頼まれる

ディアナの車を引っ張る仕組



リリ・ボルジャーノ（運転着）



知恵熱（？）を出したグエンと移動中、キースに助けられ、彼が焼いたパンを自軍の駐屯地で売るよう手助けする。そこで見たマガニダムの姿を酷評する



シーンです。登場していきなりの暴言ですから、すごくビックリしました。でも監督に「リリは一見嫌な女に見えるけど、育ちが良すぎるために何の悪気もなく何でも口にしてしまった」と言われて、納得できました。リリはきっと、グエンのことをずっと愛していたのだと思っていますね。だからこそグエンの裏切りに対しても冷静に対処していますけど、実際にははらわたが煮えくり返っているはずでしょうね。

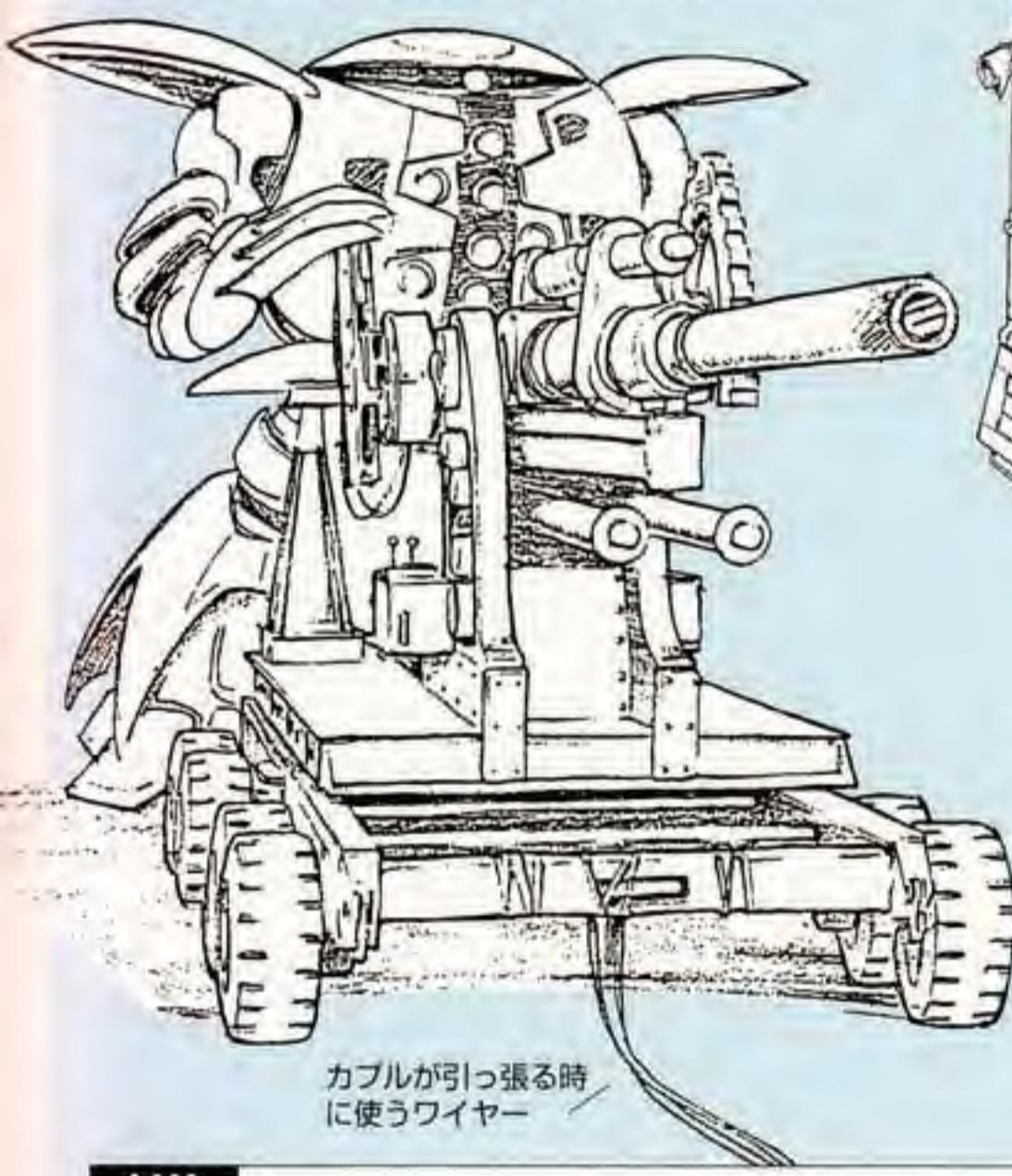
自分としては、お嬢様らしいリリの価値観ができるだけ伝わるように演じたつもりです。みんな「技術者」という言葉が言いにくくて、ハリー役の稻田さんは「ショットチュー」「ギッシュ」と言つてました。グエン役の青羽さんも同じで、つつかえると思った場所で必ずつつかえてくれるので楽しかったです。でも誰かが失敗しても、現場は和かんですよ。不慣れなアニメの現場でしたが、いいスタッフ、キャストにめぐまれて、楽しく演じることができました。

■スタッフの視点から

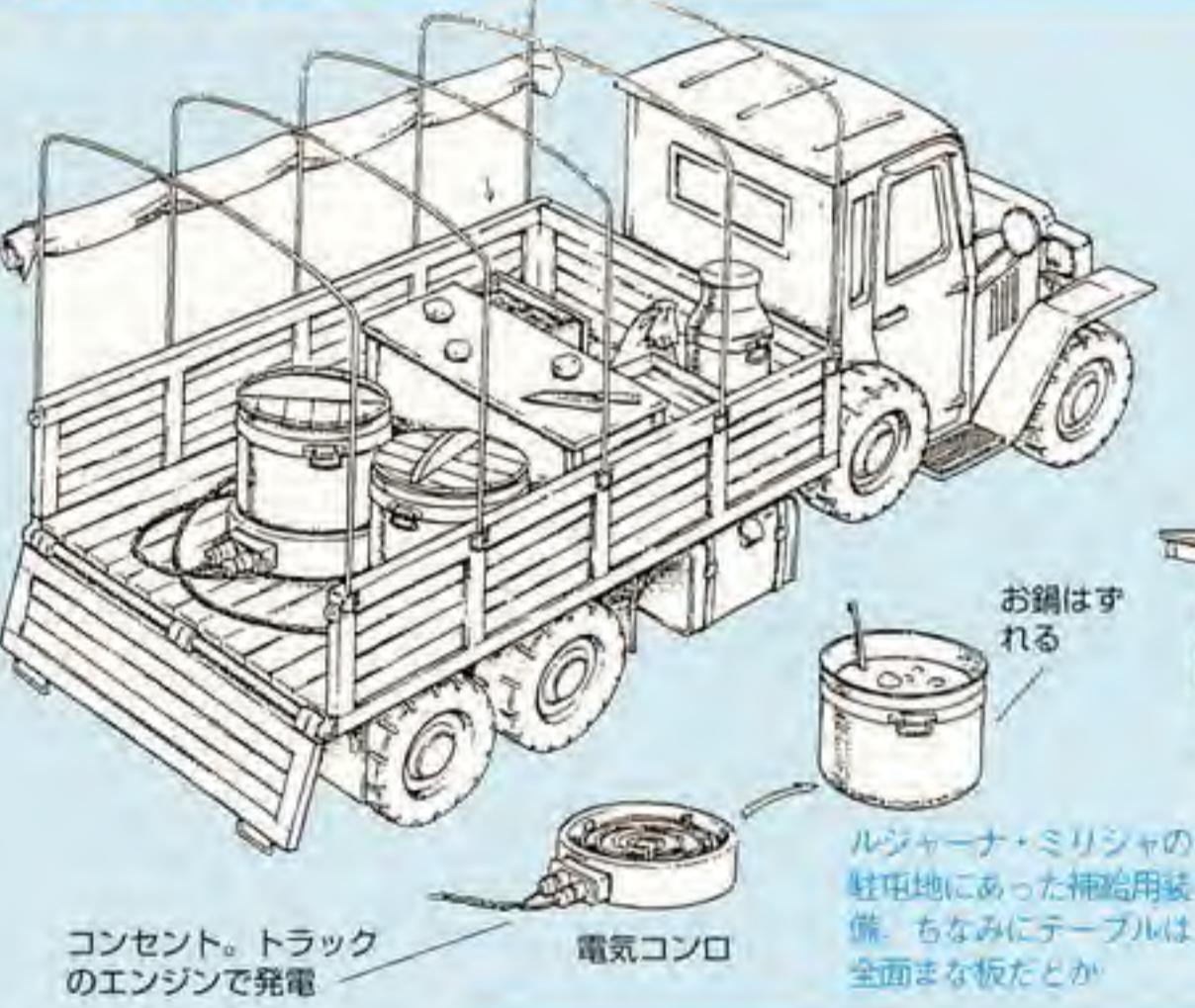
この話の戦闘シーンでは、ウッドが背骨伸ばして狙撃姿勢をとったり、なかなかいい動きもしてましたね。もっとも、キャノン・イルフートの戦闘は格好いいというより、ヤクザの出入りという感じでしたけど。訓練もろくにしていない連中が不用意に近づいてやられたり、近づき過ぎて火器を有效地に使えなくなったり。それで、ポウたちは素人同士に戦わせて後ろで見ているだけという（笑）。最後は見せないけど、すごくいやな気持ちにさせる表現で。シナリオではこんな風にやられるとは書いてなかつたんですが、コンテがあがつた段階で、設定制作の安川が「また監督、きついことやっていますよ」「最後の所こんな感じできついんですよ」と教えてくれて。それで見てみたら残酷で（笑）。見せてないからよけい残酷で。

機械人形カブルが使う高射砲

キングスレーの宇宙船発掘現場の防衛に当たっていたイングレッサ・ミリシャが使った。照準はテレビジョン写真でおこなうらしい。威力は今ひとつだった。

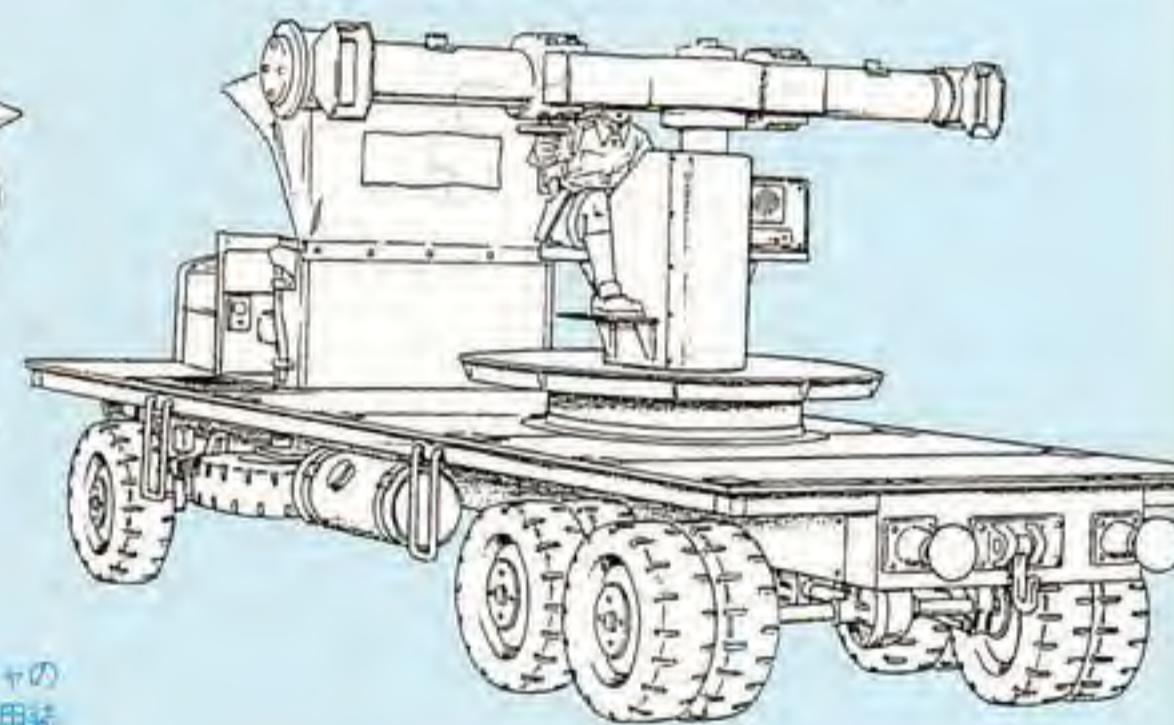


ミリシャの野戦炊飯車



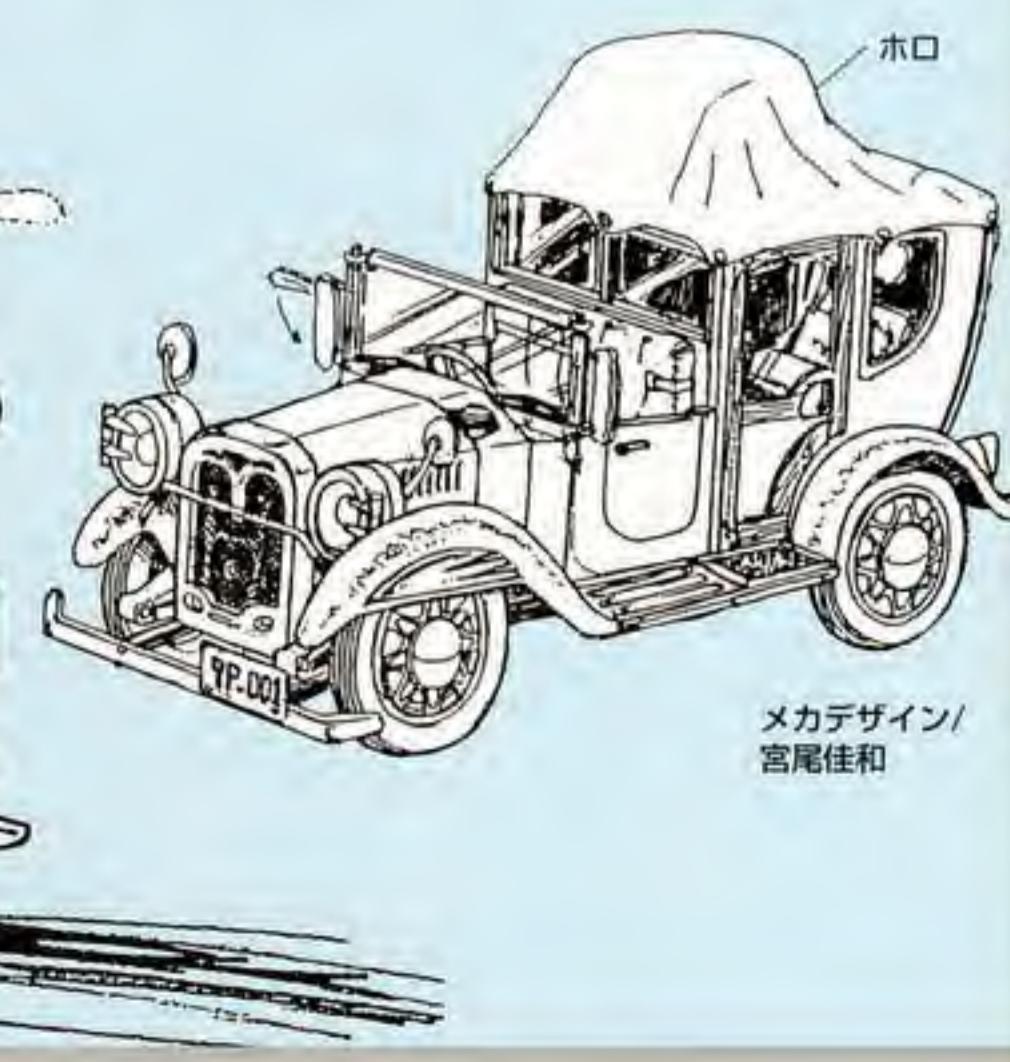
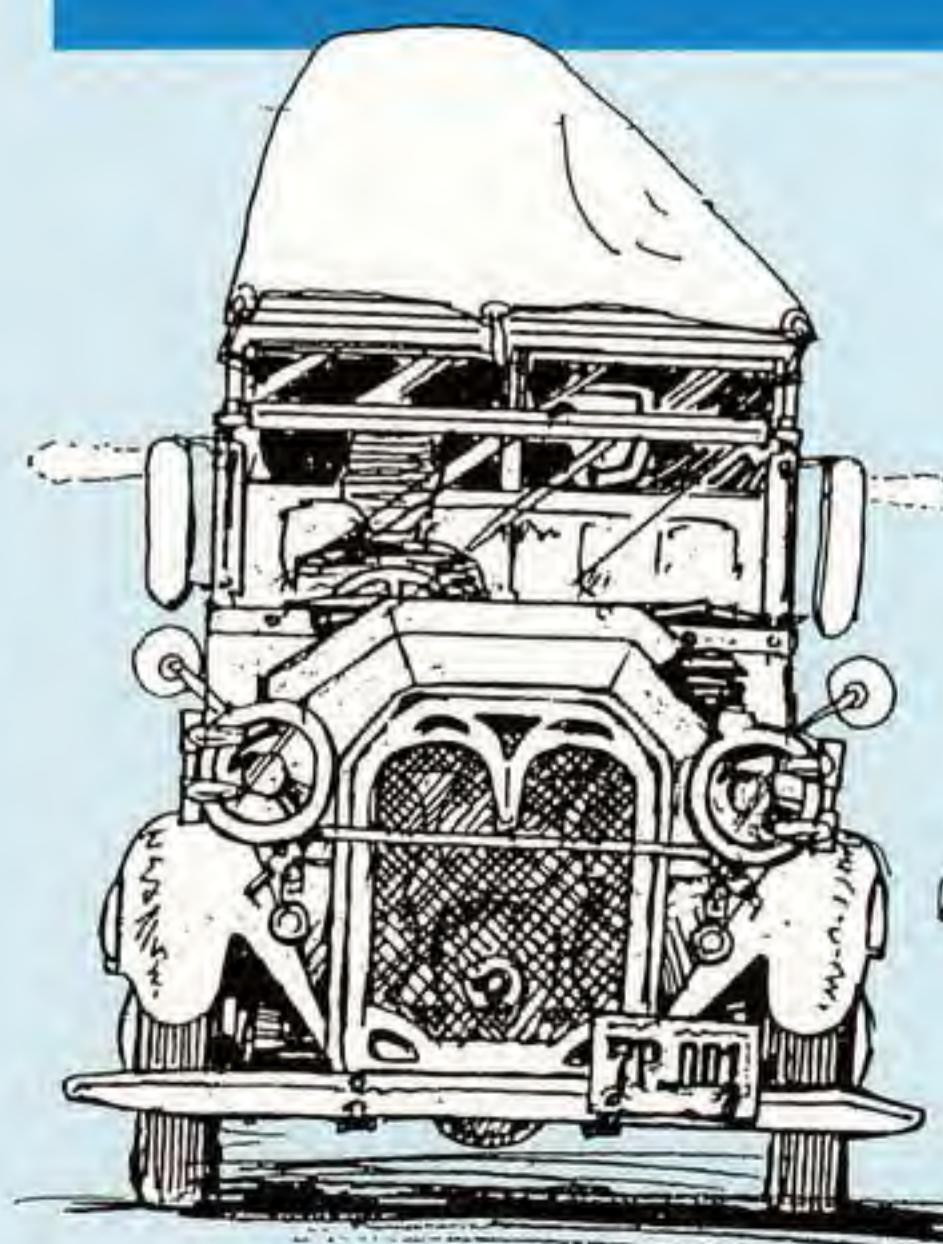
ミリシャの測距儀

ミリシャの輸送用トラックの荷台に高射砲用測距儀を取りつけたもの。ディアナ・カウンターを先導して来たウィル・ゲイムのキャノン・イルフートをとらえた。

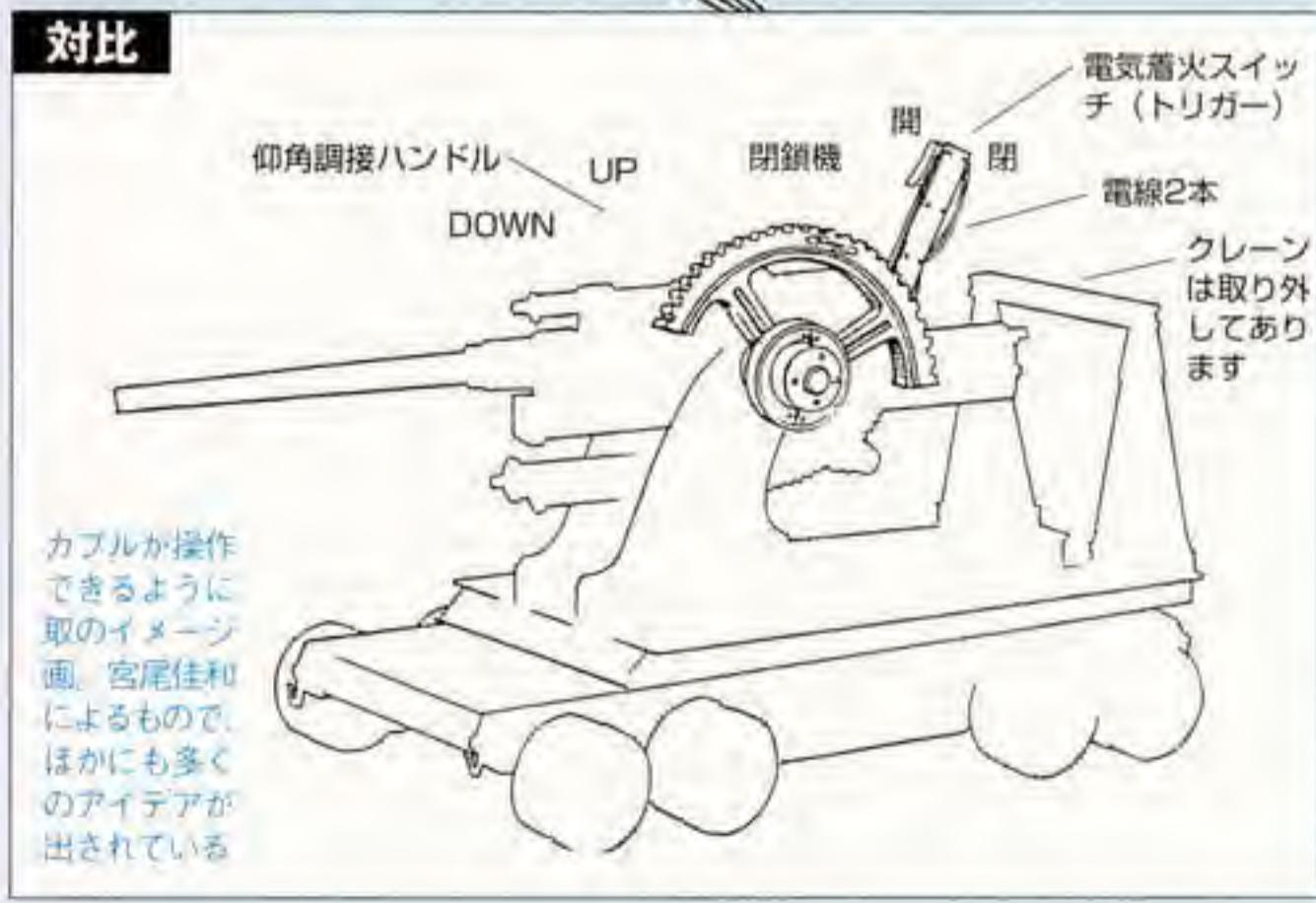


キースの車

難民状態でルジャーナに逃れてきたキースたちが使っていた車。このとき、キースは熱で倒れたグエンとリリに出会い、それによって大きく運命が変わることになった。



対比





テテスはブルーと
ヤコツプを仲間にして
ディアナ暗殺を計画

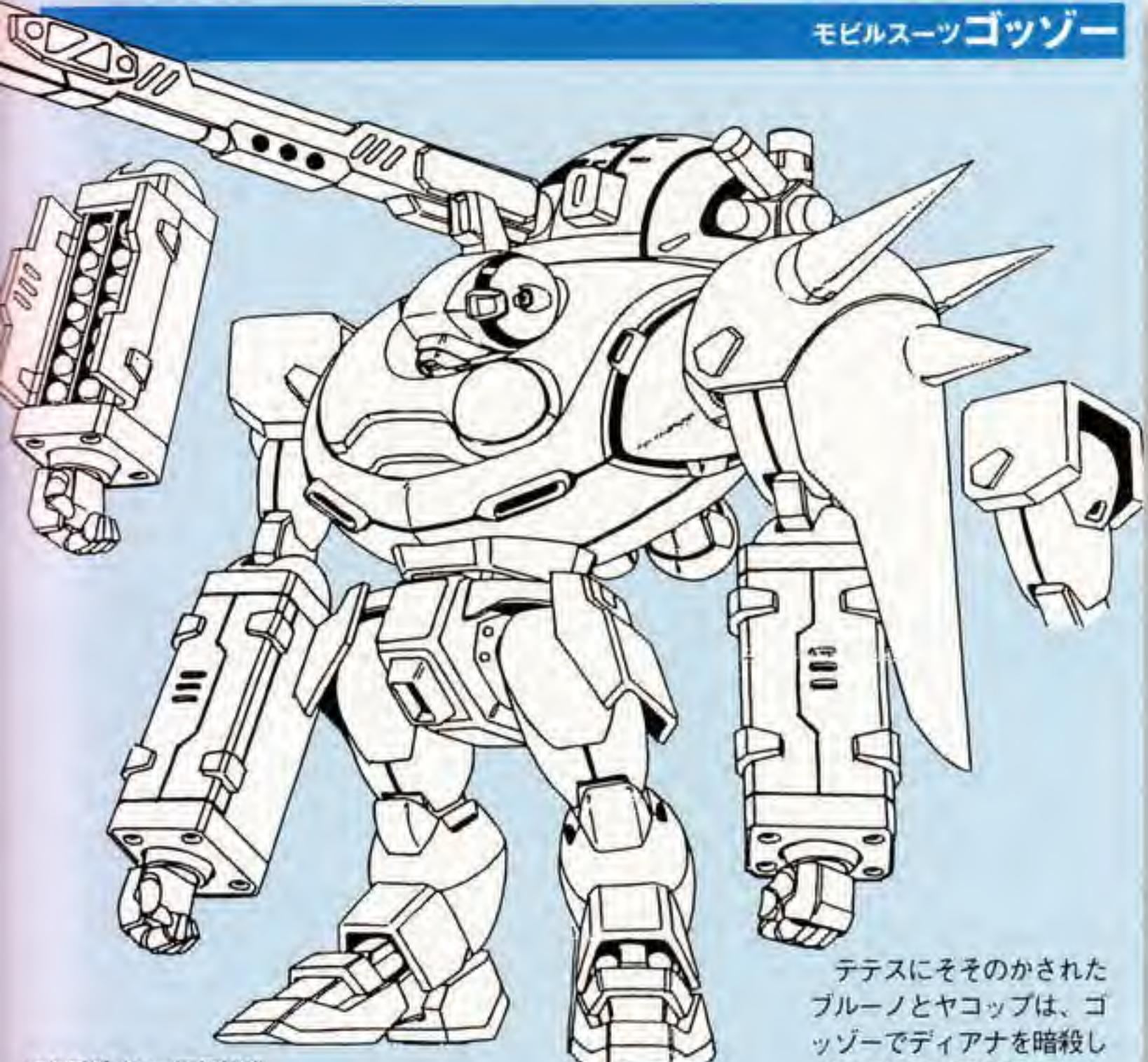
キースがムーンレイスの技術者たちを連れてきた。一方グエンはムーンレイスの建国式典を知り、直訴しようとする。

建国のダストブロー

ウンターの攻撃で破壊された橋の代わりになり、両手を崖の先端にかけて頭を降ろし、腕から肩にトラックを通すというテクを披露してくれている。さらに21話には、かの有名な洗濯出動のシーンがある。川をせき止めて手首を回転させて、大量の洗濯物を洗うのだ。ムーンレイスは地球の嵐などの自然現象を怖がるという設定にニヤリとしている古くからのファンも、こんなモビルスーツの使い方に

▽のもつとも▽らしい部分——それはモビルスーツが非戦闘用に使用されてい る点だろう。8話ではムーンレイス帰還 民一家を助けるため、▽胸部のミサイル ポットに牛を入れて運ぶという離れ業を 見てくれた。この回では、ディアナ・カ ンもある。人類とも自然とも敵対せずに 共存するモビルスーツという、▽のテー マが垣間見られたようだ。

モビルスープゴッゾー

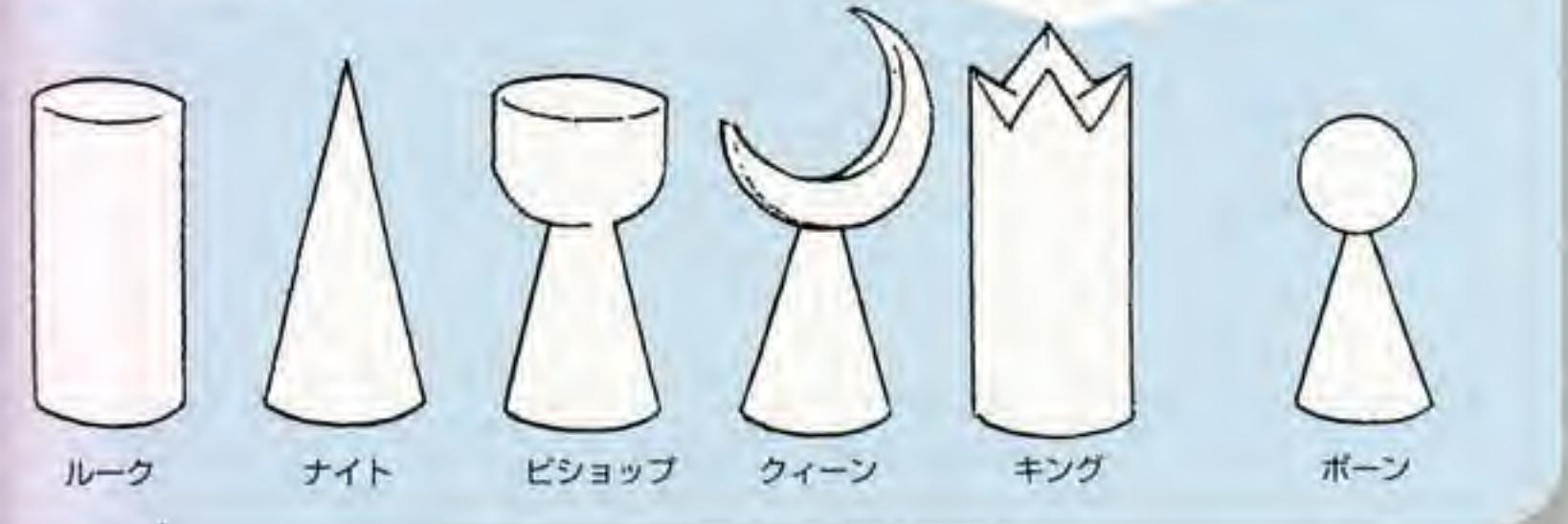


メカデザイン／石垣純哉

チェスのボードと駒



グエンの冬の別荘には、リリ、キエル（ティアナ）、ミハエルらが集っていた。そのとき、再起をはかるグエンとティアナは、チェスのようなゲームを楽しみ、リリの不興を買っていた。



いたな」と、ここで復活することになつた
という。実際12話では、マハゴッゾーを木
の棒で殴る以上の攻撃はしていないし、
ブルーノとヤコップはゴッゾーから落ち
て氣絶するだけだった。後の活躍はご存
じの通り。ちなみにこの二人、なぜかマハ
出演の女性声優陣の間で絶大な人気を誇
っていることを追記しておきたい。

■スタッフの視点から

このときシナリオ会議で問題になつた
のが、建国宣言をやるのはいいけどグエン
ンは落ちぶれちゃつてているから、書状を
出すにしても一体何処の住所に出したん
だ? という点で。それで、グエン宛の
手紙を思いつくところあちこちに出した
ら、全部グエンの元に届いた(笑)。ま
あ、グエンがまだ力を失っていないとい
う描写もあるんですね。本当は、こ
う言う政治的な所をもつと描かないとい
けないんでしようが、それだと会議シ
ンばかりでつまらないですしね。

わけですが、本当はコレンの消滅と共にいなくなる予定だつたんです。けど、何か使えるキャラいないかと捜していたらこの2人がいて。星山博之さんに「死んだんですか?」と聞いたら「死んでないよ」というで、こんなにいいキャラがいるんだから使わなければと登場することになりました。これがなければ、その後の登場もなかつたかもしれませんね。

この時、ディアナ暗殺が成功していたらミランなんかも巻き添えくつて死んでいるはずですし。ミランも怪しく見えるけど、そう考えると、後先考えずに暗殺を命じたようにも見えますよね。じつはアグリッパとしては嫌がらせができるいいや、このぐらいで死ぬとは思つていないです。クルーゾー警部をいじめる署長みたいな。死ぬと思つていなかつたから、どんどん過激な方法で殺そうとする。

まあ、このころはまだ、先の話はどうするか決めていなかつたので、というの大きいんですが(笑)。



ムーンリスの帰還民の人々



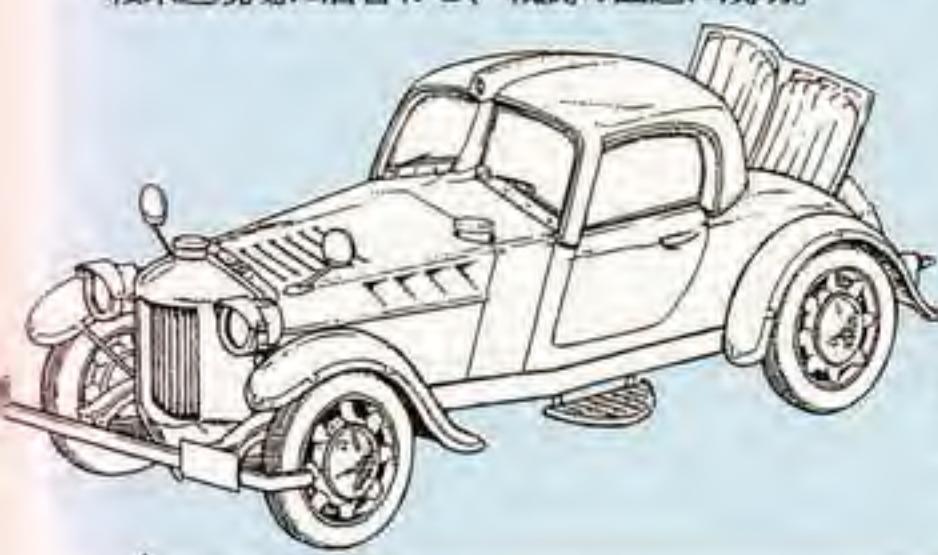
ディアナが見る地図

ディアナがソレイユに向かうグエンの車の中で確認していた地図。中央の湖の上に、手書きで目的地が記されている。上が北かは不明。

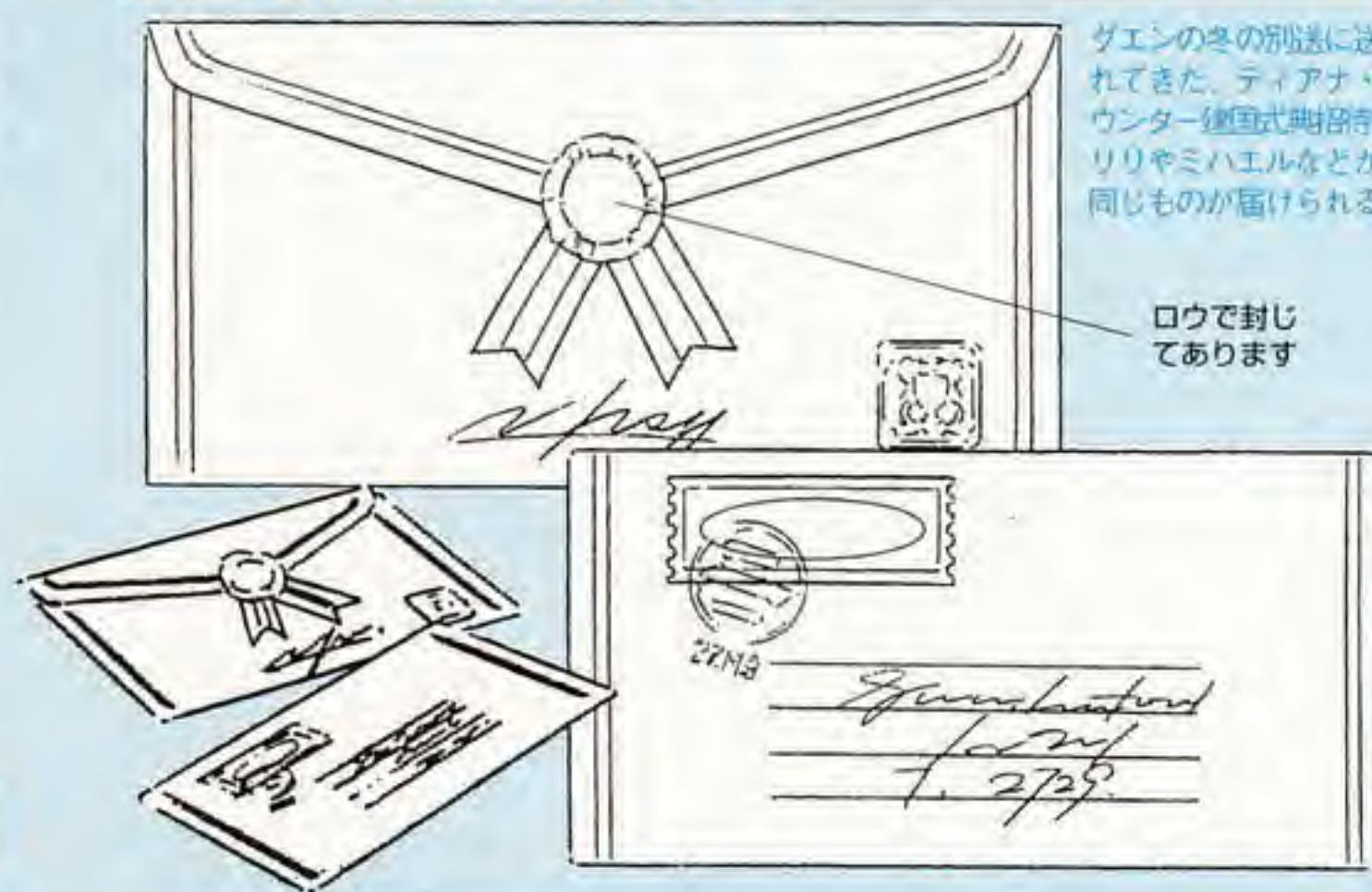


グエンのスポーツカー

建国式典を知ったグエンはDC側と直談判をしようと車を飛ばす。そして、ディアナ暗殺未遂現場に居合わせ、戦闘の回避に成功。



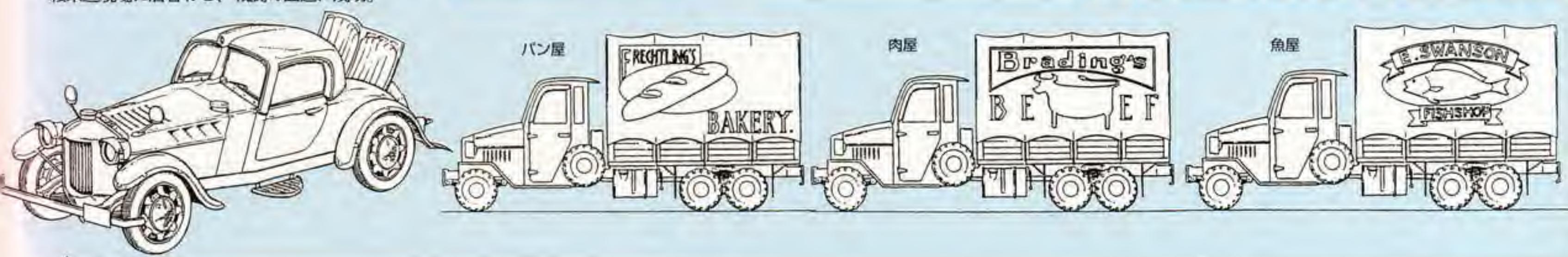
建国式典の招待状入り封筒



帰還民・ケース対比



亡命するムーンリスを運ぶ各種トラック



E P I S O D E
ミリシャの騒動や、テテスのディアナ暗殺未遂が起りつつも、ムーンレイスの建国式典は進行する。そして宣言は……。

ディアナはロランに入れ替わりを話す キエルを守れという

第18話

キエルとディアナ

ストーリー解説

ロランがディアナとキエルの入れ替わりを知ったシーンの絵コンテの欄外に「これはロランの人生の敗北の証なので、以後、彼は変わる」というメモ書きがある。ではこの回以後、ロランは変わったのだろうか？ ついえるとすれば、以前のロランはその時々に誠実に対応しているものの、あくまでも巻き込まれた立場だった。ここで彼が変わったとすれば、行動理念が受動的なものから能動的なものに変わったということではないだろうか？ 25話で「ぼくはローラでもなければ道具でもない」と言い切り、リリに「ローラは天使ではなく若い豹」といわれた発端は、ここに始まっているかもしれない。だとすればこの回でローラの姿を見せてはいるというのも興味深い。細かい部分もチェックしておきたい。

建国式典が行われた場所はサンベルトではない。そこへ辿り着く以前にソレイユが不時着した場所なのだ。建国する場所以外で行う宣言とは、一体どのようなものになるのだろうか？ もし機会があるならば、ミランの建国宣言草案を一度読んでみたいのだ。

高橋理恵子（キエル&ディアナ役）

建国宣言は、まず台詞が長かつたし、そのときの記憶がとんでもないぐらいために緊張していく、演技も必死でした。だ

から「ああ、キエルも必死なんだろ？」って思いました。建国宣言の台詞そのものは一番好きなんです。収録のときに監督が「わたしたちはこの目も鼻も唇も同じです」とあるけど、いつの時代も戦争は絶対になくならない。原因が宗教や国家、人種差別と変わるだけで、現代でもそういう戦いや諍いはなくなっています。そういうメッセージを伝えたい」とおっしゃつたんです。私には月の女王様や地元のお嬢様という立場は判りませんが、自分の問題として身近にある差別や諍いを思いながら演技しました。きっと私は今まで、そういうつもりはないのに先入観や偏見でいろいろなものを見てきたんだろうなあとも考えさせられました。

一人一役は、声を作り変える必要はないといと監督に言されました。物語の後半、周囲が入れ替わりを知っているか知らないのかで演技が変わるために苦労しました。

スタッフの視点から

ディアナが、ロランに入れ替わりを告白するシーンですが、これはこうやってバラすしかないということです。建国宣言をするときに、そこに行かなきゃいけないんですけど、ディアナ一人で行つてもつまらないので、ロランを付けてやろう。だけど、その時まだロランを騙してつれてくのかという問題があつて。だつたら、告白した方がいい。本当はもつと前から伏線をひいていかなければならないのですが、前の構成はもうできているのでさらっとやるしかない。この話の直前まではどう動くかというのが決まっていなかつたから。それで、泥縄展開で……。

シナリオではローラの登場はなく、全部ロランの予定だつたんです。じつは7話のフィルムがあまりに面白かったもので、もう一回出すところ搜さなきやと言っていたんです。そうしたら富野さんが「もうコンテで入れちゃった」と（笑）。

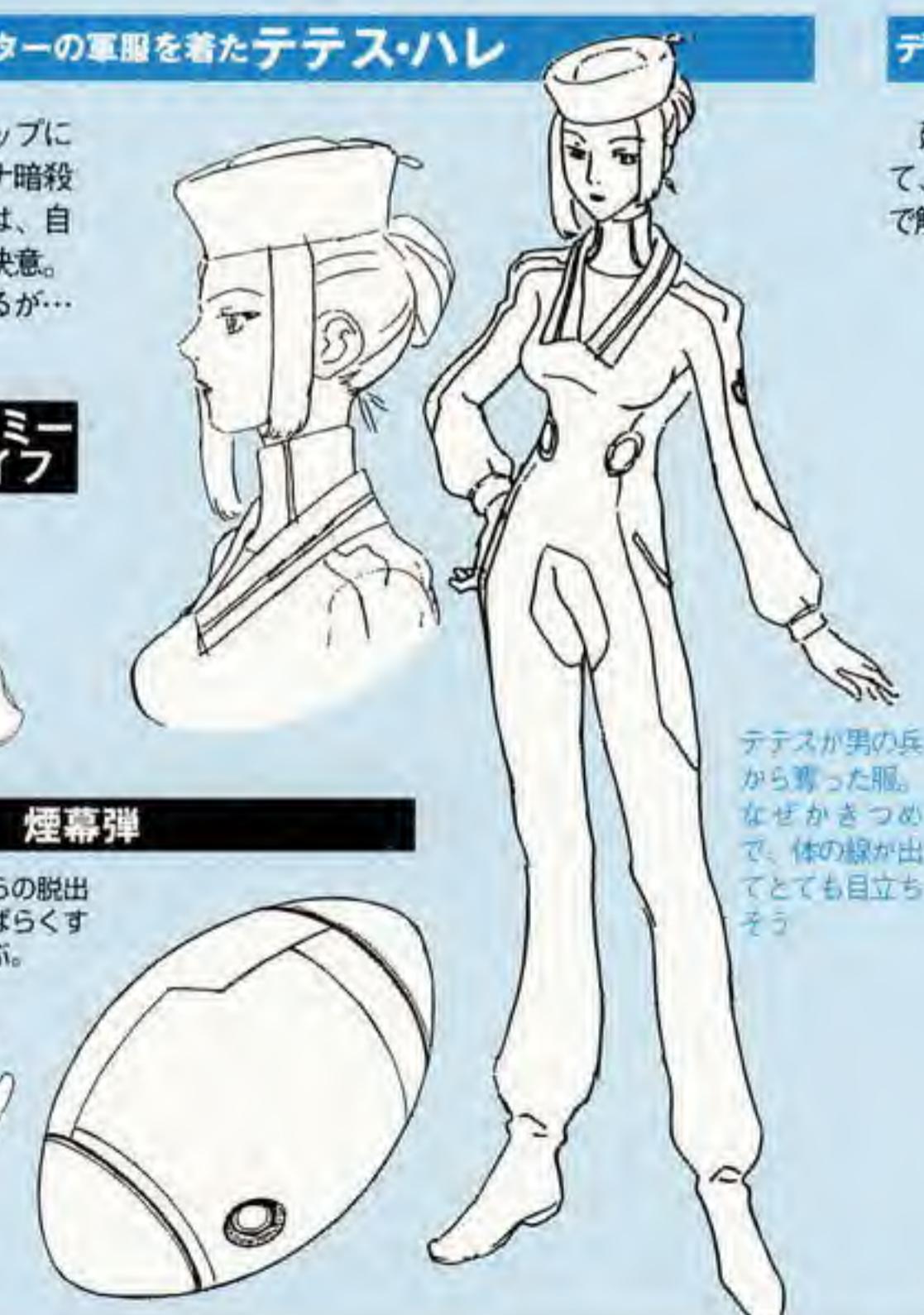
残念なことにローラ登場はこの2回と、あとコクピットから女声で話す簡易ローラがいたくらいなんですよね。

ディアナ・カウンターの軍服を着たテテス・ハレ

ブルーノとヤコップにまかせてのディアナ暗殺に失敗したテテスは、自ら手を下すことを決意。ソレイユに潜入するが……。

アーミーナイフ

後ろの座みがブレードリリース

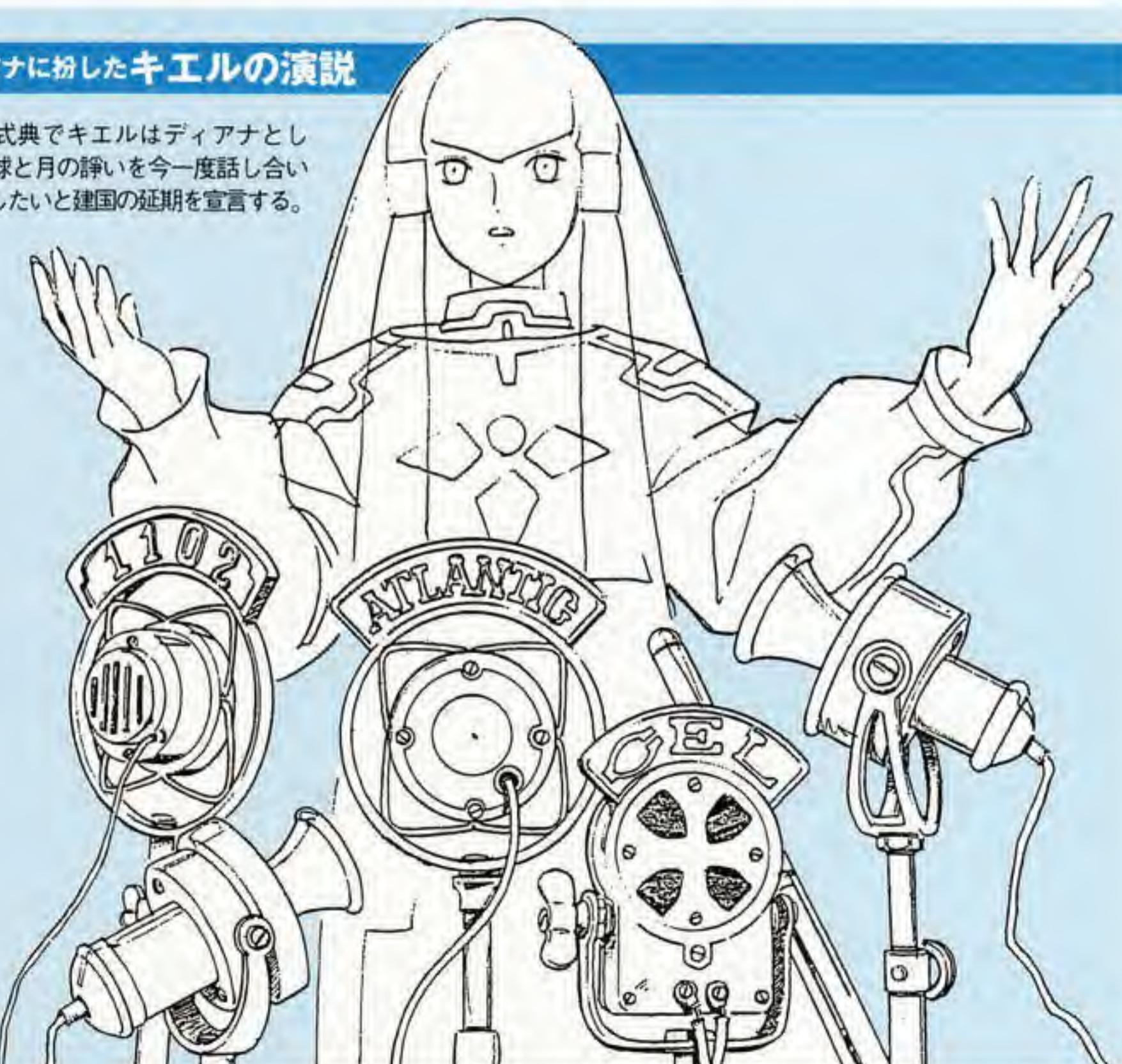


煙幕弾

テテスがソレイユからの脱出に使用。着火してしばらくすると両端のフタが飛ぶ。

ディアナに扮したキエルの演説

建国式典でキエルはディアナとして、地球と月の諍いを今一度話し合い解决したいと建国の延期を宣言する。





キエルに扮したディアナのドレス姿

建国式典に参加するため、リリに借りたらしい。ちなみに、ソレイユ内でキエルとの別れ際の「よしなに」のセリフでハリーは入れ替わりに気づいたらしい。

表情



女装が似合うロラン



ディアナ扮するキエルのお供として、女装の上、親衛隊の名前までかたったロラン。しかし、ハリーにはしっかりとばれていたらしい。

ゾシエ・ハイム



ドレス姿

バーテンダー姿のヤーニ



酒売り商人風のミハエル



式典会場に潜り込み、工作をするために酒売り商人に化けたミハエル。陰謀を企んでいる風のテレスをわざと見逃す。

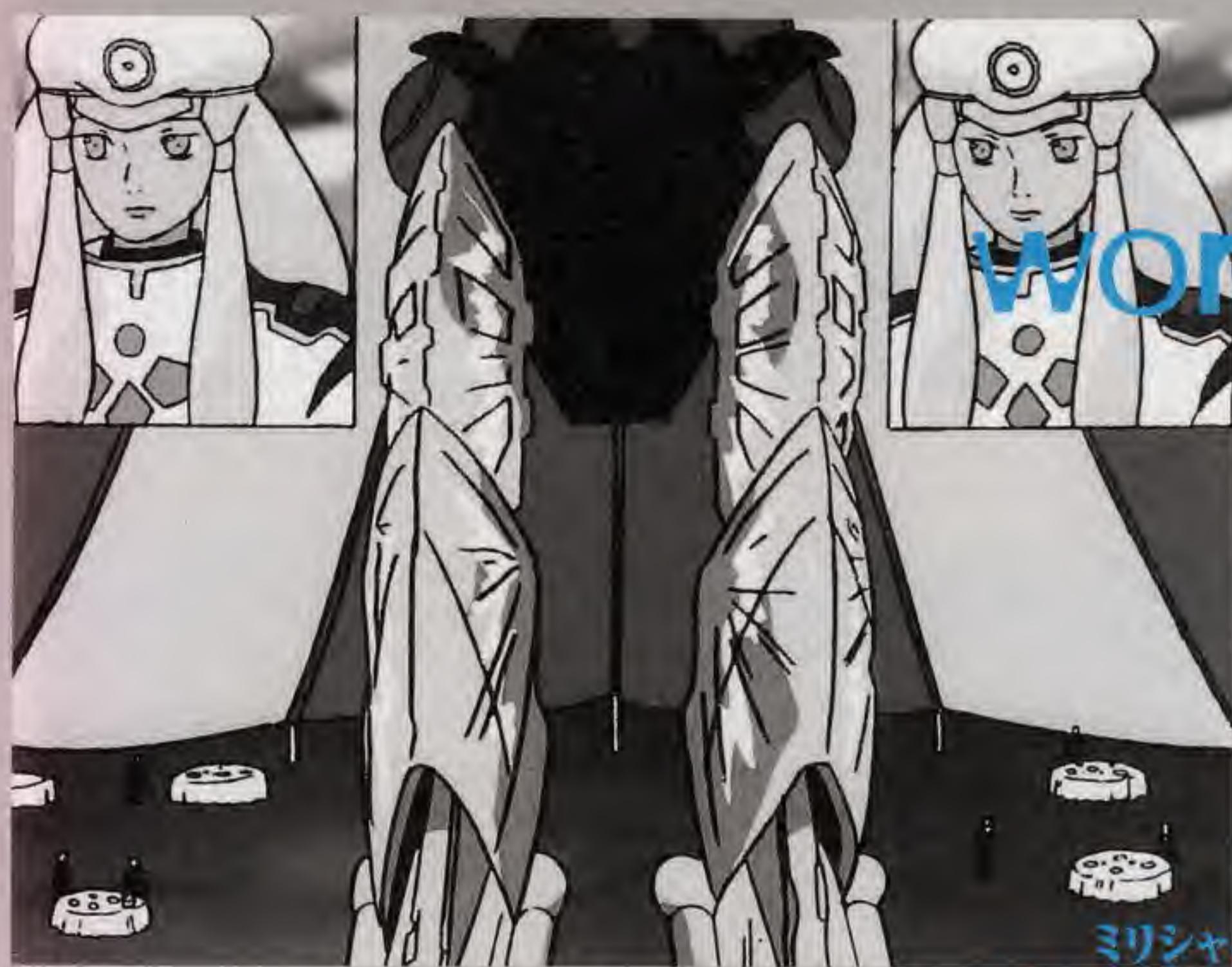
チョッキが少しきつめ。



酒だと酒箱

ディアナを姉、キエルと信じて無警戒な姿を披露したゾシエ。リリに借りたドレスで式典に参加。

ヤーニたちがディアナ・カウンターに納品した酒だとすると酒の箱。箱はダンボーボール？ 99%のアルコールも用意していた。



turn A World for Episode #12-13 Aの世

イングレッサ領からルジャーナ領に舞台を移し、
ミリシャ、ディアナ・カウンターの活動もより活発化を見せ
さらに広がっていく世界。そののどかさの裏で悲劇は進む。



軍隊は、必要に応じて駐留地を移す。
それはミリシャにしても同じで、これ以降このような野営地が度々現れる。それは戦いが広がつており、戦いが人によりなされている逆接的な証明でもある。

ミリシャの野営地



ノックスの崩壊により凋落したグラン。再起をはかる彼は、ルジャーナ侯の末娘であるリリの力を借り、ルジャーナ領にあるこの別荘を当面の足場とする。

それは未だ衰えぬ彼の力の証でもあった。

グエンの冬の別荘

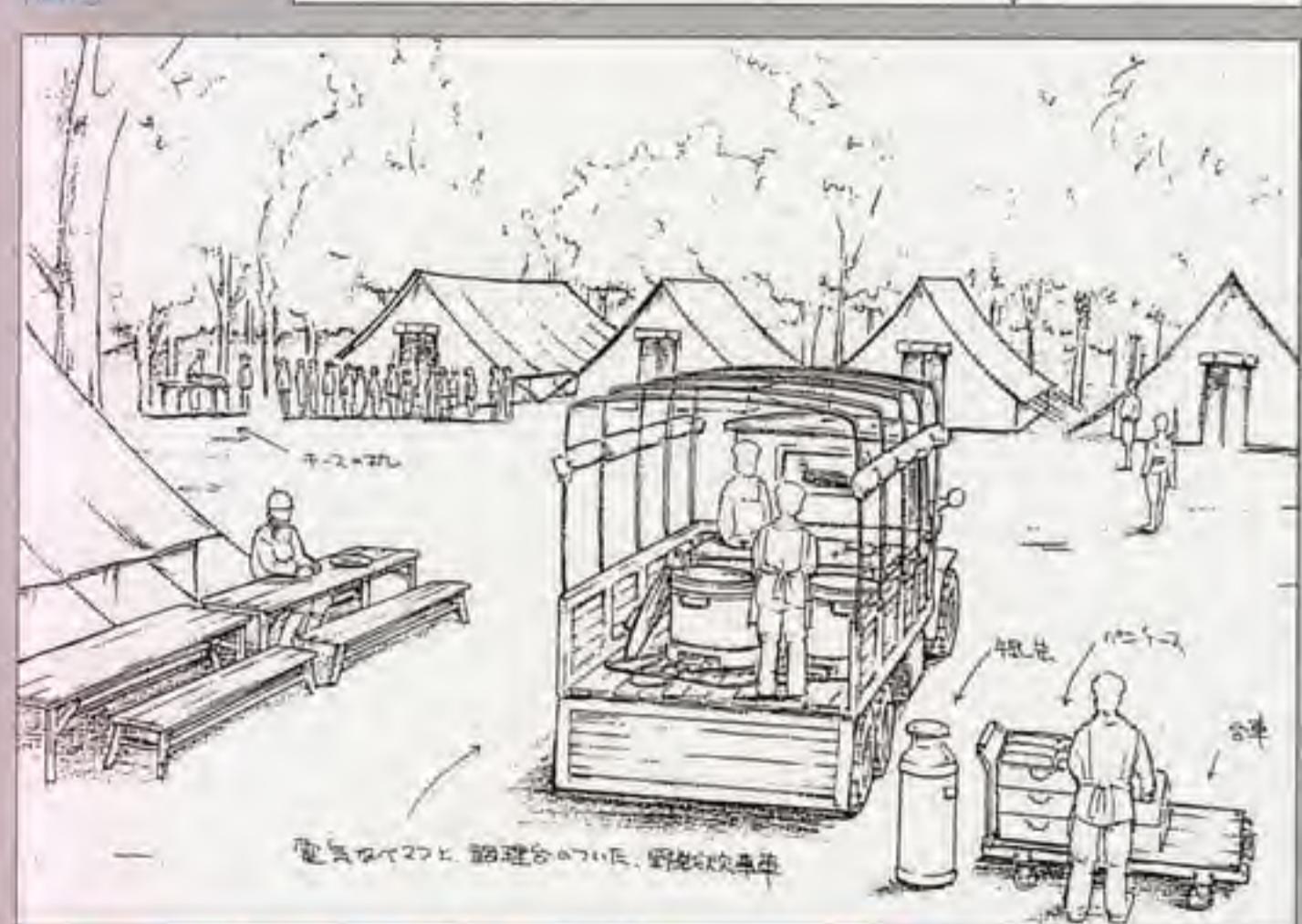


ノックスの崩壊により凋落したグラン。再起をはかる彼は、ルジャーナ侯の末娘であるリリの力を借り、ルジャーナ領にあるこの別荘を当面の足場とする。



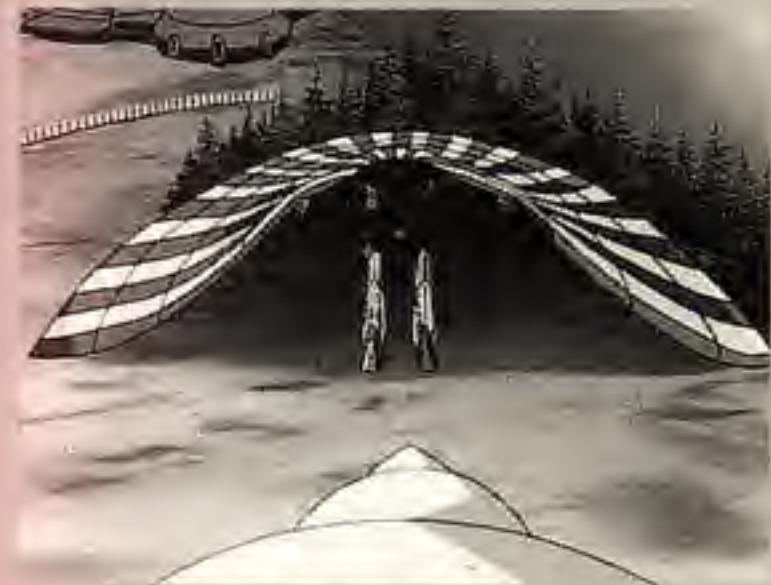
建国式典の前日、この小さなホテルでさまざまなドラマが展開された。ロランたちの物語だけではなく……。

ホテル・ルジャーナ



ウイル・ゲイム家

かつて地上に下りたディアナが、育んだロマンス。だが、150年という歳月を経て再訪したその舞台は、時の流れに隔てられ、埋もれようとしていた。これもまたひとつの黒歴史として。



このところには強制されたものはナノスキンに隠されているといいイメージが確立する。

*発掘される宇宙船についたナノスキンの表現の参考。泥だらけのミイラ男のようなイメージ

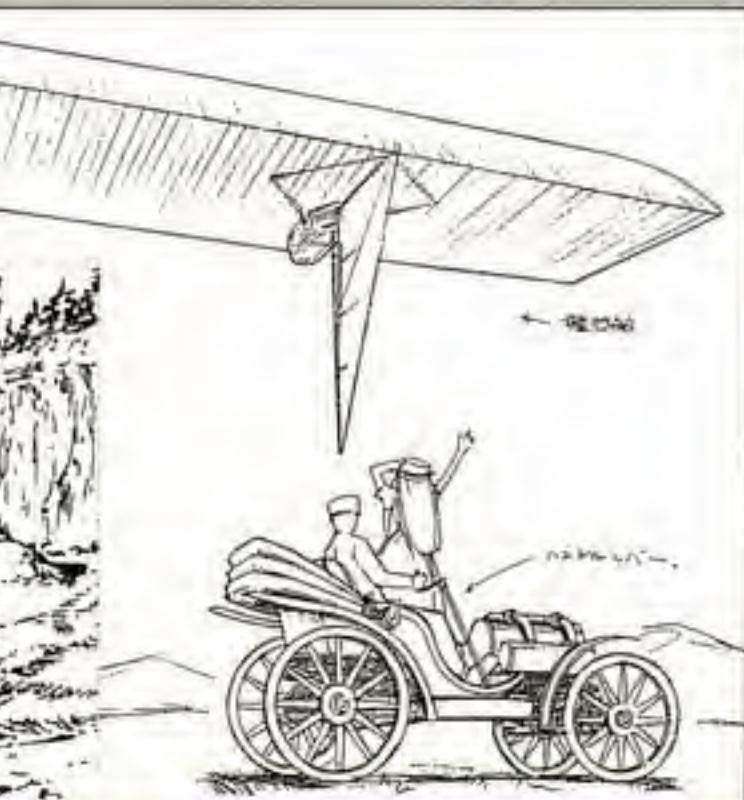


宇宙船発掘現場



ヤレグスレー・オーバニーのゲイム家の館。かつてディアナが選んだ名家は今は見る影もない。それが、かえってディアナの心の傷をえぐる？

かつてこの地を訪れたディアナは、ゲイム家の当主、ウィルとロマンスを育む



また、ミリシャが安に布るがけた扶助の宇宙船発掘現場の様子

Hクロニクル CHRONICLE

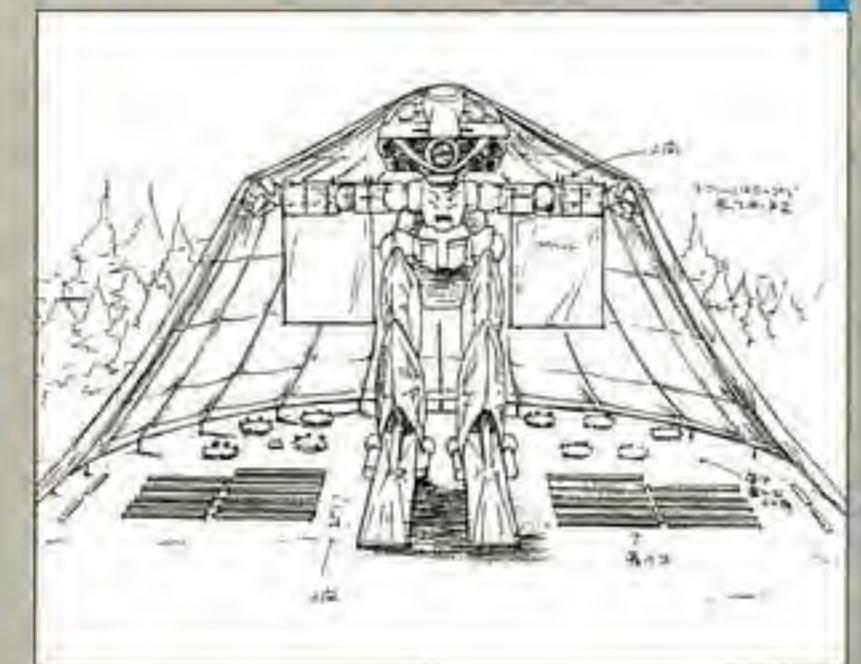
6月20日に横山ノックへのセクハラ訴訟がおきたが、その寸前18日には、沖縄にて「G-SAIVO UR」日米チャリティ試写がおこなわれた。ちなみに、このとき富野監督は早めの夏休みを取っていたらしい。

一方、27日には山陽新幹線がトンネル壁落下でパンタグラフが大破する事故を引き起こす。この事件を契機に、日本の安全神話の崩壊が囁かれるようになった。

7月頭にはカシミール紛争が収束したが、インドネシアでは東チモール問題が噴出。また、インターネットの力を見せつけた東芝ビデオ問題がおこる一方、23日には「実際に操縦したかった」という犯人によるハイジャックが発生。



本格的な工事に見えたが、工事中のダストブローで倒壊し、骨骨が傾くなど地盤の脆弱に対する無知から、重い工事がここで行われて行くのがもじもじしている



ディアナ・カウンターの旗艦ソレイユと戦艦アルマイヤーは、ノックスを連れサンベルトへ向かう途中で不時着。そのまま、そこでサンベルトに國家を樹立する宣言をおこなおうとする。その会場の設営のためだけにこれだけの規模の工事をしてしまう。それがミリシャを上回るディアナ・カウンターの力なのだが、同時に地球環境への不慣れさも描かれる。

左の図の青白のテントを裏側から見ると、このようにウッドムがテントの支柱とスクリーンの保持役となっている

ムーンレイス技術者の亡命に反発したフイルは後方を叩こうとする

キングスレーの谷近くでホバー走行車が発掘され、ロランが艦長に任命される。バトロールに出るとウォドムを見つめる。

ミリシャの工兵



宇宙船の発掘現場に派遣されているミリシャの工兵、すなわちメカマンたち。顔は参考なので本編と異なる。

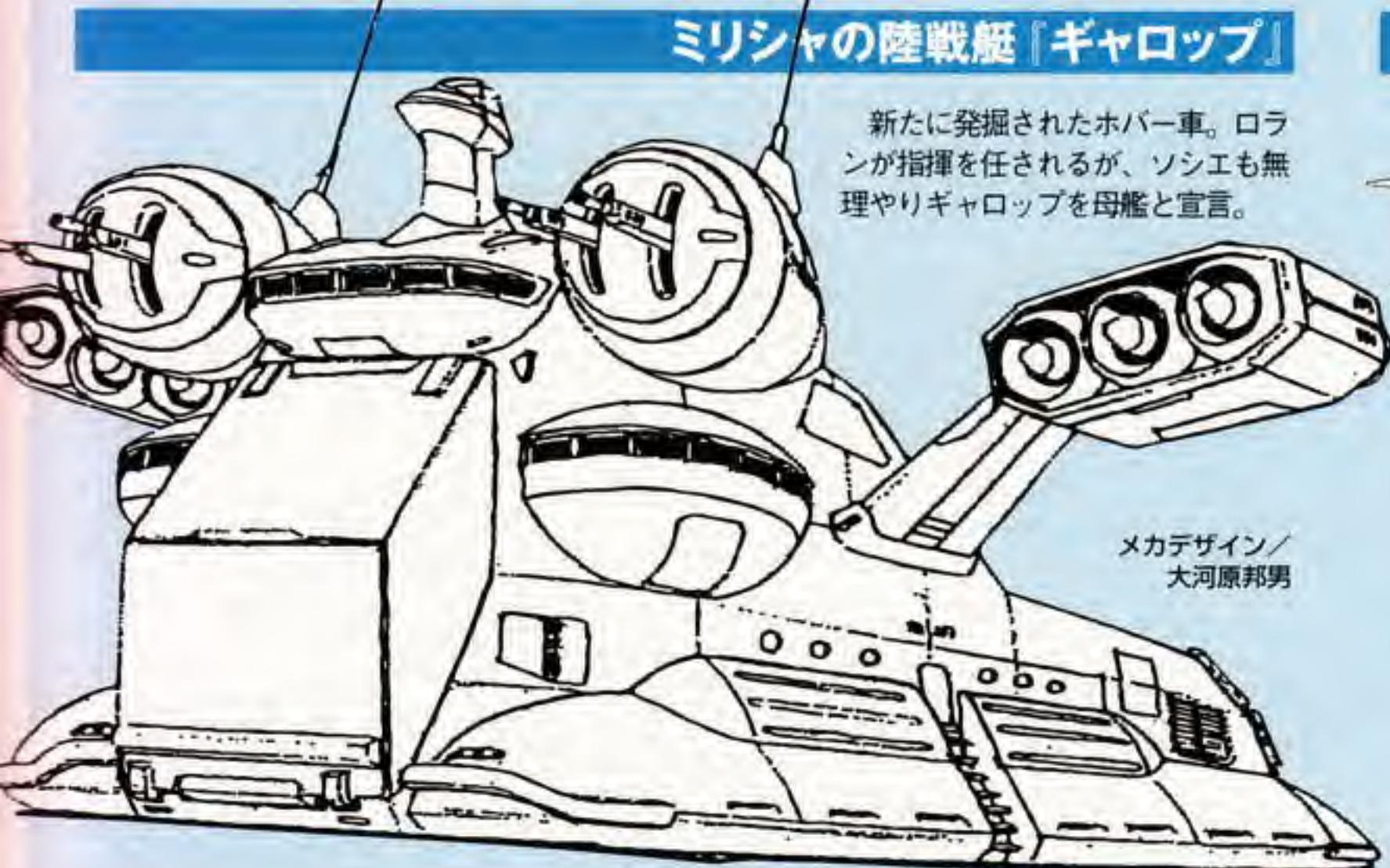
ディアナのエプロン姿



キエルに後を任せて気が抜けたのか、喜々として洗濯物をはじめるディアナ。そんな姿にロランは慌てるが。

腕まくりしている

ミリシャの陸戦艇「ギャロップ」

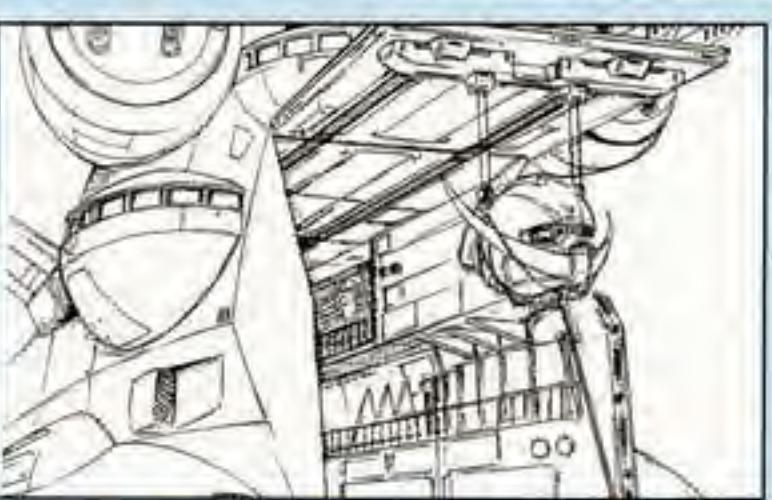


新たに発掘されたホバー車。ロランが指揮を任されるが、ソシエも無理やりギャロップを母艦と宣言。

メカデザイン
大河原邦男



ギャロップの後部デッキ。ディアナはここで洗濯物をはじめていた。



ギャロップのフロントハッチ。その中では、14話で脇渡させられたマの頭部が自己修復を終えつつあった。

ホレス



亡命ムーンレイス技術者のリーダー格の男。顔の通りのいい人。

▽頭部のかさぶたは、機体の自己修復作業を終え老廃物を取り込んだ分子アセンブリング・ナノマシンの死骸だ。損傷が完全終了するまで外部の刺激を遮断する皮膜の役割も担つており、修復完了後

第19話

ソシエの戦争

■ストーリー解説

は分解剥離するらしい。「ナノマシンの一つ一つは細胞より小さいのに、それが形作る全体がわかっているように一部の形を再成します」「ナノマシンの技術は月の都市建設に不可欠なものだったんですけど、ここまで生物的に正確なものは発されていません」等ホレスの台詞もチエック。

■スタッフの視点から

このころは、ソシエがロランのことを分かつてないと評判が悪かつたもので「ソシエを可愛くする作戦」第一弾です。話としては戦いの結末をわかっているロランとわかつていなかつたソシエを対比して二人の距離が縮まるようにと。「フアースト・ガンダム」でもあつた暴走しても、その結果は自分で受け入れなければいけないという話でもあります。





丘に一人住むアニスを避難させようと、ロランとディアナは説得に出掛けた。そこには何とブルーノとヤコップもいた。

ボルジヤーノンと カブルは、レット隊の フラット相手に苦戦

第20話

アニス・パワー

ストーリー解説

ソレルという名のハーブは別名ソレルフレンチ、和名はすいば、すかんばともいう。酸味が強いのが特徴だが、アニスがいう通り若い葉をつんでサラダでも食する。料理や魚料理のアクセントにもいい。フランス人の好物なので、アニスの「ガリアじゃ……」という台詞はここからきているのかもしれない。解熱剤として使用されることもある。ちなみに表記は「sore」。アニスは甘い香りがあるが、ケーキなどに使われるのもつぱら種。ハーブよりもスパイスといったほうが正確だろう。よくアニスシードといわれるのものだ。

スタッフの視点から

この18～20話は夏場の放送になるんで、富野監督が「どう転んだって視聴率はよくならないんだよ」と言って。そこで、一本きりのゆるい話をやって人物像を深めることになったんですよ。ちょっといい話シリーズということで。シリーズとして1年続けるためには1話からずっと繋がっているという作り方では無理というのもありましたから。

あと、この辺りで「ラモ」の売れ行きが伝わってきたので、「フラットをもつとカッコ良くなれる」という作戦を行なったわけですが、これが「ラモ」の売れ行

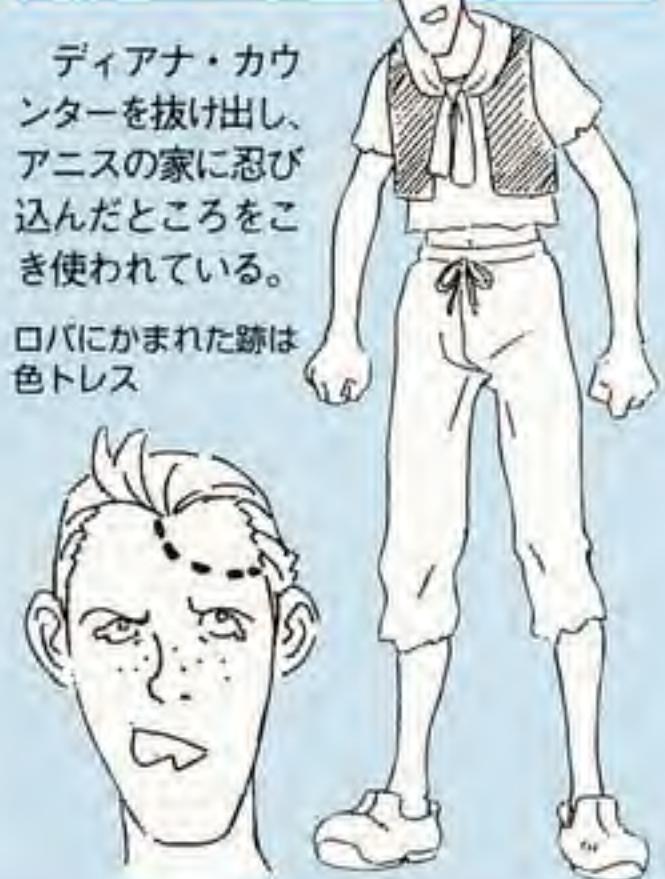
ロバのドンキーくん



ヤコップ



ブルーノ



アニスばあさん

戦火の近づきつつある農村で、ひとり自分の畠を守っているおばあさん。頑固でしたたかだが、ロランとディアナに心動かされる。

表情



3人のコブ参照



偶然から同じ場所にコブができてしまった3人。おかげでロランも彼らと打ち解ける。

アニスばあさんのオルゴール





リリを宇宙船に案内するグエン。ディアナはグエンの考えに反発

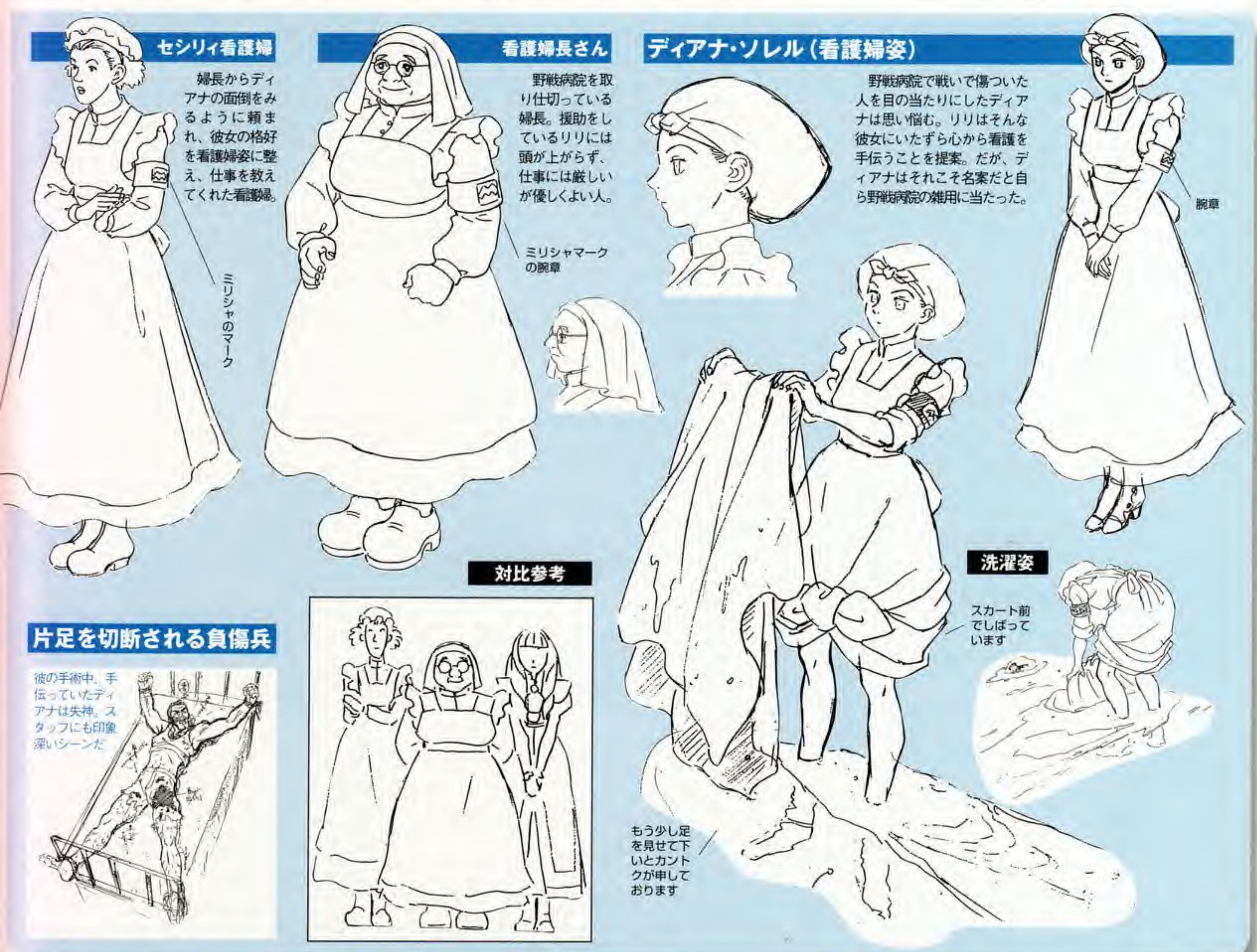
今回の話も15話同様 星山さんからこんなのをやりたいという提案があつたんですね。野戦病院のアイデア自体は富野監督のメモにあつたと思いましたが、今回の話、コンテを見たときは、あの脚を切るところとか怖かったですね。本当に怖くて、こんなに怖くていいのかと思っていたんですけど、フィルムになつたら大分落ち着いて。やはり、セルで描いてあるからかもしれないなあ。それに、フィルムで見るとケガした人、そんなに大きな傷に見えなくて。これで切っちゃうのは可哀想だなあと思いましたね。

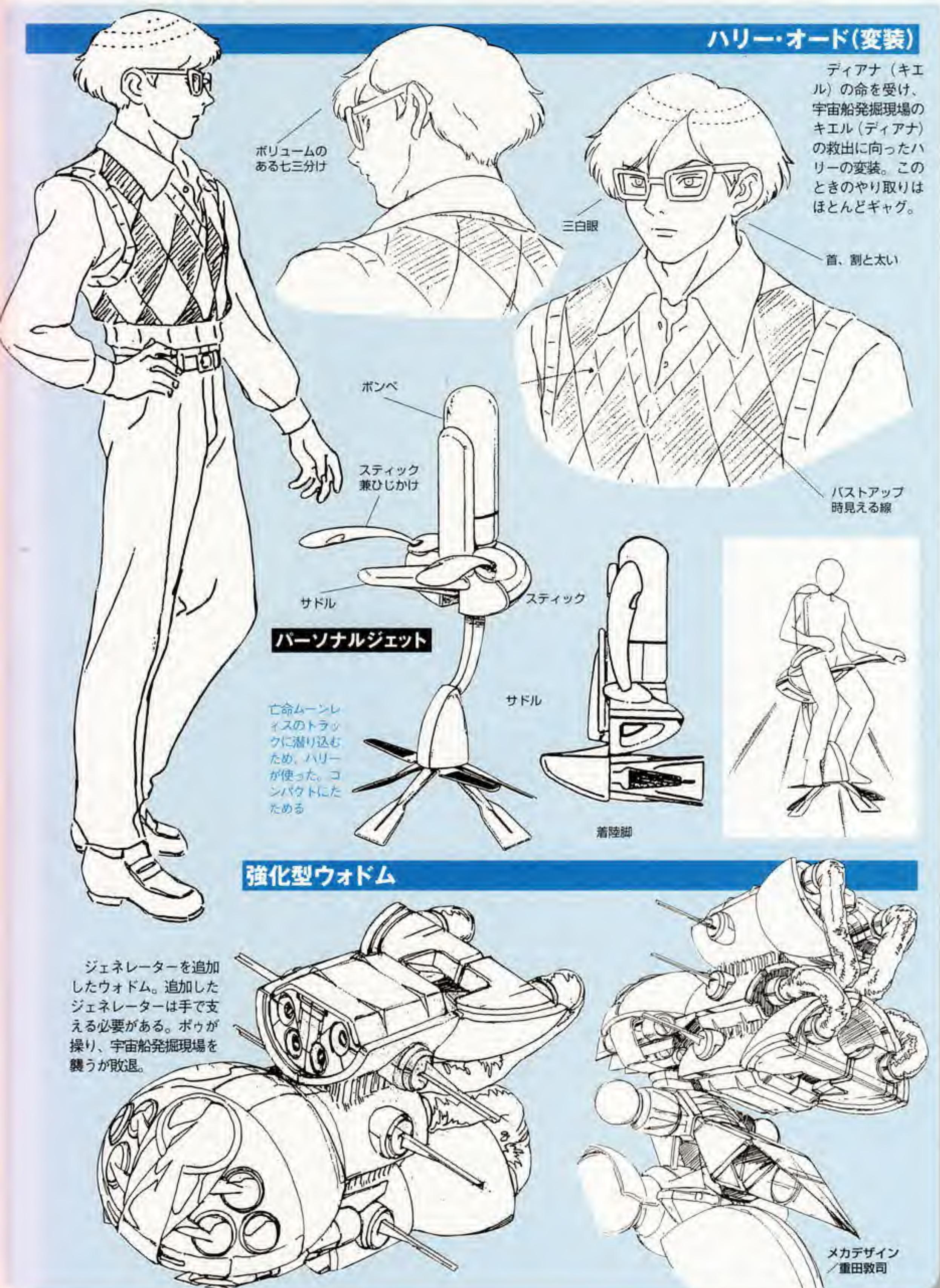
だろうか？ ナノマシンといえば前話で
アニスが「この土地だつて1500年
前ぐらい前まではなんにも採れない酷い
土地だつたんだよ。ご先祖さんたちは山
師から黒い粉を買つたりして、そりやあ
苦労してこの土地を育てたんだよ」と語
る黒い粉の正体もナノマシンだ。

ストーリー解説

第21話 デイアナ奮戦

嫉妬したりリは、ディアナを自分の家が援助する野戦病院で働かせる。いじめのつもりでしたのに、ディアナは感謝する。





Harry-Odome (Transformation)

ディアナ(キエル)の命を受け、宇宙船発掘現場のキエル(ディアナ)の救出に向ったハリーの変装。このときのやり取りはほとんどギャグ。

#ココ
Episode #22
フィルの宇宙船攻撃を知ったキエルはハリーに
ディアナ救出を命ず

パワーアップしたウォドムは宇宙船を攻撃する。だがディアナを守ろうとするハリーのスマートαによつて宇宙船は無事。

第22話
ハリーの災難

■ストーリー解説

野戦病院の赤十字マークは、ギャバンによれば「古いまじないさ。こいつをつけとくと大砲の弾が飛んでこないんだ」とらしい。前回のディアナの奮闘ぶりが、国際赤十字社の元となつたナイチン

ゲールのように見える。だが野戦病院も火事になり、ソシエに「赤い十字マークのおまじないなんかきかなかつたじゃないか!」と突っ込まれる。ディアナがマロングラッセを作りながら歌つてたのは「ロンドン橋」。地球降下時にフランも歌つてたが、月の少女に人気なのか?

■スタッフの視点から

今回は、ハリーの素顔を明かそうかと

言つ話です。素顔はただの大学生というか、無駄な筋肉のついたインテリみたいな感じになりましたが(笑)。このへんから、キエルとハリーをくつつけよう作戦が発動しました。それでもキエルさんを可愛く作戦のつもりが、ディアナさま可愛く作戦にすり変わってしまっていたのでその反省に立つて。まあ、ディアナ・カウンターの中にはほかにいい男もいませんしね(笑)。



Episod e
ギヤバンがソシエに
プロポーズ。ジヨゼフ
もフランに急接近

テテスは名を変え地球側と月側の中立地帯・キースのパン工場にいた。そしてマダム奪取とディアナ誘拐を計画する。

第23話 テテスの遺言

■ストーリー解説

パン工場で働くときはティートと名乗っていたテテスの母はリンダ・ハレという。彼女たちの先祖は、かつて地球に降下したディアナの臣民とともに月へ行った女性だ。リンダやテテスが月で迫害を受け

たのはそのためらしい。またテテスはワニヤという、幼い頃に母からもらった人形を大切に持っている。マダムと呼んだのはコレンが初めてだが、ターンエーという名を口にしたのはこの回のテテスが最初。額の刻印を口ランはバグかエラ一表示だと思っていたらしい。

ミドガルドは、シナリオだと何本か前

から登場しているんです。テテスを動かす上司が誰かいるだろうというのがあって。ただ富野監督が「よくある『007』の親玉みたいなのは何か嫌だなあ」といってコンテで外してたんです。それが今、テテスが利用されるだけで死ぬという悲劇的なラストということで必要になつて、また「キースの工場でしつて」いう説がうけて登場となつたんです。

ミドガルド

キースのパン工場に工場長として潜入していたミドガルド。テテスが失敗したと見るや、自分の手で彼女を暗殺し、それをとぼけてみせる。



この時代、象は絶滅しており、幻獣として人気の高い図案などがある

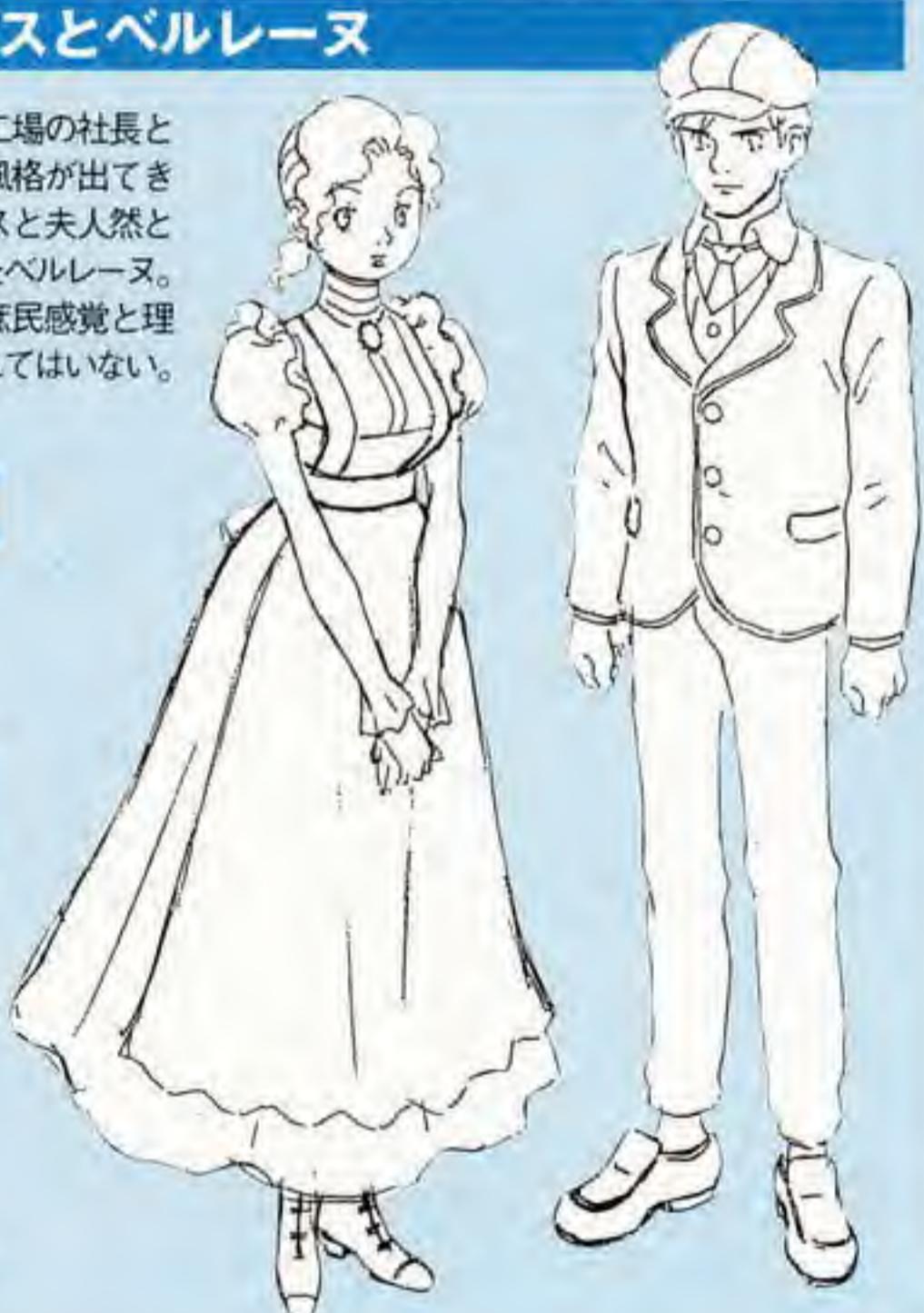


テテス・ハレ

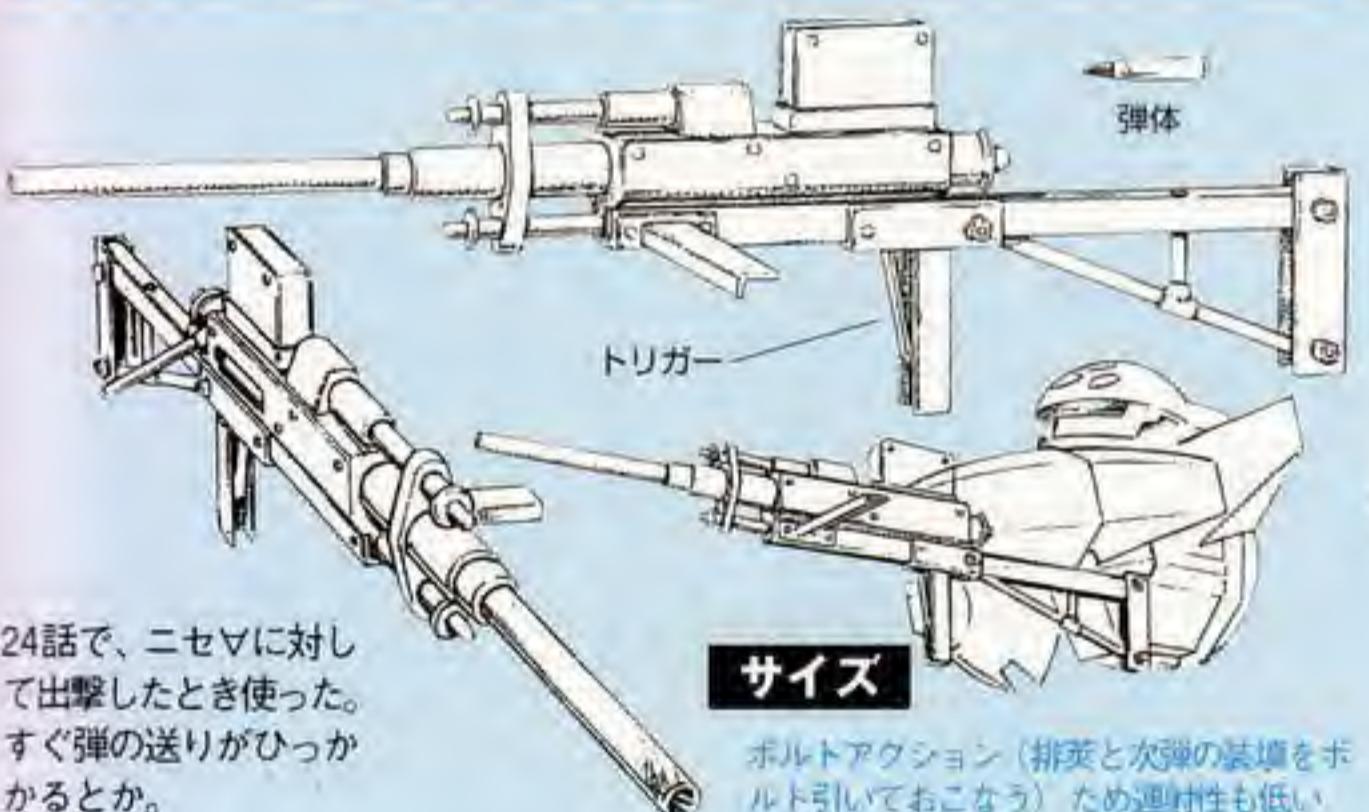


キースとベルレース

パン工場の社長としての風格が出てきたキースと夫人然としてきたベルレース。だが、庶民感覚と理想を忘れてはいない。



ミリシャのフラット用手持ち高射砲



24話で、ニセマに対しで出撃したとき使った。すぐ弾の送りがひっかかるとか。





ディアナは一度 月へ帰ることを 決意する

補給を得られないレット隊はフラットにひげをつけ、のふりをして野戦病院を襲い、ディアナに捧げる宣言。

ローラの遠吠え

第24話

ストーリー解説

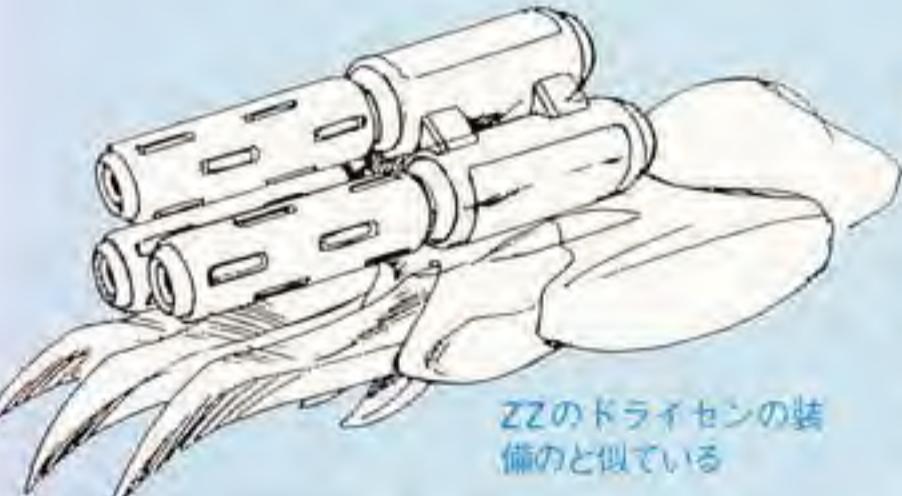
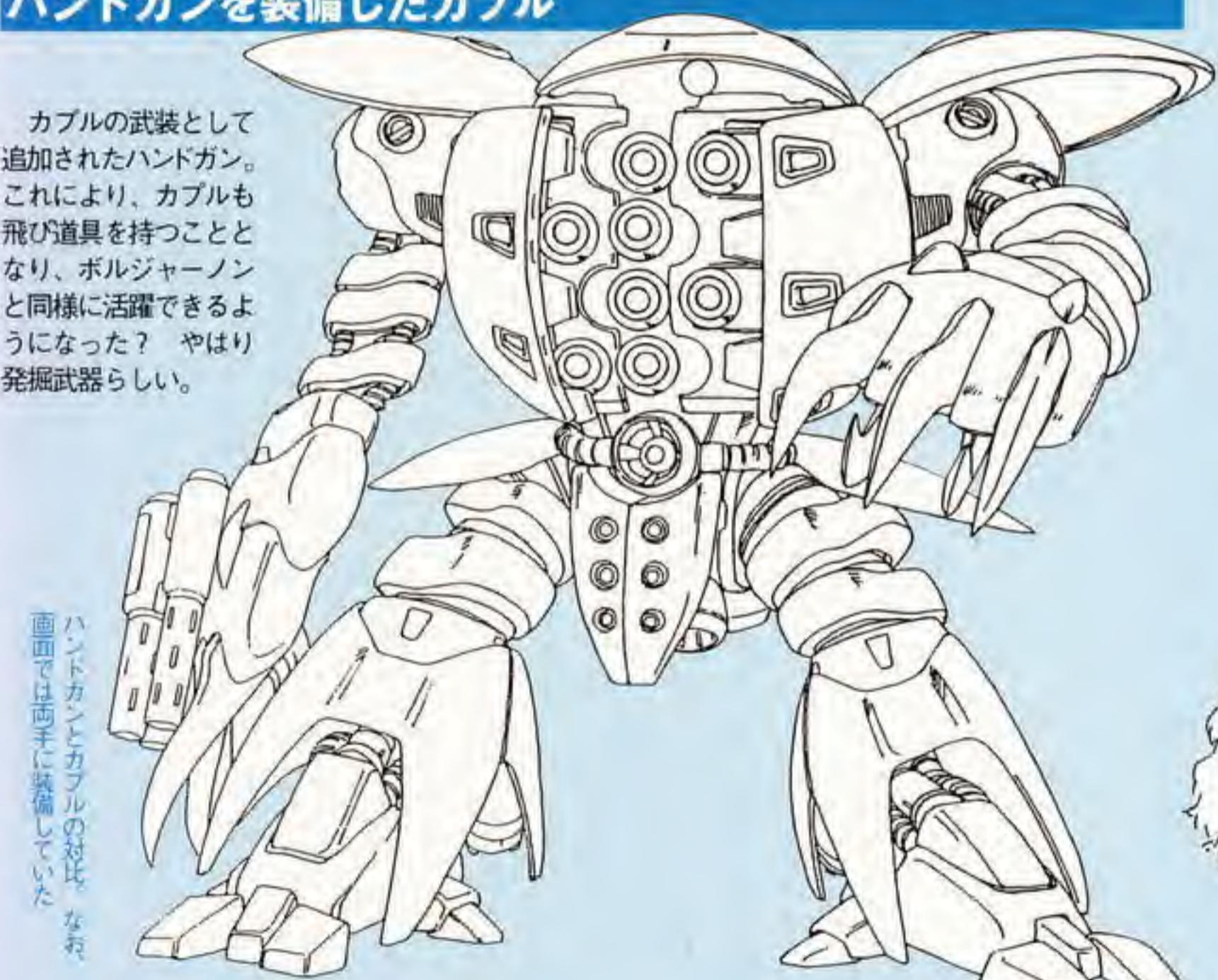
レット隊とは、昔ディアナとともに地球へ降下した際に月へ帰還せずそのまま地球へ住み着いたムーンレイスの子孫だ。ファッショニズムは60~70年代フラワーチルドレン&ヒッピー風。男がオネエ言葉を使うのを容認しているのも、このヒッピーカルチャーの影響かもしれない。ただしその主義主張は「ラヴ&ビース」ではなく、ディアナ至上主義。また月見の際に歌う「月の魂」という歌も、ロックではなく民謡だ。月に団子とすきを供えるに至っては純和風だろう。ディアナ・カウンターの正規軍とは、お互い嫌い合っている。ガンダムも憎んでいる。

スタッフの視点から

今回は、レット隊もいい人なんだよ作戦ですね。あの人たちもイジメられていて、それなりの事情があるというのを描こうとした。やっていることがニセマを使っての嫌がらせなんですが(笑)。ちなみに、シナリオ段階だとニセマは白い布を被っているという設定だったんですが、フィルムではヒゲをつけただけのフラット(笑)。まあ、現在でも自動車の区別つかない人がいますから、わからない人にはあれで十分なんでしょう。ラストのロランとディアナのダンスもシナリオだと「踊りましょう」と言つたんですが、少し唐突かな?

ハンドガンを装備したカブル

カブルの武装として追加されたハンドガン。これにより、カブルも飛び道具を持つこととなり、ボルジャー・ノンと同様に活躍できるようになつた? やはり発掘武器らしい。



カブルのハンドキャノン

弾倉は見当たらないので、ビーム兵器かもしれない。

エイムズ

スエサイド隊の一員でギャバンの副官格。ギャバンがゾシエに粉をかけるのを戦略の一環と勘違いする堅物。

表情



レット隊

キャンサー・カフカ

レット隊の隊長。ディアナ・カウンターに参加するが、差別的に扱われることに反発。フラットにヒゲを付けたニセマでローラを名乗り暴れる。



ムロン・ムロン

キャンサーを支えるレット隊の副官格。ムーンレイスの裏切り者、ローラに反感を覚える。なお、2人の服は昔の宇宙服をそのまま身に着けている。



新聞が発行されてないことを知ったフランは、キースをなじる

ウイルヘルムが離陸準備を始めたことで、キエルは仕方なくフルヘルへ攻撃許可を出す。

第25話

第25話

レット隊にはなかつたラヴ＆ビースだが、この回はミリシャもディアナ・カウンターも何やらラブラブカップルばかり目立つ。やはり季節が秋から冬へ変わつて雪が降つたことで、人恋しくなるのだろうか？ フィルとポウは肩を寄せ合つ

ストーリー解説

て雪を眺めている。ギャバンはソシエにウェディング・ドレスを贈る。仕込みをするキースを気遣うベルーナは、既に夫婦という感じだ。そしてフランジヨゼフに「私と結婚するってこと、考えたことがある?」と聞く。ジョゼフの応えもまんざらではない。脚本段階ではフランがルドバの町で自分で落として壊したカメラをジョゼフがこつそり修理するなんてエピソードもあった。

があつた1話冒頭の三人が歌う場面とかいろいろあります。やはりフランとジョゼフが仲がいい回はとても印象に残っています。フランって基本的にはすごくクールというか、気性が激しくない性格だと思うんです。ブン屋根性というか、人間も戦争も唯一客観的に見ていたような氣もします。そのため人の腹を探つたり、見通すようなタイプは苦手なのでしょう。だからジョゼフのような二ブそ

作品に関しては、どこかで読んだ「『
ングスカートにこだわった』という監修
のコメントがピッタリだと思います。そ
ういう、今までのガンダムにはない独特
の雰囲気で、△は女性でも观やすい作
品になっているという気がするんです。ア
トリリーも比較的わかりやすいですし。
監督には怒られるかもしれません、初
めて一視聴者の立場として「終わって欲
しくない」と思つた作品です。

フランの記事が新聞に載っていないといふのは、彼女にショックを与えるために作られたネタなんですが、この前の建国宣言の時にグエンが「バカどもはなんにもしなかつた」と言つてゐるくらいだから、きっと領主たちは何もやつてないんでしょうね。

ちなみに、最初はフランとジョゼフがくつつくというのは考へられてはいました。

■スタッフの視点から

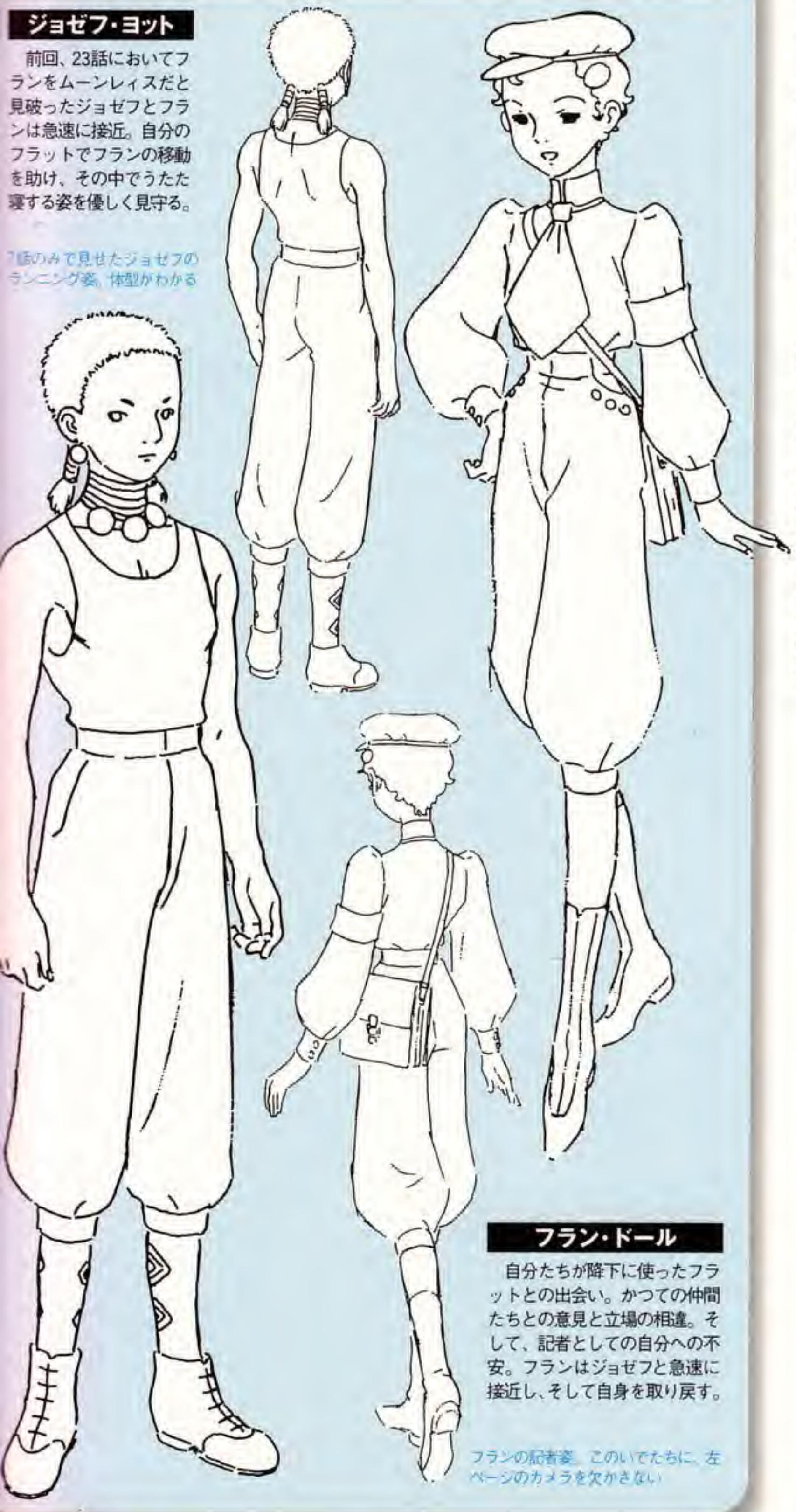
■スタッフの視点から

フランツ・ヨーゼフ

ジョゼフ・ヨット

前回、23話においてフランをムーンレイスだと見破ったジョゼフとフランは急速に接近。自分のフラットでフランの移動を助け、その中でうたた寝する姿を優しく見守る。

「話のみで見せたジョセフの
ラ・ニーナが遅い状態がわかる



フラン・ドール

自分たちが降下に使ったフラットとの出会い。かつての仲間たちとの意見と立場の相違。そして、記者としての自分への不安。フランはジョゼフと急速に接近し、そして自身を取り戻す。

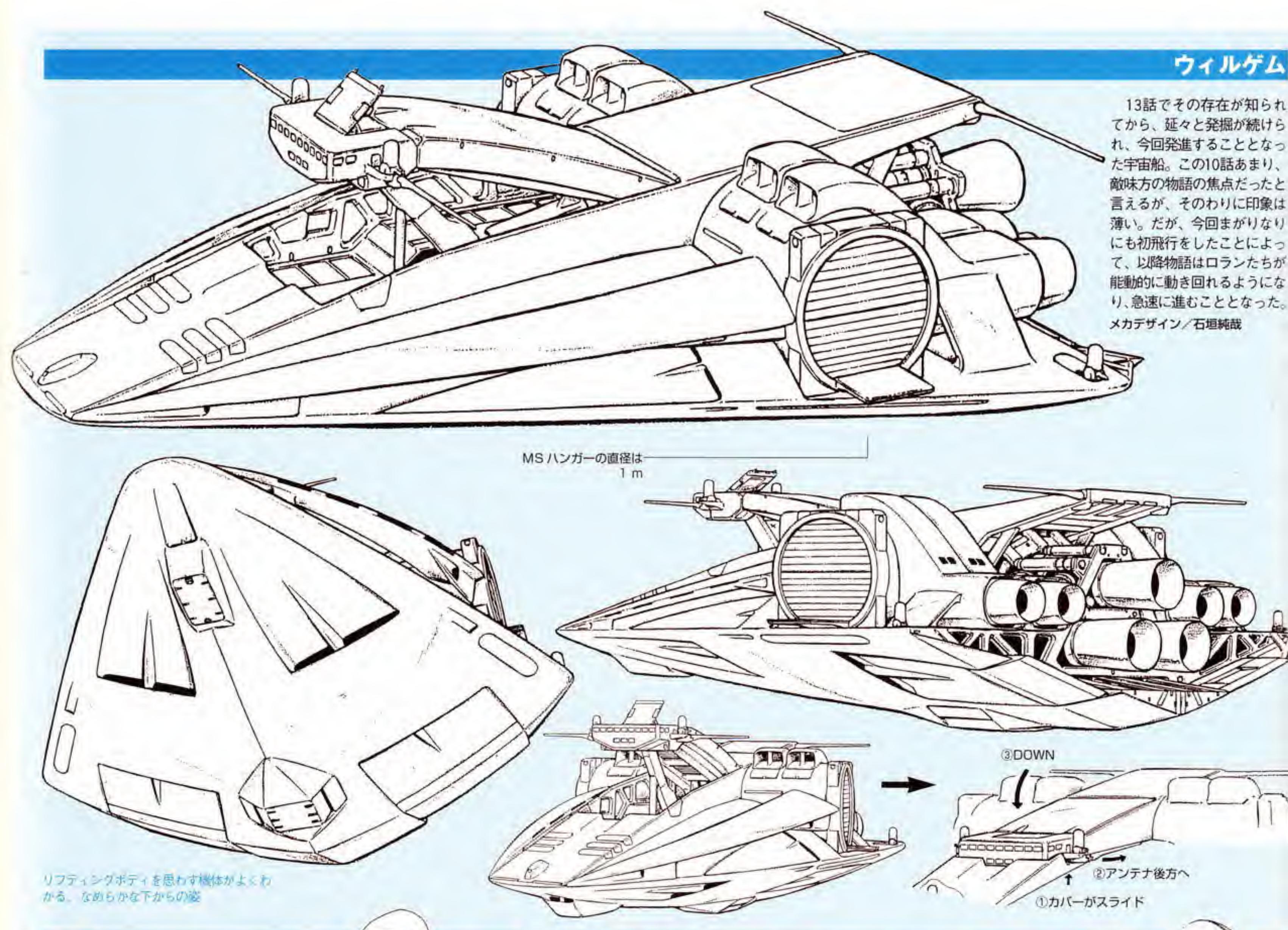
フランの記者姿。このいでたちに、左ページのカメラを欠かさない



ウィルゲム

13話でその存在が知られてから、延々と発掘が続けられ、今回発進することとなつた宇宙船。この10話あまり、敵味方の物語の焦点だったと言えるが、そのわりに印象は薄い。だが、今回まぎりなりにも初飛行をしたことによって、以降物語はロランたちが能動的に動き回れるようになり、急速に進むこととなった。

メカデザイン／石垣純哉

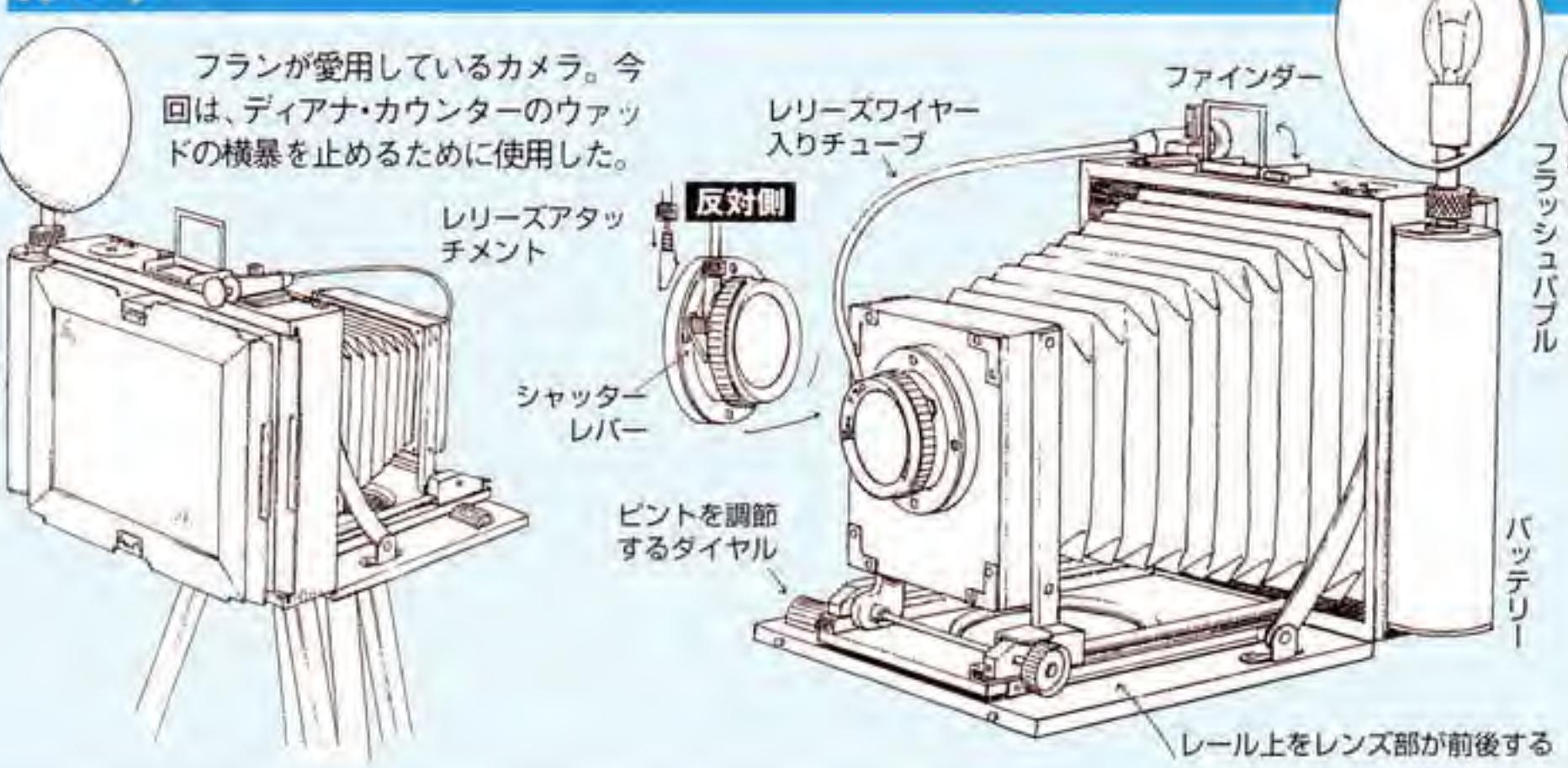


ルル

フランが助け、キースのもとへ連れてきた戦災孤児。食べ物がある所は襲われると怯えていた。



カメラ



ウイルゲムは不時着 ファイルたちの被害も 大きく、追撃できぬ

ロランたちは収穫祭が開かれる町でデイアナを見つける。
そこでマの山車を見たコレンは、襲いかかる。



第26話 悟りの戦い

ストーリー解説

この回でコレンは「天の階段、天の蓑虫」と唱えている。23話で「天の乙女は、始まりの樹の天の蓑虫にぶらさがり……」と、25話では「天の蓑虫、乙姫様、持つてまわる」とも語っている。この後の話の展開を見ても、「天の階段、天の蓑虫」は明らかに地球から月へ宇宙船を送る施設ザックトレーガーをさしている。そもそもザックトレーガーとは、ドイツ語で蓑虫という意味だ。ケーブルの両端にある樽部分を蓑虫に見立てて命名されているのだ。

そこで気になるのは、コレンはなぜこの言葉を唱えているのかということだ。コレンが僧であることは間違いない。設定にも「諸国流浪の僧のような風体。布施に感謝する」とある。事実23話ではテレスがコレンに「どーぞ、お坊さん」とパンを差し出しているのだ。こうは考えられないだろうか？ これらの言葉はどちらもその宗教の教典のようなものに掲載されていたのだ。「始まりの樹」という言葉も出てくるくらいだから、この宗教は明らかにマニューピチの世界樹伝説の影響を受けている。

そしてこの宗教は、どうやらこの時代の人々の意識の奥底に存在しているらしい。そうでなければ布施で食いつなぐ流浪僧が存在できるはずがないからだ。また21話では瀕死の患者の側にいる看護

婦が「天の階段に登ろうとしている人のそばでなんですか？」と言っている。死ぬことを「天の階段を登る」と言い換えていることは確かだろう。

ちなみにザックトレーガーという言葉は、この回で初めて登場する。デイアナがロランに「月と地球を結ぶもう一つのルート」と教えてているのだ。

スタッフの視点から

一言で言えば、コレンを片付けようという話ですね。再登場したのはいいけど、いつまでもいるとうとうしいから(笑)。それで、ビルマの堅琴みたいな話を入れようという話だけだったんです。当初は、

コレンとガンドムを戦わせよう」と言うんだけど、ストレートに戦わせても今までの話が無意味だから、やはり精神的に成仏させる話にしてやらなければいけない。コレンが何にこだわっているかは分からぬけど、そのこだわりを解いてやらないといけないわけですよ。もしかしたら、富野監督もコレンに自分を映し見たのかもしれません(笑)。

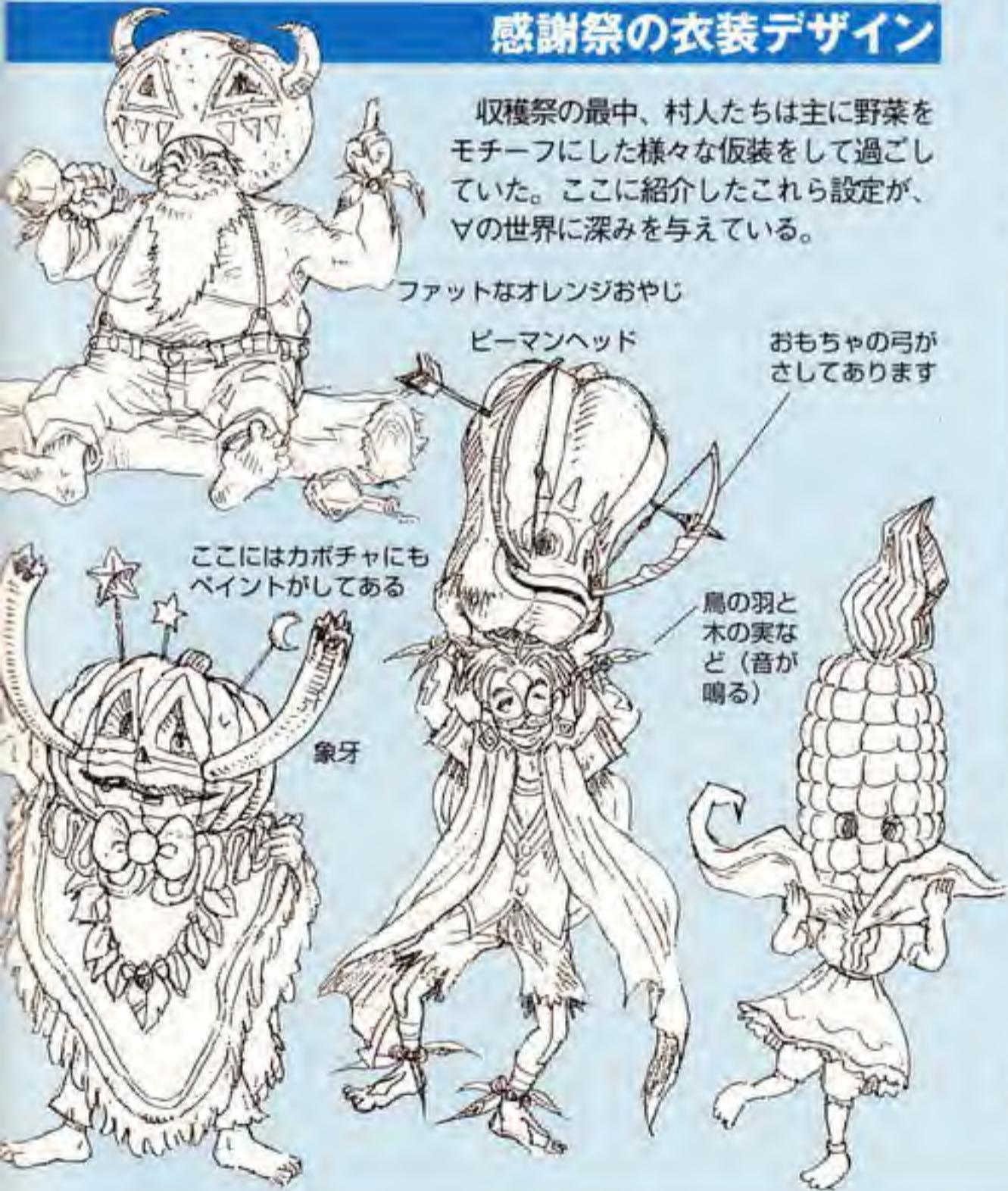
あと、30越えていてもガンプラにもえている人たちの姿も映されているのかも、

という気がしますね(笑)。ようするにガンダムという呪いを解く話なんですよ、構造的に見て。そのせいか、コレンが去っていく姿が晴れ晴れしさというか、それなりにさわやかな気がするのが不思議ですね。シナリオだと「またこの世に『ガンダム』が現れるとき、オイラはかならず戻ってくる」って、シェーンみたいになつっていましたしね(笑)。

あと、この回の祭りのシーン。最初は山車をみんなで引っ張って行進するという物を考えていたんです。それで設定もすすめていたんだけど、絵コンテを描いていた最中にアミノテツローさんが山車を川に流すという手を思いついて。おかげで、山車を引っ張る人たちのシーンを作画しなくてすんべいぶんと作画枚数が助かつたはずですよ。

感謝祭の衣装デザイン

収穫祭の最中、村人たちは主に野菜をモチーフにした様々な仮装をして過ごしていた。ここに紹介したこれら設定が、マの世界に深みを与える。



ホワイトドールの山車

カラモートの町でおこなわれていた収穫祭に出でた山車のひとつ。唯一野菜がモチーフではないこの山車を見たコレンは、眠っていた「ガンドム」への怒りを呼び覚ます。



右の山車バージョンを屋形船バージョンにリデザインしたもの。竹と紙製という設定

廃車のトラックを活用。エンジンは下ろしてある
モビルリブに引かれている





僧姿のコレン・ナンダー

なぜかソレイユに向かうディアナと行動をともにしているコレン。人が違ったように穏やかになっている。だが、ホワイトドールの山車を見たことで、眠っていた怒りに火がつき打倒に立ち上がる。それは憑き物を落とす行為だった?



「今ここでしかできないこと」=木彫りの人形を掘ることに執着を見せたり、目的地に向かうより火事や祭の見学を優先させたりする

モビルスーツゴドゥイン

ヤコップとブルーノが乗ってきたゴッズーを改造したモビルスーツ。対ガンダムに燃えるコレンが乗り込むが……。



ディアナの願いに、ロランはホワイトドールの山車を利用。コレンに「ガンダム」を討たせる

感謝祭で出会った家族

カラモートの村を訪れたコレンとディアナが世話になったのがこのカキトたちの家族。ここでディアナは当時の生活という物を実感する。



カキトの母 エストロリータ

コレンとディアナを祭りの見物客と思い込み、歓待してくれた心優しく面倒見のよい母親。



「ヒーンズブラザーズ」と併し書きがされている衣装室からカキトたちのデザインが誕生した

E P S O D E
#27
ディアナはソレイユへ戻りギヤバン死す
ゼノア隊はモビルスーシーとともに核爆弾を発掘してしまった。そこへレット隊とギヤバンたちが来た。



夜中の夜明け

第27話

ストーリー解説

冒頭で画面一杯に広がる麦畑は、ディアナが「ムーンレイスの故郷」と言っているようにサンベルト地帯だ。ムーンレイスの父祖の地であり、そのために建国しようとした場所だ。地球側も無意識にそれを察していたのか、この地の人工密

度は低いらしい。だがこれだけ広大な土地をナノマシンの粉で改良し、農作業も機械を使用せず農具のみで行っているとしたら、人手がかなり必要なよう気もする。ちなみにナノマシンの粉は火薬に似ているらしい。20話では火薬を見てギヤバンが「山師が使う土地を良くする粉みたいだな」といつている。

山師がロスト・マウンテンに近付かなければ、危険物や猛毒の廃棄物が埋葬されたマウンテン・サイクルだからだ。その場所へディアナ・カウンターのゼノア隊が行つたのはまだしも、なぜエサイド隊が行つたのか？ ルジャーナ・ミリシャにはシドのような協力する山師がないのか、いともシドほど有能ではないのかかもしれない。山師がいないなら、どうしてボルジャーノンが発掘できたのか？ 単なる偶然なのかもしれない。

核爆弾は、ムーンレイスでは作ることも使うこともタブーとされてきたらしい。核爆弾の存在を知つたときのレット隊の反応はスエサイド隊と五十歩百歩で、

彼らが核の恐怖を知つていたようには見えない。どうやら先祖の知識の全てが伝授されてきたわけではなさそうだ。爆発の閃光を見ての感想は少ない。脚本階でリリは「美しい光ですね。まるで湖面に映る月、いえ冬の空に輝く太陽のよう……」と語っていたが、本編ではさすがに削られている。

スタッフの視点から

この話は富野監督が奥さんに怒られたんですよ。「展開がきりきりしていく、普通の人には分からぬわよ」と。

この話、最初は別の人コンテを頼もうという話もあつたんですけど、少し難しいと。色々詰め込んだり、核爆発から逃げ出すところだけで少し時間を使いたいとか、構想が膨らんだらしくて。それで、自分が描くよとゼロから絵コンテを描き始めたんです。けど、やはり富野監督だから電波の出るような展開をしていくんですね。おかげで後になつて奥さんには怒られたらしいです。まあ、電波が

出るとまずいんだろうけど、「機動戦士ガンダム逆襲のシャア」とか、あれに通じるものがあつて。普通の人には早く、難しい。それで、奥さんに「つめ込みすぎちやダメ」と怒られたらしいんですね（笑）。

まあ、富野監督のフィルムを見慣れている人にはいいんでしょうけど。今回の狙いは、逆に普通の人見てももらいたい、と言いながら普通の人には分からないフィルムを富野監督自ら作ってしまったというわけですね（笑）。



女性親衛隊コスチューム

ディアナの部屋の入り口を警備していた女性兵士。帰還したディアナが現れたとき「またか」と頭を抱えるところから、ディアナが普段から警備の目を擦り抜けていたことが伺える。



基本的には男性隊員の物とおなじ服装。また、髪型は全員ショートカットらしい

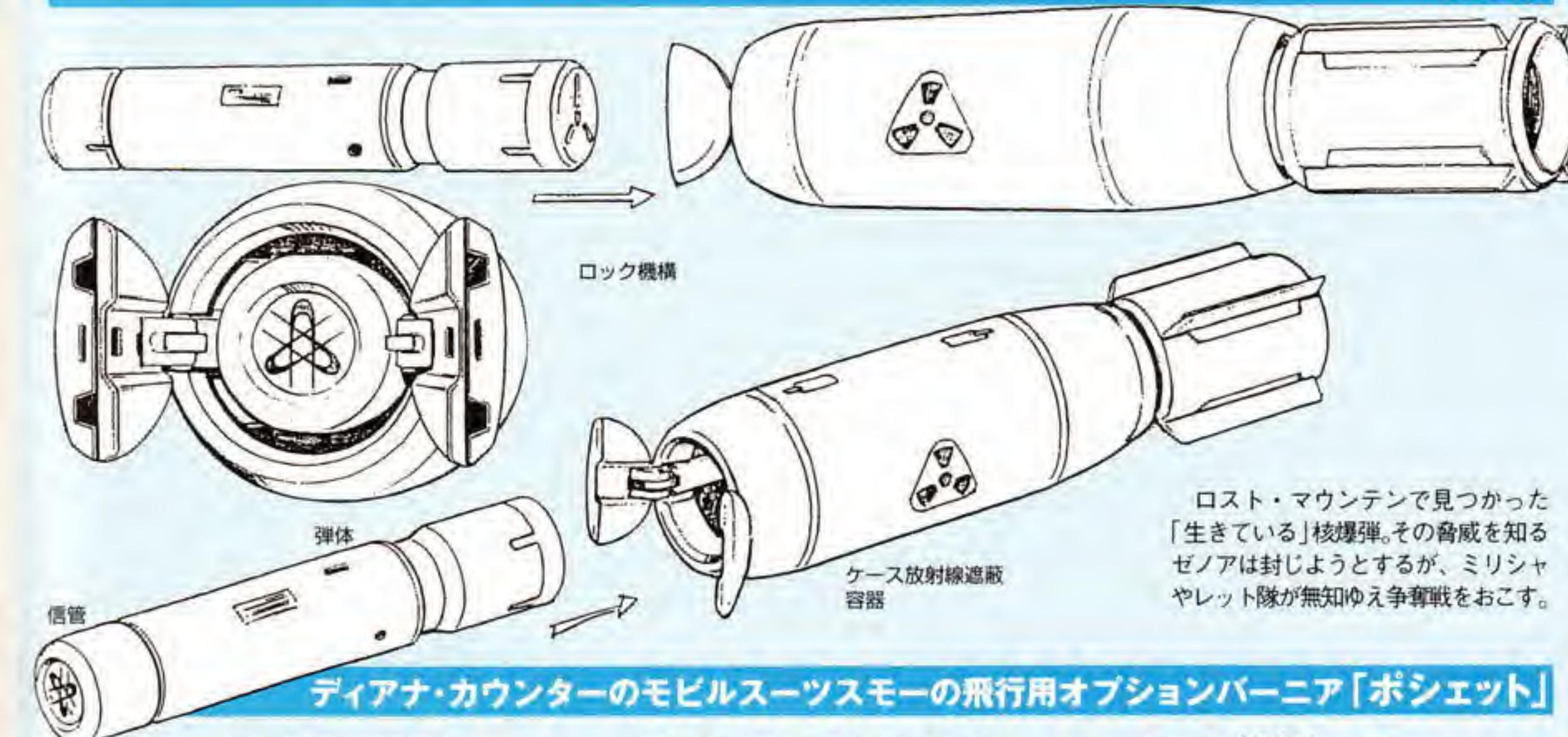
レット隊のメンバー





核爆弾

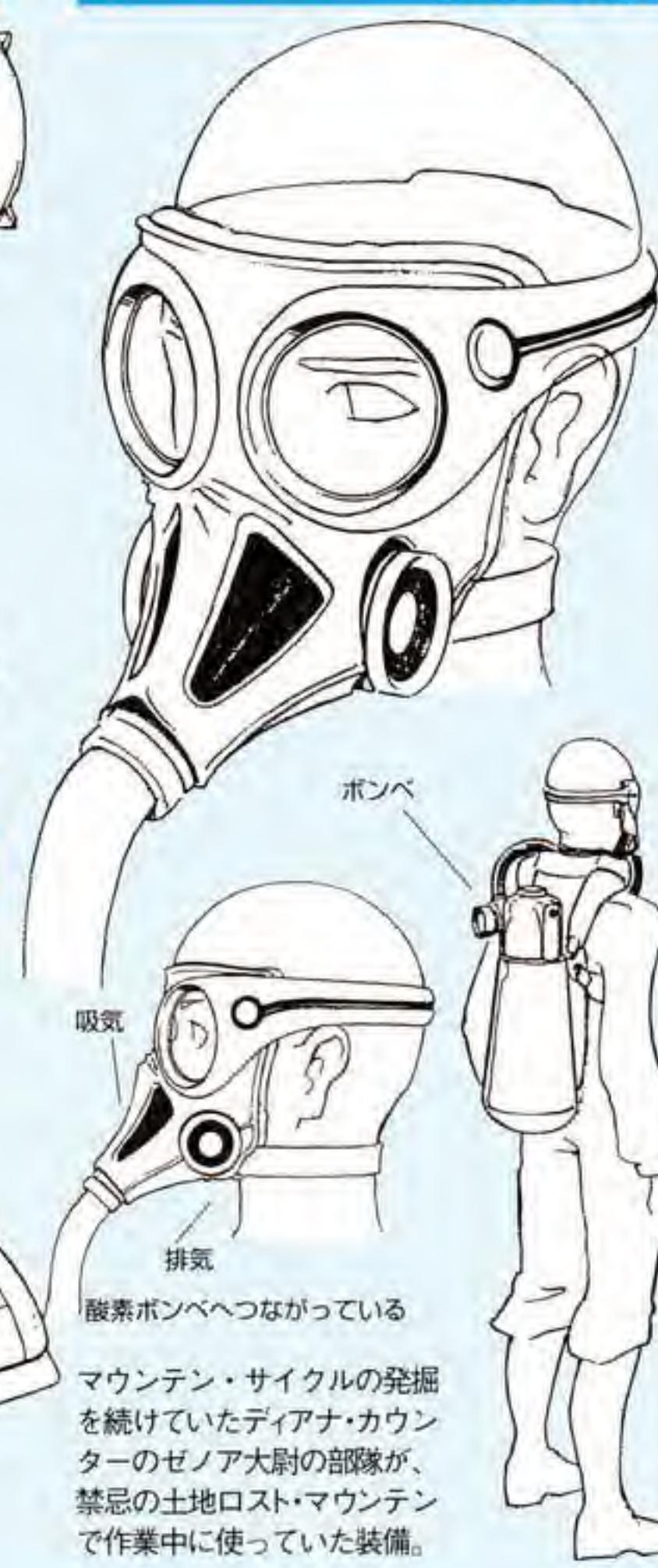
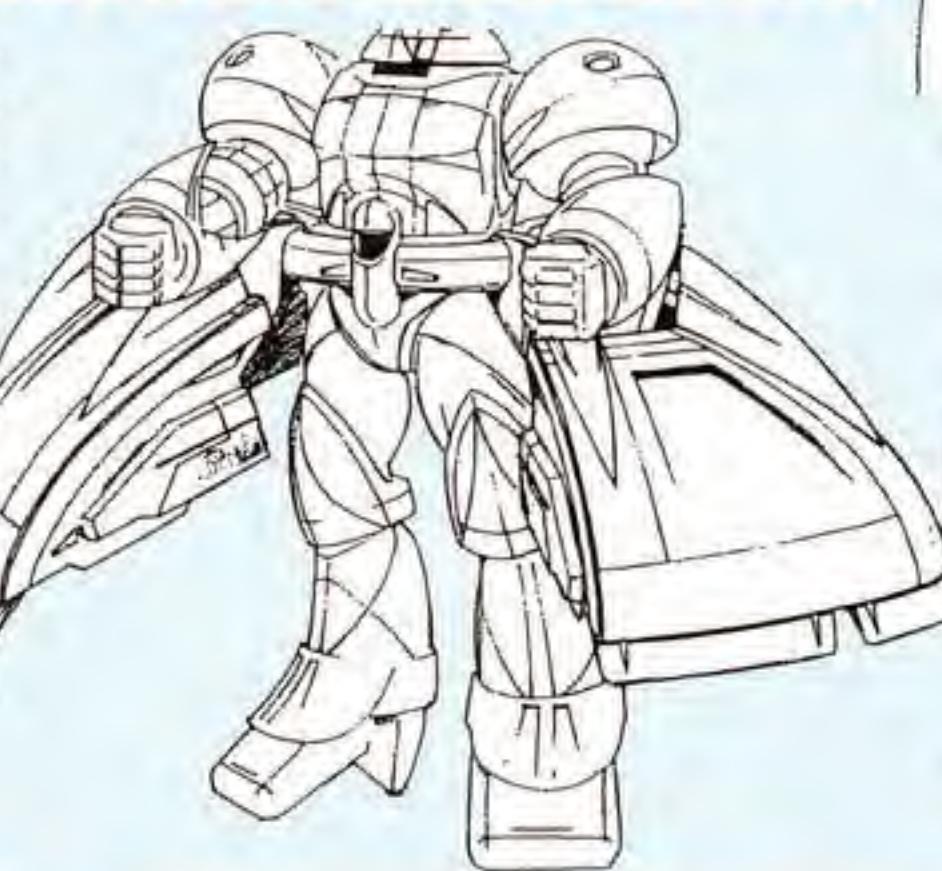
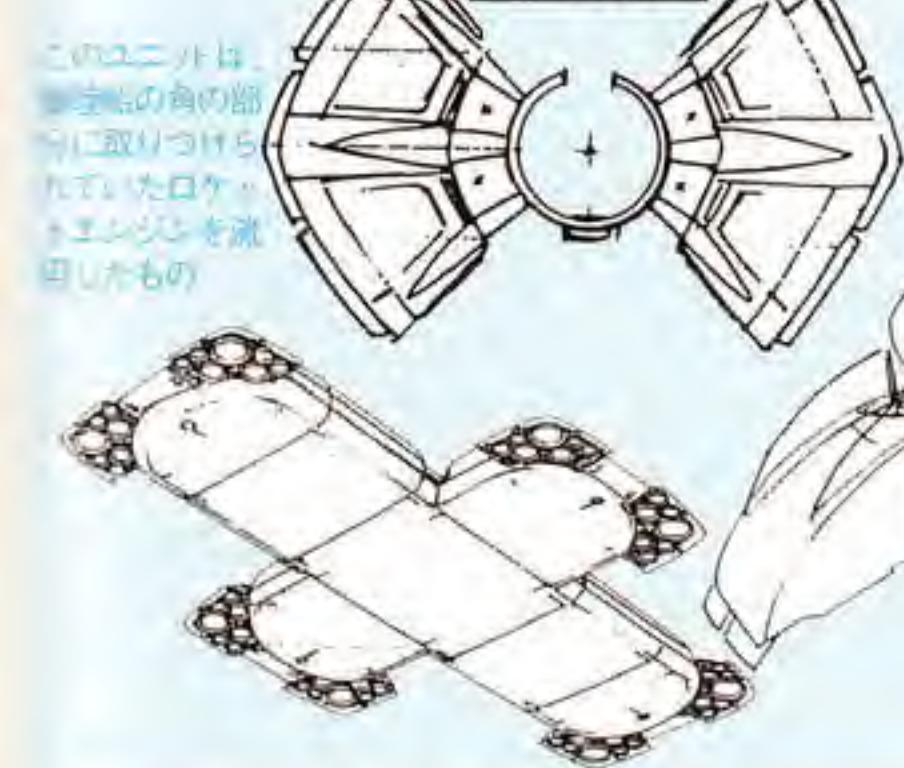
防毒マスク



ディアナ・カウンターのモビルスーツスモーの飛行用オプションバーニア「ポシェット」

上面図

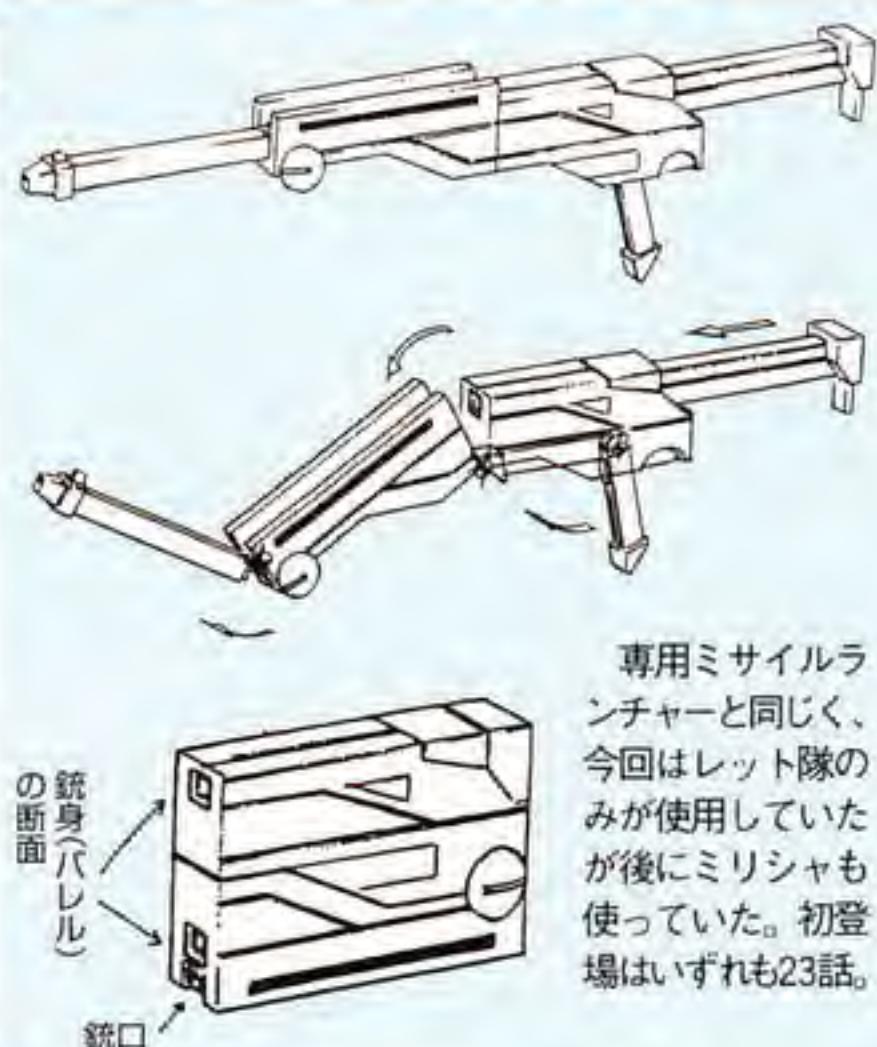
ディアナを迎えて来たハリーのゴードン・スモーが使用したモビルスーツの飛行用オプション。発進時、麦畠に巻き起こる気流のイメージが美しい。



モビルスーツ フラット用ライフル

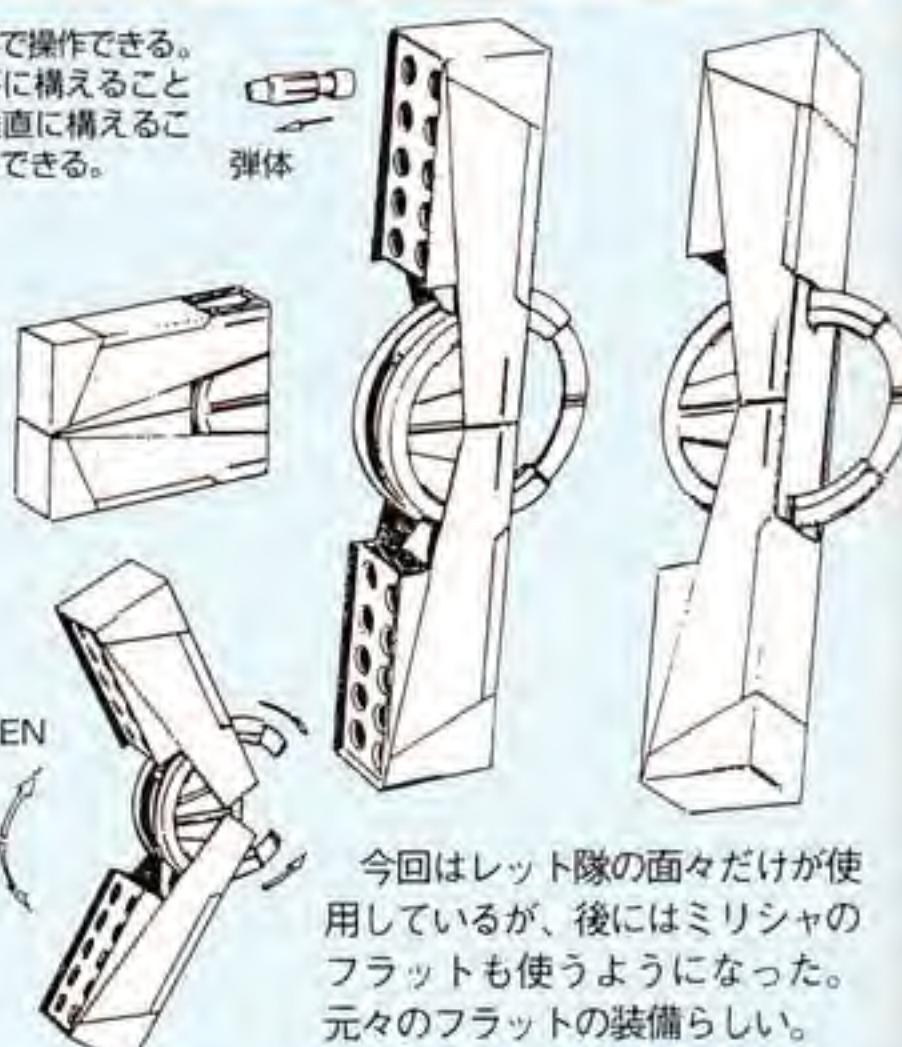
モビルスーツ フラット用ミサイルランチャー

フラットとの対比



フラットとの対比

片手で操作できる。
水平に構えること
も垂直に構えるこ
ともできる。



turnA world for Episode #19-2 Aの世



「世界に住む人々の思いが、日常が語られはじめる。
それは、平凡な幸せ、生きるための現実、大地に足をつけた生活。
月と地球の人々も一様ではないという、当たり前のこと。」



人と人が戦う以上、傷つく人が出る。
そして、それでも人は生き続けるから、
世話ををする人もいる。当たり前のことこ
そが、人に異常な事態を気付かせるのだ。

野戦病院



白衣の医師

手術着の医師

古き世界でも、世界でも普通ならぬ残酷。思われるケガで手足の切断がちこなわれ。人が死んでいく悲劇が日常として描かれる



看護婦



負傷兵たち

小高い丘の上に建てられているアニスの家。やはり、南側の屋根には太陽爐地図ハーネルが用意されている。その南側は下り斜面で、その先に広大な小麦畠が広がっている。また、北側の緩やかな下り斜面開拓畠となっている。



戦いに巻き込まれた庶民、農家の声を
伝えてくれたアニスばあさんの家。地に
足を着けて生きることを体現していた。

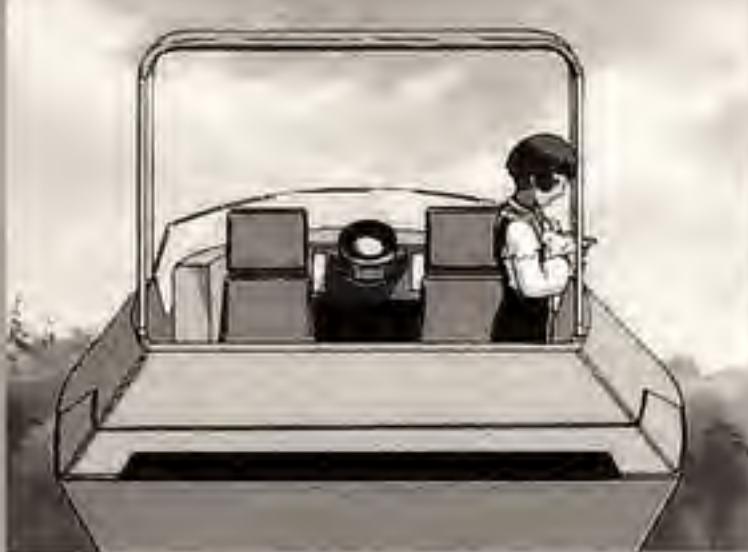


アニスの家の全景。手前に突き出しているのがロッジ。右「東」が開拓地となっている。

アニスの家

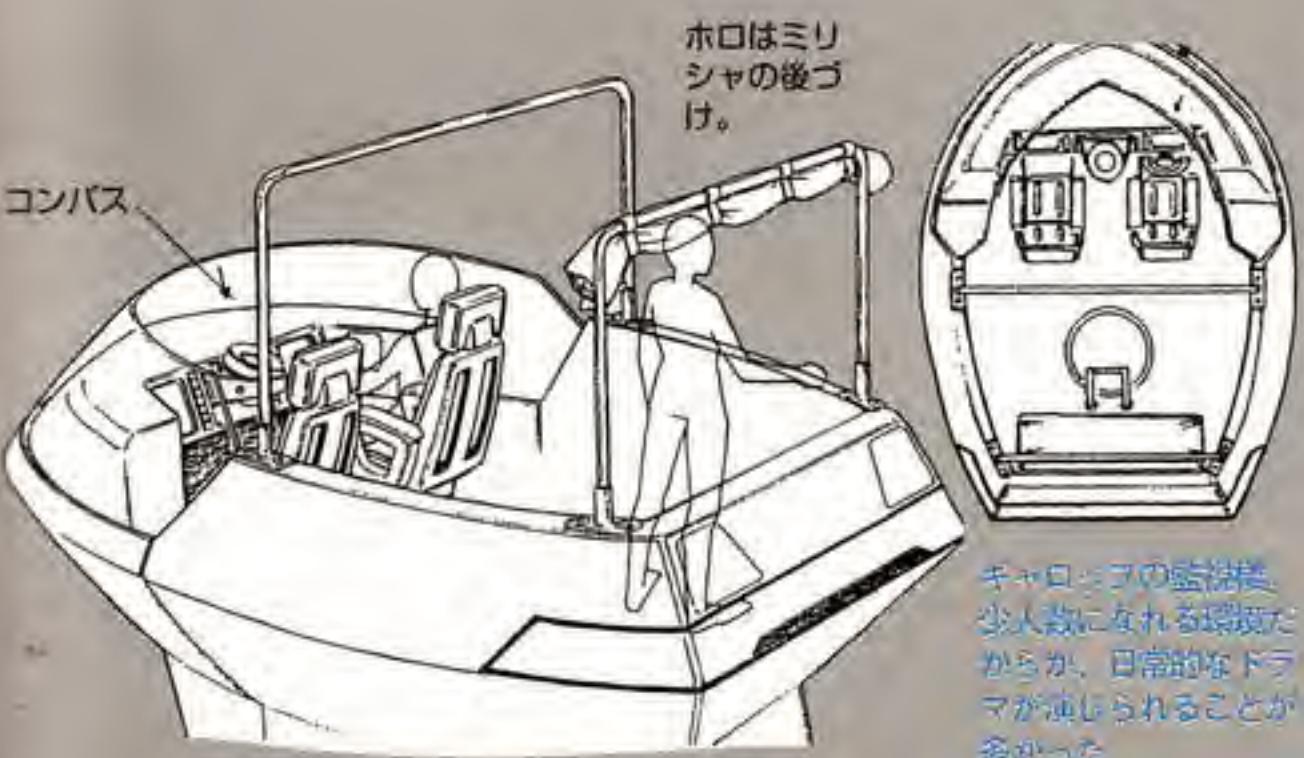
ウイルゲム発掘現場

ついに掘り出された宇宙船はウイルゲムと名付けられ、月と地球の各々の思惑をよそに新たな火種へとなっていく。



ギャロップ

ロランに与えられたホバーカー。マの基地として、実に平和的な使われ方をする。だが、その性能は核戦争さえ想定されているものであった。



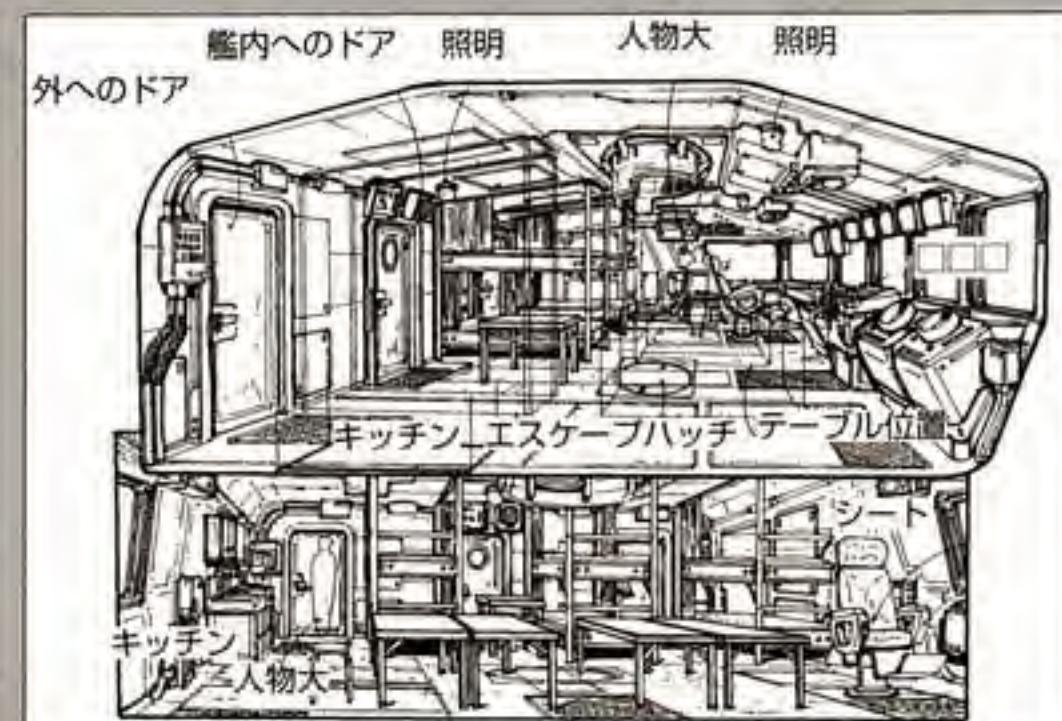
キャロップの監視機。
少人数になれる環境だからか、日常的なドラマが演じられることが多かった



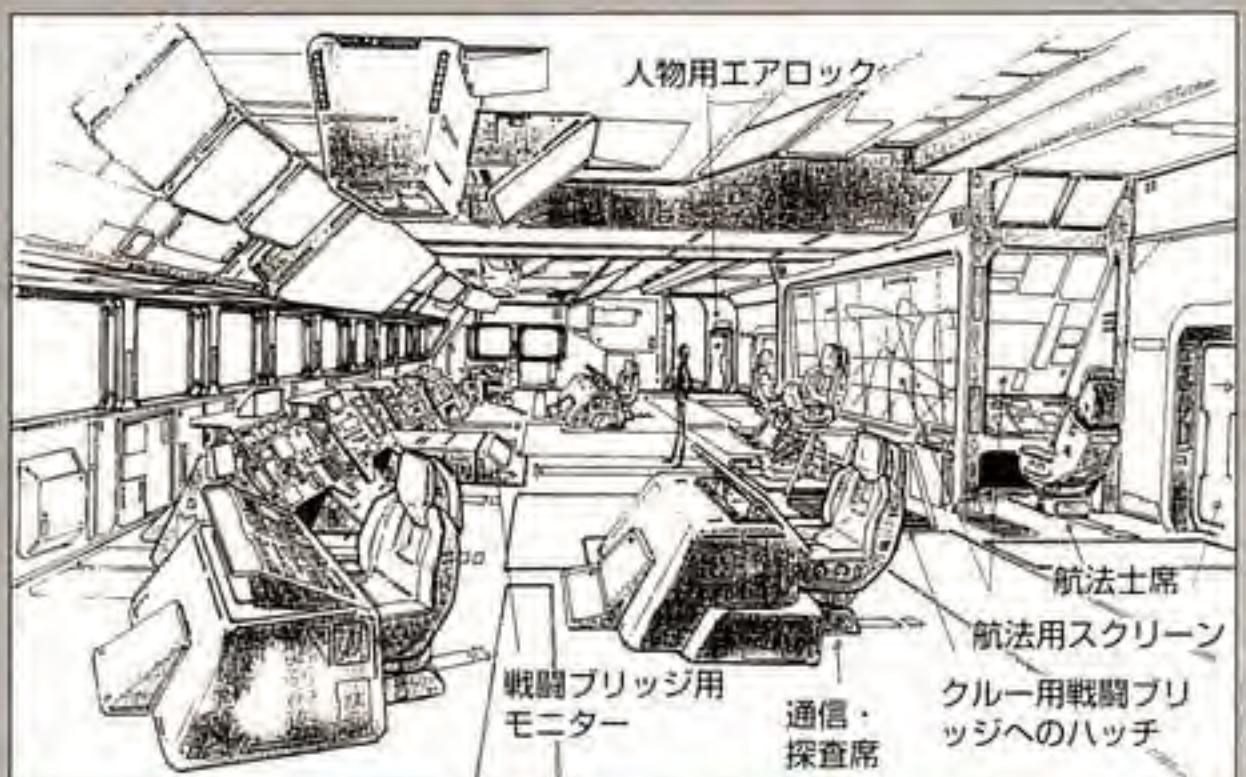
はぼ掘り出されたウイルゲム。重機をふんだんに使えるディアナ・カレンタードと異なり、ミリンににとっては一大作戦だったのだろう



各部屋を巡回方向から見た図。内部でMSの整備もおこなえる



キャロップのアリッジはだいたいこんな雰囲気になっている



掘り出されたウイルゲムのアリッジ。要員はキャロップから移行した?

Vクロニクル CHRONICLE

8月14日、大雨による増水で玄倉川中州でキャンプしていた15人が死亡。17日にはトルコ西部でマグニチュード6.8の地震で4万余りの被害者を出す。23日にはキルギスで日本人が武装勢力の人質にされる。30日には東ティモールで総選挙がおこなわれるが、9月4日の開票以降無政府状態となり混乱がつづくことになる。13日にはソニーがブレイステーション2を初めて正式に発表。また、21日には台湾でもマグニチュード7.1の大地震が起き、30日には東海村で臨界事故が発生。関東地方では10月1日放映予定の25話『悟りの戦い』の放映が8日に延期されることとなった。そして、核爆弾が登場する26話『夜中の夜明け』は15日に放映された。



収穫祭をしていただモートの町そこでは田の火を盛り上げて楽しんでいた



当初は、改造リヤカーに、ブリキ製のティッシュユーポイールを取りつけた台座が想定されていた

デイアナとコレン、そしてロランたちが立ち寄ったカラモートの町では収穫祭がおこなわれていた。この祭りに登場する山車は、ホワイトドールの山車を除いていずれも擬人化された野菜がモチーフとなっている。これは、ある意味この世界には20世紀のような強固な一神教が存在していないことを示唆している?



日本では随じてミシマの遊びをするお祭り「風よけ」がありますが、マガジンの世界では頭をくぐらいため頭痛を防ぐために巻き合って遊ぶよりもよいのではないでしょうか」との書き込みがある季刊のイメージ画(吉澤佳和)によるもので、ほかにも多くのアイデアが生まれてしま



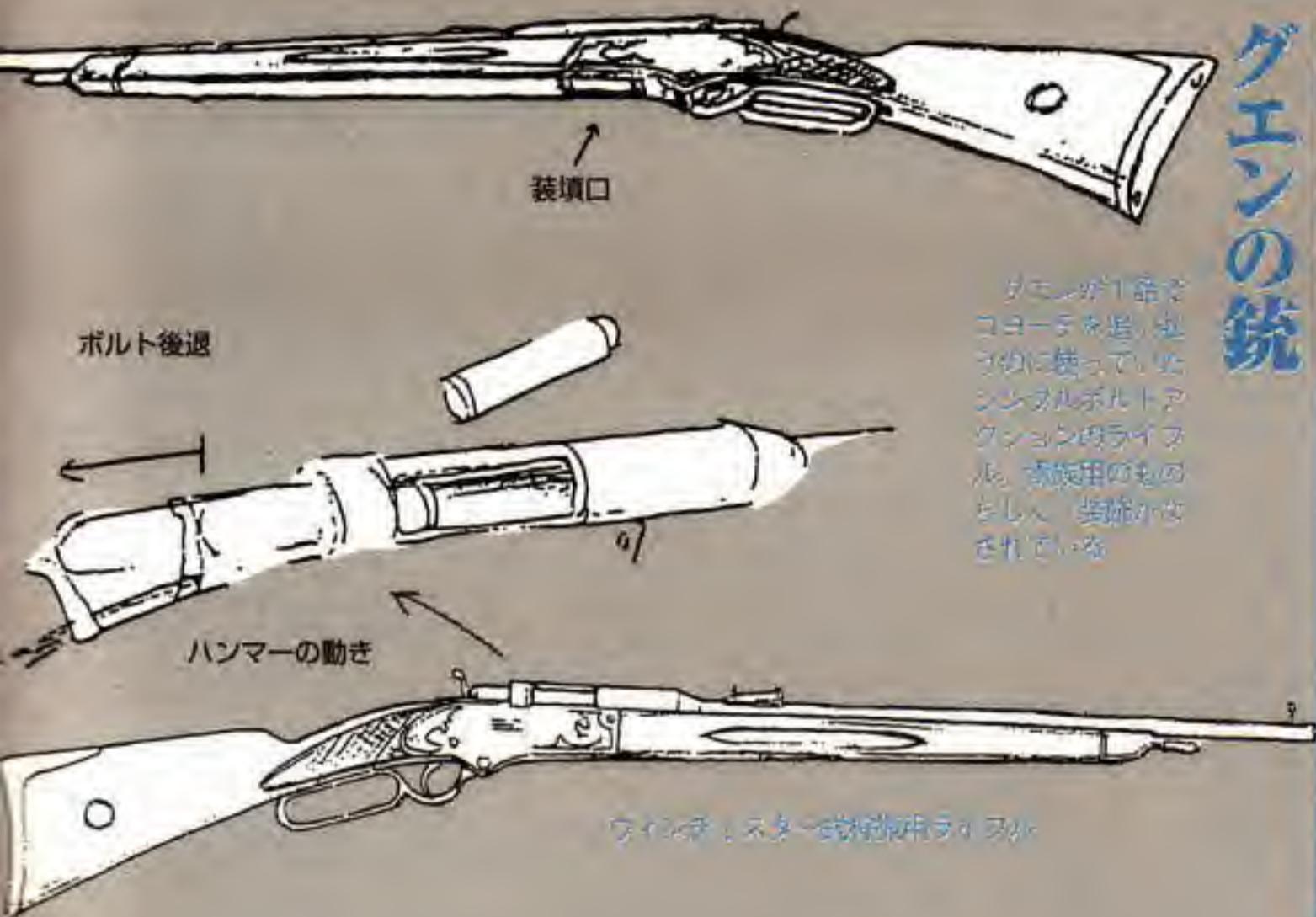
船のハーバーで作られたリヤカーもどぎに乗っている。スポーツホイールのタイヤはエア無

南国系の果物のイミテーション。

カラモートの町

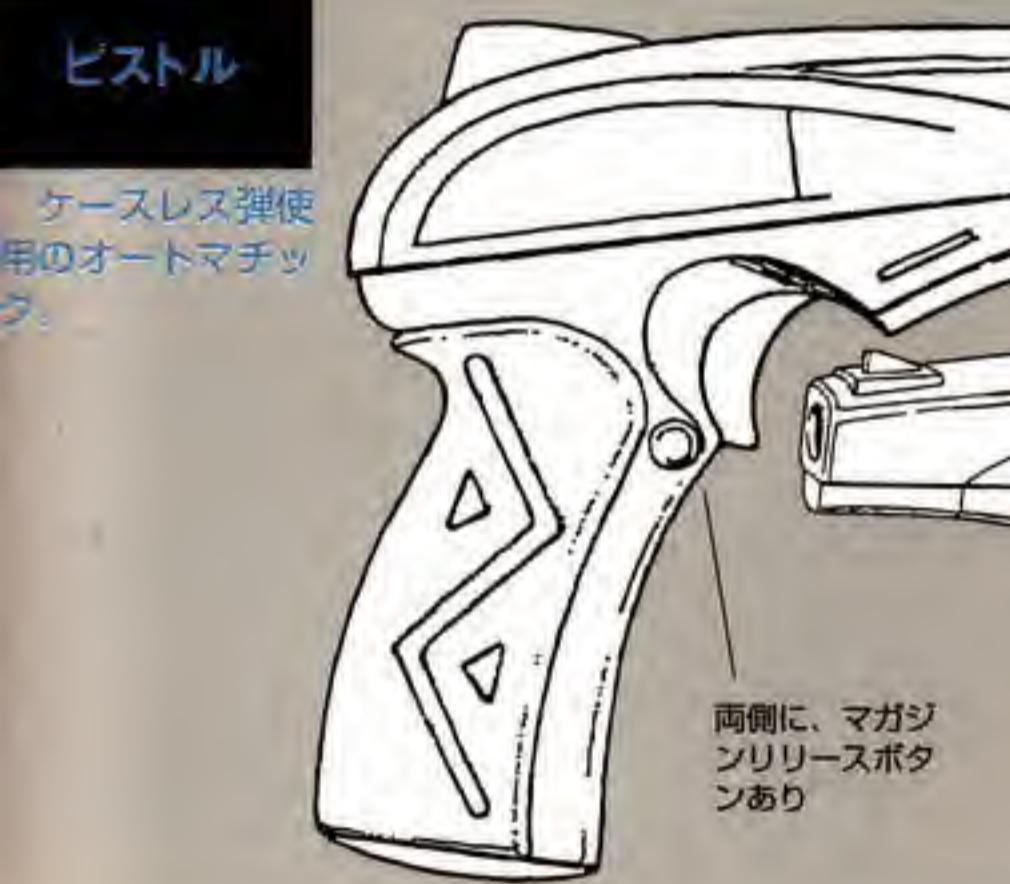
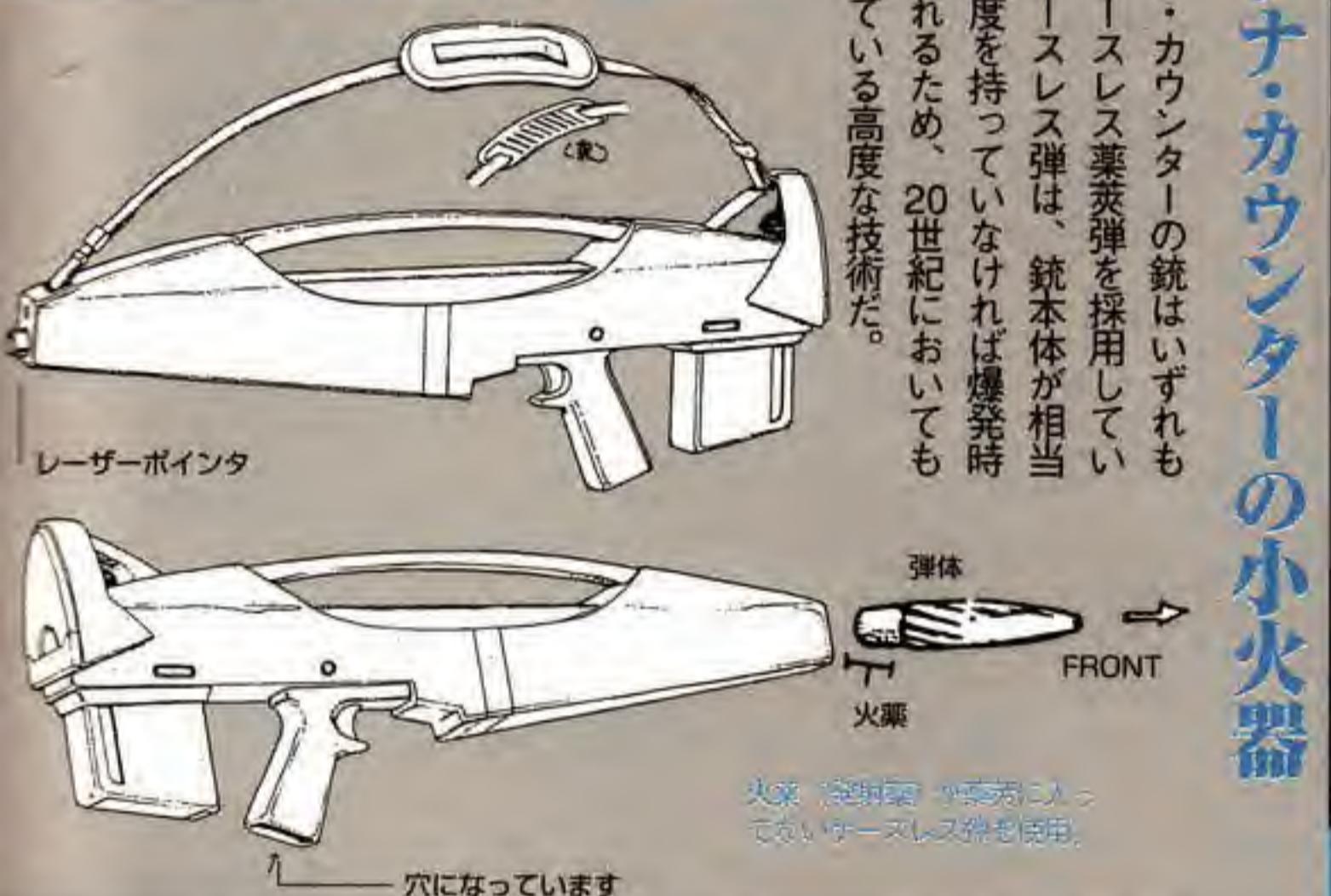
turn A world appendix for smallarms

ディアナ・カウンターとミリシャ。
双方が持つ装備小火器を比較することで
そこに透けてくる世界を覗いてみよう



ライフル

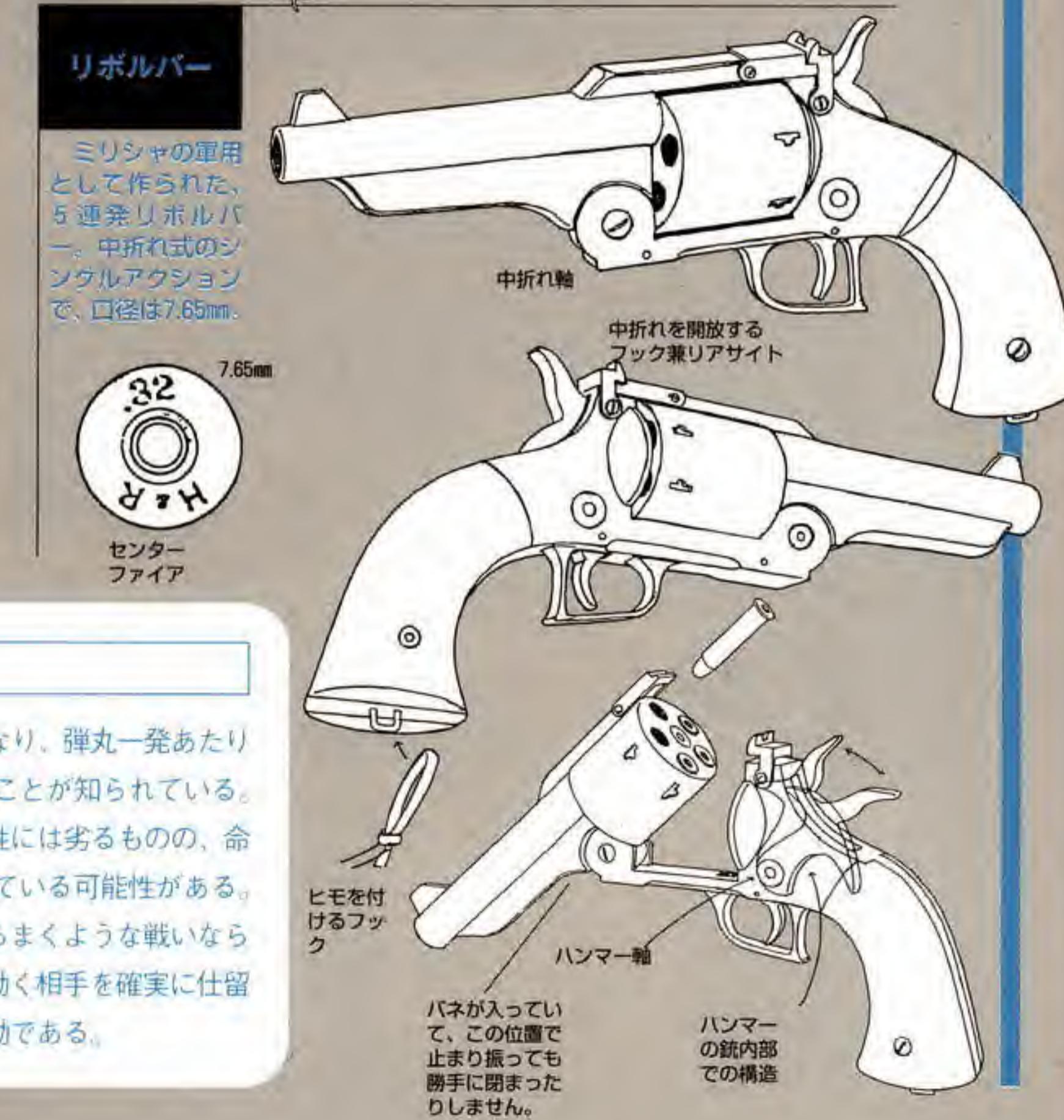
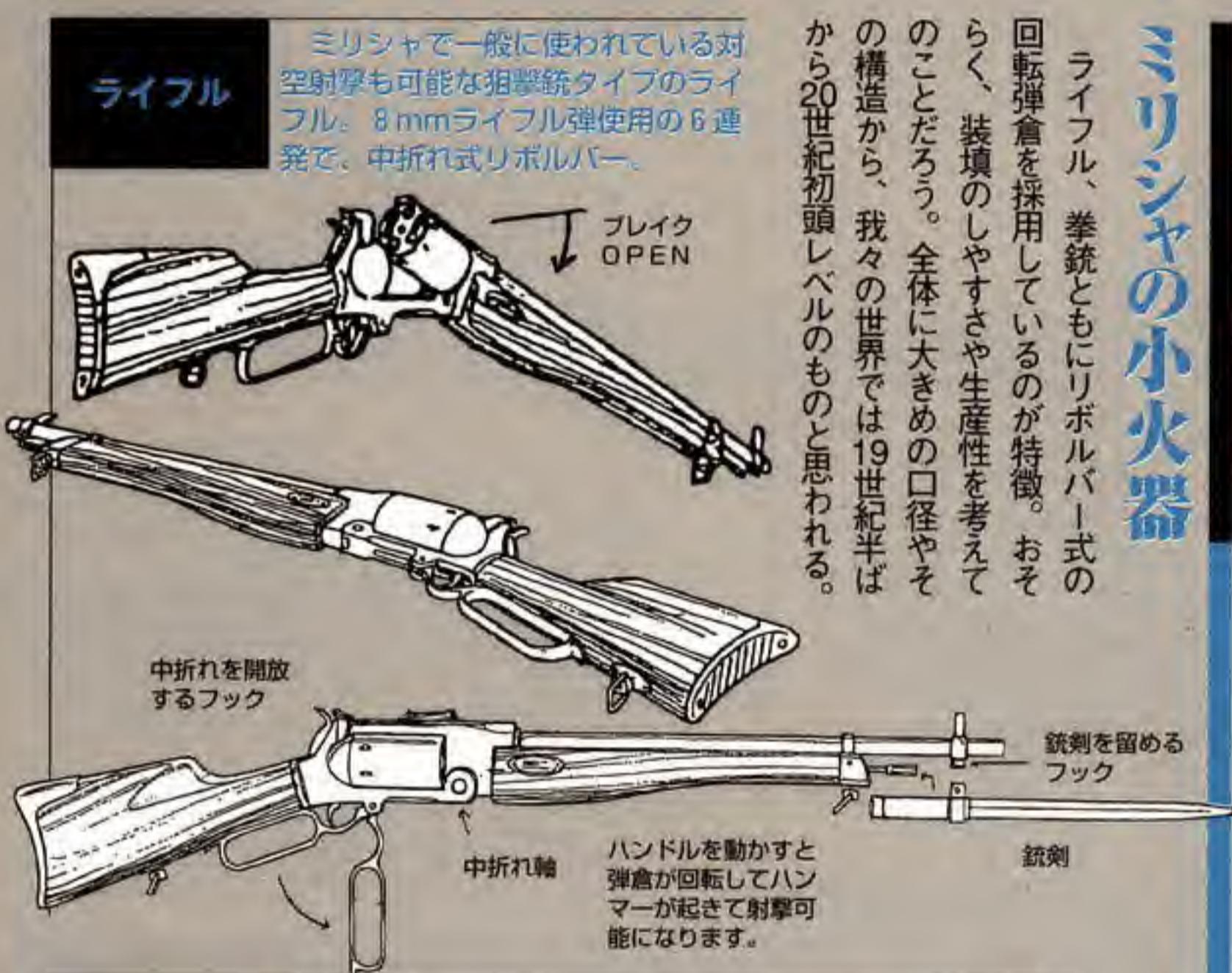
全長70cmほどのケースレスブルバッブ銃。ブルバッブとは通常だとトリガーより前にある機関部が肩当てにあるもの。口径は5.56mm



小火器総論

両者の小火器を比較して、まず言えることは技術力の隔たりだろう。それは必ずしもディアナ・カウンターの銃の方が威力があることを示さない。なぜなら、ディアナ・カウンター側の銃は弾丸を小型化し、連射することを前提にしているからだ。弾丸の小型化は携行弾数を増やすことにも通じるが、殺傷能力は落ちる。相手を狙って撃つ

ような使い方には不向きとなり、弾丸一発あたりの命中率はかなり低くなることが知られている。一方、ミリシャの銃は連発性には劣るもの、命中率や射程の長さでは勝っている可能性がある。つまり狭い空間で弾丸をばらまくような戦いならディアナ・カウンターの、動く相手を確実に仕留めるにはミリシャの方が有効である。

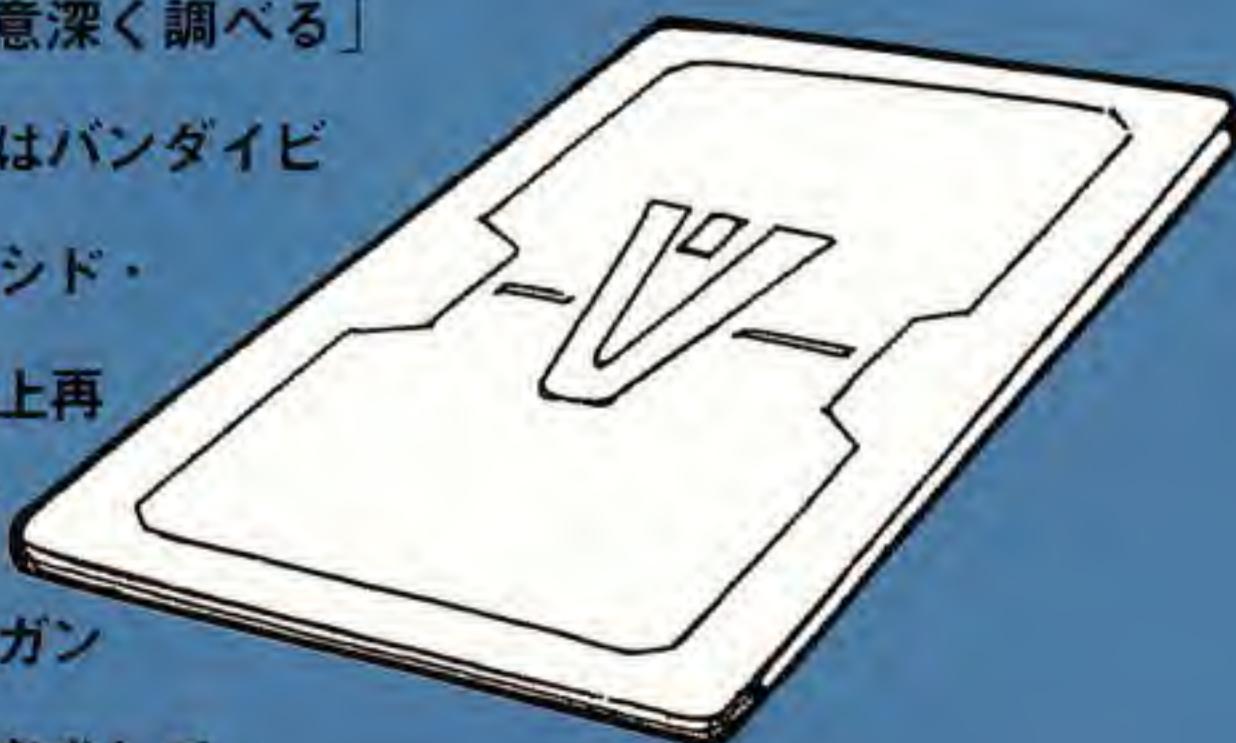


ライフル、拳銃とともにリボルバー式の回転弾倉を採用しているのが特徴。おそらく、装填のしやすさや生産性を考えたことだろう。全体に大きめの口径やその構造から、我々の世界では19世紀半ばから20世紀初頭レベルのものと思われる。

INSPECTION OF HGUNDAM

インスペクション
オブ
Vガンダム

タイトルの「INSPECTUION」には「注意深く調べる」「検分する」といった意味がある。ここではバンダイビジュアルがセッティング、ビデオ撮影したシド・ミード＆大河原邦男の未公開対談を完全誌上再録。さらに各メカデザイナーへのインタビューなどを行い、大きな話題となった「Vガンダム」のメカデザインがどのようにして完成していったかを検分してみよう。



大河原邦男

シド・ミードが来日した際、大河原邦男のオフィスにて行われた。



ILLUSTRATED BY SYD MEAD

——ミードさんとガンダムシリーズとの出会いはいつ？
ミード 1983年頃にガンダムのキャラや世界観のグラフィカルな表現をポスターとして描いたことがあります

——モビルスーツの印象は？
ミード 機械文明には全てロボット・ファンタジーというものがつきものですが、そのときに初めてガンダムに出会いました。その際にモビルスーツのストーリー・シリーズの小冊子をもらつたので、それで勉強しました。

——キャラと主役ロボットが同一化していくのを、ファーストガンダムがうち破つたわけですね。



シャア専用ザクの赤はサンライズ側が決めたものだが、量産型ザクの緑は大河原が提示したものであるとのこと。

大河原 日本のロボットは機械というよりは人物のキャラクター

トーン（自動機械）のファンタジーは我々のマシン・カルチャーの一部なのです。しかし私はそうしたロボットが日本のマンガやアニメーション、ゲームでこんなに大きなマーケットをつくっているとはまったく思っていませんでした。

大河原 日本のロボットは機械

機械文明にはロボット・ファンタジーがつきもののです（ミード）



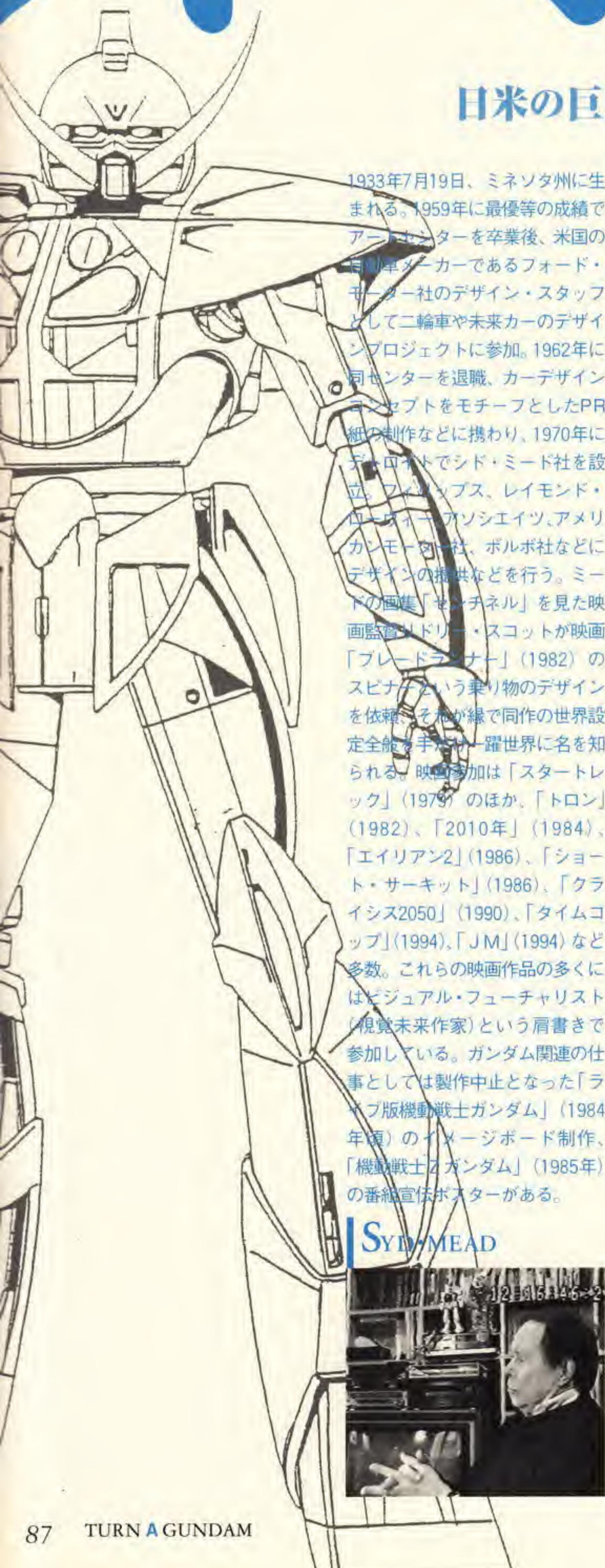
KUNIO・OKAWARA

1947年生まれ。東京都出身。1972年にタツノコプロに入社。「科学忍者隊ガッチャマン」（1972）で日本初のメカデザイナーというグレジットを得る。初のロボットのデザインは「ゴワッパー5 ゴーダム」（1976）に登場した基地ロボットのゴーダム。その後、タツノコプロを退社して中村光毅とともにスタジオメカマンを設立。1978年にはフリーランスとなり、サンライズ初のオリジナル作品となるはずだった「無敵鋼人ダイターン3」（1978）に参加（スポンサーの事情で「無敵超人サンボット3」がサンライズの第1作となる）。そして「ダイターン」の後番組「機動戦士ガンダム」（1979）のメカデザインを担当、その後のリアルロボット路線の火付け役となる。「装甲騎兵ボトムズ」（1983）などでリアルロボットの極限を追求する一方、「勇者エクスカイザー」（1990）のようなヒーロー系、「怪盗きらめきマン」（2000）のようなギャグ系と幅広くこなす。日本でアニメのメカデザインを専門で手がけるのは大河原邦男ただひとりといえる。



ミードさんのデザインは機械の内部から組み立てていく感じがする（大河原）

小人书



日米の巨匠が「ガンダム」デザイン論を語り合うこの対談

1933年7月19日、ミネソタ州に生まれる。1959年に最優等の成績でアートセンターを卒業後、米国の自動車メーカーであるフォード・モーター社のデザイン・スタッフとして二輪車や未来カーのデザインプロジェクトに参加。1962年に同センターを退職、カーデザインユニセフトをモチーフとしたPR紙の制作などに携わり、1970年にデトロイトでシド・ミード社を設立。フィリップス、レイモンド・ローヴィング・アソシエイツ、アメリカンモーター社、ボルボ社などにデザインの提供などを行う。ミードの画集「センチネル」を見た映画監督リドリー・スコットが映画「ブレードランナー」(1982) のスピナーという乗り物のデザインを依頼、それが縁で同作の世界設定全般を手がけ躍世界に名を知られる。映画参加は「スタートレック」(1979) のほか、「トロン」(1982)、「2010年」(1984)、「エイリアン2」(1986)、「ショート・サーキット」(1986)、「クラッシュ2050」(1990)、「タイムカップ」(1994)、「JM」(1994) など多数。これらの映画作品の多くにはビジュアル・フェューチャリスト(視覚未来作家)という肩書きで参加している。ガンダム関連の仕事としては製作中止となった「ラヤブ版機動戦士ガンダム」(1984年頃) のイメージボード制作、「機動戦士Ζガンダム」(1985年) の番組宣伝ポスターがある。

SYD-MEAD

A black and white photograph of a man with glasses and a dark coat standing in front of a large bookshelf filled with books and framed pictures. He is looking down at a small object in his hands.

トとして認知させるためには三原色を維持するわけで、そうでなければ、新たに考へ直すことになりますね。私にとってガンダムの中で色の点で面白かったのは（ザクの）暗い色、ダークレッド、ダークグリーンという色使いですね。

ムはトリコロールカラーになつた。もし「玩具は出さない」ということだったら、カラーリングもまるつきり違つたものになつたと思います。

ミード それは「△ガンダム」もそうです。ガンダムは主役ですから、やりすぎはできない。でも敵役は面白くやれます。カソリックの法王をいじれないので同じですね。

大河原さん／マジンタ／第一回
印象は？

大河原 やはり工業デザイン、あるいはイラストを職業としているデザイナーが描いたモビルスースだなと思いました。日本のアニメのロボットは人間に近いキャラクターとして考へてるので理屈を考えないで、外見上ヒーロー的に見えればいいというのを重視しているんですよ。ミードさんのデザインは機械の内部から組み立てていく感じがします。

ミード そうありたいんです。絶対的

に機械としての考えです。ただ、新しい機械としての外観をもつてゐるが、内側のスピリットはファーストガンダムと同じということです。これが重要ですね。

ので努力してスリムにしています
（笑）。

ミード 私はティアナ・カウンターのウオドムが好きですね。大きな頭でいちばん風変わりです。

大河原 僕はスマートが主役メカでも良かったかなという感じがしてますけど
（笑）。

マヒローのデザインコンセプトはザク（P92参照）。つまりザク＝マヒロー＝ウォドムであり、3者は球形の頭部、モノアイ（的なデザイン）という共通項を持つ。

マヒローのデザイン
コンセプトはザク
(P92参照)。つまり
ザク=マヒロー=ウ
オドムであり、3者
は球形の頭部、モ
ノアイ(的なデ
ザイン)とい
う共通項を持
つ。

ウォドムのアニメ版設定 じつはウォドムは、下のマヒローのデザインにミードがインスパイアされて描かれたものだ

一番の楽しみはアイデアを統合していくときだ(ミード)

ミード これ(スモー)はガンダムのキャラクターを決めようという最初の頃のデザインですね。どこまでやつていいのかわからなくて、とりあえずガチリしているほうがいいだろうと描いたら「これは行き過ぎだ」と言されました。デザイナーの私にとっていちばん楽しいのは、人間のように四肢があり胴体があるというロボットに、メカニカルなアイデアを合わせてひとつに統合していくときです。普通の工業デザインは中身の構造があつてから外見をつくるのですが。

大河原 僕も中身は考えるんだけど、どうあつても思考が玩具から始まってしまうんですよ。もともとサンライズさんも玩具のロボットアニメから始まっている会社ですし、玩具の安全性とか強度とか制約がありますので、中身というよりは外見ですね。

ミード 大河原さんのようにアニメのキャラクターのデザインをされる方は、

自分のアイデアがアートディレクション、プロダクション、セル・インキング、ペインティング、撮影、編集、音響などアニメづくりの巨大なプロセスを経ていくのが思い浮かぶでしょうか、画面で動いているのを見て楽しんだと思いますね。

——でも大河原さんにしてみれば、あたりまえのことですね。

大河原 そうですね、長くやりすぎて

いる(笑)。

ミード でも、こんなセンセーションを

20年間も体験しているんですよ(笑)。

大河原 一言ありますか?

大河原 先生と思っています、いろいろとアイデアを盗んでいます(笑)。キヤリアがなかつた頃、日本には先輩が



DIANA COUNTER 'NANO' SKIN IDEA FRONT VIEW

ILLUSTRATED BY SYD MEAD

いなかつたので、外国の方のイラスト集とかそういうところからヒントを得て、いたから。僕はメカ・デザインを偶然やることになつただけなので、仕事をこなすためにも、そういうものに頼らないとやつていけなかつたというのあります。一度目にしていれば、何らかの形で出でますね。ミードさんはもともと車のデザインをなさっていたということで僕も車は好きだし、メカとかイラストも、なんとなくひかれる部分は多かったです。

ミード サンキュー! 私のプロとしての幸運は車のデザイナーとしては2年だけしかおらず、そこから飛び出しことに決断をして、いろいろな分野の仕事ができたことで、それが私の人生を豊かにしてくれたと思います。

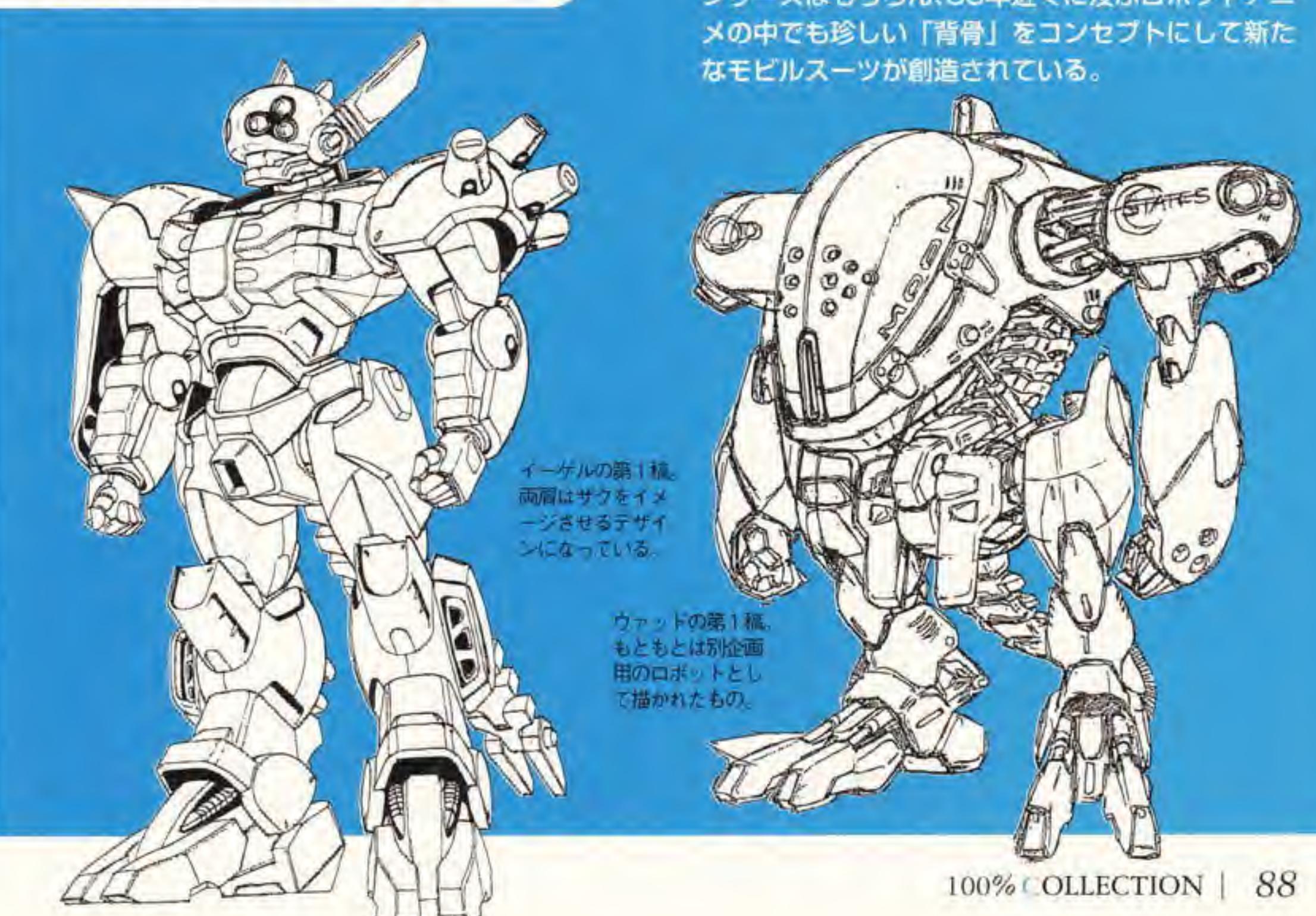
——大河原さんはミードさんのように分野の違うデザインをしてみたいという欲求はあります?

大河原 僕の場合は食べるためにようがなく入ったんですよ。やりたいといふか、来る仕事はお金になるのでやつてみたい、というちょっと不純な(笑)。

ミード 私だって貧しかった。私が若い頃、アートセンターを出てフォードに入り、次にシカゴの会社で働き、そ

ここに掲載したのは大河原邦男の手による「ア」モビルスーツのラフデザインの一部。過去のガンダムシリーズはもちろん、30年近くに及ぶロボットアニメの中でも珍しい「背骨」をコンセプトにして新たなモビルスーツが創造されている。

「背骨」が特徴的なMSラフデザイン集



手視聴者の頭に残るデザインは小手先じゃできない(大河原)

してフリー・ランスとして自分の会社でスタートしたとき、フリーとして面白い経験をいくつきました。自分がフリーだと、その弱みにつけ込んで利用する人もいます。しかし今はもっと恵まれていますし、プロとしても個人と

大河原 今の若いアニメのデザイナーは起用になりすぎる部分があるかな、と思います。モビルスーツひとつとっても、モビルスーツらしいデザインはできるんですけど、視聴者の頭に長く残るデザインというのは、小手先だけじゃできないですから。

ミード それはエンターテインメント

アイデア自体の質とアイデアが生まれた理由、背景にどう合致しているか。それが始まりであり重要なこと(ミード)

描く世界に沿った口ボットの使い方を(大河原)

につきものの問題ですね。仕事を評価してくれる究極の審判は観客ですから。観客に認められなければ、仕事場にこもつてひとりで描いている趣味人と同じです。死後に作品が面白がられるということがあるかもしれません、プロならば商業の点でも創造の点でも成功しなければ。ですからプロセスの最後の、非情に大切なものが観客なんですね。マス・マーケットで勝負が決まるわけです。

大河原 作品によって描く世界が違うのなら、口ボットの形も使い方も違つていなければならない。ところがどういうシチュエーションでもモビルスリットが出てきちゃって、そこがちょっと安易かなという気はします。極端な例を言うと、ガンダムとボトムスのように、口ボットといつても幅はものすごくある。それを作品世界ごとにじっくり考えて今度の口ボットはこうしようと思います。今は、そこがなんとなくおざなりになつていてる気がしますね。



可変MSフラット(デザイン シド・ミード)

画家でありアーティストでもあるからですが、スタートの時点で(工業デザイン、アニメのデザイン、あるいはイラストなのか)の成り行きは関係なく、問題はそのアイデア自体の質とアイデアが生まれた理由、背景にどう合致しているかです。それがますます始めであり、重要なことです。

大河原 ミードさんのデザインを見ると、これは自分にはできないなという感じがしました。僕は絵が好きではないので、なるべく描かないで仕事を終わらたいんですが、(設定画の束を見て)これはやはりバイタリティが違うんだなと思いました。



ILLUSTRATED BY SYD MEAD

ミード 私がチャレンジしたのは、エキスパートである大河原さんの20年のデザインの流れに追いつこうということでした。そのために自分自身を奮立たせてアイデアを出し、物語の流れの速度に乗つていこうとしました。

大河原 これが前例になると次にガンダムをデザインする人は大変だと思いません、また次もミードさんにやつてもられない。(笑)。

ミード ノー(笑)、他の人がやるの

でしょう。つねに若くて新しい世界を持つ人がうしろから来ていることはいいことです。だからこそ私もガンダム、モビルスーツ、マのストーリーのような仕事を楽しめるわけです。そうした仕事を通じて新しい人々、新しい分野に精通した、賢くて、私より若い人に出会えるのですから。

大河原 珍しいことですね。今までのガンダムのデザインコンセプトを、大先輩がカラッ変えてくれたのであります。珍しいと思います。ミードさんならしく失礼かな(笑)。

ミード それはたいへんにお褒めの言葉ですね。サンキュー、ベリー・マッチ!

全権・協力 バンダイビジュアル



ティアナ親衛隊専用MS スモー(デザイン シド・ミード)

MECHANICAL DESIGN WORKS IN A

イルフートのベースはガンキャノンだった

いしがき・じゅんや デザイナー。スタジオ トランジット所属。ガンダムシリーズはTV「機動戦士Vガンダム」、ゲームでは「SDガンダム Gジェネレーションズ・ゼロ」などに参加。

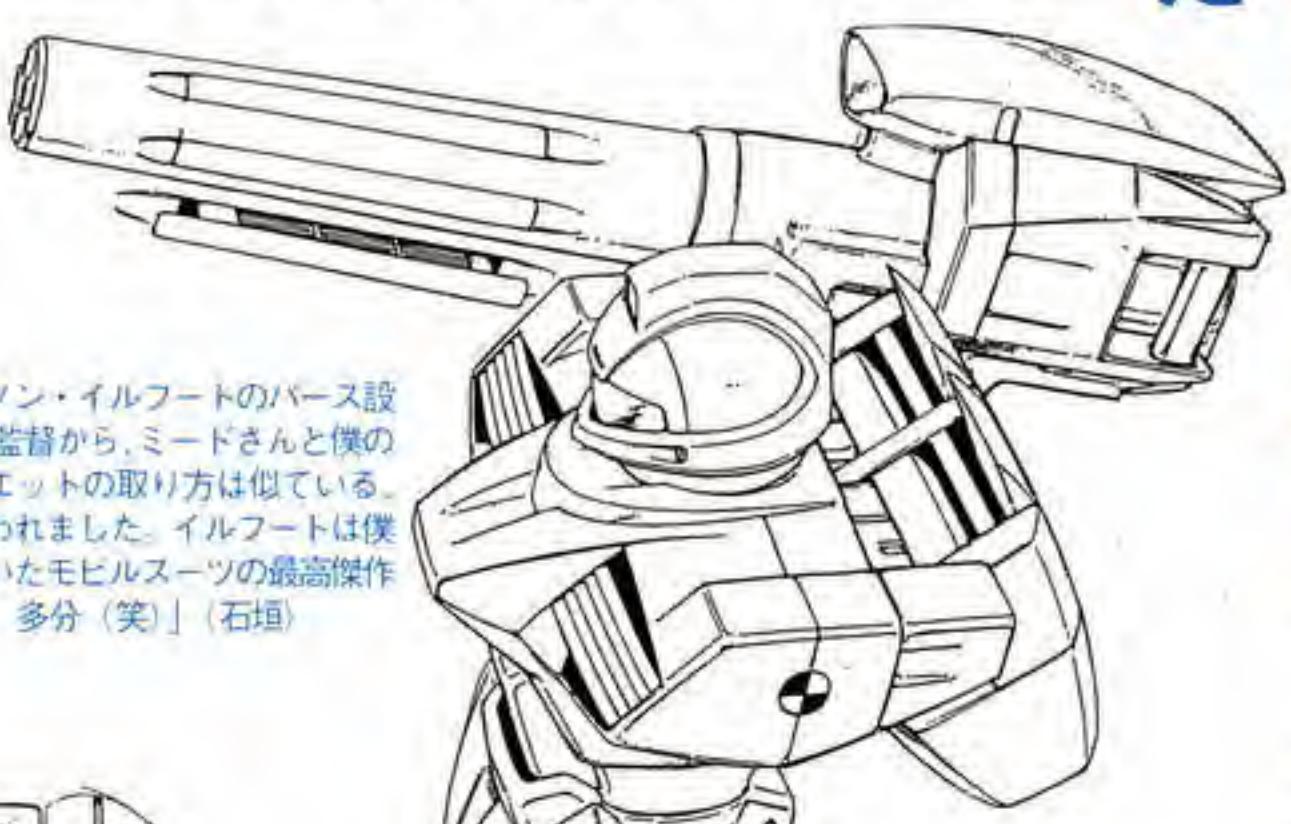
石垣純哉

junya ishigaki

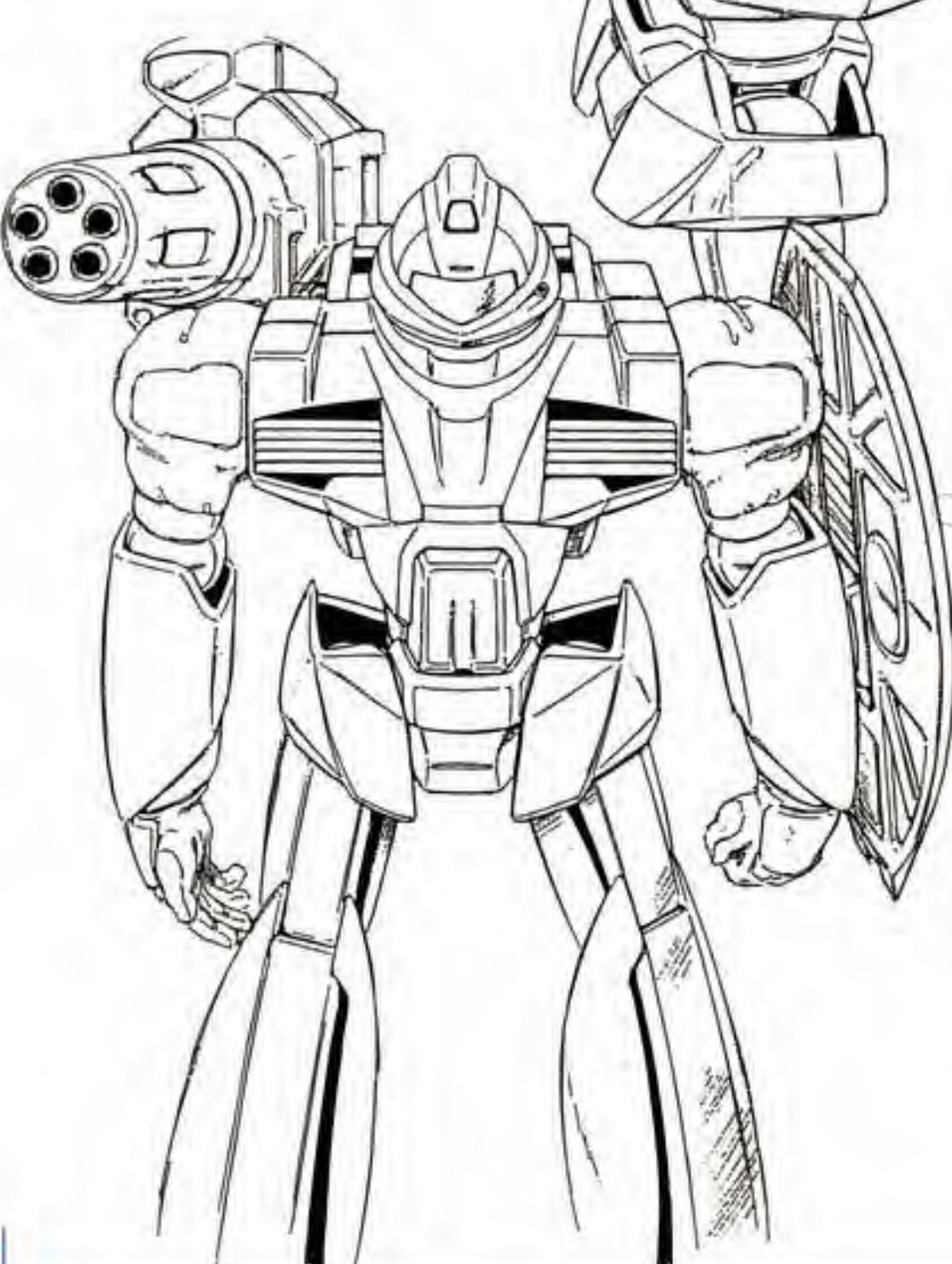
ウイルゲムは大気圏内を飛ぶ宇宙船ということでデザインしました。「主人公たちが宇宙に行くための船」って聞いていたんで「ベタだけど色はホワイトベースと同じ白で、横の丸い部分が黄色だつたりするとニヤリかなー」とつて思つてデザインしたんだけど「ユニタタイプ」を見たら焼きオニギリみたいな茶色になつて、ガーン(笑)。で、次にデザインしたのがキャノン・イルフートですが、これは要するにガンダムに対するガンキャノン、つまりヤキヤノンだったわけです。富野監督のデザインのラフに「シールドをつけて十文字マークを入れる、名前はキャノン・イルフート」と書いてあって「ゲームで出たイルフートの間違いでは?」つ

て聞いたら「あ、でもこれで行こう」という感じです。一度ミードさんに「クライアントの要望と自分の欲求と、どの時点で消化させればいいのか?」と聞いたら「20%のロマンティックだ」と言われて、わかるようなわざかんないような(笑)。

で聞いたら「あ、でもこれで行こう」という感じです。このイルフートはミードさんのデザイン要素を取り入れて描いたんですよ。



キャノン・イルフートのベース設定。「監督から、ミードさんと僕のシルエットの取り方は似ている」と言われました。イルフートは僕が描いたモビルスーツの最高傑作です。多分(笑)(石垣)



富野監督のオーダーは「肩が広く胴体は細く、大砲を背負っている」だった。大河原ラインとミード・ラインの間を埋めるモビルスーツという発想でデザインされている

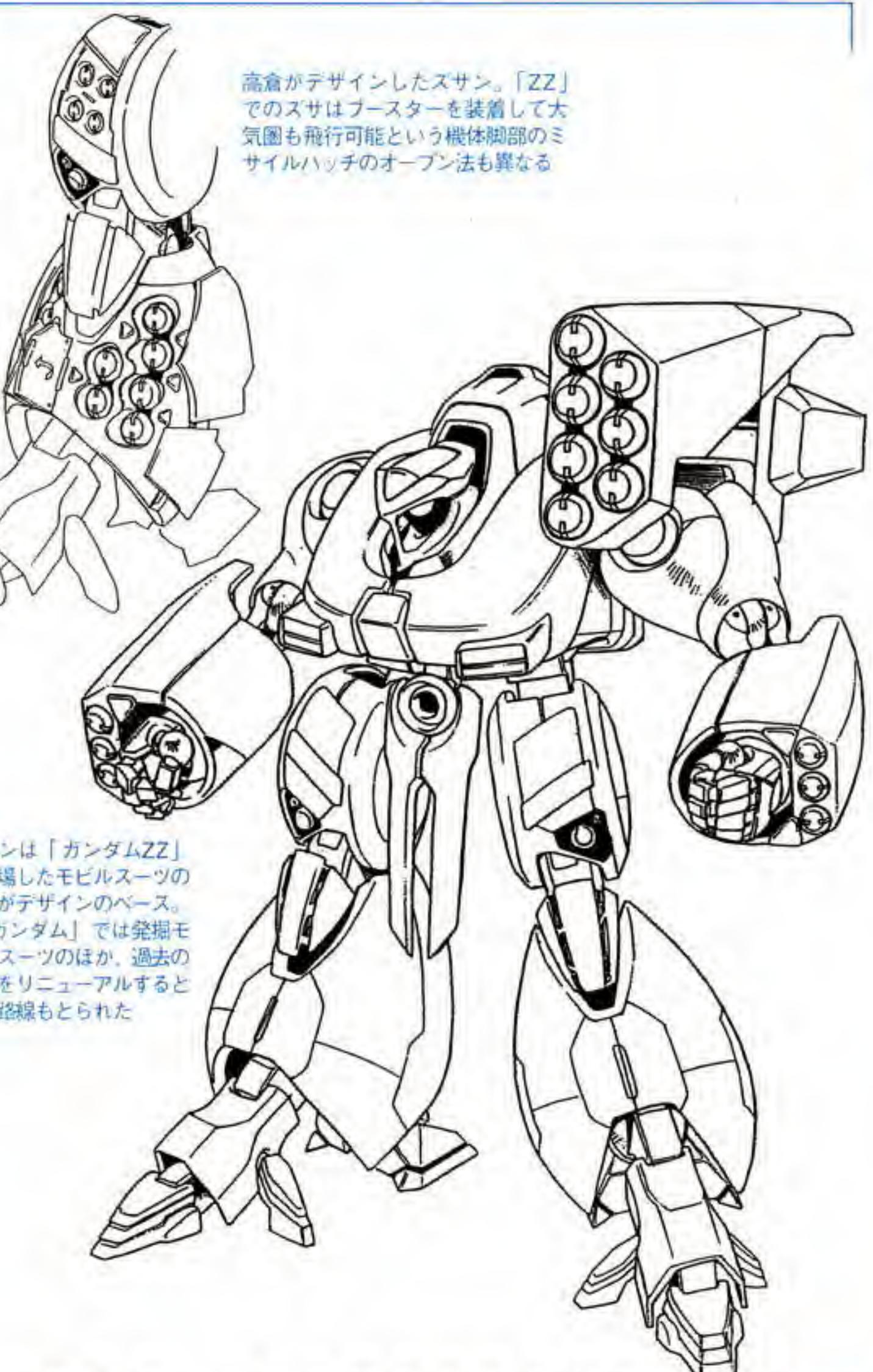
デザインの「翻訳」が僕の仕事です

僕はスタッフからは「翻訳家」といわれていました。ミードさんの画稿が何十枚もあって情報量が多くなり途中から追加されたアイデアがあつたりして、それらをまとめてると、どうしても辻褄が合わなかつたり難解な部分が出てしまつたりするんです。そういう部分の構造を解析してアニメ用とプラモデル用にわかりやすい設定を描き起こす、だから「翻訳する」という作業ですね。簡単に言つと、何枚もある兵器の写真から一枚の図面を起こしていくようなものです。

いちばん難解だったのは左右非対称だったターンXですね。ミードさんの画稿を見ると「左足なのに右足ぽい情報も入っている」ということがあった

りして、情報が混乱してくるんです。それで「この情報は活かすがこちらは無視」ということを決めて解析をしました。腕とか腰は割と簡単でしたが、足は1日半、両腕は左右の形が違うんで3日かかりました。特に大変だったのは右腕ですね、分割線が複雑で「シヤイニング・フィンガーはどう入つているのか」がわかるまで相当時間がかかりました。背中のバックパックも驚きましたね、この存在感は今までのアニメにはないものだと思います。

ミードさんのすごいところは、もともとのデザインセンスが高い位置にあるのはもちろん、それをどういったテクニックで人に伝えるか、見せるかが魅力的にできるところだと思います。



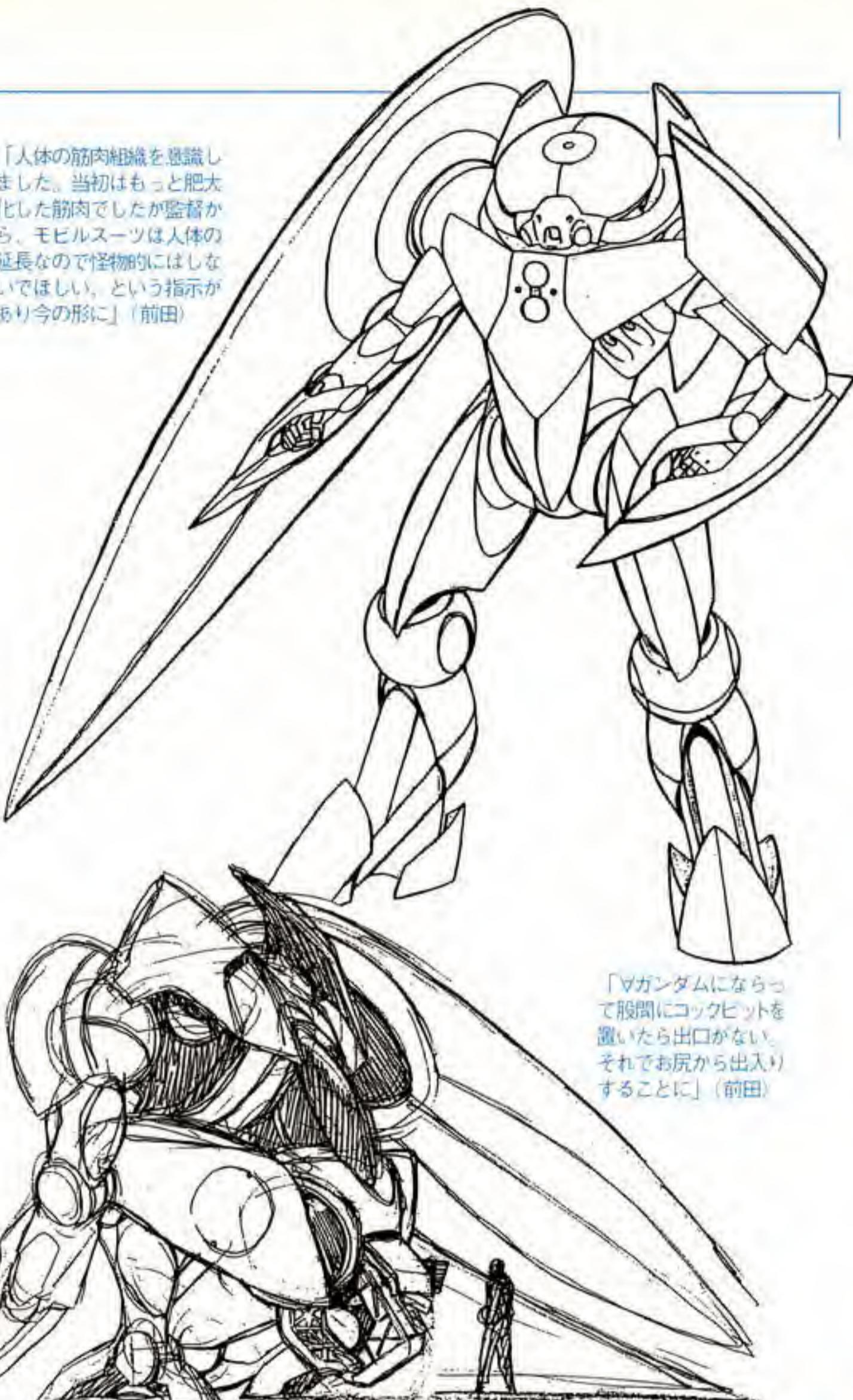
高倉がデザインしたズサン。「ZZ」でのズサはブースターを装着して大気圏も飛行可能という機体脚部のミサイルハッチのオープン法も異なる

高倉武史

takeshi takakura

たかくら・たけし フリーのデザイナー&イラストレーター。サンライズ作品ではTV「勇者ガオガイガー」に参加。そのほかTV「地球防衛企業ダイ・ガード」などに関わる。

「人体の筋肉組織を意識しました。当初はもっと肥大型した筋肉でしたが監督から、モビルスーツは人体の延長なので怪物的にはしないでほしい」という指示があり今の形に」(前田)



「マガソードにならって股間にコックピットを置いたら出口がない、それでお尻から出入りすることに」(前田)

僕が参加したのはミードさんが入る前で「富野監督が20周年として新しいガンダムをつくる」ということしか決まってなくて、監督自身も覚え書き程度のメモしかない頃でしたね。ミードさんのデザインを見たときは従来のガンダムのキャラクターと違っていたので「いいのかな?」と少し感じましたが、個人的には格好いいと思いました。ヒゲは兜のクラガタを感じたし、頭から胸にかけてのラインは立体にしたらきれいだろうなって思つたし、正面はプレーンだけどうろ姿は人間の筋肉組織のデフォルメがあつたりして、いいですね。久々にガンプラ買つたし、チタン製のマガソードも買わなきやつて思いましたもん(笑)。ただ

「格好いいけど、このデザインなら実写

前田真宏
mahiro maeda

クリエイター集団「GONZO」のメンバー。平成版の映画「カメラ」シリーズではモンスター・デザイン。新作TV「ヴァンドレッド」では監修とメカデザインを担当。

沙倉拓実

takumi sakura

さくら・たくみ フリー・デザイナー。富野作品はTV「フレンパワード」に引き続いで参加となった。TV「機動戦艦ナデシコ」でアニメのメカデザインをはじめて手がける

「マガソード」をやらないか、と言わされたのは98年10月頃です。そのときの説明は「地球は複葉機くらいの技術しかない」という程度でミードさんのデザイン画を見せてもらつただけでしたから、どんな内容なのか見当もつきませんでした。ミードさんのデザインはすべてのパーツが非常に整合性がとれていて説得力があるんです。ヒゲの部分も最初は驚きましたけど、見慣れると格好いいですね。あと、フラットも格好よくて、横から見るとすごく薄いんだけど普通のデザイナーじゃ描かないでしょうね。感動してプラモモデルつっちゃいました。

モビルスーツで僕がデザインしたのはムツトウーですが、大河原さんやミ

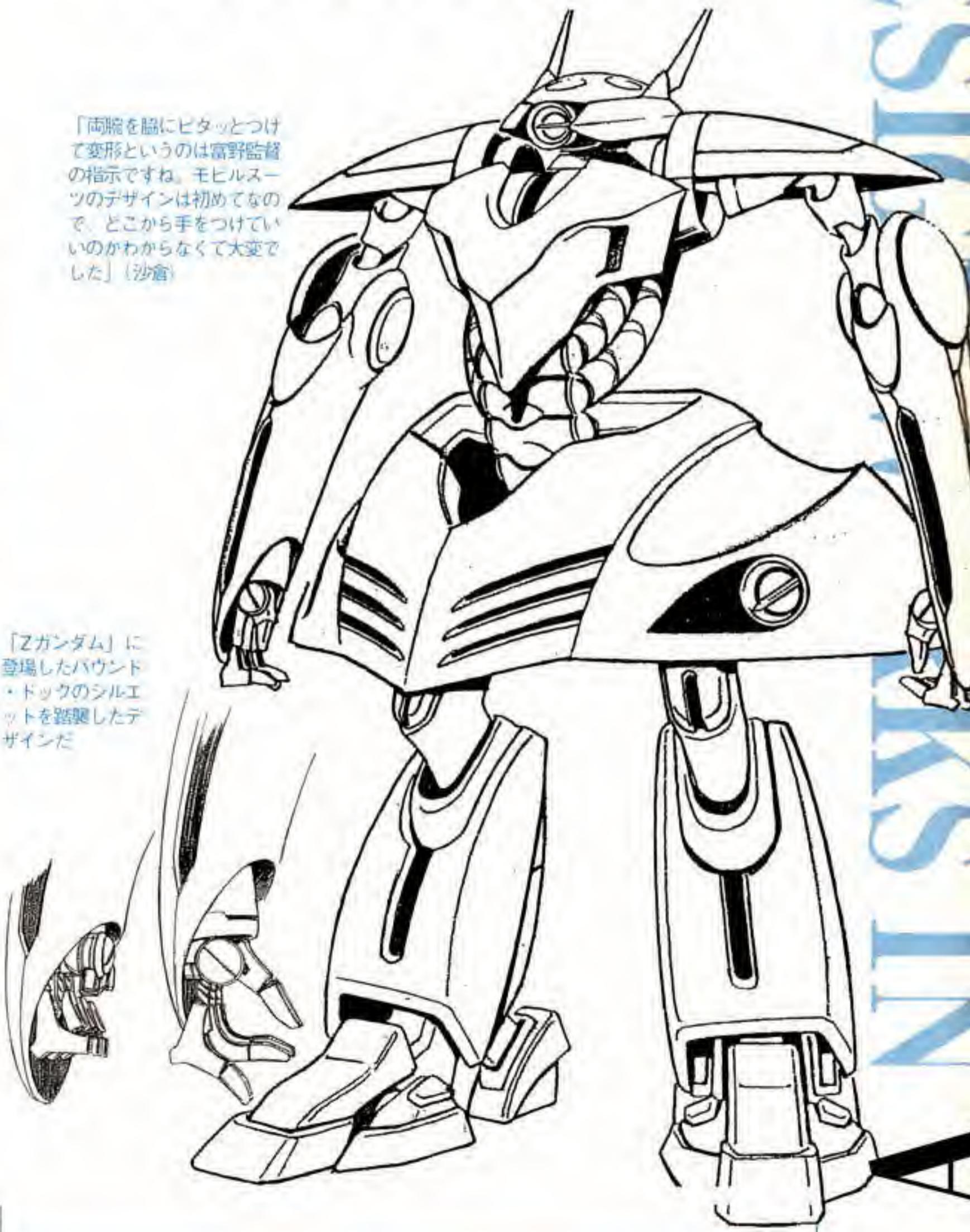
説得力があつたミード・デザイン

ードさんのティストも取り入れようといふコンセプトがあつたんで、例えば目はウォームが入つたりしますね。僕はサブメカを描くことが多かつたので、どこに華を持たせるかがまだよくわからないんですよ。ロボットのオーラのようなものがもっと出ていいないとダメだな、と今は思います。そのほかのデザインだと自動車や複葉機の類をやつたんですが、とにかく資料がなくて大変でした。実物のカラー写真はあつても動き方がわからなくて、博物館書や外国のプラモつたを買つたりして結構手間がかかりました。ほかにはムーンレイスの個人住宅とか消化器のような小道具も僕が担当しました。

ザクを意識してデザインしたマヒロー

かCG。アニメだと大変」とは思いました。ミードさんとしてはアニメを意識してフォルムを単純化し、その組み合せでやつていると思うんですけど、それでも難易度は高いんですよね。

僕がデザインしたマヒローはザクのテ



「Z高达」に登場したバウンド・ドックのシルエットを踏襲したデザインだ

「黒歴史」の中のモビルスーツ

僕は以前、2年ほどGONZOでゲームデザインとかアートディレクションをやってて、その頃は「ニュータイプ」のテレビCMでロゴがクルクル回って出るやつもつくったんです。ライズさんの要望と合致して参加することになりました。最初にデザインしたのはクラシック自動車、そのあとトラックや船とか、あとはマニューピチラックでミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう



放送開始当初は「Gガンダムやファーストも出るらしい」という噂が業界内でながれたことも。

登場約20種ものMSが登場した「△」

「アガソダム」に登場したモビル、強化型ウオドムなども含めると約20種にも及ぶ。ミードがデザインを担当したモビルスーツは合計7体登場しているが、実はもう1体デザインされていながら未登場のモビルスーツが存在している。これは4本の四肢が折り畳み式になっていて、移動時や待機中はボディの中央に手足が集まるという可愛モビルスーツで、「翻訳家」の高倉武史によつて構造解析作業も完了していたが、結果的に本編での使用は見送られることになつた。ミードは日本側のデザイナーガ出出したモビルスーツのアイデアにも強く影響を受けており、例えばフラットやモビルブなどは大河原邦男が出した「背骨のあるモビルスーツ」のコンセプトをふまえたものだ。

ウォドムはマヒローのラフ画からインスピライアされて「デザインされたもので、頭部などに形状の類似点が見られる。

「アガソダム」では、当初は過去のガンダムシリーズに登場したモビルスーツを発掘するという設定だったが、ミードデザインや他モビルスーツとのイメージの整合性などを考慮して途中からは、過去のモビルスーツをリファインして登場させるという路線もとり入れられた。具体的には、ムットー（「機動戦士エガソダム」のバウンド・ドッグ）、ズサン（機動戦士ガンダムΖΖ）のズサン）がリファインされ、最終的にこれらは「リフайн前のモビルスーツとは関係のない機体」として扱われることになった。カブルに関しては「ΖΖ」当時のカブルの設定資料に若干の修正を加えたものが「アガソダム」の設定資料として使用されている。ちなみに、「アガソダム」での登場を検討されながら見送られたものは「アガソダム」もあったようだ。しかし「Ζはマニアの視点を集めすぎる」といった理由から登場しないことに。またロランたちは宇宙に行くためにホワイトベースが発掘されるといった案もあつたが、あまりにもベタすぎるといった理由から見送られ、ウイルゲムが新規にデザインされている。

新旧モビルスーツ比較



宮尾佳和

yoshikazu miyao

みやお・よしがず フリー・デザイナー。OVA「マクロス・ダイナマイト7」のOP演出などを手がける。ハーダイの新フラモ「聖戦士ダンバイン」のデザインにも協力

僕は広く浅くなんでも描いてみたいということになりました。最初にデザインしたのはクラシック自動車、そのあとトラックや船とか、あとはマニューピチラックでミードさんのモビルスーツが走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう

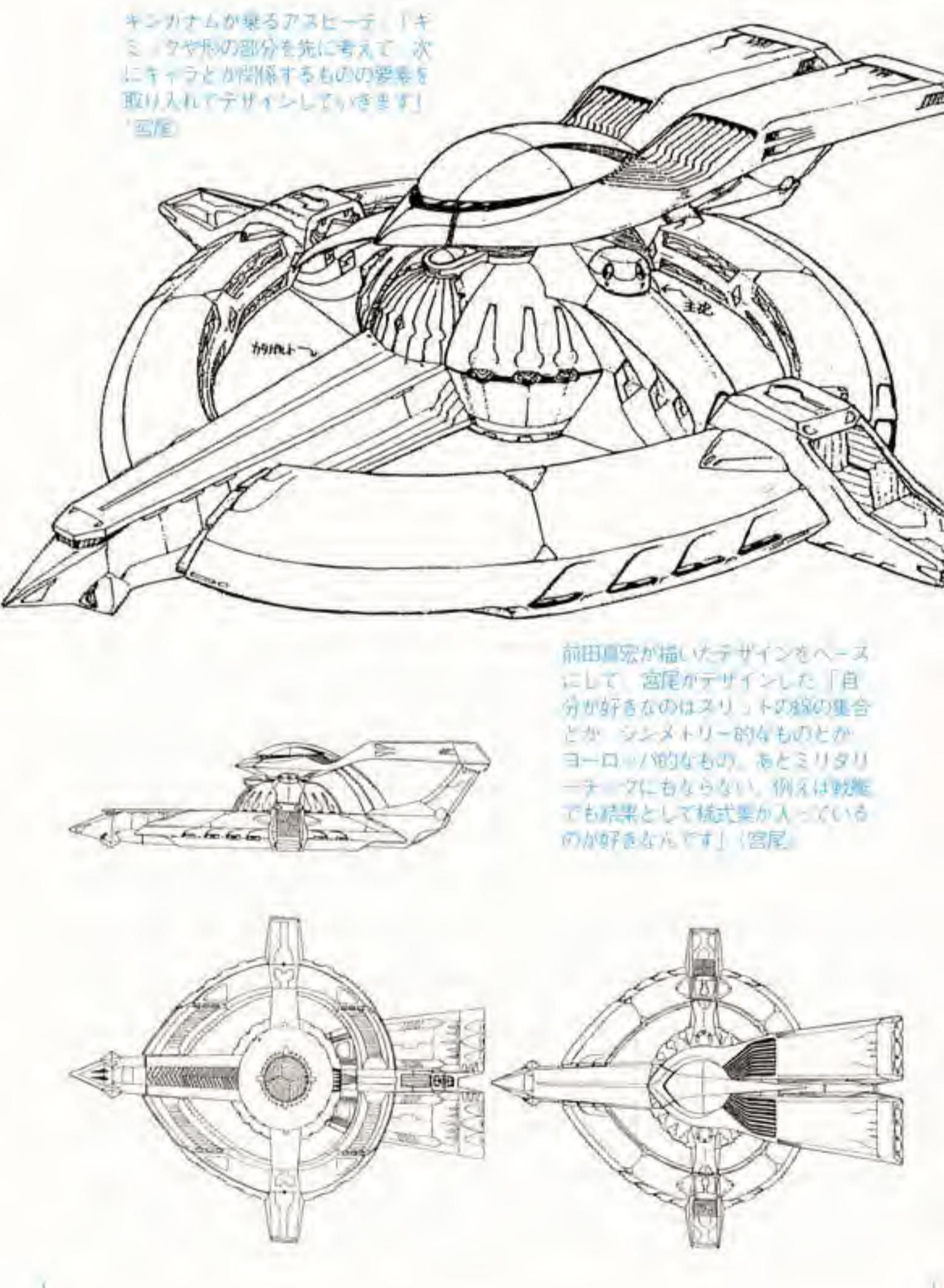
よく演出されていた気がします。アニメの場合すべては演出に集約されると思つてまして、デザイナーとしての僕は演出のための大好きな道具を描くわけではなく思いつき美術ですね（笑）。作品の狙いは「クラシカルな車が走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう

よく演出されていた気がします。アニメの場合すべては演出に集約されると思つてまして、デザイナーとしての僕は演出のための大好きな道具を描くわけではなく思いつき美術ですね（笑）。作品の狙いは「クラシカルな車が走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう

富野監督は思つていた以上にすごい人

よく演出されていた気がします。アニメの場合すべては演出に集約されると思つてまして、デザイナーとしての僕は演出のための大好きな道具を描くわけではなく思いつき美術ですね（笑）。作品の狙いは「クラシカルな車が走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう

よく演出されていた気がします。アニメの場合すべては演出に集約されると思つてまして、デザイナーとしての僕は演出のための大好きな道具を描くわけではなく思いつき美術ですね（笑）。作品の狙いは「クラシカルな車が走る背景でミードさんのモビルスーツが暴れまくる絵をつくりたい」というものだと思つんですが、放映を見るとう



第9話

コレン、ガンダムと叫ぶ

1999年6月4日

脚本
星山博之絵コンテ
西森 雄演出
西森 雄作画監督
佐久間信一原画
津野田勝敏

森 岩史

吉田 徹

山本勝久

津野健徳

新号 靖

木下勇吉

東海林康和

スタジオ ダブ

動画チェック

大谷美樹

動画
スタジオ ダブ色指定
長尾朱美背景
アトリエ ムサ制作進行
岸田 文

第10話

墓参り

1999年6月11日

脚本
高橋治郎絵コンテ
西森 雄演出
岸谷 稔作画監督
佐久間信一原画
津野田勝敏

森 岩史

吉田 徹

山本勝久

津野健徳

新号 靖

木下勇吉

東海林康和

スタジオ ダブ

動画チェック

大谷美樹

動画
スタジオ ダブ色指定
長尾朱美背景
アトリエ ムサ制作進行
小島博文

第11話

ノックス崩壊

1999年6月18日

脚本
千葉克彦絵コンテ
川瀬敏文演出
池端隆史作画監督
佐久間信一原画
中田栄治

森 嘉之

吉田 哲

山本勝久

津野健徳

新号 靖

木下勇吉

東海林康和

スタジオ ダブ

橋本勝紀

高橋 畏

宮下雄次

橋本裕之

小松崎純子

動画チェック

福田 錠

色指定
菊地和子背景
ほわいとまっぷ制作進行
小島博文

第12話

地下回廊

1999年6月25日

脚本
星山博之絵コンテ
橋田 和演出
杉谷光一作画監督
うのまこと原画
森 利夫

張 尤根

坂崎 忠

加藤初重

金剛寺禪

松田剛史

森名郁郎

前田明寿

高見昭男

嵐橋香織

中島利洋

堀たえ子

大根敦史

浅岡重弘

伊藤鶴子

うのまこと

スタジオ ダブ

橋本勝紀

高橋 畏

宮下雄次

橋本裕之

小野和寛

田澤 智

李 炎周

ソウル ダブ

動画チェック

大谷美樹

動画

スタジオ ダブ

色指定

中尾紀子

背景

アトリエ ムサ

制作進行

小形尚弘

第13話

年上のひと

1999年7月2日

脚本
渡川英也絵コンテ
橋田彰利演出
杉谷 光作画監督
岩崎良明原画
星山博之

張 尤根

坂崎 忠

加藤初重

金剛寺禪

松田剛史

森名郁郎

前田明寿

高見昭男

嵐橋香織

中島利洋

堀たえ子

大根敦史

浅岡重弘

伊藤鶴子

木下勇吉

スタジオ ダブ

橋本勝紀

高橋 畏

宮下雄次

橋本裕之

小野和寛

田澤 智

李 炎周

ソウル ダブ

動画チェック

大谷美樹

動画

スタジオ ダブ

色指定

中尾紀子

背景

京都アニメーション

制作進行

鈴木由美子

制作協力

ジーべック

脚本監修

星野田悠季

企画

サンライズ

原作

矢立 嘉

富野由悠季

キャラクター原案

安田 順

キャラクター設定

菱沼義仁

メガニカルデザイン

大河原邦男

シド ミード

黒田敦司

沙倉拓実

美術監修

池田繁美

美術ボード

丸山紀子

色彩設定

笠森美代子

色彩設定補佐

佐藤美由紀(エムアイ)

仕上

エムアイ

仕上処理

前村文惠

タイトル/リストワーク

マキ・プロ

特殊効果

長谷川敬生(マリックス)

デジタルエフェクト

サンライズ

制作

フジテレビ

撮影監修

大神洋一

撮影

柏プロダクション

編集

山森重之

秋保宣宏

ジェイ・フィルム

音楽

菅野よう子

音響監修

鶴岡剛太

サウンドデザイン

笠松広司

フォリー

森川承子

録音調整

名倉 雄(アバコクリエイティブスタジオ)

音響制作

柔音舎

杉山好美

音響制作

太田敦明(ボーダーライン)

録像

東京現像所

ビデオ編集

キューテック

イラスト原画

森田勝己

P1 イラスト原画/相田悠希

P2-3 イラスト原画/菱沼義仁 デザイン/原田義人 演劇大輔

P4-5 イラスト原画/佐藤裕司

P6-7 イラスト原画/菱沼義仁

P8-9 イラスト原画/豊田耕司

第1話 月に吠える	第2話 成人式	第3話 祭りの後	第4話 ふるさとの軍人	第5話 ディアナ降臨	第6話 忘れられた過去	第7話 貴婦人修行	第8話 ローラの牛
1999年4月9日	1999年4月19日	1999年4月23日	1999年4月30日	1999年5月7日	1999年5月14日	1999年5月21日	1999年5月28日
脚本 星山博之	脚本 千葉克彦	脚本 浅川美也	脚本 高橋哲子	脚本 星山博之	脚本 千葉克彦	脚本 浅川美也	脚本 高橋哲子
絵コンテ 芦谷 稔	絵コンテ 芦谷 稔	絵コンテ 芦谷 稔	絵コンテ 西森 章	絵コンテ 菱田正和 芦谷 稔	絵コンテ 横山彰利	絵コンテ 森 邦宏	絵コンテ 横田 和
演出 渡邉哲哉	演出 森 邦宏	演出 南 康宏	演出 西森 章	演出 若崎良明	演出 池端隆史	演出 森 邦宏	演出 渡邉哲哉
作画監督 土器子司	作画監督 佐久間信一	作画監督 鈴木謙雄	作画監督 佐久間信一	作画監督 戸部敦夫	作画監督 しんぼたくろう 中田栄治	作画監督 佐久間信一	作画監督 鈴木謙雄
作画協力 菱沼義仁	原画 スタジオ タブ	原画 スタジオ ティーポルト	原画 スタジオ タブ	原画 中谷誠一	原画 中村プロダクション	原画 スタジオ タブ	原画 スタジオティーポルト
原画 中谷誠一	榎本勝紀	榎本勝紀	榎本勝紀	高橋 畏	板倉和弘	榎本勝紀	石井久志
森 利夫	高橋 畏	池田裕治	高橋 畏	石川哲也	米山浩平	高橋 畏	池田裕治
森 岩史	石川哲也	坂本修司	石川哲也	酒井道太	松永 真	石川哲也	坂本修司
新弓 靖	酒井道太	高橋英樹	酒井道太	小野和寛	高橋真一	高橋英樹	高橋英樹
津崎健徳	小野和寛	田中智子	田中智子	田澤 智	森 寛之	田中智子	田中智子
山本勝久	田澤 智	浜崎賀一	浜崎賀一	季 炎周	富永剛央	浜崎賀一	浜崎賀一
津崎佳明	高橋良夫	片貝 稔	片貝 稔	ソウル タブ	橋本誠一	高橋良夫	高橋良夫
金剛寺彈	工原しげき	工原しげき	松尾 慎	森 利夫	宮下雄次	森 利夫	片貝 稔
竹上貴夫	浜田敦介	浜田敦介	浜田敦介	津原百合子	中澤美尊	金剛寺彈	浜田敦介
吉田 敬	島田大助	島田大助	島田大助	中村和代	鈴木健史	吉田 敬	吉田和恵
坂本 力	田中誠輝	田中誠輝	田中誠輝	大谷美樹	大谷美樹	動画チェック	大谷美樹
動画 富永和代	大谷美樹	動画チェック 平出差知予	動画チェック 平出差知予	動画 スタジオ タブ	中村プロダクション	動画 スタジオ タブ	動画 富永和代
阿武恵子				色指定 菊地和子	スタジオ タブ	色指定 菊地和子	阿武恵子
竹之内節子				背景 京都アニメーション	京都アニメーション	背景 ほわいとまっふ	竹之内節子
渡辺妙子				制作進行 岸田文	FAIインターナショナル	制作進行 佐藤弘幸	渡辺妙子
森 文代				スタジオ タブ	アトリエ ムサ	背景 アトリエ ムサ	スタジオ タブ
富岡美穂				色指定 長尾朱美	制作進行 河野智明	制作進行 河野智明	制作進行 若鍋竜太
スタジオ クビット				背景 アトリエ ムサ	ほわいとまっふ	制作進行 小形尚弘	
中村プロダクション				制作進行 若鍋竜太			
スタジオ九魔							
スタジオ タブ							
色指定 佐藤美由紀							
背景 アトリエ ムサ							
制作進行 佐藤弘幸							

A GUNDAM S T

第14話 別離、再び	第15話 思い出は消えて	第17話 建国のダストブロー	第18話 キエルとディアナ	第19話 ソシエの戦争	第20話 アニス・パワー	第21話 ディアナ奮戦	第22話 ハリーの災難
1999年7月9日	1999年7月16日	1999年7月30日	1999年8月6日	1999年8月13日	1999年8月20日	1999年8月27日	1999年9月3日
脚本 星山治郎	脚本 高橋哲子	脚本 浅川美也	脚本 高橋治郎	脚本 星山博之	脚本 高橋哲子	脚本 星山博之	脚本 高橋治郎
絵コンテ 西森 章	絵コンテ 芦谷 稔	絵コンテ 森 邦宏	絵コンテ 菱田正和 芦谷 稔	絵コンテ 川瀬敏文 芦谷 稔	絵コンテ 西森 章	絵コンテ 横田 和	絵コンテ 森 邦宏
演出 西森 章	演出 渡邉哲哉	演出 森 邦宏	演出 山口美佐	演出 北川正人	演出 西森 章	演出 渡邉哲哉	演出 森 邦宏
作画監督 しんぼたくろう 中田栄治	作画監督 佐久間信一	作画監督 鈴木謙雄	作画監督 佐久間信一	作画監督 杉光 登	作画監督 しんぼたくろう 中田栄治	作画監督 佐久間信一	作画監督 戸部敦夫
原画 中村プロダクション	原画 森 利夫 後藤雅巳 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 富永剛央 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 佐藤雅巳 高橋英樹 池田裕治 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎	原画 スタジオ ティーポルト 佐藤雅一 高橋英樹 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎	原画 中谷誠一 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	原画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
動画 高橋 哲	動画 高橋 哲	後藤雅巳	後藤雅巳	中谷誠一 森 悅史 新弓 靖	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
中村プロダクション	スタジオ タブ	高橋英樹	吉田 錠彦	森 悅史 新弓 靖	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
富永和代	動画 高橋 哲	金剛寺彈	高橋 哲	中谷誠一 森 悅史 新弓 靖	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
森 文代	動画 高橋 哲	高橋英樹	高橋 哲	森 悅史 新弓 靖	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
スタジオ タブ	動画 高橋 哲	池田裕治	池田裕治	新弓 靖	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
色指定 長尾朱美	色指定 長尾朱美	坂本修司	坂本修司	アートランド FAIインターナショナル	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
背景 アトリエ ムサ	背景 アトリエ ムサ	石川雅也	石川雅也	アートランド FAIインターナショナル	スタジオ タブ 白井伸明 日向正樹 工藤昌史 小沢尚子 加藤義眞 川口栄夫 小林冬志生 相坂直紀 川添政和 ながた正美	動画 中村プロダクション 板倉和弘 米山浩平 松永 真 高橋 畏 森 寛之 森 寛之 橋本誠一 宮下雄次 中澤美穂 鈴木健史	原画 スタジオ タブ 森 利夫 高橋 畏 吉田 錠彦 津原拓敬 坂本修司 石井久志 田中智子 片貝 稔 吉田 錠彦 吉田 錠彦 米本 亨 松尾 慎
制作進行 佐藤弘幸	制作進行 若鍋竜太	酒井道太	酒井道太	色指定 長尾朱美	色指定 長尾朱美	背景 アトリエ ムサ	背景 ほわいとまっふ
		小野和寛	小野和寛	アートランド FAIインターナショナル	制作進行 太古 满	制作進行 小形尚弘	制作進行 佐藤弘幸
		田澤 智	田澤 智	背景 アトリエ ムサ	制作協力 アートランド		
		季 炎周	季 炎周	制作進行 岸田文			
		ソウル タブ	ソウル タブ				
		動画チェック 大谷美樹	動画チェック 大谷美樹				
		動画 高橋 哲	動画 高橋 哲				
		色指定 長尾朱美	色指定 長尾朱美				
		背景 ほわいとまっふ	背景 ほわいとまっふ				
		制作進行 若鍋竜太	制作進行 若鍋竜太				
		制作進行 若鍋竜太	制作進行 若鍋竜太				
		制作進行 若鍋竜太	制作進行 若鍋竜太				
		制作進行 若鍋竜太	制作進行 若鍋竜太				
		制作進行 若鍋竜太	制作進行 若鍋竜				

Contents

- P04 ILLUSTRATIONS OF "A"
- P16 CHARACTERS
- P24 MOBILE SUIT
- P31 GOODS
- P33 A GUNDAM EPISODE GUIDE
- P84 INSPECTION OF A GUNDAM
- P94 STAFF LIST

NEWTYPE 100% COLLECTION 38 A GUNDAM Vol.1



ニュータイプ100%コレクション 38

A ガンダム

2000年6月30日初版発行

発行人 青木誠一郎
発行所 株式会社角川書店

〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3

営業 03(3238)8530

編集 03(3238)8533

振替 00130-9-195208

印刷 大日本印刷株式会社

製本 本間製本株式会社

落丁・乱丁本はご面倒でも小社営業部受注センター読者係宛にお送りください。送料は小社負担でお取り替えいたします。

©創通エージェンシー・サンライズ・フジテレビ

Printed in JAPAN

禁無断転載・複製

ISBN4-04-853153-0 C0076





9784048531535



1920076018008

ISBN4-04-853153-0

C0076 ¥1800E

定価：本体1800円（税別） 角川書店



NEWTYPE FILM BOOK EX

マジンダム①～⑤(全5巻)
ニュータイプ編 A5判/96P

角川スニーカー文庫

マジンダム①～⑤(全5巻)
著／佐藤茂 原作／矢立肇・富野由悠季
イラスト／萩尾望都 A6判

好評発売中

VIDEO&DVD&LD

マジンダム①～⑬(全13巻)

発売：バンダイビジュアル

CD

『マジンダム
ORIGINAL SOUND TRACKS I～III』『マジンダムwith
菅野よう子コンサートライブ』

発売：キングレコード

プラモデル

1/100スケールプラモデル

マジンダム
モビルスモー

1/144スケールプラモデル

マジンダム
モビルフラット
モビルスモー<sup>モビルカプル
モビルターンX</sup>

発売：バンダイ

ニューマテリアルモデル

マジンダム

発売：バンダイ